

子ども・子育て支援に関するニーズ調査 結果報告書

**平成 31 年 3 月
松 山 市**

目次

I 調査概要	1
1 調査目的.....	1
2 調査方法.....	1
3 報告書の見方.....	1
II 就学前児童 調査結果	2
1 住まいの地域と家族の状況について	2
2 子どもの育ちをめぐる環境について	4
3 保護者の就労状況について.....	6
(1) 母親・父親の就労の状況.....	6
(2) フルタイムへの転換希望など	10
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	13
(1) 現在の幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業の利用状況.....	13
(2) 利用したい「平日の教育・保育の事業」	19
5 地域の子育て支援事業の利用状況について	22
(1) 子育て支援事業の認知度、利用実績、利用意向.....	22
(2) 現在の利用回数と希望する利用回数	29
(3) 充実を図ってほしい子育て支援策	33
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について ..	34
(1) 土曜・日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	34
(2) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望	36
7 「幼児教育・保育無償化」について	39
(1) 「幼児教育・保育無償化」実現時の保育施設利用希望.....	39
8 病気の際の対応について.....	41
(1) 病児・病後児保育事業の認知状況と利用しやすい場所	41
(2) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用できなかった状況	42
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	46
(1) 不定期で利用している事業.....	46
(2) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期の事業を利用する意向.....	47
(3) 保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったこと	50
10 小学校就学後の放課後の過ごし方について	52
(1) 放課後に過ごさせたい場所について	52
(2) 放課後児童クラブ（学童保育）の土曜日の利用希望	55

(3) 放課後児童クラブ（学童保育）の日曜日・祝日の利用希望	56
(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望	57
11 育児休業や短時間勤務制など家庭と職場の両立支援制度について	58
(1) 育児休業の取得状況	58
(2) 育児休業給付の仕組みや育児休業期間中の年金保険料の免除の仕組みなどの知識	60
(3) 職場復帰	61
(4) 職場復帰の実際の時期が希望と異なることについて	65
(5) 短時間勤務制度の利用	67
12 自由意見（就学前児童）	69
Ⅲ 小学生 調査結果	76
1 住まいの地域と家族の状況について	76
2 子どもの育ちをめぐる環境について	78
3 保護者の就労状況について	80
(1) 母親・父親の就労の状況	80
(2) フルタイムへの転換希望など	84
4 地域の子育て支援事業の利用状況について	87
(1) 子育て支援事業の認知度、利用実績、利用意向	87
(2) 現在の利用回数と希望する利用回数	94
(3) 充実を図ってほしい子育て支援策	98
5 病気の際の対応について	99
(1) 病児・病後児保育事業の認知状況と利用しやすい場所	99
(2) 病気やケガの際の対処方法と病児・病後児保育事業の利用状況	100
6 放課後の過ごし方について	104
(1) 放課後に過ごさせたい場所	104
(2) 放課後児童クラブ（学童保育）の土曜日の利用希望	107
(3) 放課後児童クラブ（学童保育）の日曜日・祝日の利用希望	108
(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望	109
(5) 放課後児童クラブに望むこと	110
7 自由意見（小学生）	111
付表	116
1 就学前児童の調査票	116
2 小学生の調査票	150

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、平成27年度から平成31年度までの5カ年を計画期間とする「松山市子ども・子育て支援事業計画」の次期計画の策定に向けて、市民の皆さまの子育て状況や、子ども・子育てに関するご要望・ご意見等を把握し、松山市の子ども・子育て支援を推進するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査方法

【小学校就学前児童のいる世帯対象調査】

- (1) 調査対象 市内にお住まいの小学校就学前の児童（無作為抽出）
- (2) 実施期間 平成30年9月4日～9月28日
- (3) 配布・回収方法 郵送
- (4) 配布・回収状況

配布数	有効回収数	有効回答率
5,000	2,607	52.1%

【小学校児童のいる世帯対象調査】

- (1) 調査対象 市内にお住まいの小学生（無作為抽出）
- (2) 実施期間 平成30年9月4日～9月28日
- (3) 配布・回収方法 郵送
- (4) 配布・回収状況

配布数	有効回収数	有効回答率
3,000	1,575	52.5%

3 報告書の見方

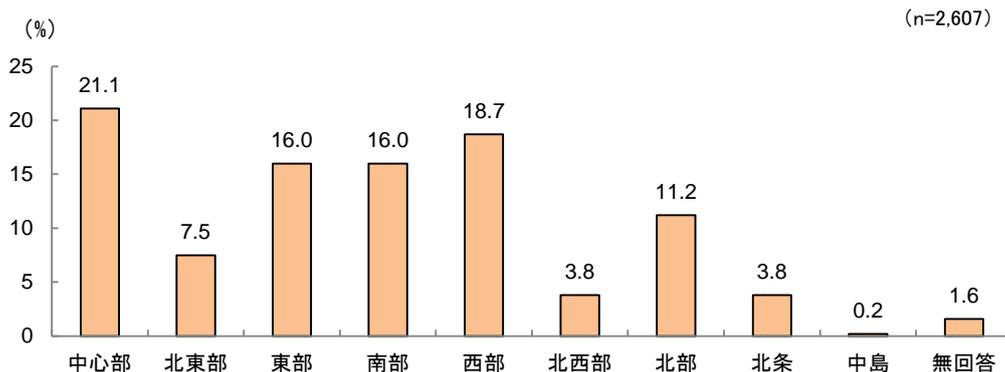
- (1) 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示する。各比率はすべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのために、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 複数回答が可能な質問があるため、回答の合計は回答者数を上回ることがある。
- (3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。また、0.0%の表記は省略している場合がある。
- (4) 自由意見については、原文を尊重し、そのままの表記を原則としているが、表記の誤りなど、趣旨を損なわない範囲で訂正した箇所がある。

Ⅱ 就学前児童 調査結果

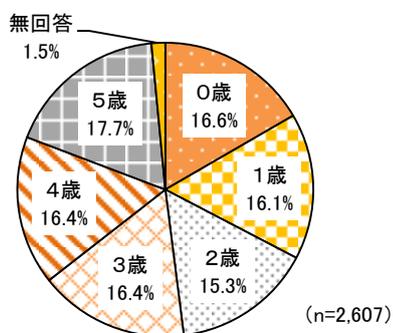
1 住まいの地域と家族の状況について

○子どもの人数は「2人」(46.2%)、「1人」(28.6%)、「3人」(20.8%)の順に高い。
 ○主に子育てを行っているのは「主に母親」が51.0%、「父母ともに」が46.9%

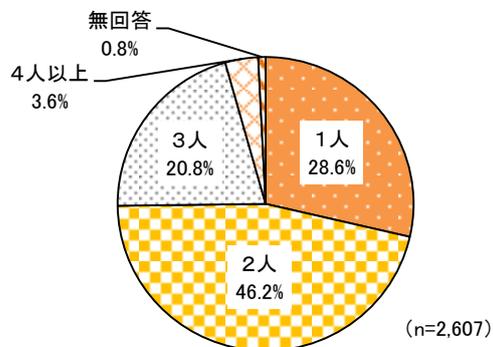
問1 居住圏域(地区名統合)



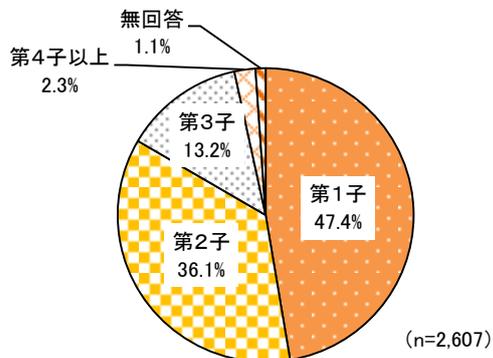
問2 対象の子どもの年齢



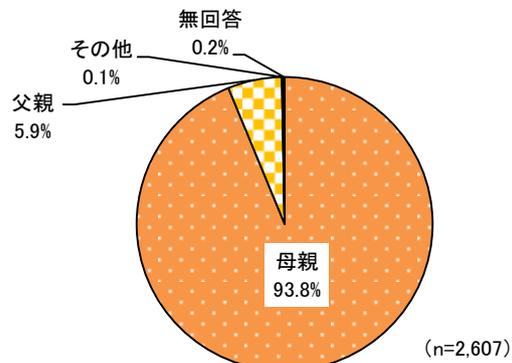
問2 子どもの人数



問2 何人目の子ども

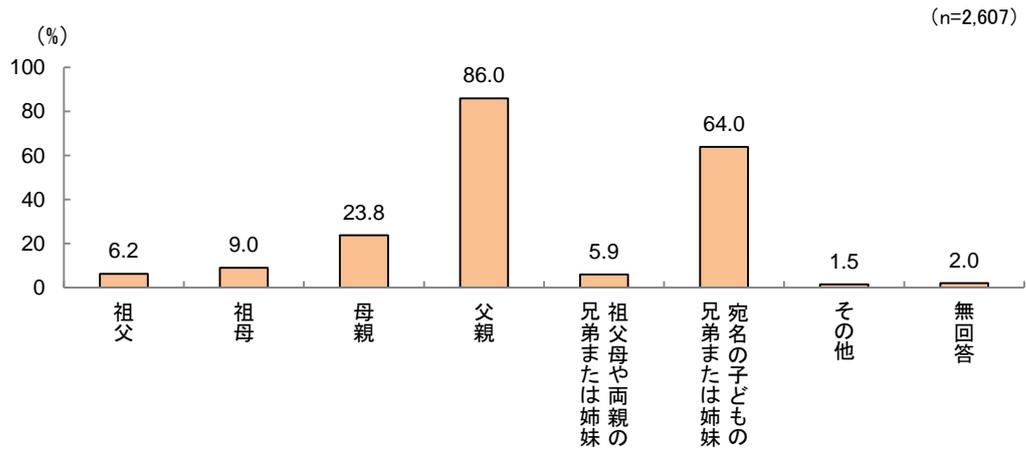


問3 回答者

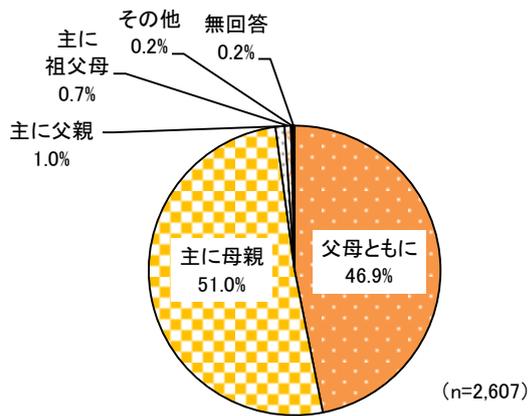


Ⅱ 就学前児童 調査結果

問4 回答者以外の同居者



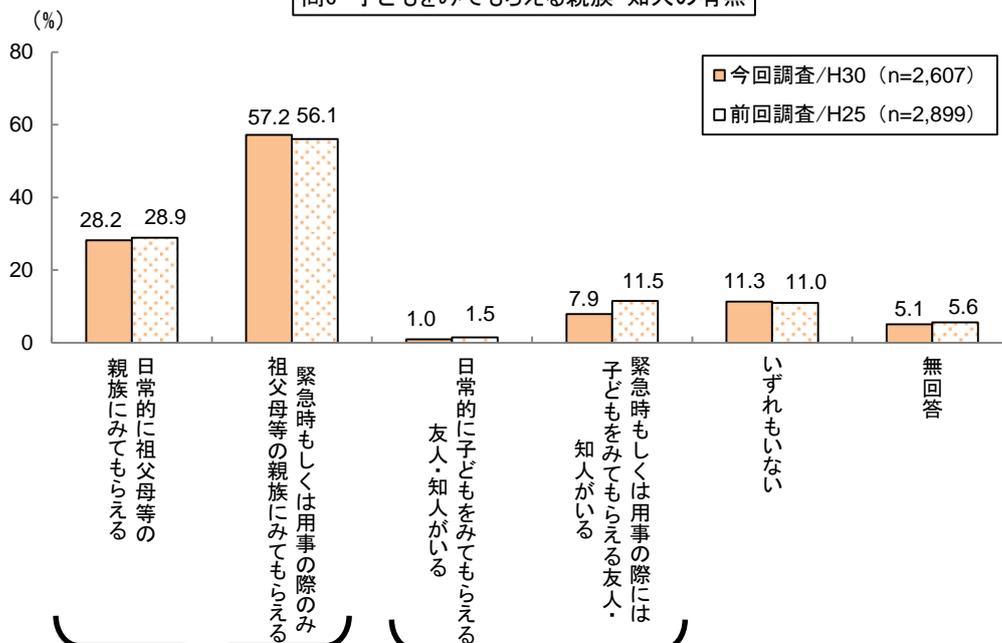
問5 主に子育てしている人



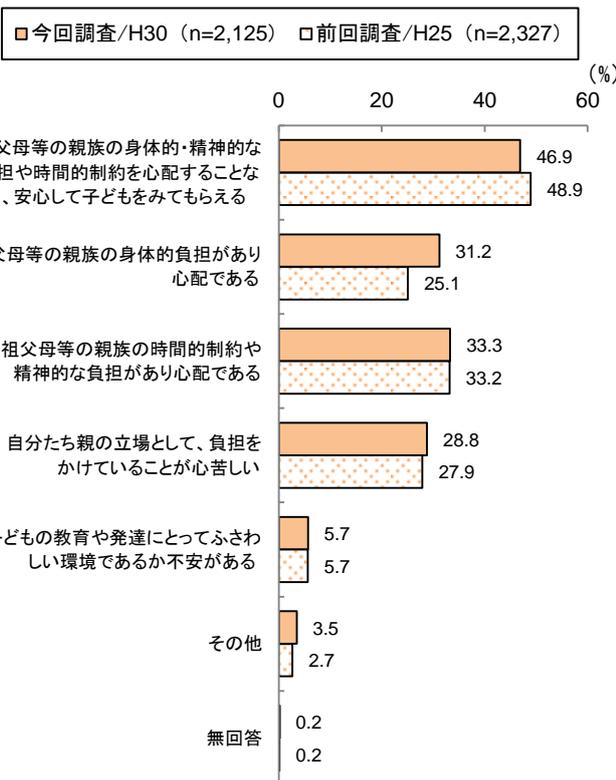
2 子どもの育ちをめぐる環境について

- 祖父母、友人、知人に「安心して子どもをみてもらえる」割合は4割を超えて最も多い。
- 相談できる人・場所が「いる／ある」人は前回より5.4ポイント増加し、約9割を占める。
- 相談先は「祖父母等の親族」、「友人や知人」が多い。

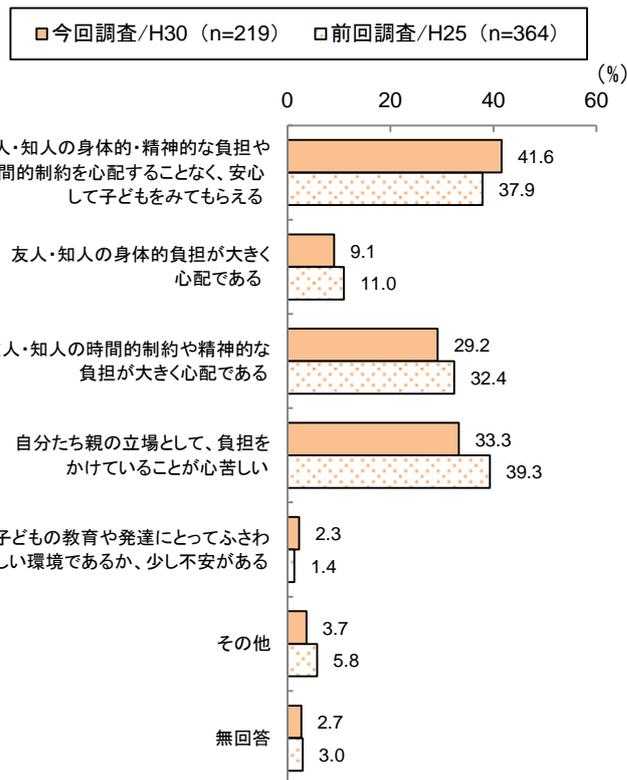
問6 子どもをみてもらえる親族・知人の有無



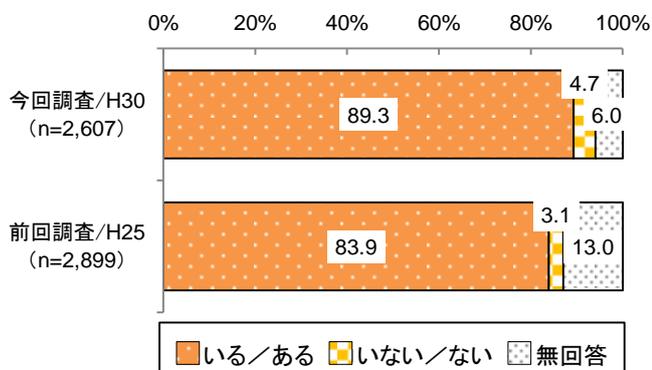
問6-1 祖父母等の親族にみてもらっている状況



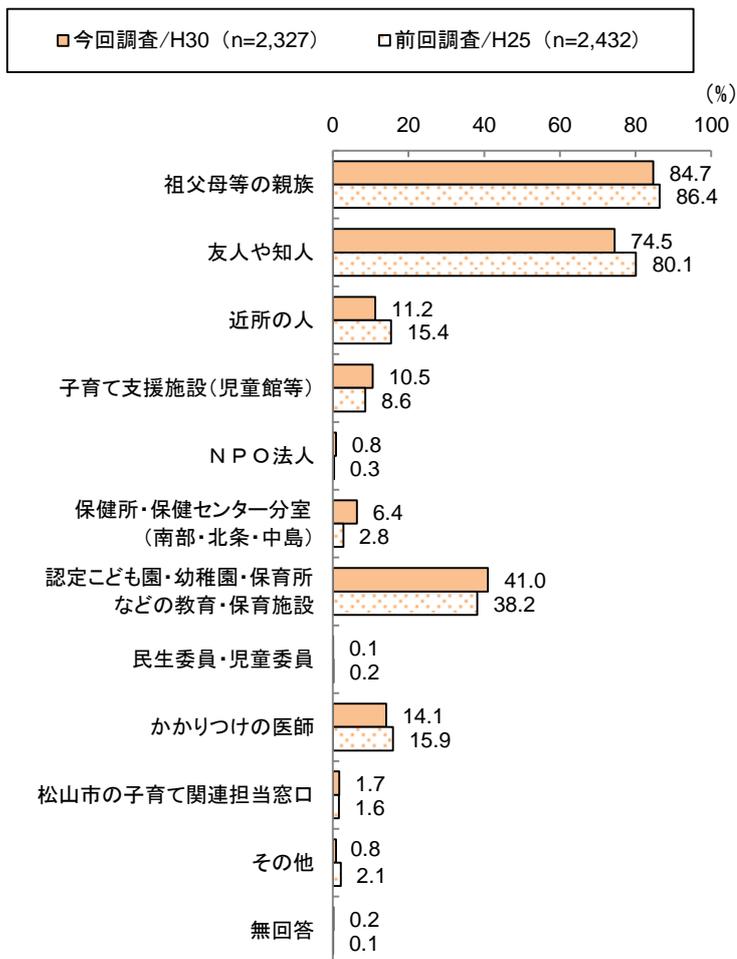
問6-2 友人・知人にみてもらっている状況



問7 子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無



問7-1 子育てについての相談先

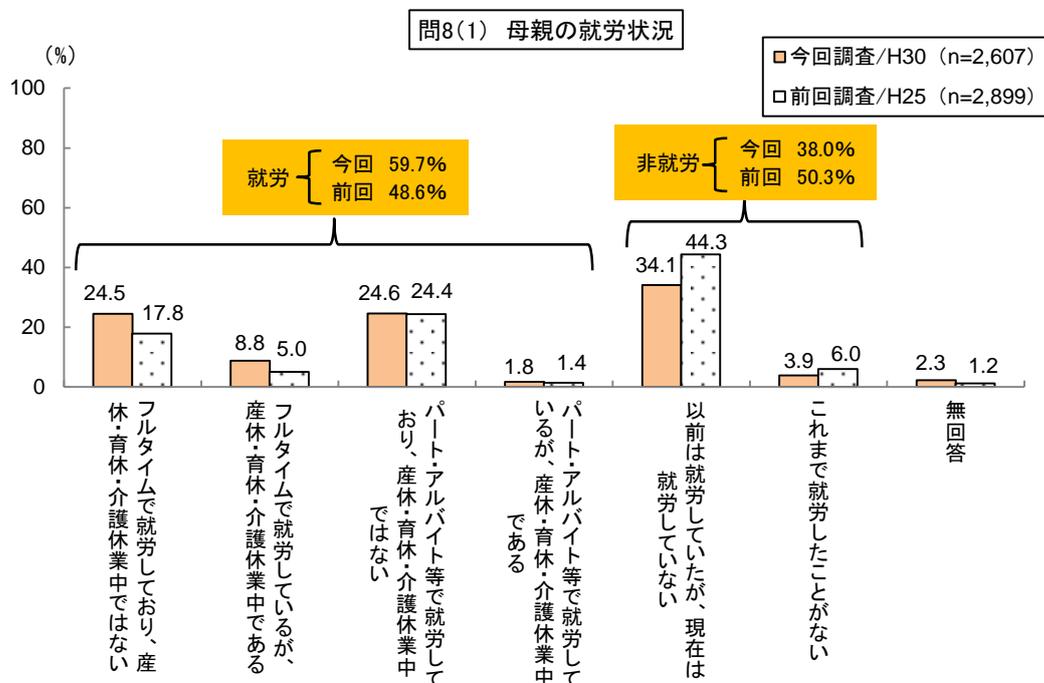


3 保護者の就労状況について

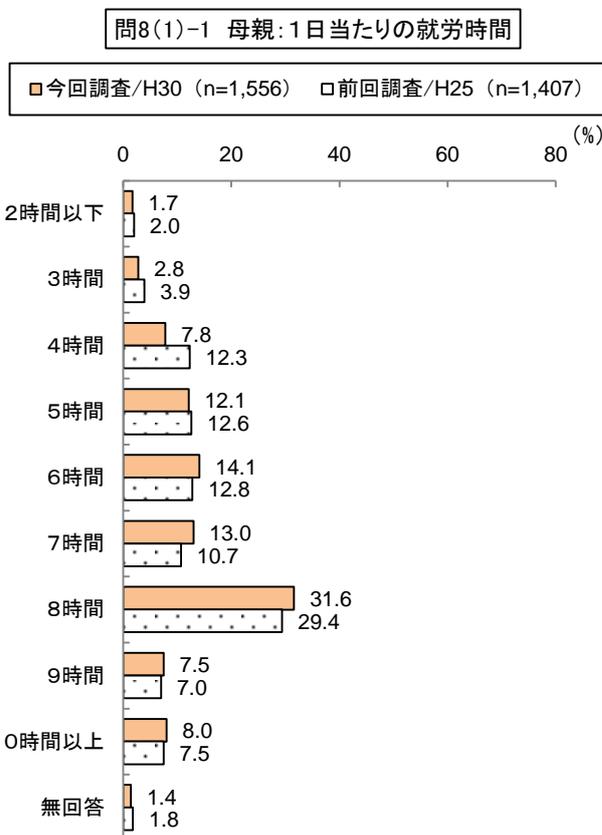
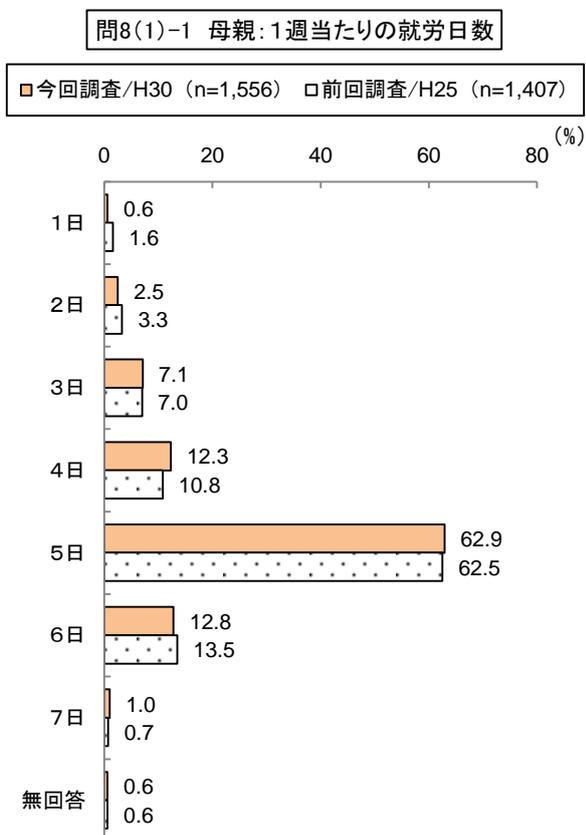
(1) 母親・父親の就労の状況

○母親の就労割合は59.7%で、前回よりフルタイムでの就労が大きく増加。

○母親の1日の就労時間は、6時間以上の方が前回より増加している。



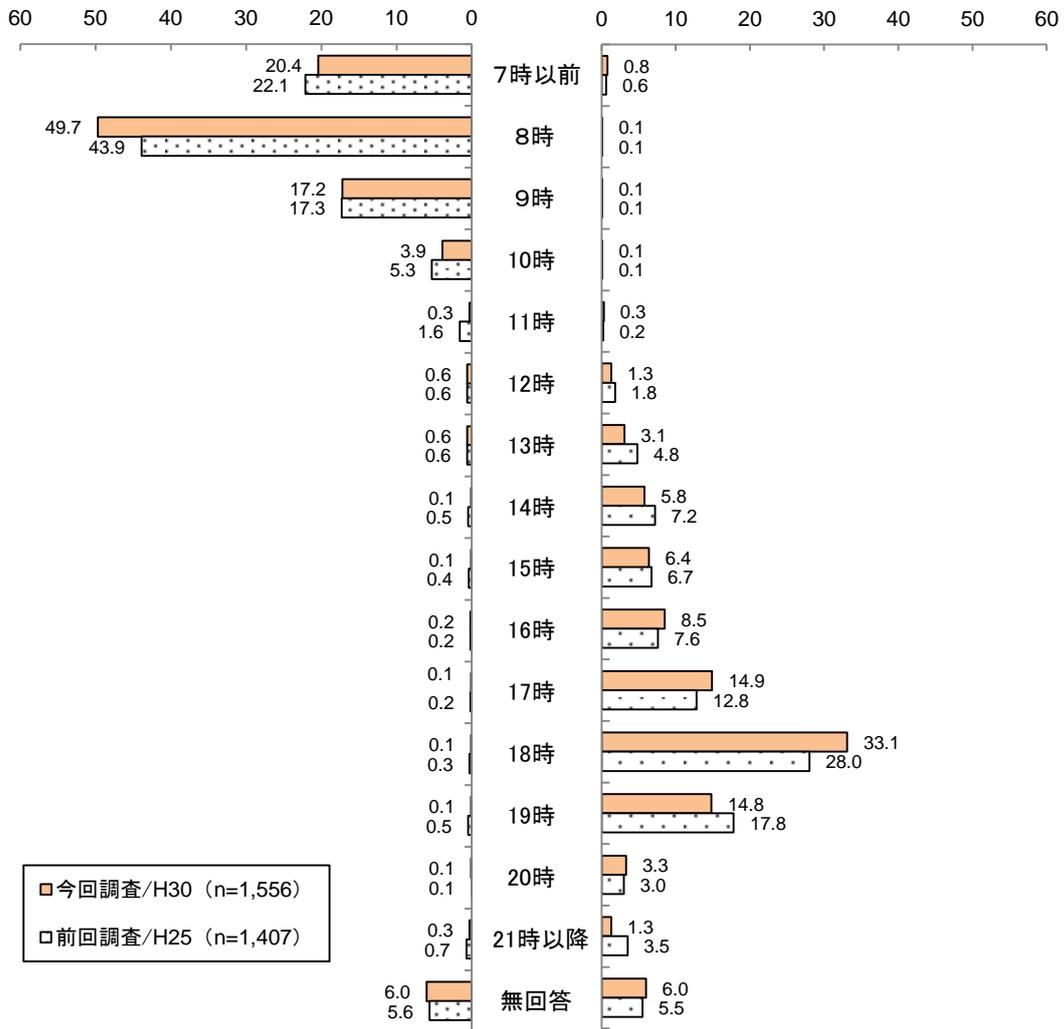
《就労している方》



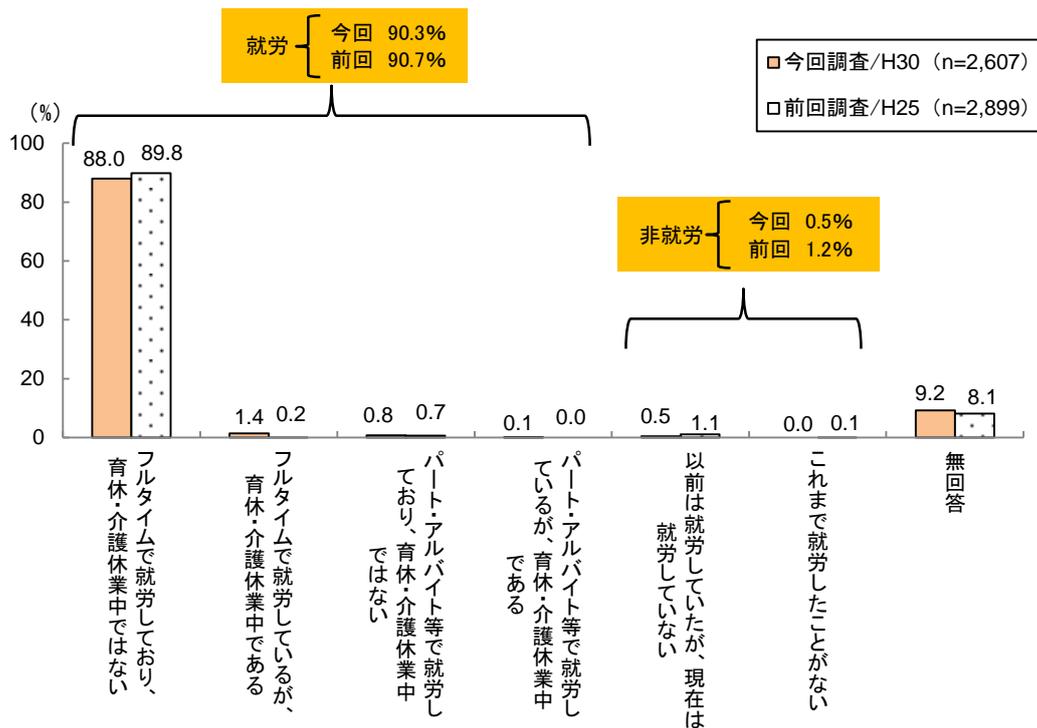
Ⅱ 就学前児童 調査結果

問8(1)-2 母親：家を出る時刻

問8(1)-2 母親：帰宅時刻

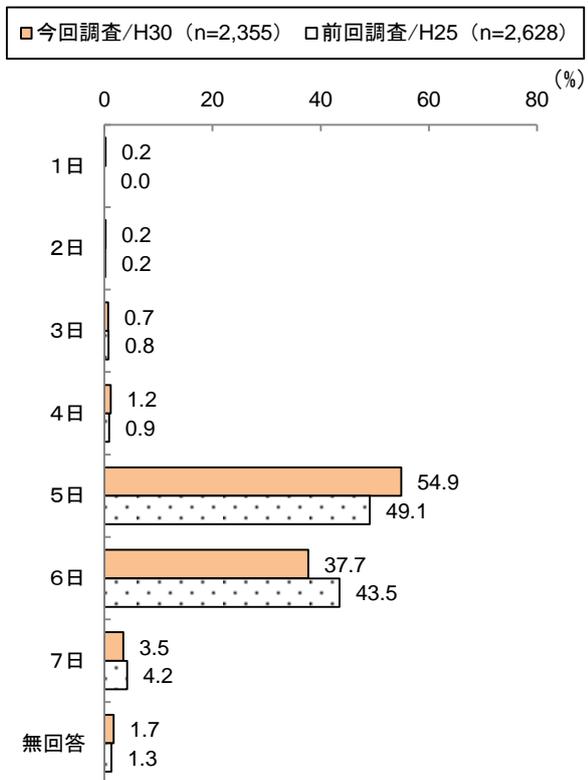


問8(2) 父親の就労状況

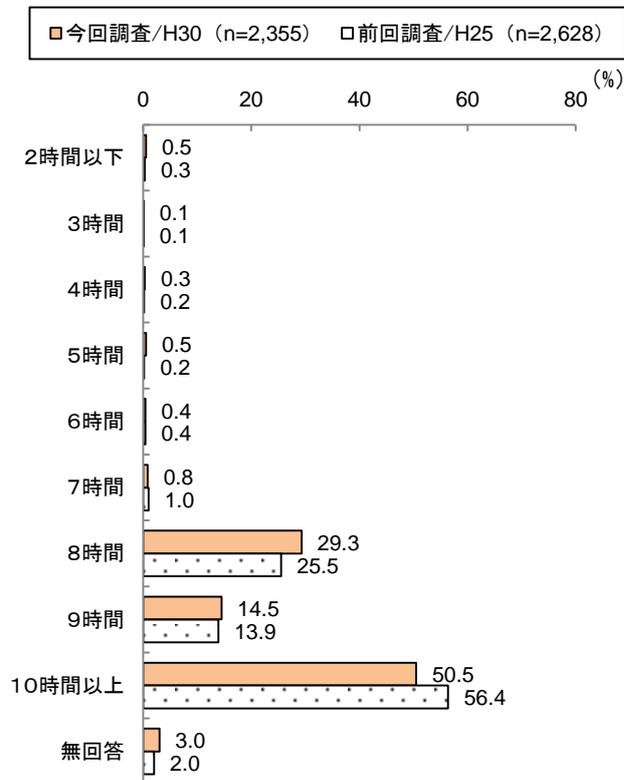


《就労している方》

問8(2)-1 父親: 1週当たりの就労日数



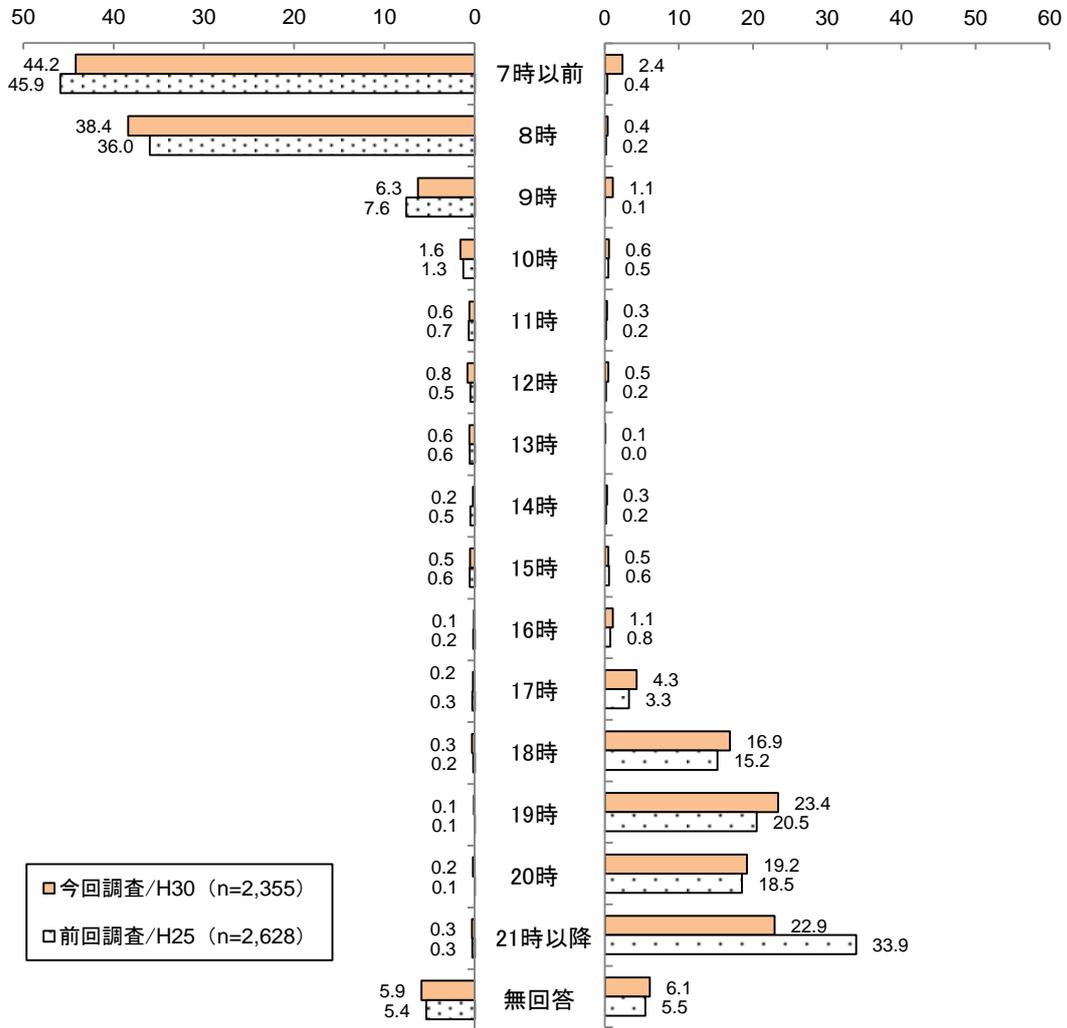
問8(2)-1 父親: 1日当たりの就労時間



Ⅱ 就学前児童 調査結果

問8(2)-2 父親:家を出る時刻

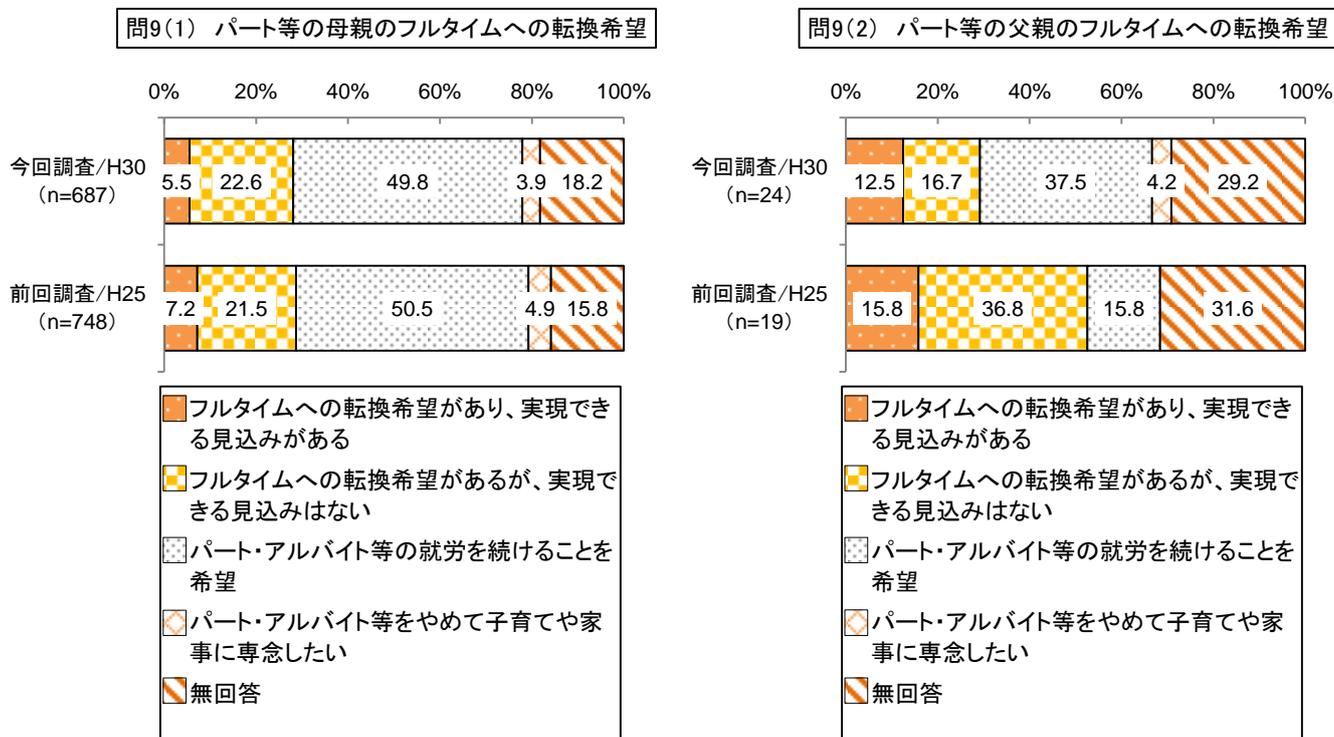
問8(2)-2 父親:帰宅時刻



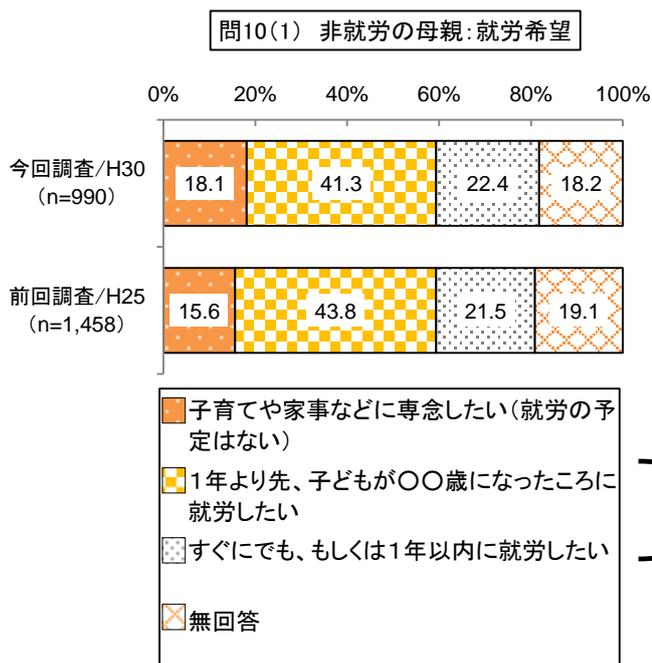
(2) フルタイムへの転換希望など

- 母親のフルタイムへの転換希望は前回と同様に低く、約半数がパートタイム等の継続就労を希望。
- 非就労の母親のうち就労希望の割合は6割以上で、そのうち4割以上がパートタイム等を希望。
- 1週当たりの希望日数は「3日」、1日当たりの希望時間は「4時間」が最も高い。

問8 (1) または (2) で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した方



問8 (1) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」と回答した方

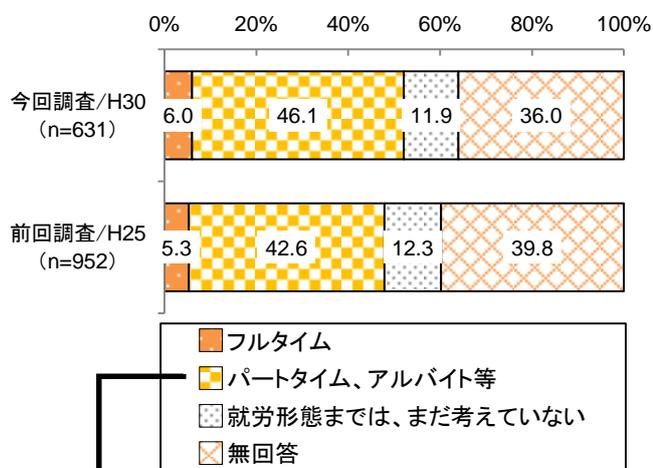


就労したい
 今回 63.7%
 前回 65.3%

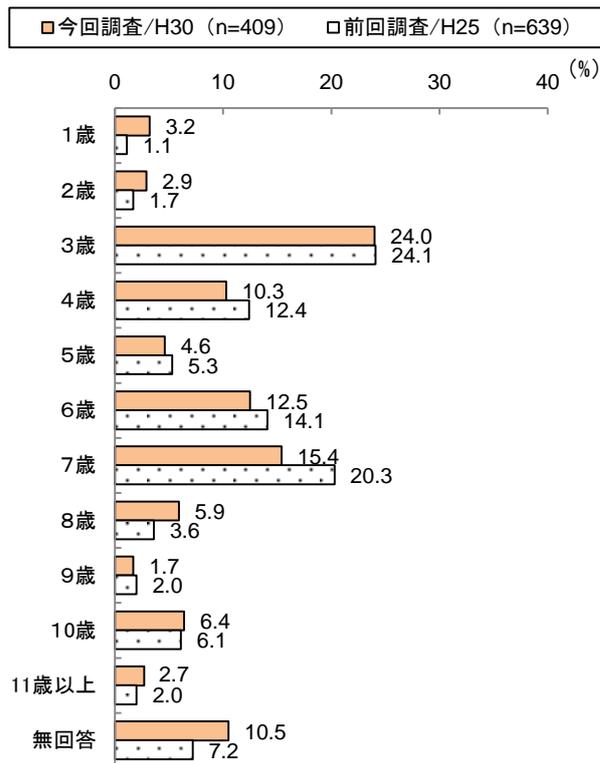
次ページに、就労を希望する時の子どもの年齢、希望する就労形態、希望就労日数・時間

II 就学前児童 調査結果

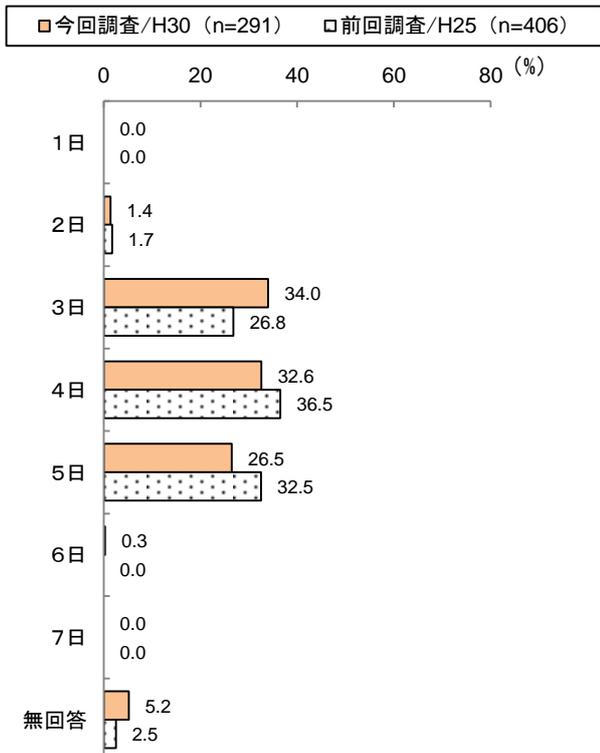
問10(1) 非就労の母親: 希望就労形態



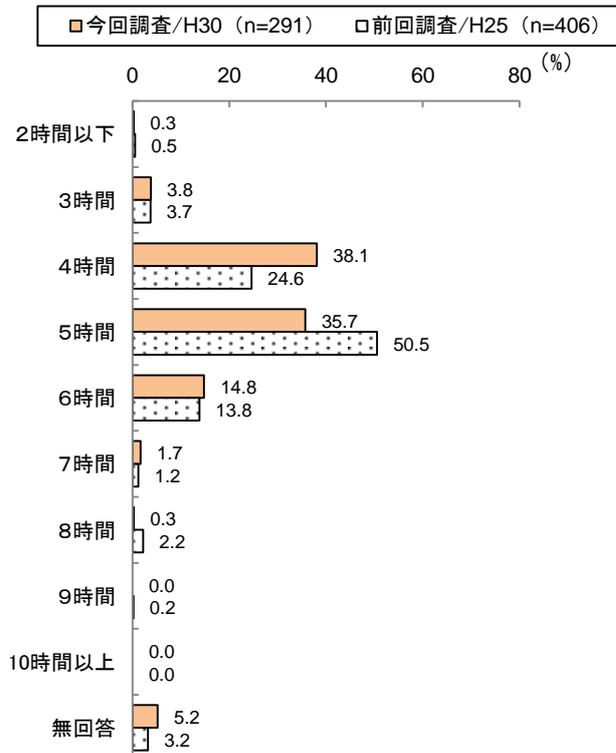
問10(1) 非就労の母親: 子どもが何歳になれば就労したいか



問10(1) 非就労の母親: 1週当たりの希望就労日数

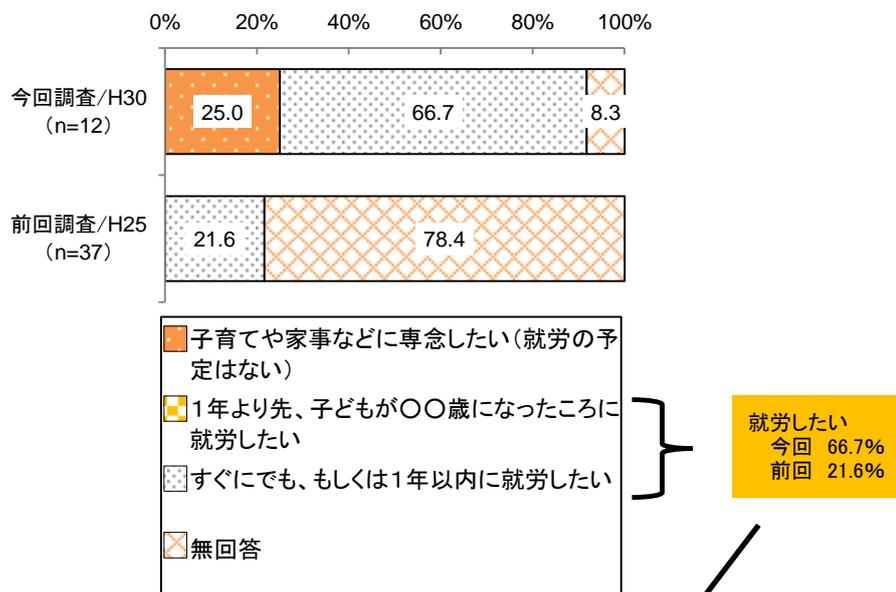


問10(1) 非就労の母親: 1日当たりの希望就労時間

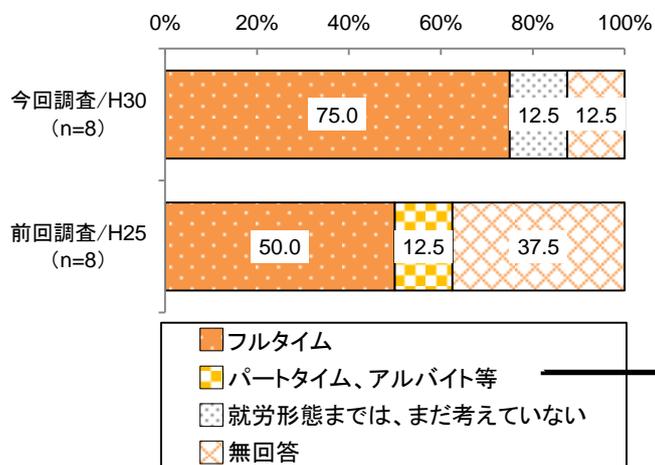


問 8 (2) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」と回答した方

問10(2) 非就労の父親:就労希望



問10(2) 非就労の父親:希望就労形態



※「パートタイム・アルバイト等」を希望する父親は0名
以下、希望就労日数・時間は省略

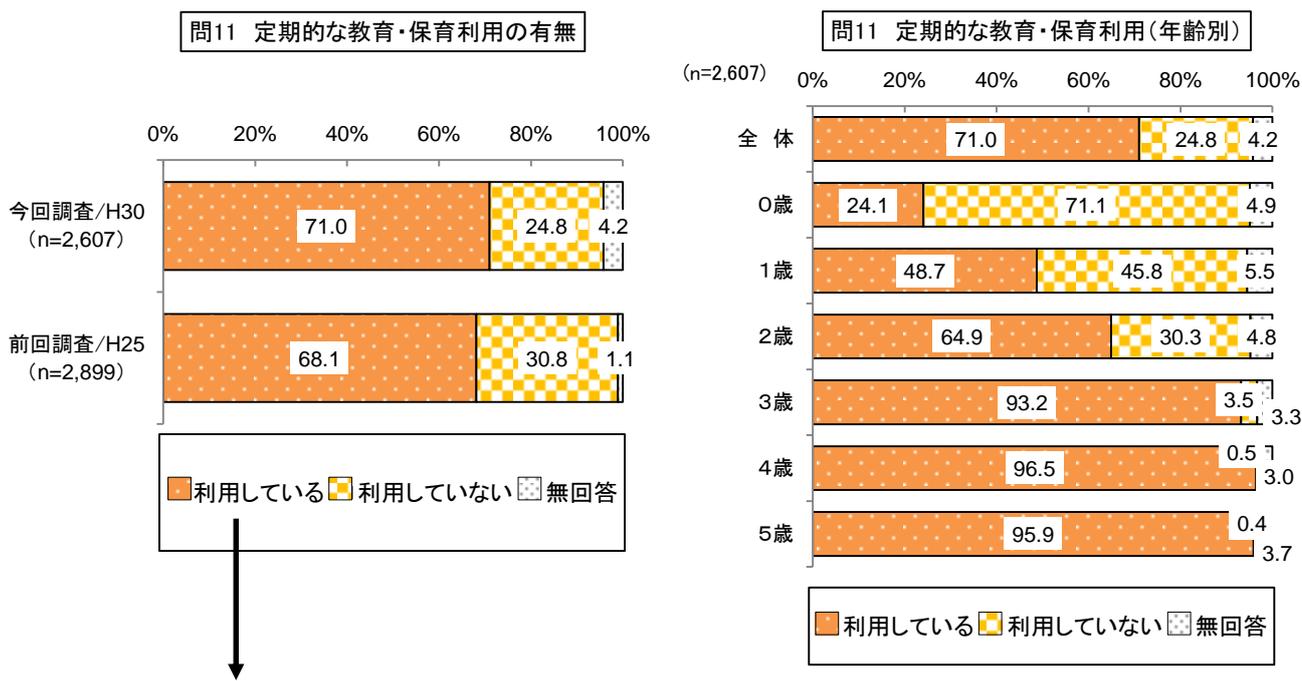
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 現在の幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業の利用状況

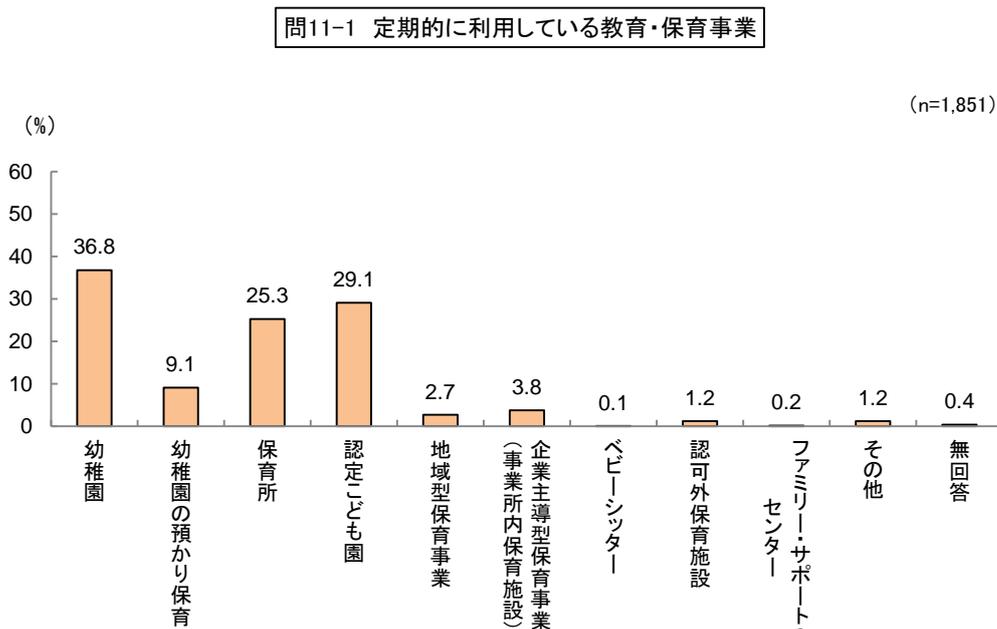
○定期的な教育・保育事業の利用割合は7割以上で、子どもの年齢が0～1歳では「保育所」や「認定こども園」、3歳以上では「幼稚園」で高い。

○現在の利用時間は「10時間以上」が最も高く、前回より5.2ポイントの増加。

○教育・保育の未利用者が、利用を希望する子どもの年齢は「3歳」が最も高い。また、「1歳」や「2歳」での利用希望が前回より増加している。

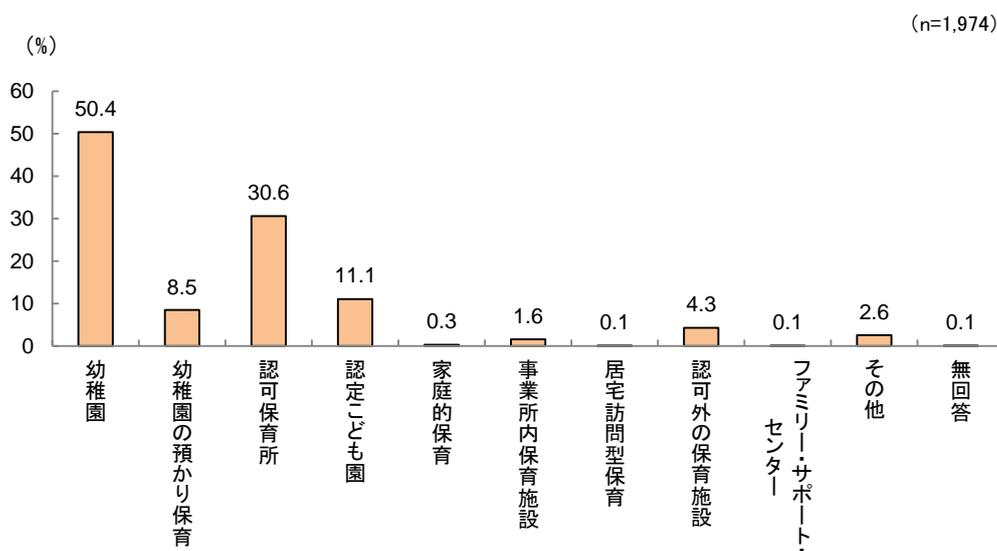


【今回調査：H30】



(参考)【前回調査：H25】

問11-1 定期的に利用している教育・保育事業



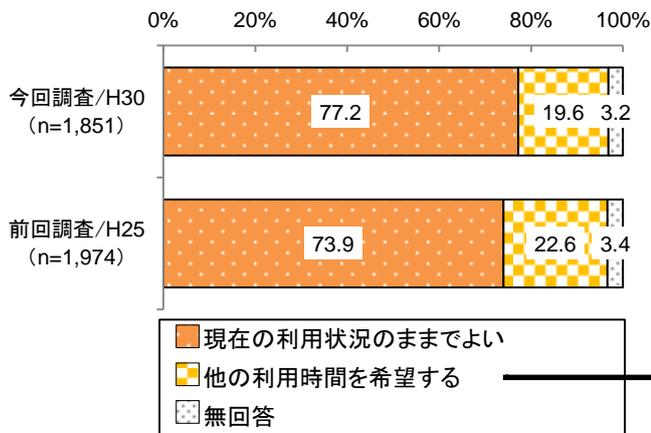
問 11-1 教育・保育事業の利用割合（年齢別）

(単位：%)

	回答者数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	地域型保育事業	企業主導型保育事業	ベビーシッター	認可外保育施設	ファミリーサポートセンター	その他	無回答
全体	1,851人	36.8	9.1	25.3	29.1	2.7	3.8	0.1	1.2	0.2	1.2	0.4
0歳	104人	1.0	1.0	40.4	29.8	10.6	13.5	1.0	1.0	0.0	1.9	1.9
1歳	205人	2.4	3.4	44.9	25.4	10.2	13.7	0.0	1.5	0.5	1.5	0.5
2歳	259人	21.6	8.5	29.0	29.7	5.0	5.8	0.4	2.3	0.0	3.1	0.8
3歳	399人	45.1	10.5	17.8	34.1	0.8	1.0	0.0	1.3	0.0	1.5	0.5
4歳	413人	50.8	8.7	20.8	26.6	0.2	1.0	0.0	1.0	0.2	0.2	0.0
5歳	442人	48.9	13.3	21.0	29.4	0.0	1.1	0.0	0.9	0.5	0.7	0.0

Ⅱ 就学前児童 調査結果

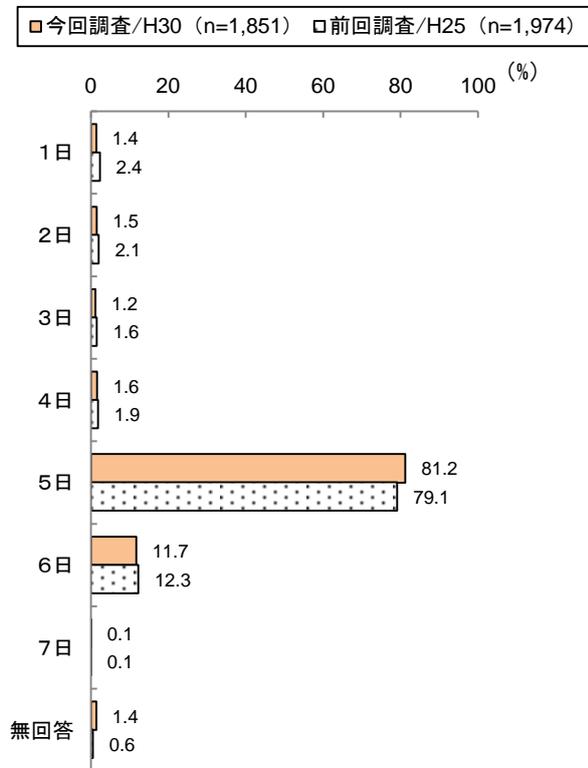
問11-2(2) 平日の定期的な教育・保育事業
利用の希望



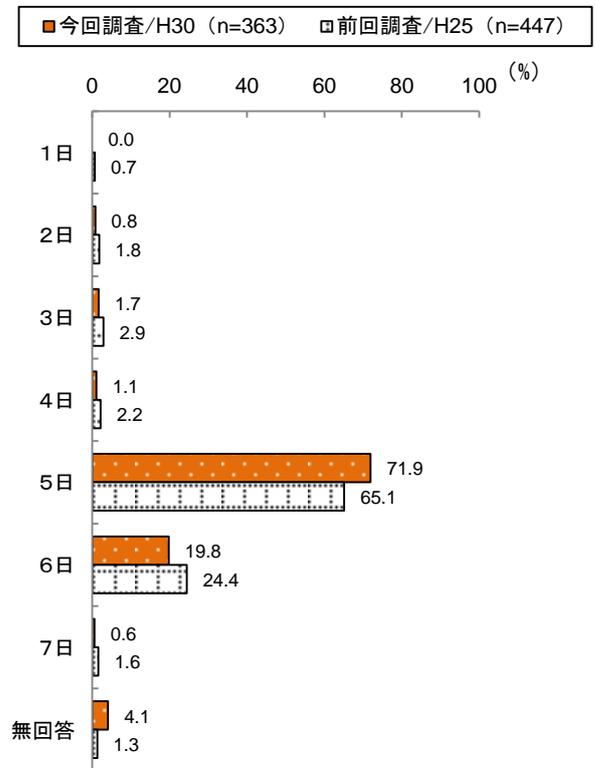
(現在)

(希望)

問11-2(1) 現在: 1週当たりの利用日数



問11-2(2) 希望: 1週当たりの利用日数

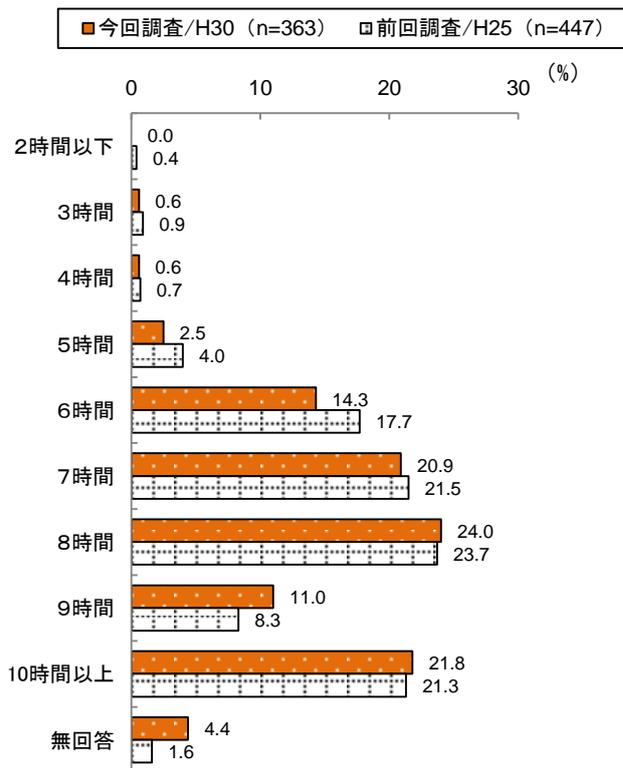
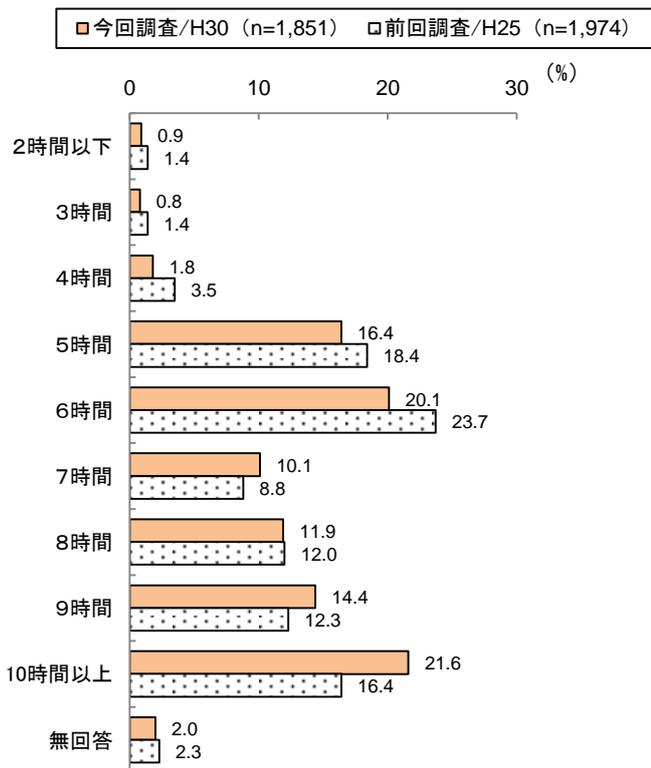


(現在)

(希望)

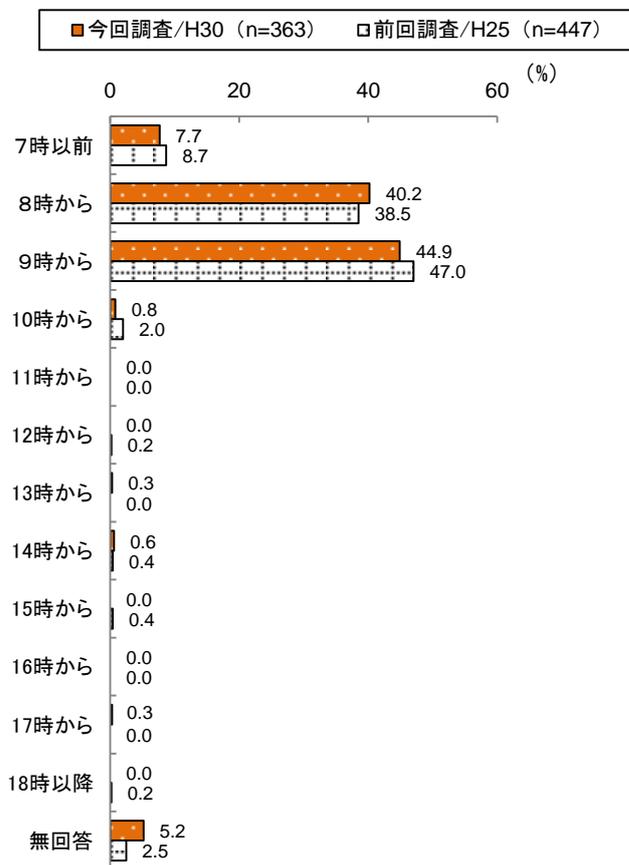
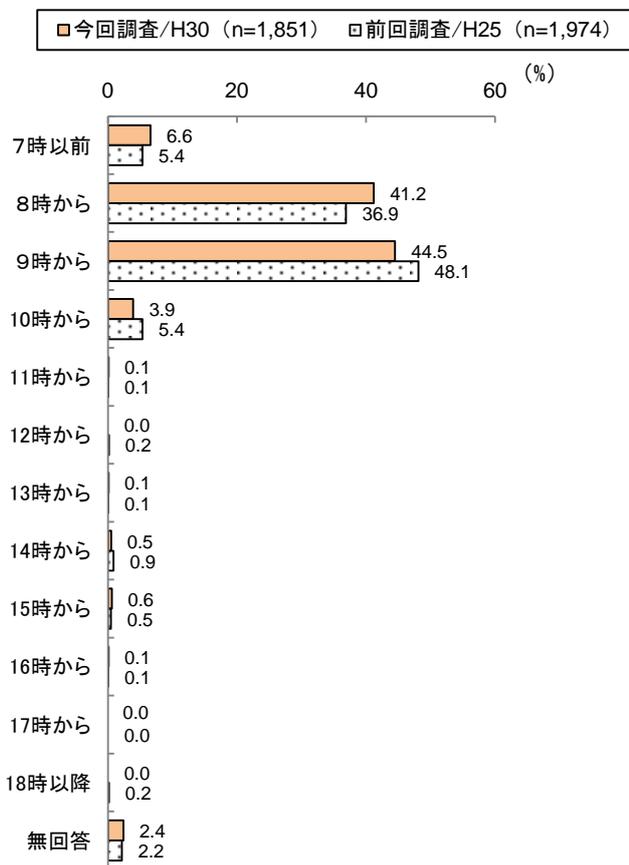
問11-2(1) 現在:1日当たりの利用時間

問11-2(2) 希望:1日当たりの利用時間



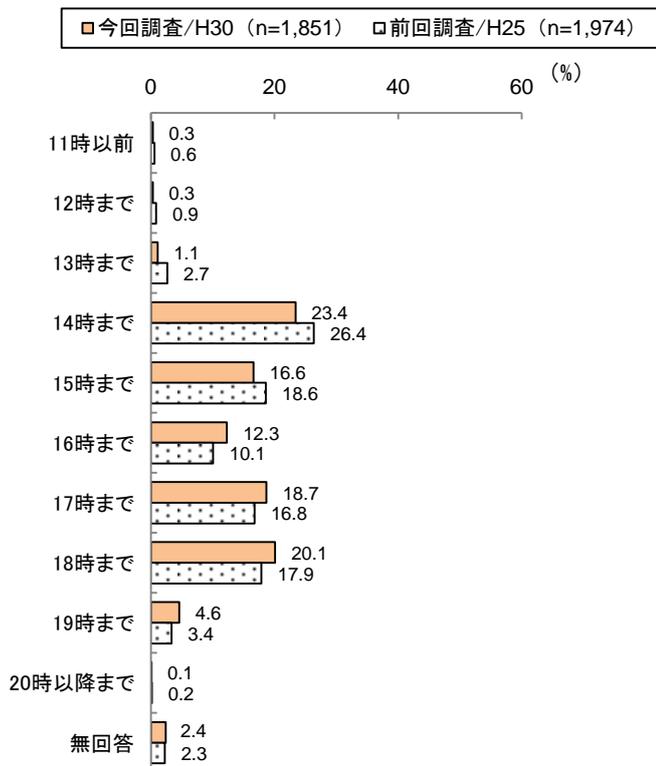
問11-2(1) 現在:何時から

問11-2(2) 希望:何時から



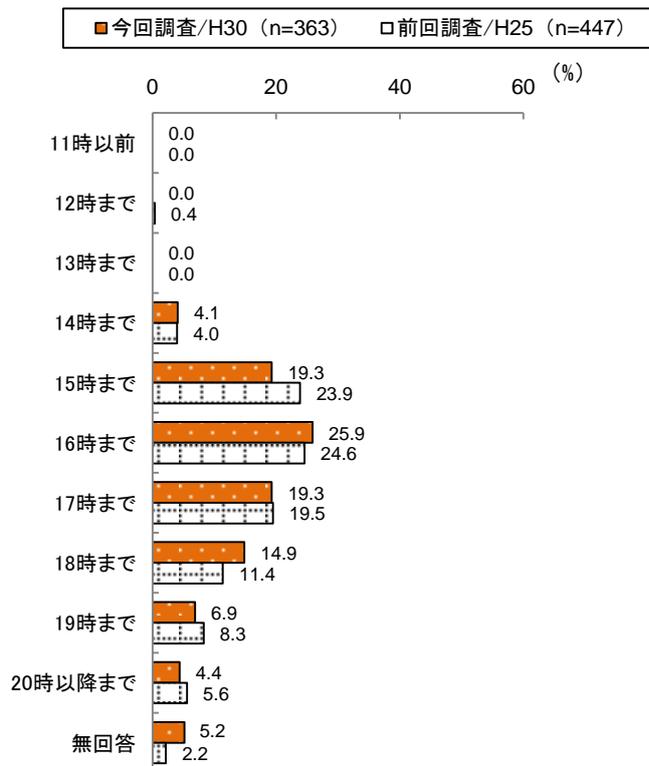
(現在)

問11-2(1) 現在:何時まで

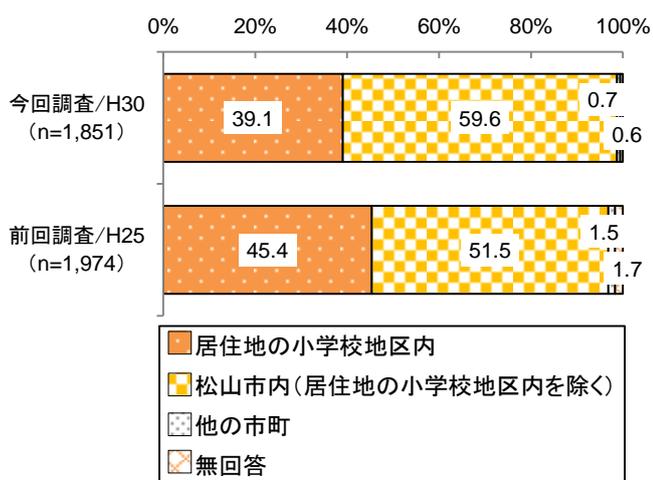


(希望)

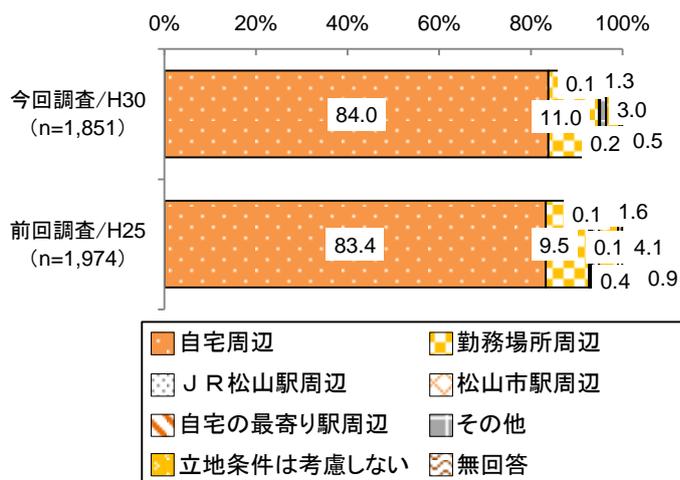
問11-2(2) 希望:何時まで



問11-3 定期的にご利用している事業の実施場所



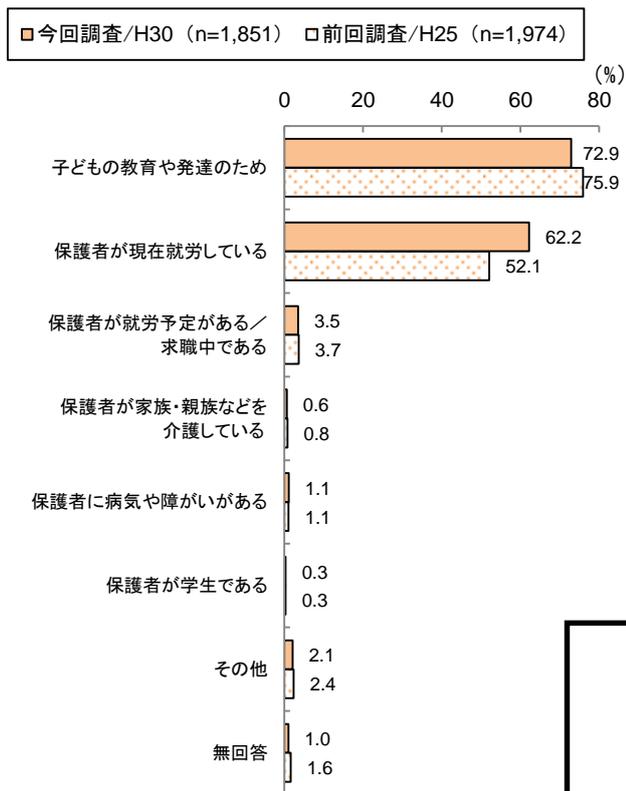
問11-4 預ける場所の理想



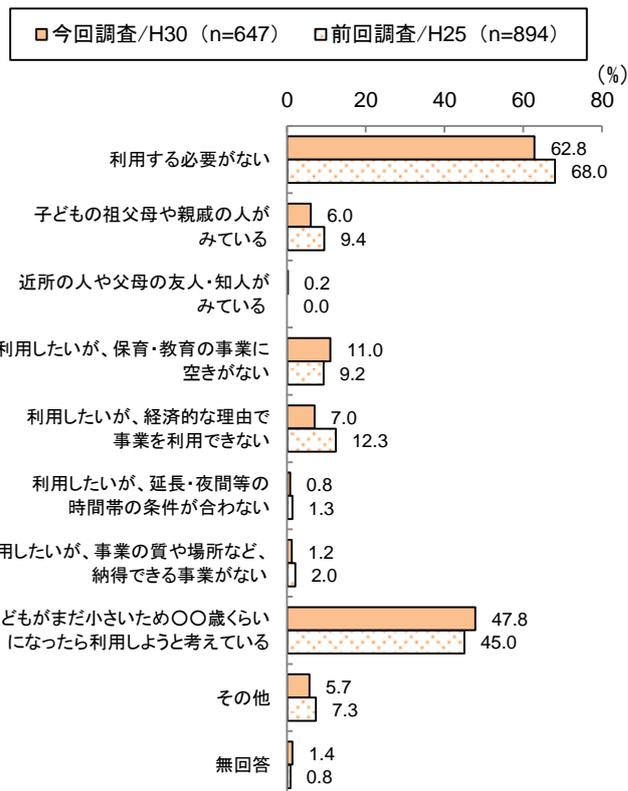
Ⅱ 就学前児童 調査結果

問11で「利用していない」と回答した方

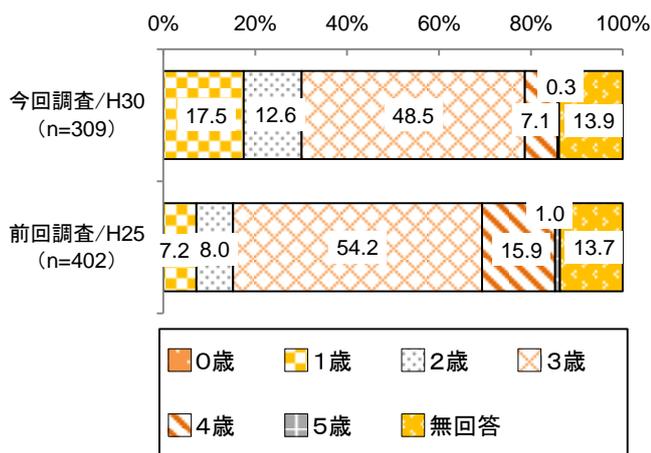
問11-5 定期的にご利用している理由



問11-6 定期的にご利用していない理由



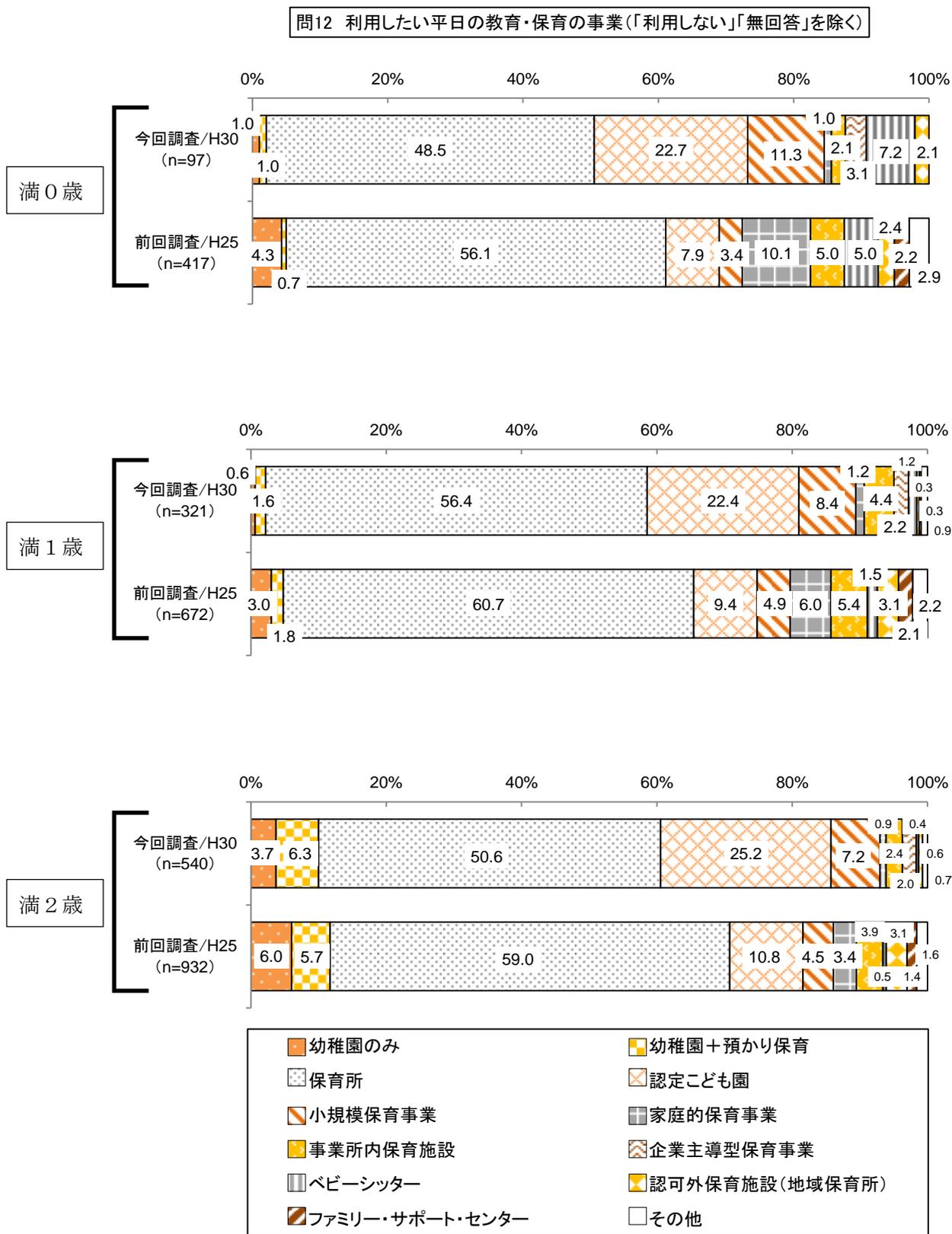
問11-6 定期的教育・保育を利用したい年齢



(2) 利用したい「平日の教育・保育の事業」

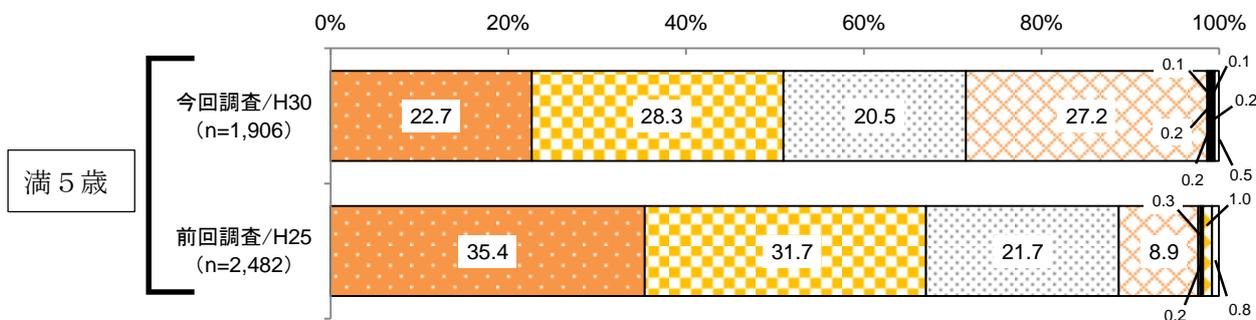
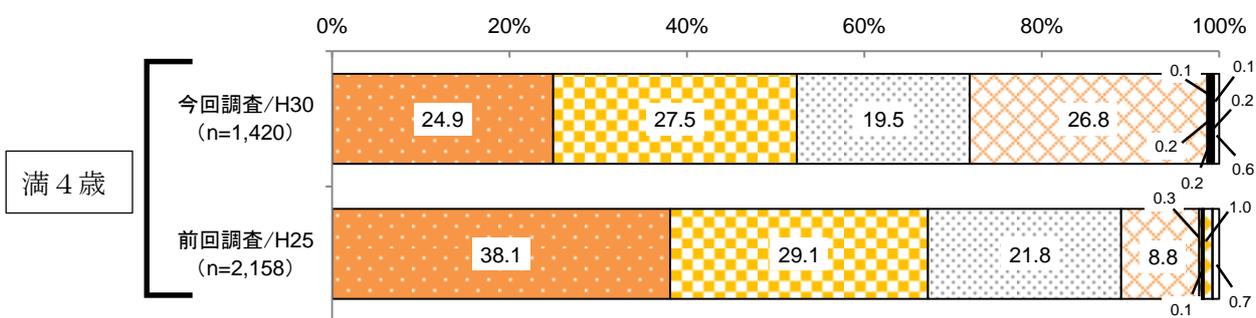
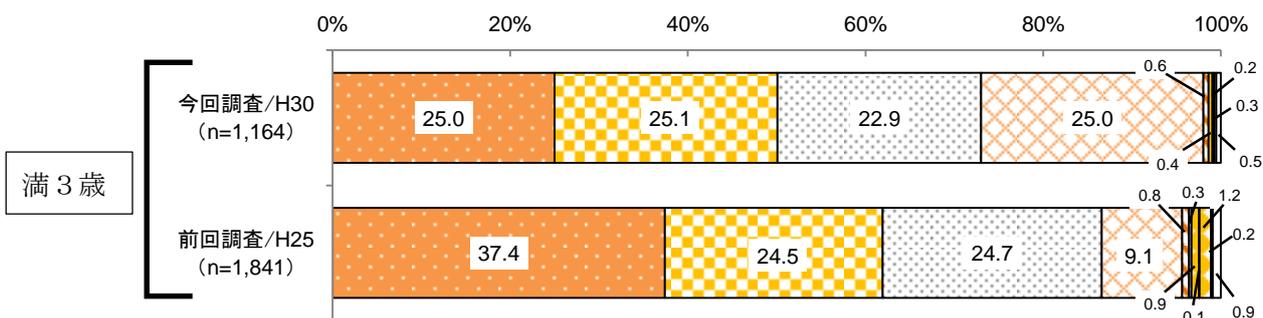
○平日に利用したい教育・保育事業では、「認定こども園」が前回より高くなり、2割以上を占める。

○教育・保育の事業を選ぶ際に重視することは、「職員の対応の良さ」が最も多い。



Ⅱ 就学前児童 調査結果

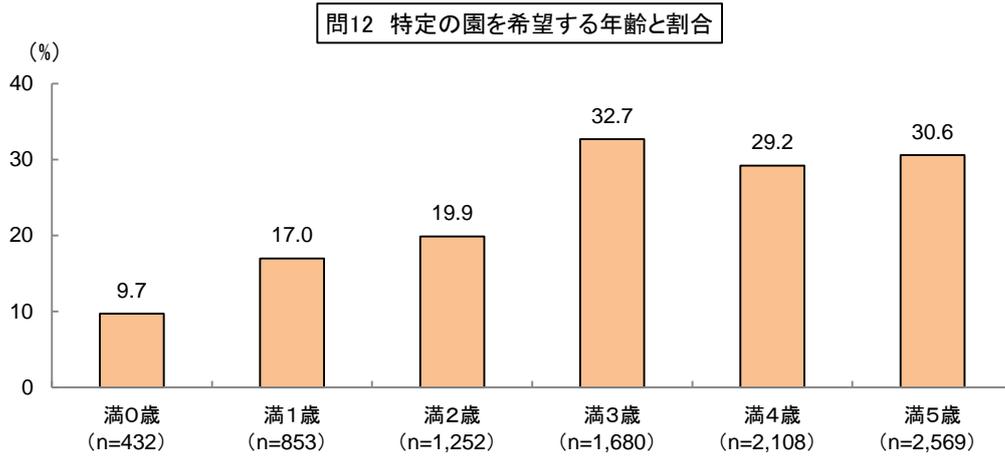
問12 利用したい平日の教育・保育の事業（「利用しない」「無回答」を除く）



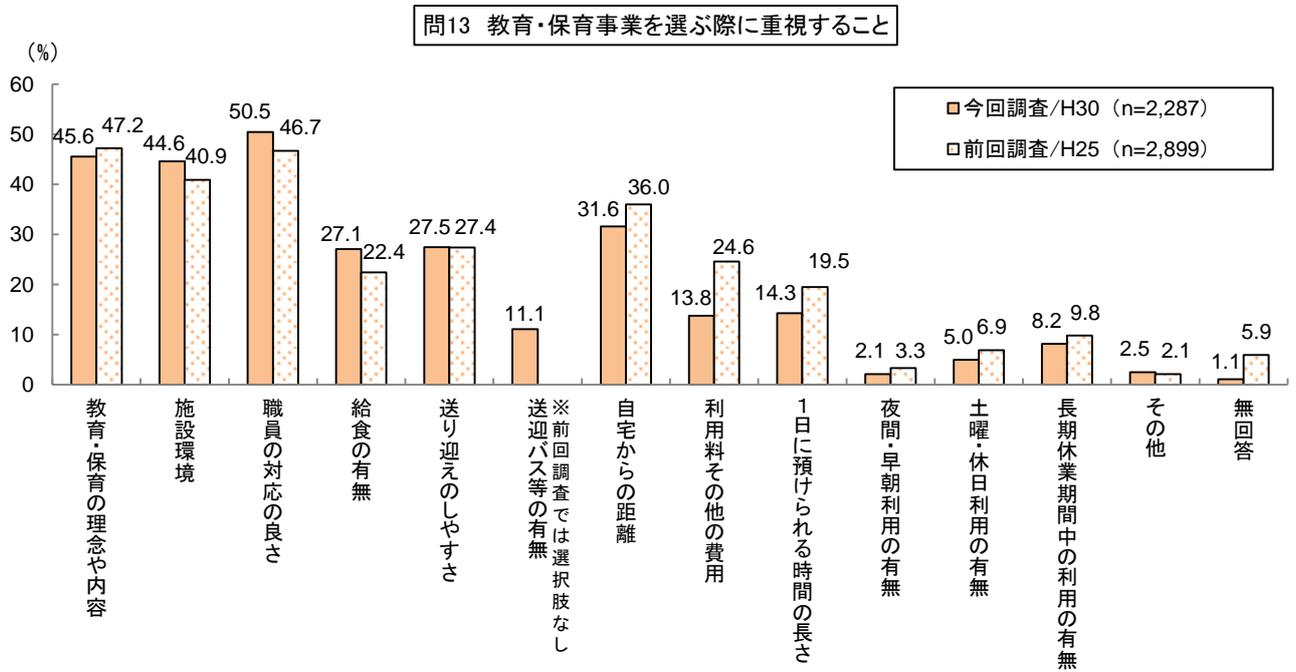
- 幼稚園のみ
- 幼稚園+預かり保育
- 保育所
- 認定こども園
- 小規模保育事業
- 家庭的保育事業
- 事業所内保育施設
- 企業主導型保育事業
- ベビーシッター
- 認可外保育施設(地域保育所)
- ファミリー・サポート・センター
- その他

※今回調査の「ベビーシッター」は前回調査の「居宅訪問型保育」と比較している。

Ⅱ 就学前児童 調査結果



問12で「その他」、「利用しない」以外を回答した方



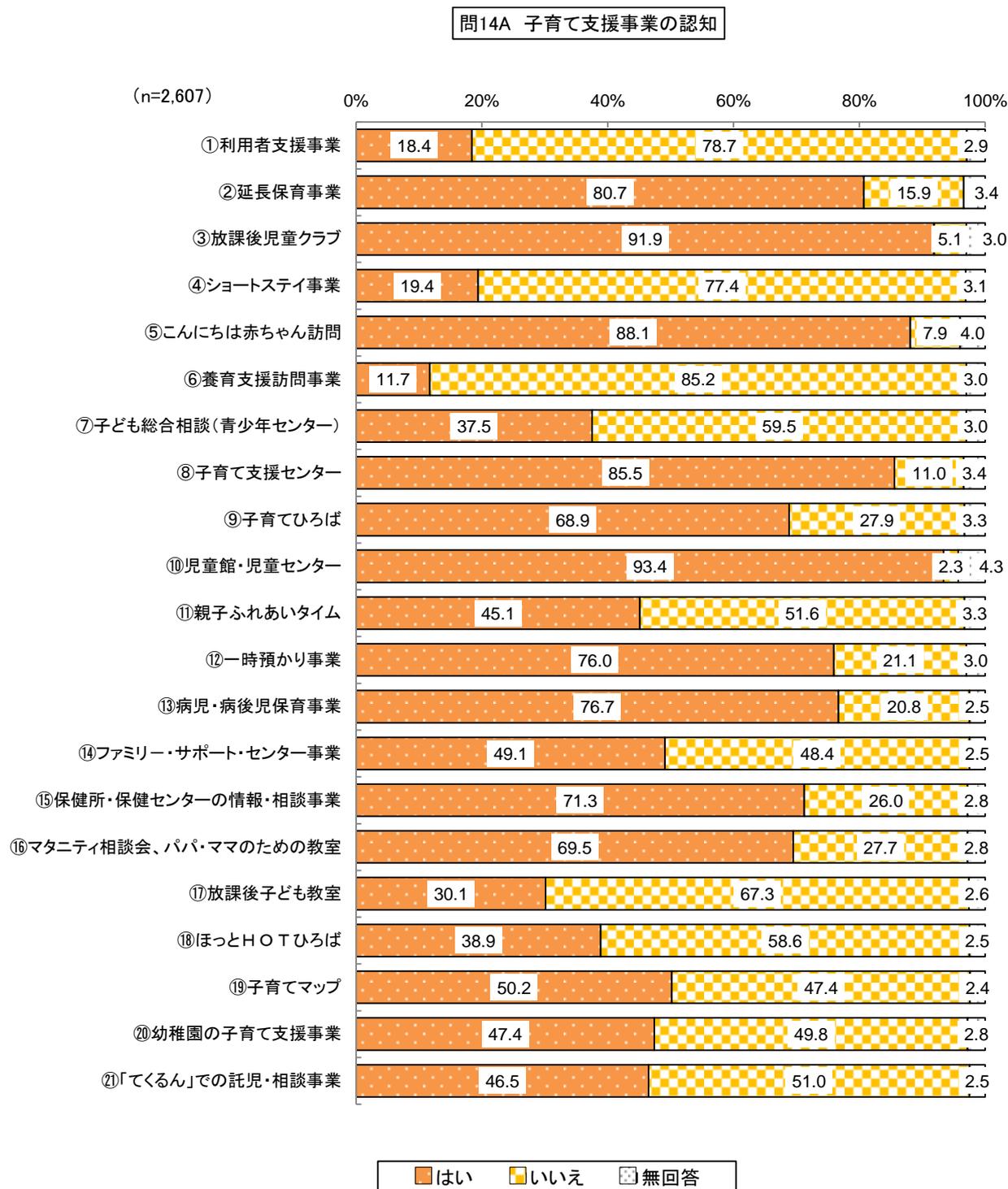
5 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 子育て支援事業の認知度、利用実績、利用意向

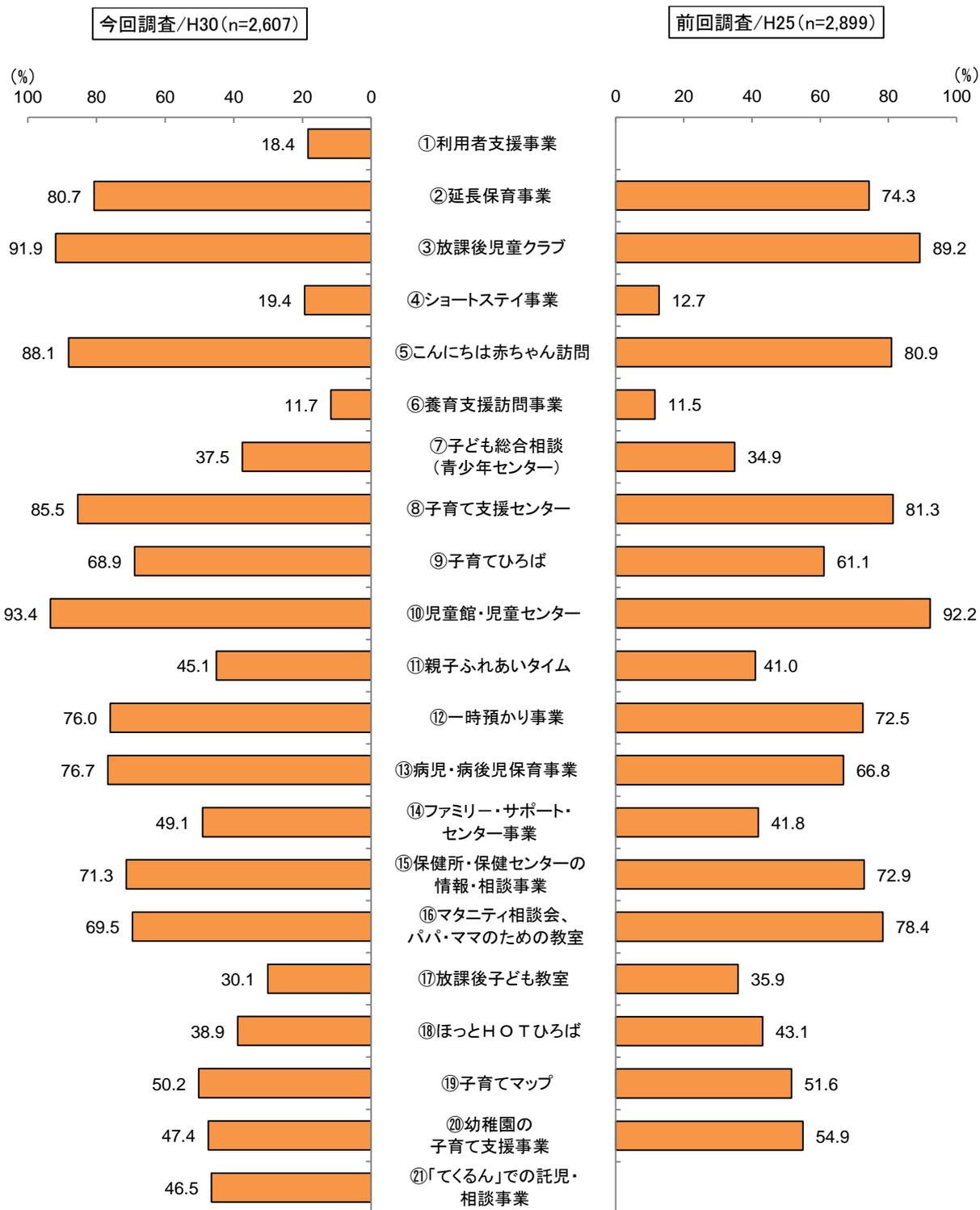
【A 認知度】

○認知度の高い事業は、「児童館・児童センター」、「放課後児童クラブ」、「こんにちは赤ちゃん訪問」、「子育て支援センター」などである。

○「はい」の割合で前回比較すると、「病児・病後児保育事業」は大きく増加し、「マタニティ相談会、パパ・ママのための教室」は大きく減少している。



問 14A 前回調査との比較：「はい」の割合のみ



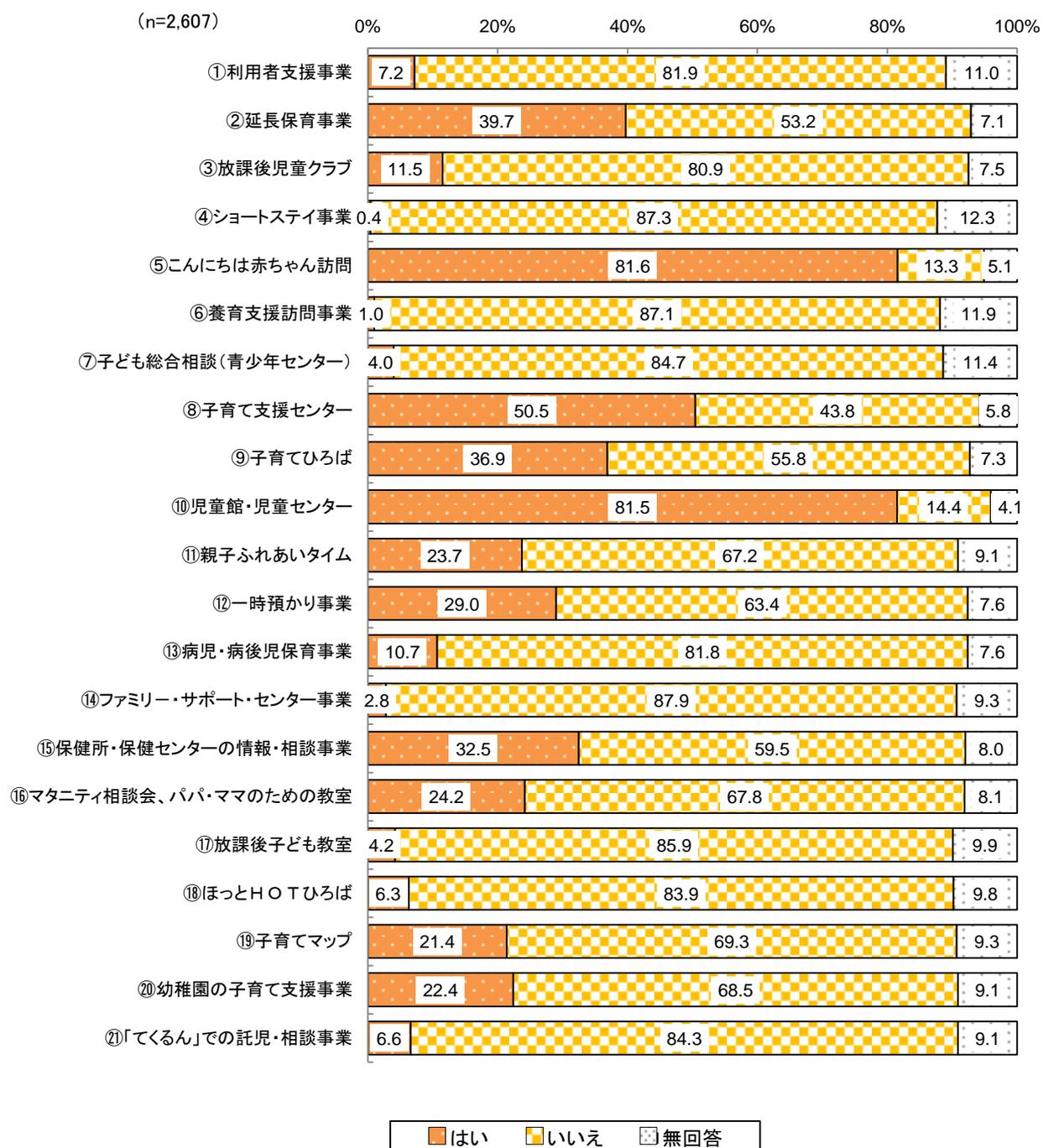
※前回調査では①利用者支援事業、㉑「てくるん」での託児・相談事業 の選択肢なし

【B 利用実績】

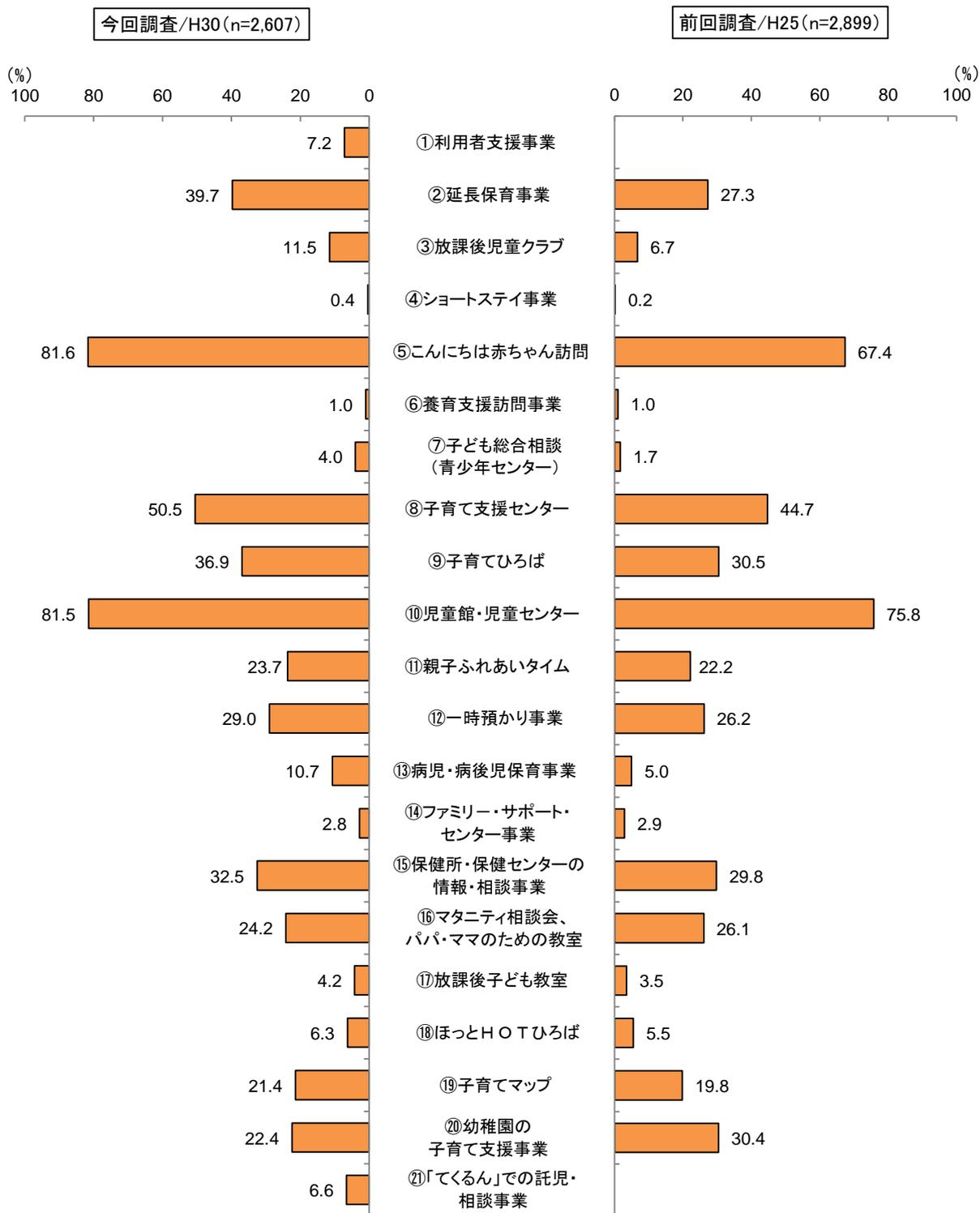
○利用したことがある事業は、「こんにちは赤ちゃん訪問」、「児童館・児童センター」であるが、ほとんど利用されていない事業も多い。

○「はい」の割合で前回比較すると、「こんにちは赤ちゃん訪問」、「延長保育事業」は大きく増加し、「幼稚園の子育て支援事業」は大きく減少している。

問14B 子育て支援事業の利用経験



問 14B 前回調査との比較：「はい」の割合のみ

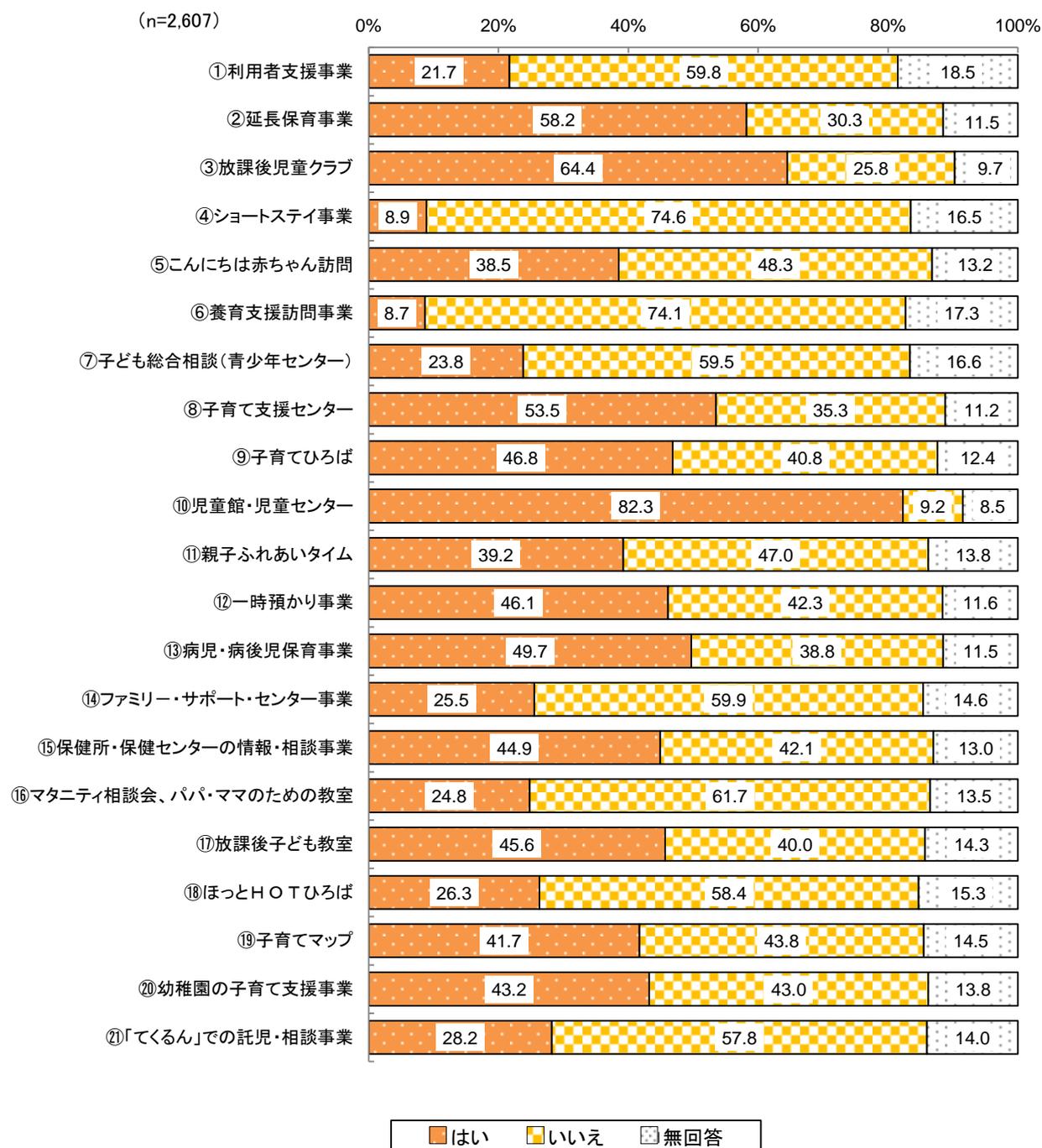


※前回調査では①利用者支援事業、⑳「てくるん」での託児・相談事業 の選択肢なし

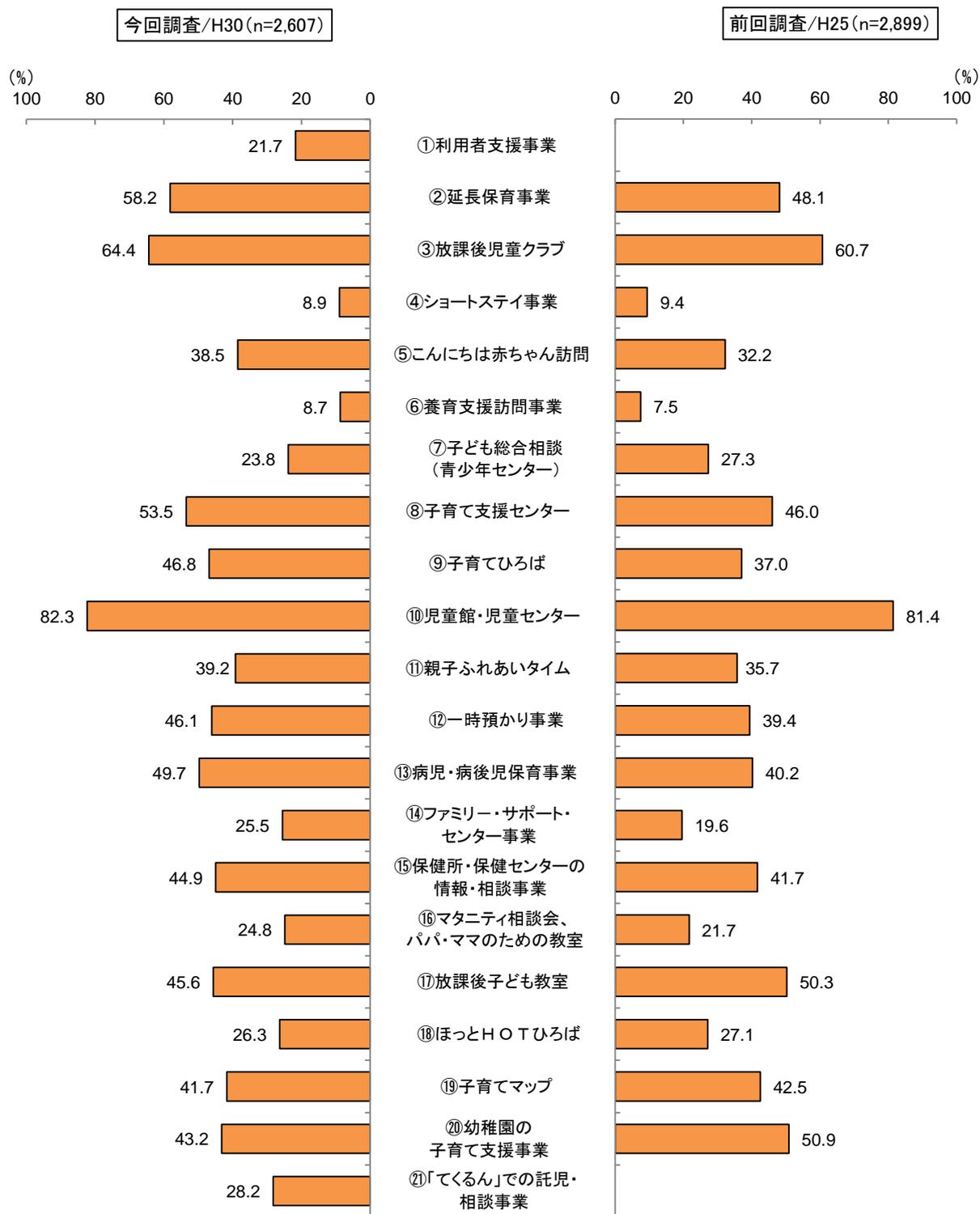
【C 利用意向】

○今後利用意向が高い事業は、「児童館・児童センター」、「放課後児童クラブ」である。
 ○「はい」の割合で前回比較すると、「延長保育事業」、「子育てひろば」、「病児・病後児保育事業」は大きく増加し、「幼稚園の子育て支援事業」は大きく減少している。

問14C 子育て支援事業の利用希望



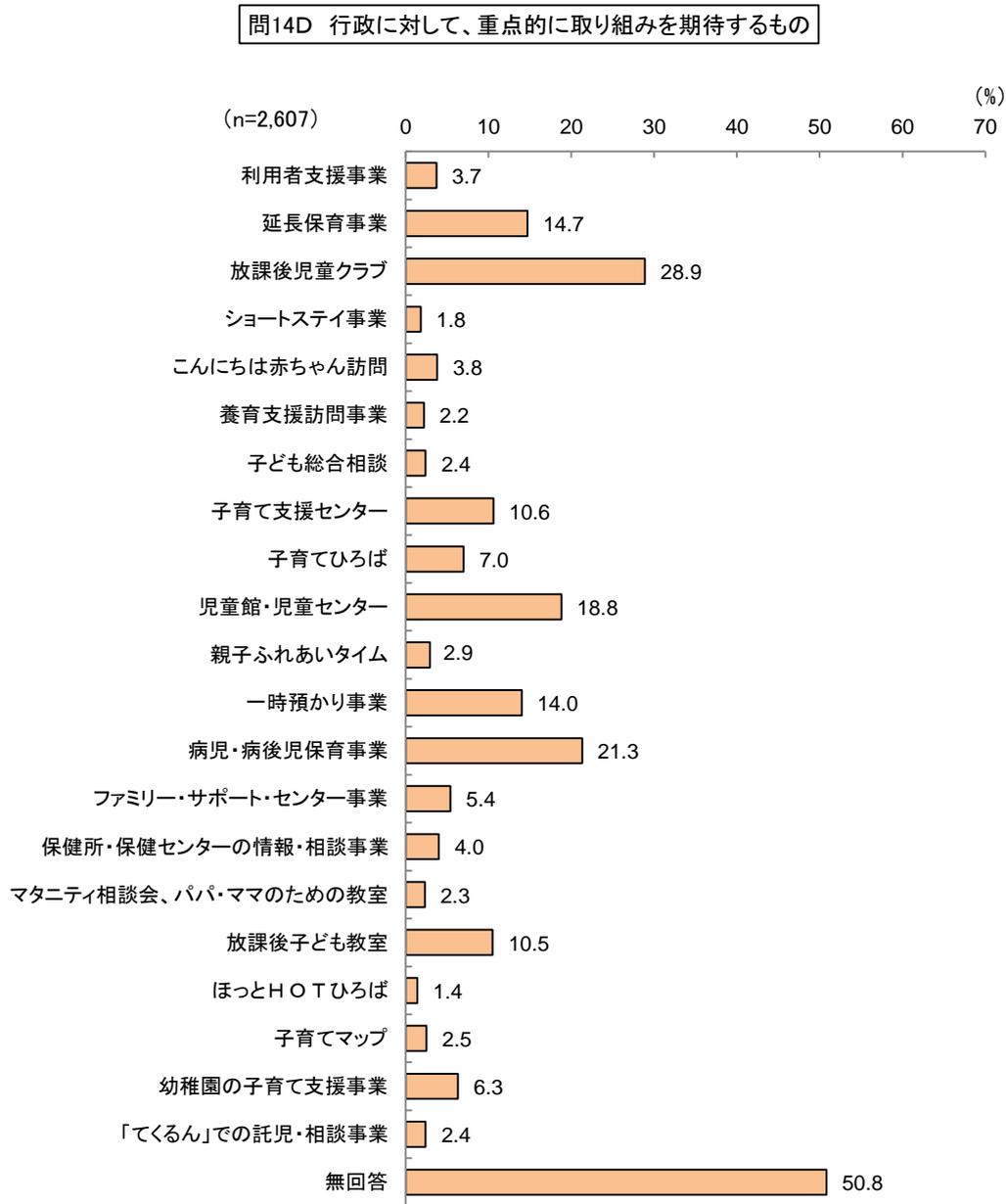
問 14C 前回調査との比較：「はい」の割合のみ



※前回調査では①利用者支援事業、㉑「てくるん」での託児・相談事業 の選択肢なし

【D 行政に対して期待する取り組み】

○行政に対して、重点的に取り組みを期待するものは、「放課後児童クラブ」、「病児・病後児保育事業」、「児童館・児童センター」、「延長保育事業」、「一時預かり事業」などとなっている。



(2) 現在の利用回数と希望する利用回数

○現在利用している支援事業の中では「延長保育事業」の回数がやや多い。

○今後利用したい事業でも「延長保育事業」の回数が他の事業に比べてやや多い。

問 14-1 現在の1週間当たりの利用回数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
① 利用者支援事業	187人	2.7	1.1	0.5	0.5	4.8	0.0	0.0	90.4
② 延長保育事業	1,036人	5.7	2.4	3.1	2.7	14.3	1.5	0.0	70.3
④ ショートステイ事業	11人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑥ 養育支援訪問事業	27人	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.3
⑧ 子育て支援センター	1,316人	6.6	3.3	2.3	0.4	0.1	0.0	0.0	87.3
⑨ 子育てひろば	962人	7.5	2.9	0.6	0.5	0.1	0.0	0.0	88.4
⑪ 親子ふれあいタイム	618人	6.3	2.1	1.3	0.0	0.3	0.0	0.0	90.0
⑫ 一時預かり事業	756人	7.1	6.1	4.1	2.0	1.9	0.3	0.0	78.6
⑬ 病児・病後児保育事業	278人	1.8	1.1	0.7	0.4	1.1	0.0	0.0	95.0
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	72人	4.2	4.2	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	90.3

※前回調査では①利用者支援事業の選択肢なし

【前回調査：H25】

(単位：%)

	回答者数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
① 利用者支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② 延長保育事業	791人	6.8	4.3	4.2	2.0	14.2	1.6	0.0	66.9
④ ショートステイ事業	5人	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
⑥ 養育支援訪問事業	28人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑧ 子育て支援センター	1,294人	7.7	2.6	1.4	0.9	0.2	0.0	0.0	87.1
⑨ 子育てひろば	884人	7.4	2.6	1.1	0.5	0.1	0.0	0.0	88.3
⑪ 親子ふれあいタイム	644人	8.7	3.4	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0	85.4
⑫ 一時預かり事業	759人	10.8	5.5	5.7	3.0	1.3	0.4	0.0	73.3
⑬ 病児・病後児保育事業	146人	2.7	2.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	94.5
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	83人	4.8	1.2	2.4	1.2	0.0	0.0	0.0	90.4

問 14-1 現在の1カ月当たりの利用回数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数(※)
① 利用者支援事業	187人	20.3	2.7	1.1	0.5	5.3	0.0	0.0	70.1	5.1回
② 延長保育事業	1,036人	30.4	12.0	3.2	3.5	18.1	1.6	0.0	31.2	7.9回
④ ショートステイ事業	11人	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.8	1.0回
⑥ 養育支援訪問事業	27人	25.9	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	2.2回
⑧ 子育て支援センター	1,316人	39.6	10.3	3.6	2.3	0.5	0.0	0.0	43.8	2.7回
⑨ 子育てひろば	962人	37.2	11.1	3.1	0.6	0.6	0.0	0.0	47.3	2.5回
⑪ 親子ふれあいタイム	618人	39.0	9.2	2.4	1.3	0.3	0.0	0.0	47.7	2.3回
⑫ 一時預かり事業	756人	17.6	13.8	8.6	7.3	4.0	0.3	0.0	48.5	6.1回
⑬ 病児・病後児保育事業	278人	39.6	5.0	1.4	0.7	1.4	0.0	0.0	51.8	2.4回
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	72人	15.3	6.9	5.6	0.0	1.4	0.0	0.0	70.8	3.9回

(※)「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数(「1週間当たりの利用回数」は4倍して合算)

※前回調査では①利用者支援事業の選択肢なし

【前回調査：H25】

(単位：%)

	回答者数	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数(※)
① 利用者支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② 延長保育事業	791人	31.6	9.7	3.5	1.5	4.8	0.6	0.0	48.2	8.3回
④ ショートステイ事業	5人	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	1.8回
⑥ 養育支援訪問事業	28人	17.9	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	2.1回
⑧ 子育て支援センター	1,294人	52.3	8.2	1.0	0.5	0.1	0.0	0.0	37.9	2.6回
⑨ 子育てひろば	884人	55.8	5.9	1.0	0.2	0.0	0.0	0.0	37.1	2.3回
⑪ 親子ふれあいタイム	644人	52.0	5.1	1.2	0.2	0.0	0.0	0.0	41.5	2.6回
⑫ 一時預かり事業	759人	25.0	7.2	4.0	6.2	1.2	0.1	0.0	56.3	6.3回
⑬ 病児・病後児保育事業	146人	39.7	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.2	2.0回
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	83人	33.7	3.6	3.6	1.2	0.0	0.0	0.0	57.8	3.5回

(※)「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数(「1週間当たりの利用回数」は4倍して合算)

問 14-2 希望する1週間当たりの利用回数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
① 利用者支援事業	566人	4.9	0.4	0.7	0.0	1.6	0.4	0.0	92.0
② 延長保育事業	1,518人	7.2	3.8	4.9	2.7	11.9	1.1	0.1	68.3
④ ショートステイ事業	232人	3.9	0.4	0.4	0.0	0.9	0.0	0.0	94.4
⑥ 養育支援訪問事業	226人	3.5	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	95.6
⑧ 子育て支援センター	1,394人	10.0	3.5	2.0	0.4	0.3	0.0	0.0	83.8
⑨ 子育てひろば	1,220人	10.3	3.1	1.2	0.1	0.2	0.0	0.0	85.0
⑪ 親子ふれあいタイム	1,023人	11.2	2.2	1.8	0.0	0.2	0.0	0.0	84.6
⑫ 一時預かり事業	1,202人	9.5	3.2	2.7	0.9	2.2	0.0	0.0	81.5
⑬ 病児・病後児保育事業	1,296人	3.3	0.8	0.6	0.4	0.7	0.0	0.2	94.1
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	666人	6.6	1.7	0.9	0.2	0.8	0.0	0.0	89.9

※前回調査では①利用者支援事業の選択肢なし

【前回調査：H25】

(単位：%)

	回答者数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
① 利用者支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② 延長保育事業	1,393人	10.0	5.1	4.5	2.2	11.8	2.1	0.2	64.2
④ ショートステイ事業	272人	6.3	1.8	1.5	0.0	0.4	0.4	0.4	89.3
⑥ 養育支援訪問事業	218人	6.9	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.3
⑧ 子育て支援センター	1,334人	15.5	2.7	1.6	0.4	0.1	0.0	0.0	79.6
⑨ 子育てひろば	1,073人	17.0	2.8	1.8	0.4	0.3	0.0	0.0	77.8
⑪ 親子ふれあいタイム	1,035人	16.2	3.6	1.7	0.6	0.5	0.0	0.0	77.4
⑫ 一時預かり事業	1,142人	12.8	4.7	6.0	2.1	2.5	0.3	0.0	71.5
⑬ 病児・病後児保育事業	1,164人	3.1	1.1	0.8	0.3	0.7	0.2	0.1	93.8
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	569人	11.2	2.1	0.9	0.2	0.5	0.0	0.0	85.1

問 14-2 希望する1カ月当たりの利用回数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数(※)
① 利用者支援事業	566人	34.6	6.0	0.4	0.7	1.6	0.4	0.0	56.4	2.6回
② 延長保育事業	1,518人	17.7	13.8	4.9	5.0	15.7	1.3	0.1	41.6	8.8回
④ ショートステイ事業	232人	34.5	7.3	0.4	0.4	0.9	0.0	0.0	56.5	2.1回
⑥ 養育支援訪問事業	226人	29.2	4.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	65.5	1.6回
⑧ 子育て支援センター	1,394人	34.5	14.4	3.9	2.0	0.6	0.0	0.0	44.5	3.0回
⑨ 子育てひろば	1,220人	37.8	13.9	3.3	1.2	0.3	0.0	0.0	43.4	2.6回
⑪ 親子ふれあいタイム	1,023人	36.2	13.8	2.3	1.8	0.2	0.0	0.0	45.7	2.6回
⑫ 一時預かり事業	1,202人	25.9	16.7	4.3	3.7	3.7	0.1	0.0	45.7	4.6回
⑬ 病児・病後児保育事業	1,296人	36.1	7.1	1.0	0.7	1.1	0.0	0.2	53.9	2.4回
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	666人	32.9	9.0	1.8	1.1	0.9	0.0	0.0	54.4	2.6回

(※)「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数(「1週間当たりの利用回数」は4倍して合算)

※前回調査では①利用者支援事業の選択肢なし

【前回調査：H25】

(単位：%)

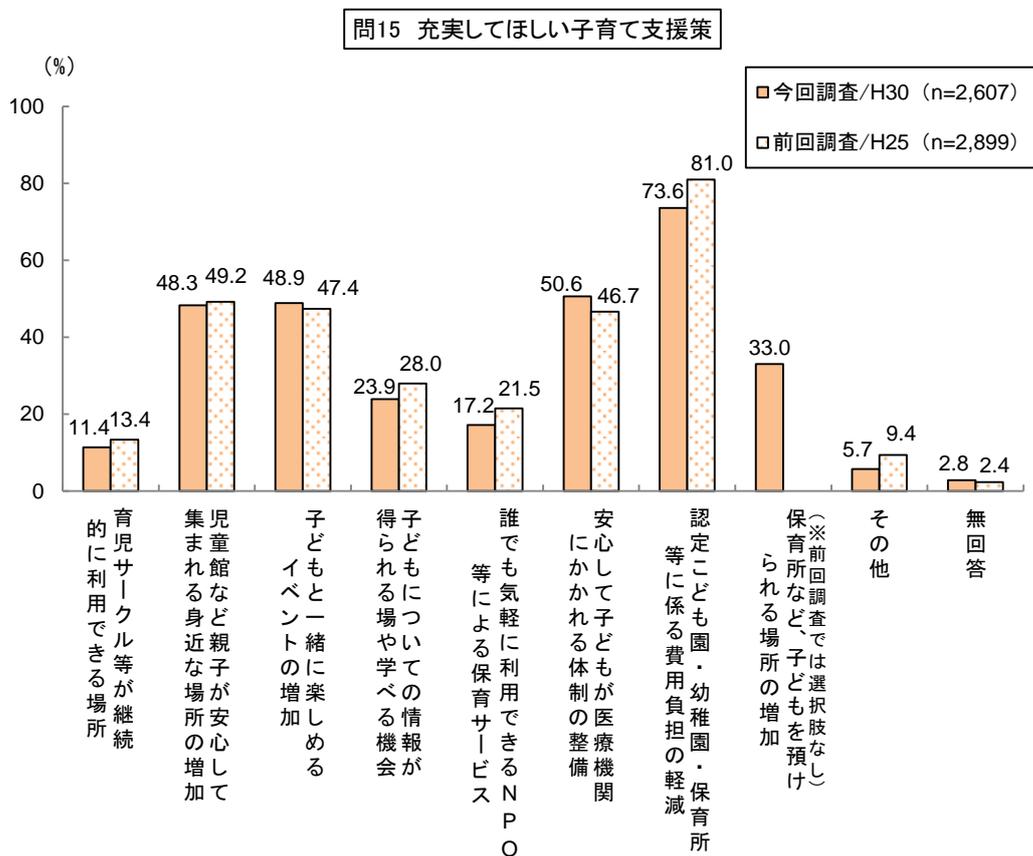
	回答者数	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数(※)
① 利用者支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② 延長保育事業	1,393人	23.1	9.9	3.2	0.9	3.2	0.6	0.1	58.8	8.5回
④ ショートステイ事業	272人	39.3	3.7	1.1	0.4	0.0	0.4	0.4	54.8	3.1回
⑥ 養育支援訪問事業	218人	44.0	4.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	50.5	2.0回
⑧ 子育て支援センター	1,334人	51.9	8.7	1.2	0.6	0.0	0.0	0.0	37.6	2.7回
⑨ 子育てひろば	1,073人	55.6	8.4	1.2	0.4	0.0	0.0	0.0	34.4	2.7回
⑪ 親子ふれあいタイム	1,035人	52.1	6.2	1.0	0.4	0.0	0.0	0.0	40.4	2.9回
⑫ 一時預かり事業	1,142人	31.7	9.2	2.5	2.7	1.3	0.2	0.0	52.4	5.5回
⑬ 病児・病後児保育事業	1,164人	40.5	4.6	0.6	0.2	0.2	0.1	0.1	53.7	2.5回
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	569人	47.6	6.0	1.6	0.7	0.0	0.0	0.0	44.1	2.6回

(※)「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数(「1週間当たりの利用回数」は4倍して合算)

(3) 充実を図ってほしい子育て支援策

○松山市に充実を図ってほしい支援策は、「認定こども園・幼稚園・保育所等に係る費用負担を軽減してほしい」が最も多く、7割以上を占める。

○「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」、「一緒に楽しめるイベントの増加」、「親子が安心して集まれる場所の増加」なども多くなっている。



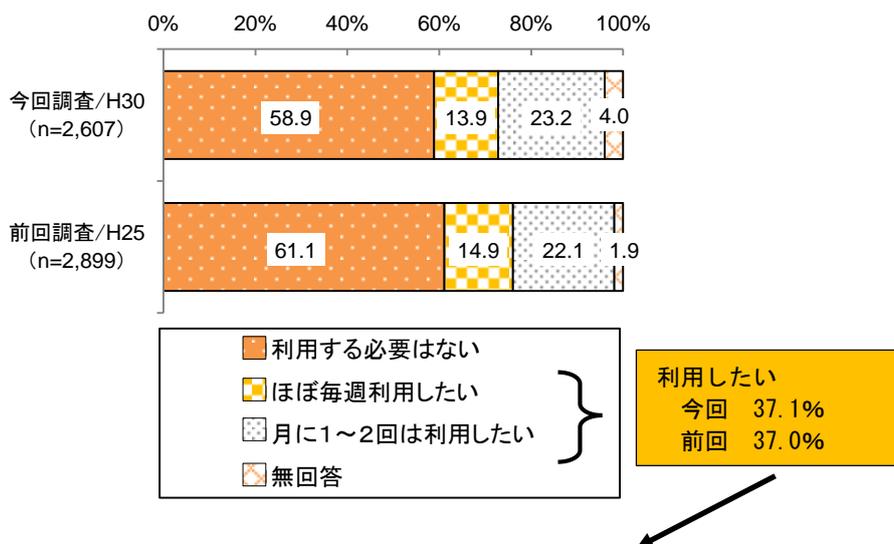
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜・日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

○土曜の利用希望は37.1%、日曜・祝日の利用希望は16.9%を占める。

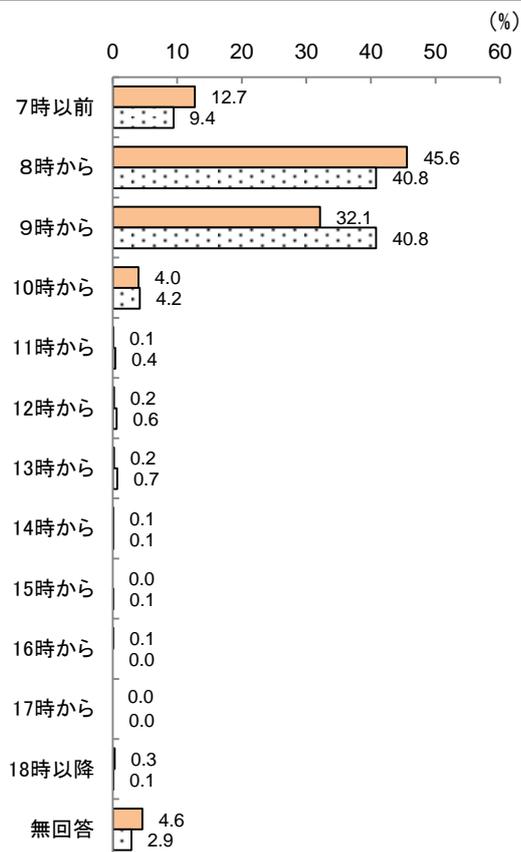
○土日・祝日にたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が最も多い。

問16(1) 土曜日の教育・保育事業の利用希望



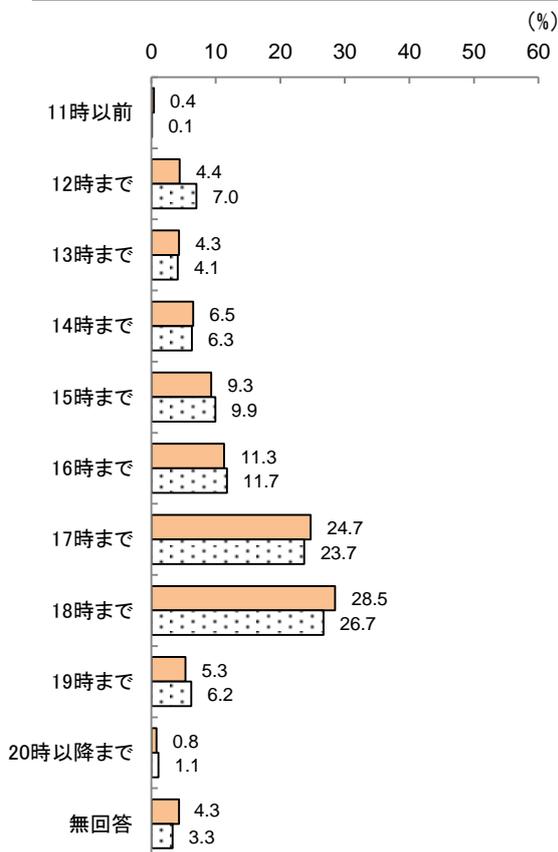
問16(1) 土曜日:何時から

■ 今回調査/H30 (n=967) □ 前回調査/H25 (n=1,073)



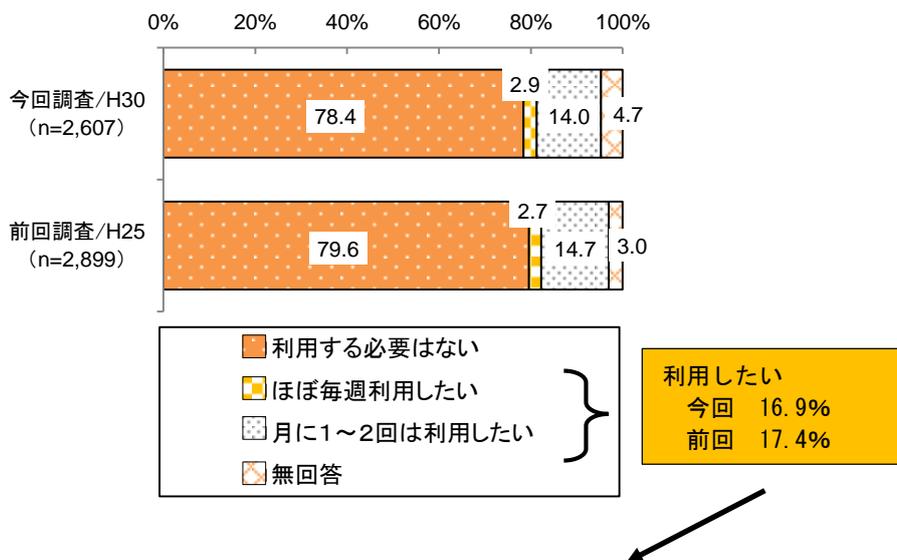
問16(1) 土曜日:何時まで

■ 今回調査/H30 (n=967) □ 前回調査/H25 (n=1,073)

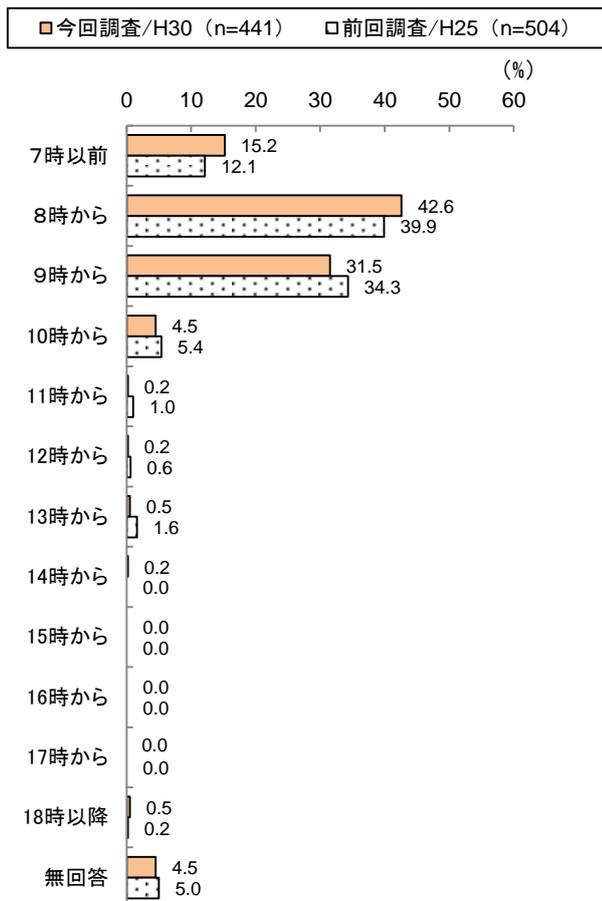


Ⅱ 就学前児童 調査結果

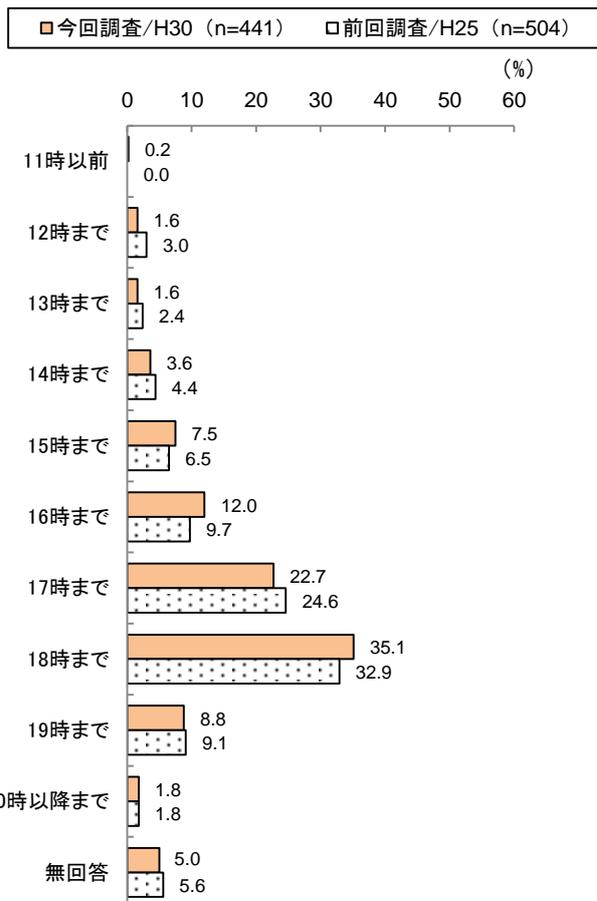
問16(2) 日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望



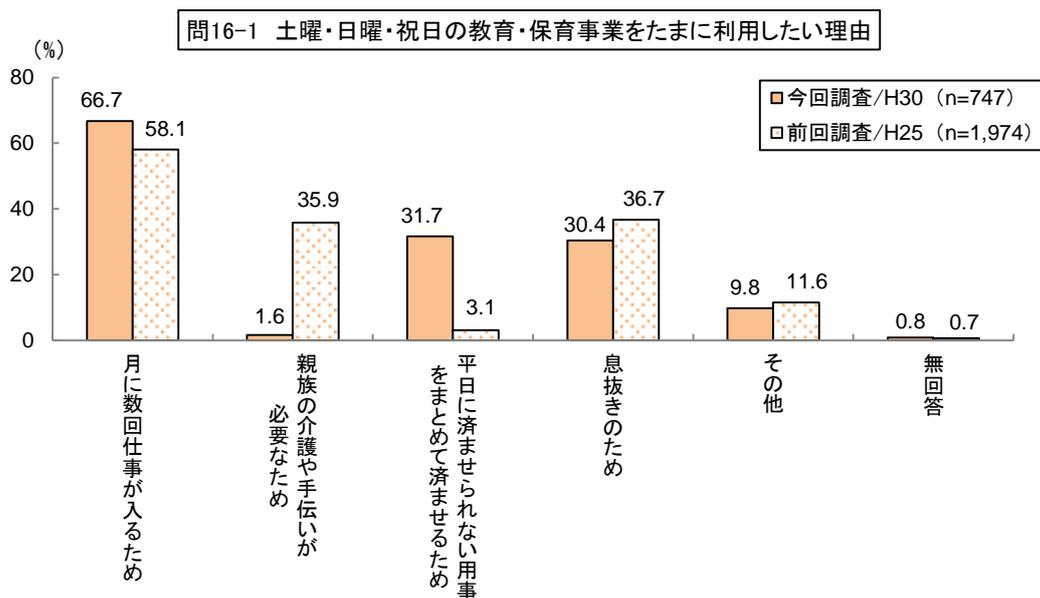
問16(2) 日曜・祝日:何時から



問16(2) 日曜・祝日:何時まで



問16 (1) もしくは (2) で、「月に1～2回は利用したい」と回答した方

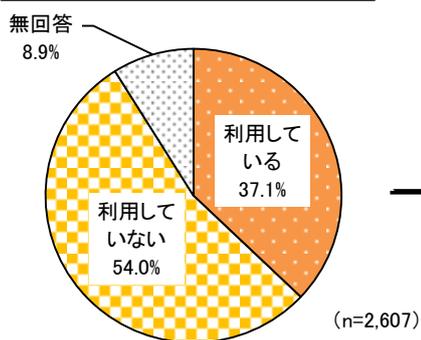


(2) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望

○幼稚園等の利用者のうち、長期休暇中の事業の利用希望者は7割を超え、前回よりも12.7ポイント増加している。

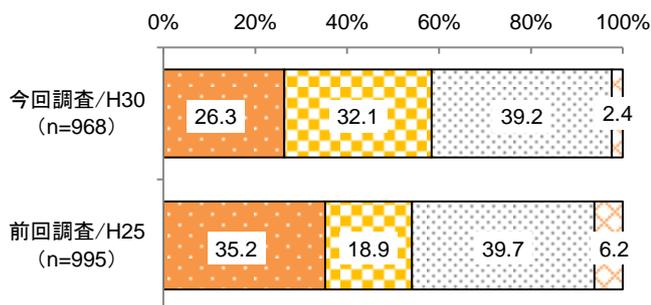
○たまに利用したい理由は、「息抜きのため」が最も多い。

問17 「幼稚園」、「認定こども園」の幼稚園機能の利用

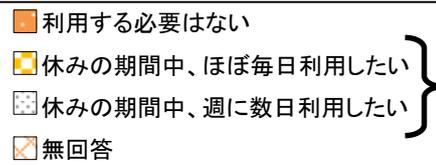


次ページに、
長期休暇中の教育・保育事業の利用希望、
利用希望時間

問17-1 幼稚園長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

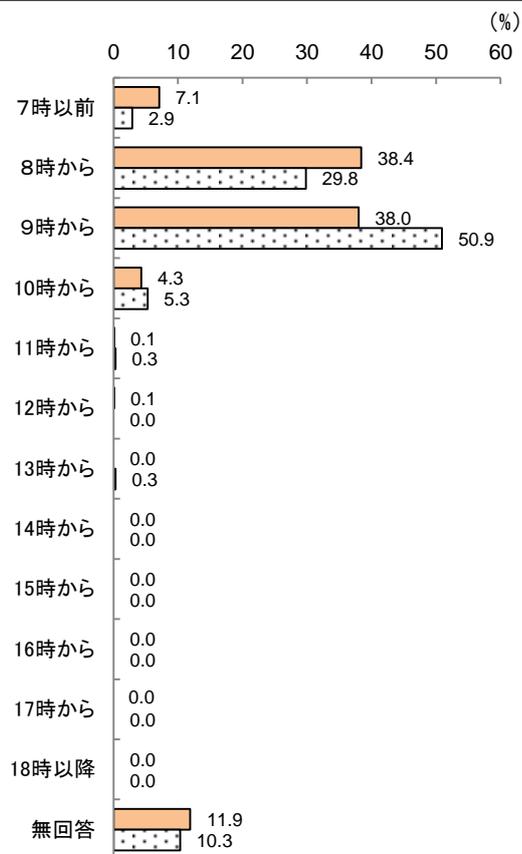


次ページに、
週当たりの希望
利用日数、たまに
利用したい理由



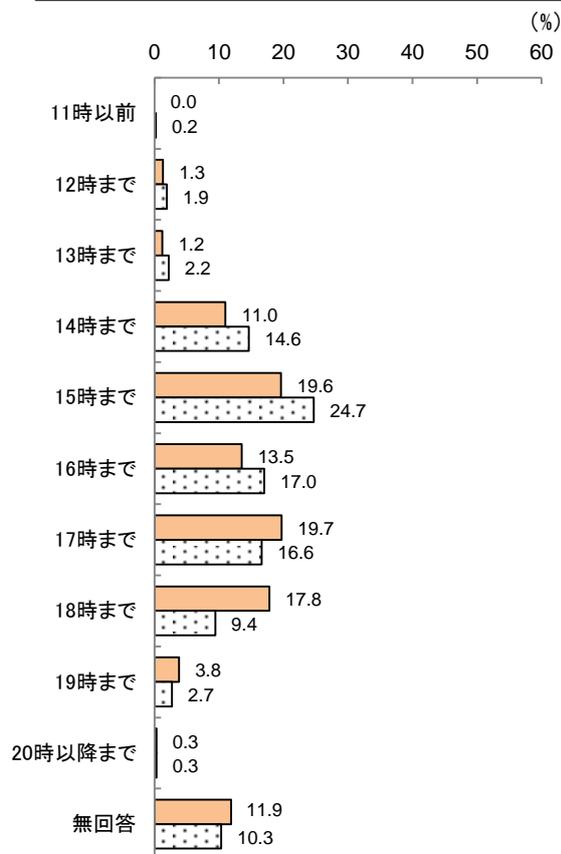
問17-1 長期休暇中:何時から

■今回調査/H30 (n=690) □前回調査/H25 (n=583)

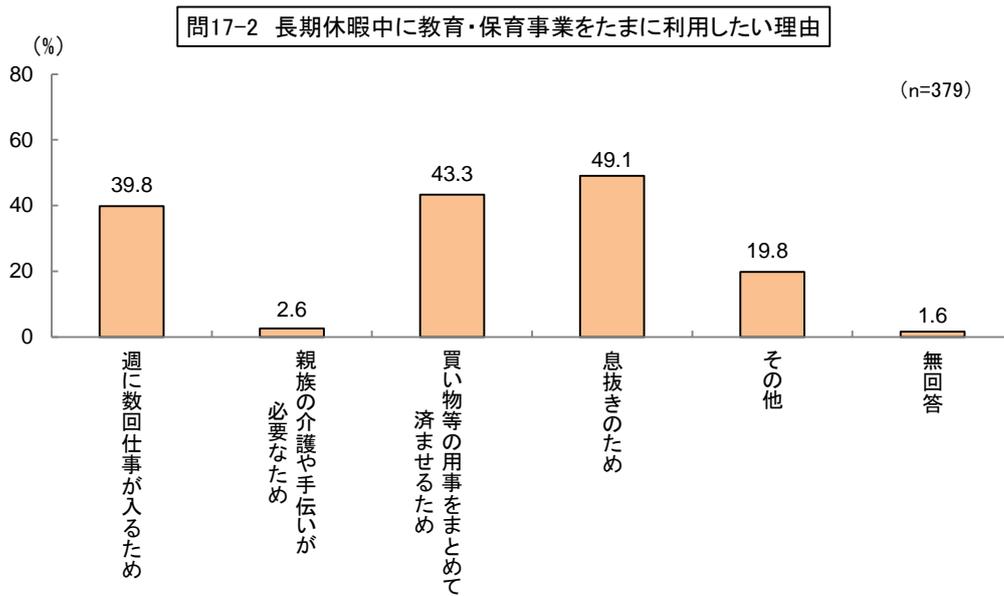
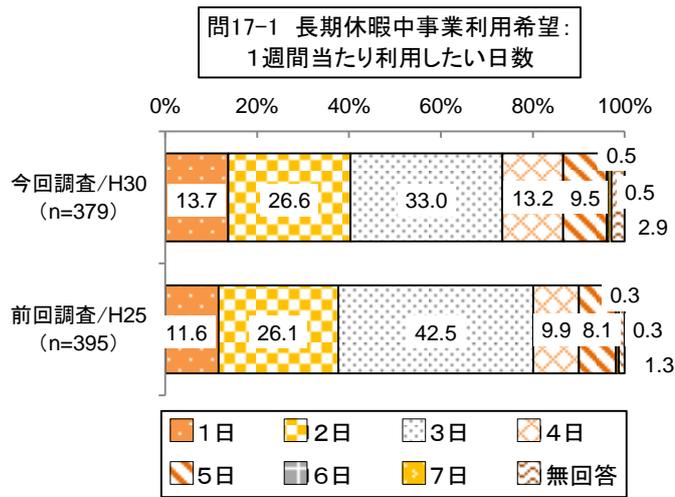


問17-1 長期休暇中:何時まで

■今回調査/H30 (n=690) □前回調査/H25 (n=583)



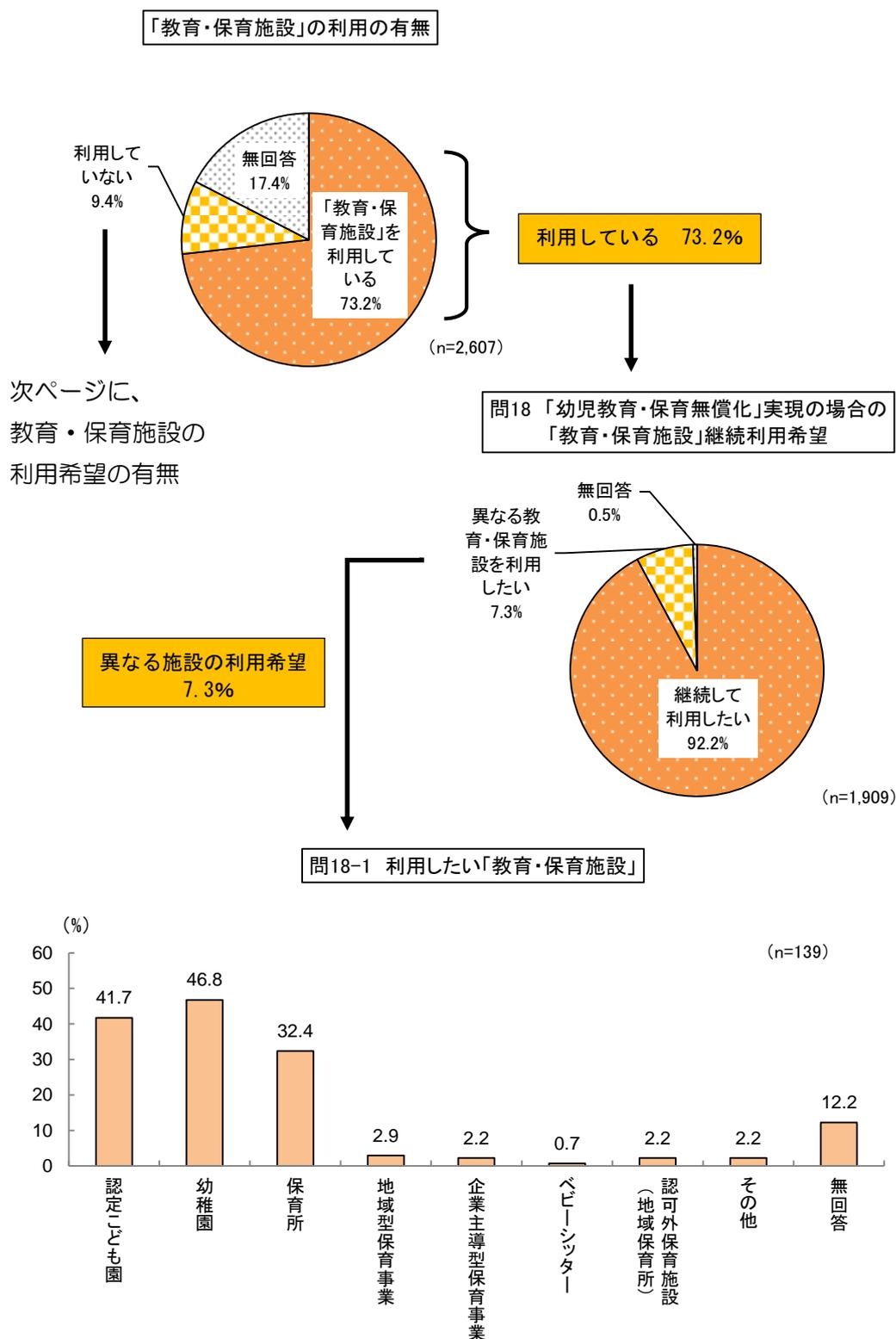
問 17-1 で「週に数日利用したい」と回答した方



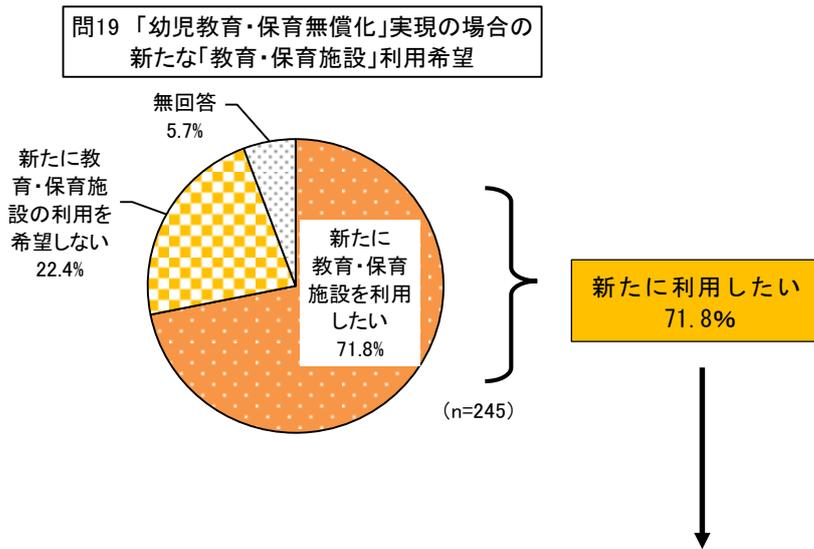
7 「幼児教育・保育無償化」について

(1) 「幼児教育・保育無償化」実現時の保育施設利用希望

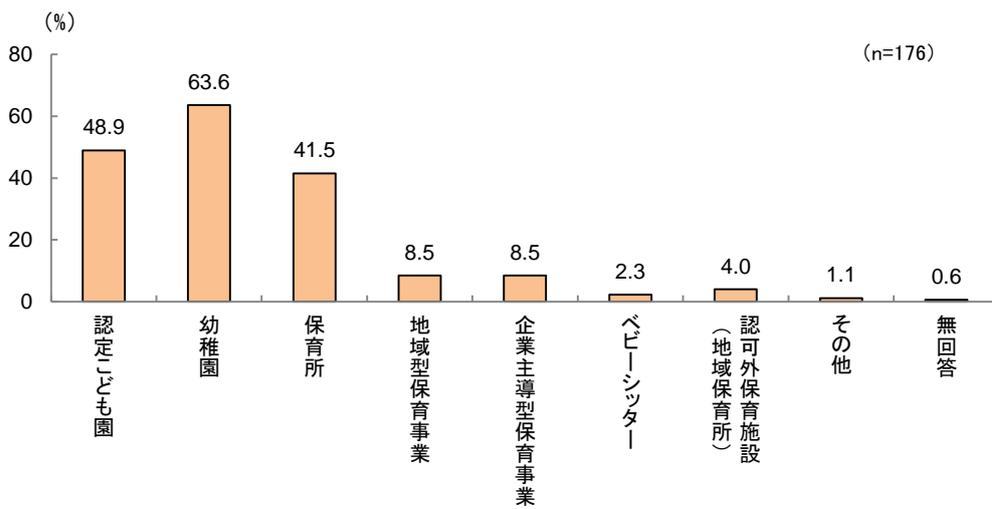
- 「幼児教育・保育無償化」が実現した場合、現在の施設を「継続して利用したい」が9割を超える。
- 保育施設の未利用者が、「幼児教育・保育無償化」実現時に新たに利用希望する割合は約7割を占め、利用したい施設では「幼稚園」が最も多い。



現在、教育・保育施設を「利用していない」と回答した方



問19-1 「幼児教育・保育無償化」実現の場合の新たに利用したい「教育・保育施設」



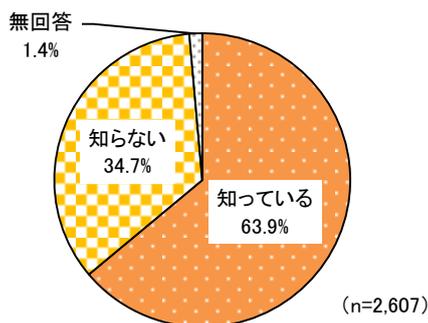
8 病気の際の対応について

(1) 病児・病後児保育事業の認知状況と利用しやすい場所

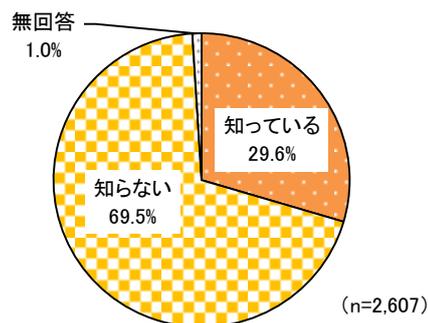
○病児・病後児保育事業は「知っている」が6割以上、送迎事業は「知っている」が約3割。

○病児・病後児保育事業の利用しやすい場所は、「自宅の近く」が56.3%で最も多い。

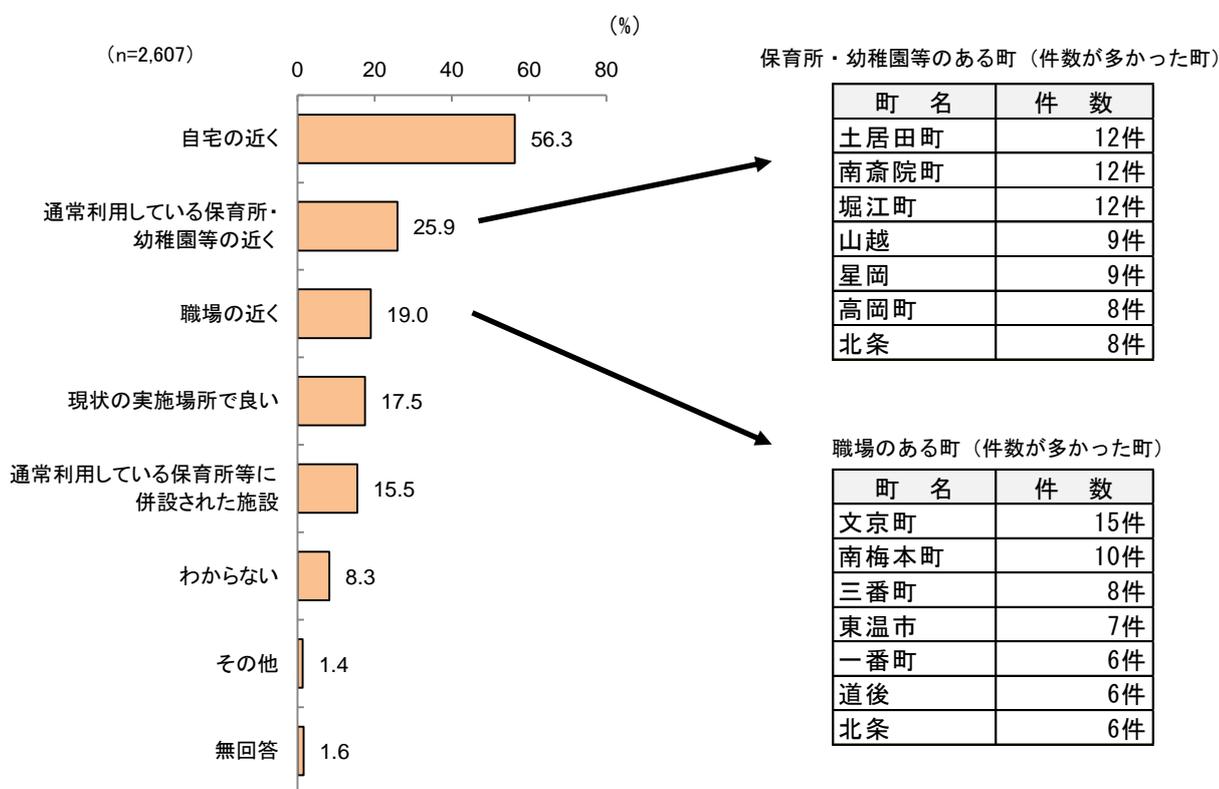
問20 病児・病後児保育事業を利用できることの認知



問20-1 病児・病後児保育の送迎事業の認知



問20-2 病児・病後児保育事業施設の利用しやすい場所

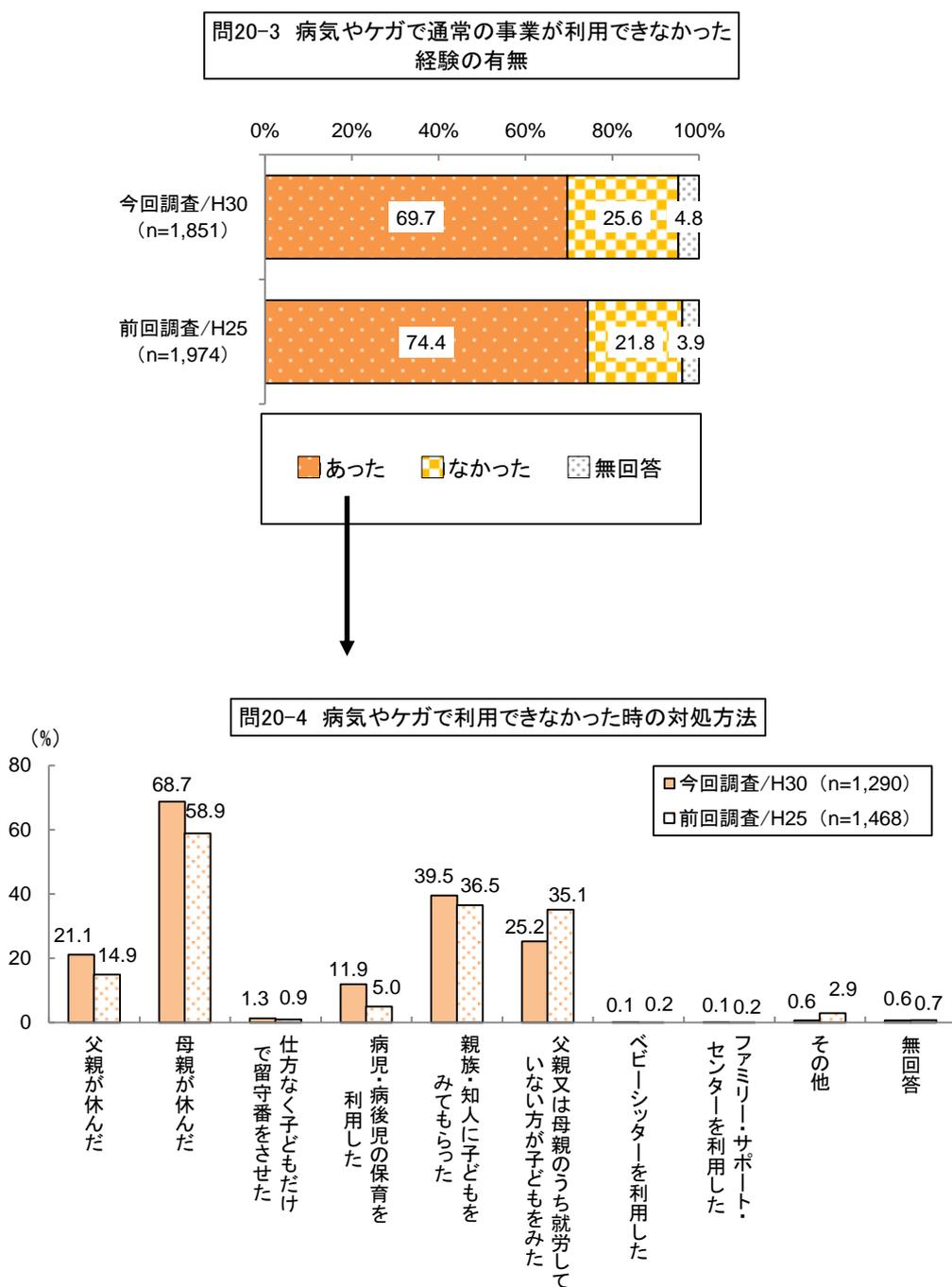


(2) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用できなかった状況

○病気やケガで通常の事業が利用できなかった割合は 69.7%で、対処法として「母親が休んだ」が約7割を占めて最も多い。

○病児・病後児保育施設を使用しなかった理由は、「保護者が仕事を休むことができた」が約8割と大半を占める。

問11で定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した方



Ⅱ 就学前児童 調査結果

問 20-4 対処方法と対応した日数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日以上	無回答	平均日数(※)
1. 父親が休んだ	272人	21.3	26.5	19.1	2.9	15.1	2.2	1.1	0.4	0.0	5.1	0.0	1.5	4.8	3.5日
2. 母親が休んだ	886人	6.9	13.1	11.7	5.4	14.9	1.4	5.3	1.4	0.5	18.3	0.0	14.4	6.8	7.8日
3. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	17人	23.5	11.8	29.4	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	11.8	4.8日
4. 病児・病後児の保育を利用した	154人	14.9	14.3	11.0	5.2	13.6	1.3	9.1	1.3	0.0	11.0	0.0	13.0	5.2	6.5日
5. 親族・知人に子どもをみてもらった	510人	11.6	16.5	16.1	6.3	16.5	1.8	2.7	0.2	0.0	12.5	0.0	10.6	5.3	6.3日
6. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	325人	5.5	12.0	8.9	6.2	13.8	2.5	5.8	2.2	0.0	18.2	0.0	12.9	12.0	7.8日
7. ベビーシッターを利用した	1人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	30.0日
8. ファミリー・サポート・センターを利用した	1人	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0日
9. その他	8人	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	37.5	8.2日

(※)「対応した日数」に回答した人1人当たりの平均年間対応日数

【前回調査：H25】

(単位：%)

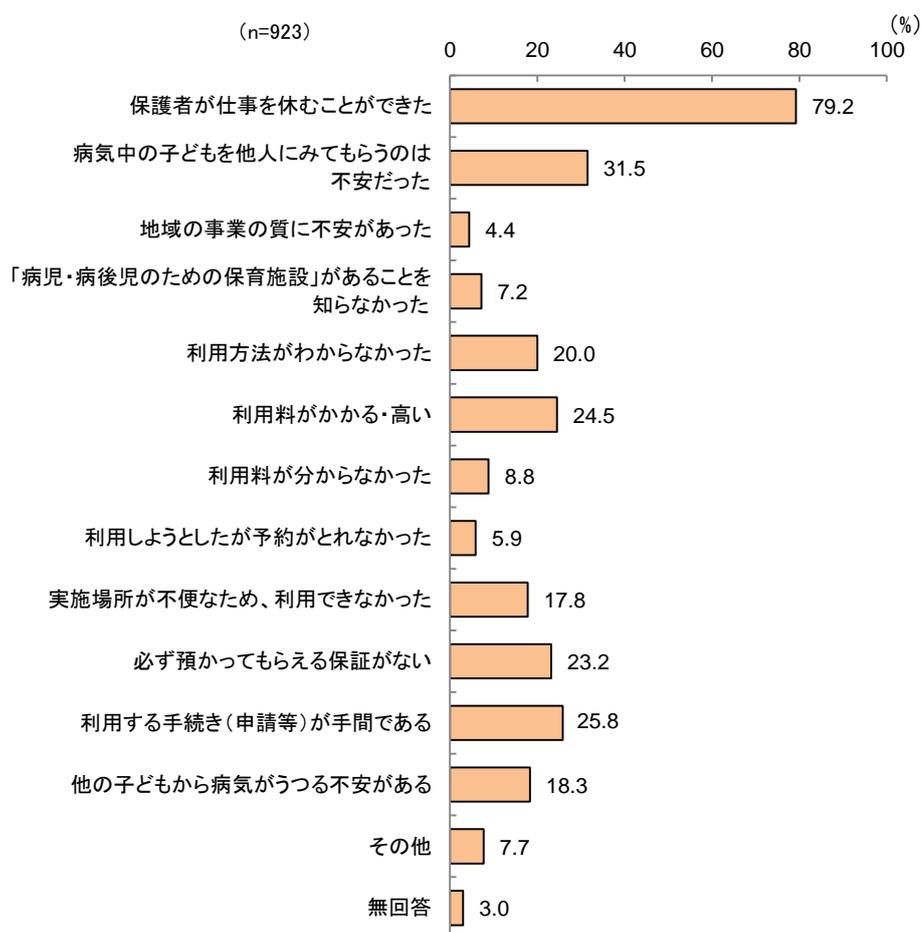
	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日以上	無回答	平均日数(※)
1. 父親が休んだ	222人	28.4	24.8	14.9	5.0	13.1	0.0	2.7	0.5	0.5	4.5	0.5	3.2	2.3	3.5日
2. 母親が休んだ	879人	9.4	13.9	14.3	5.2	13.5	2.2	4.6	1.8	0.2	15.6	0.0	14.3	4.9	7.2日
3. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	14人	14.3	64.3	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	2.1日
4. 病児・病後児の保育を利用した	75人	16.0	18.7	16.0	4.0	12.0	2.7	5.3	0.0	1.3	8.0	0.0	9.3	6.7	5.8日
5. 親族・知人に子どもをみてもらった	545人	9.2	16.0	15.2	2.9	18.0	1.1	3.9	1.1	0.0	12.8	0.0	13.8	6.1	7.2日
6. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	524人	8.0	12.0	11.8	4.8	13.2	2.7	5.3	2.9	0.2	15.6	0.2	13.5	9.7	7.6日
7. ベビーシッターを利用した	3人	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	6.3日
8. ファミリー・サポート・センターを利用した	3人	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	1.0日
9. その他	43人	16.3	7.0	11.6	9.3	7.0	2.3	7.0	0.0	0.0	11.6	0.0	7.0	20.9	6.7日

(※)「対応した日数」に回答した人1人当たりの平均年間対応日数

問20-4で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した方

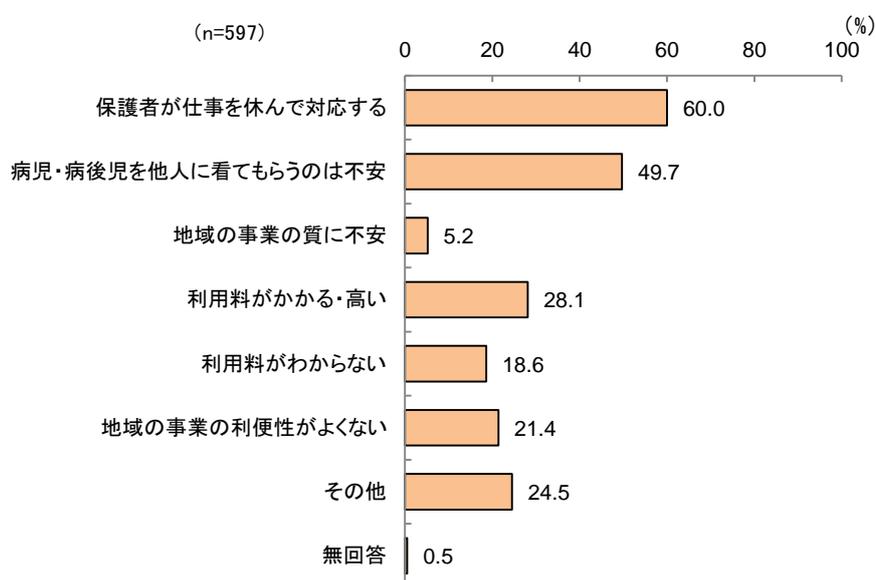
【今回調査：H30】

問20-5 病児・病後児保育施設を利用しなかった理由



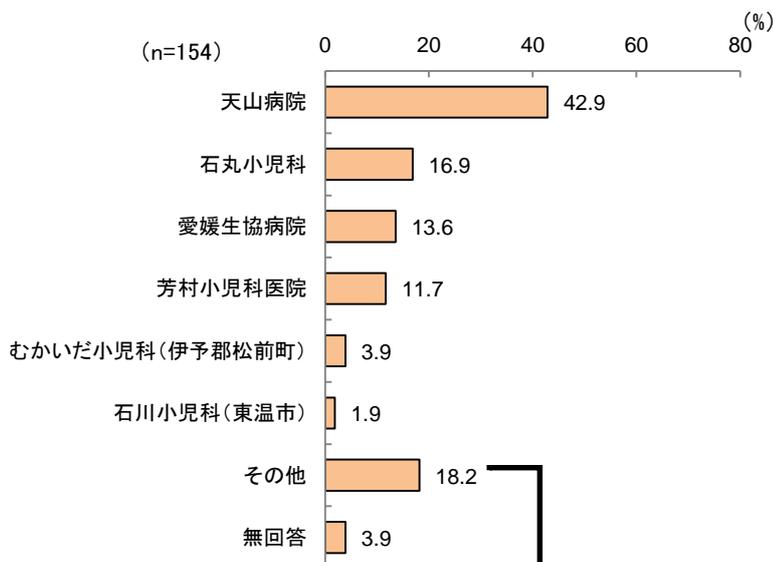
(参考) 【前回調査：H25】

問20-5 病児・病後児保育施設を利用しない理由

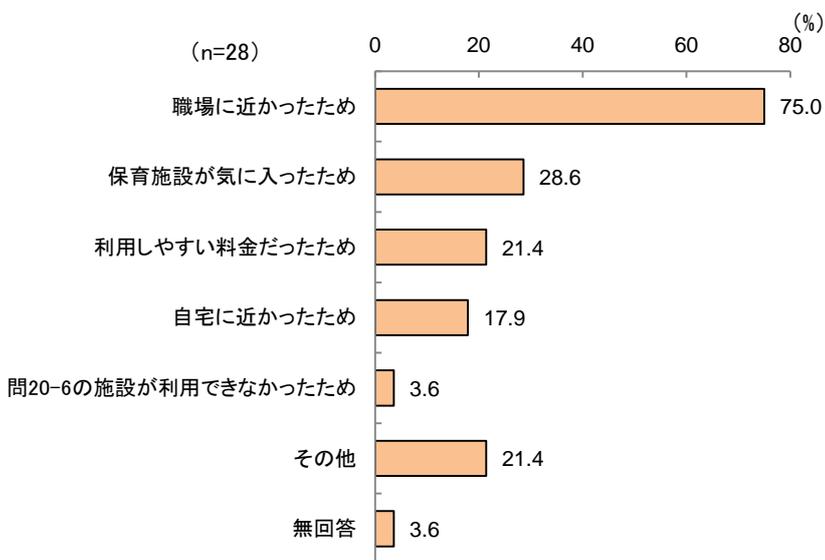


問20-4で「病児・病後児の保育を利用した」と回答した方

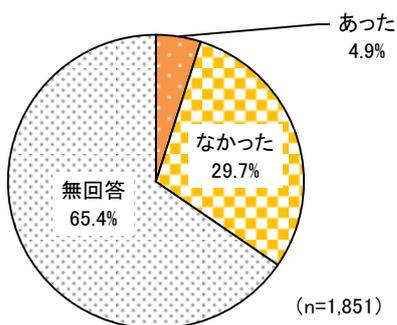
問20-6 1年間に利用した病児・病後児保育事業施設



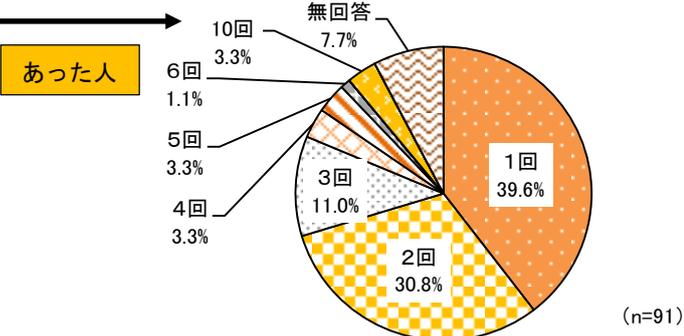
問20-7 その他の施設を利用した理由



問20-8 病児・病後児保育施設の予約ができなかった経験



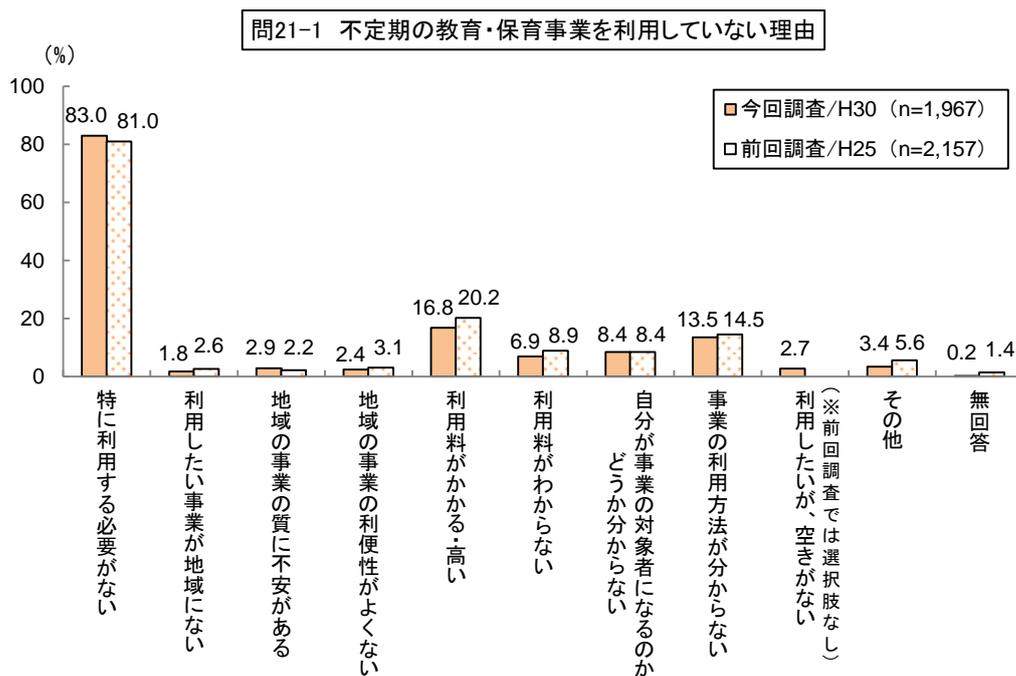
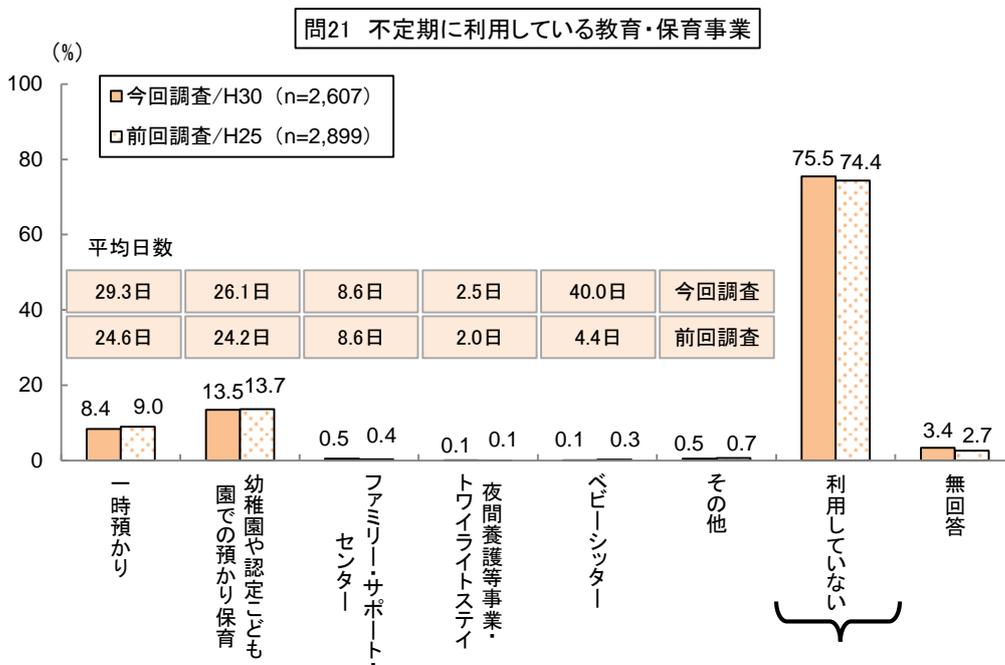
問20-8 病児・病後児保育施設の予約ができなかった回数



9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

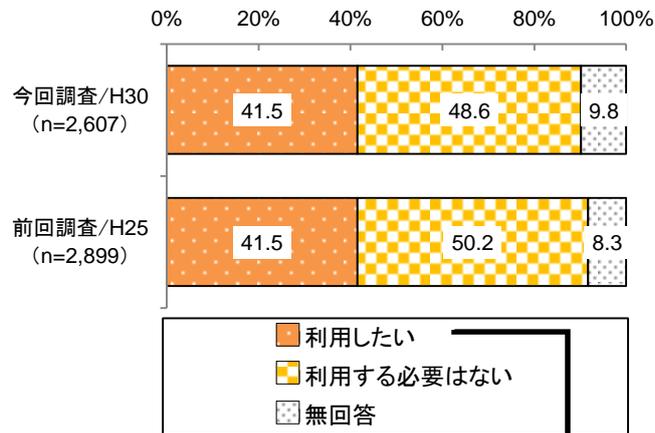
(1) 不定期で利用している事業

○不定期で利用している事業は、「幼稚園や認定こども園での預かり保育」、「一時預かり」などが多い。一方、「利用していない」が75.5%で最も多く、その理由は「特に利用する必要がない」が多い。

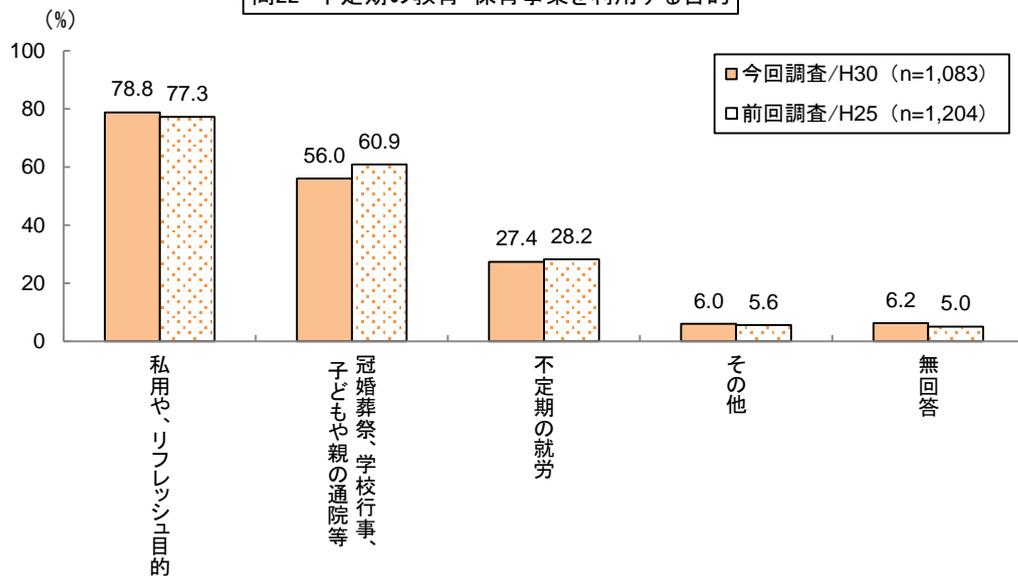


(2) 私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定の事業を利用する意向
 ○利用希望があるのは約4割で、その目的は「私用やリフレッシュ」が最も多い。
 ○利用したい事業形態は「認定こども園」や「幼稚園」、「保育所」が多い。

問22 不特定の教育・保育事業利用の必要性



問22 不特定の教育・保育事業を利用する目的



問 22 不定期の教育の利用目的と利用したい日数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	12日以下	13-24日	25-36日	37-48日	49-60日	61-100日	101日以上	無回答	平均日数(※)
① 私用、リフレッシュ目的	853人	67.5	12.8	4.8	4.1	4.5	2.9	1.9	1.5	19.1日
② 冠婚葬祭等	607人	84.2	8.7	2.5	0.7	0.5	0.3	0.0	3.1	8.7日
③ 不定期就労	297人	46.5	11.1	6.1	3.0	7.1	6.7	14.1	5.4	47.1日
④ その他	65人	38.5	7.7	6.2	3.1	4.6	3.1	3.1	33.8	27.8日
合計	1,016人	40.9	22.8	9.9	5.0	7.0	4.9	7.6	1.8	35.2日

(※)「利用したい日数」に回答した人1人当たりの平均年間利用希望日数

【前回調査：H25】

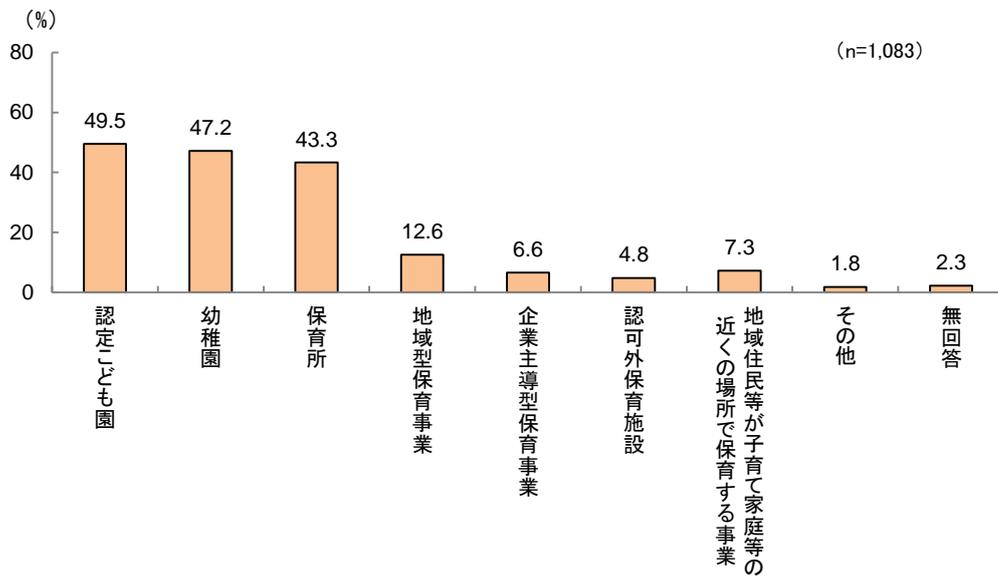
(単位：%)

	回答者数	12日以下	13-24日	25-36日	37-48日	49-60日	61-100日	101日以上	無回答	平均日数(※)
① 私用、リフレッシュ目的	931人	69.4	13.4	4.6	4.3	4.1	2.1	1.2	0.9	17.4日
② 冠婚葬祭等	733人	85.0	7.9	3.7	0.8	1.2	0.1	0.0	1.2	9.3日
③ 不定期就労	340人	40.9	14.1	10.0	4.1	6.2	6.5	15.3	2.9	48.1日
④ その他	68人	55.9	13.2	10.3	5.9	5.9	2.9	2.9	2.9	23.8日
合計	1,204人	35.9	21.6	9.6	5.1	5.8	4.5	7.8	9.7	36.9日

(※)「利用したい日数」に回答した人1人当たりの平均年間利用希望日数

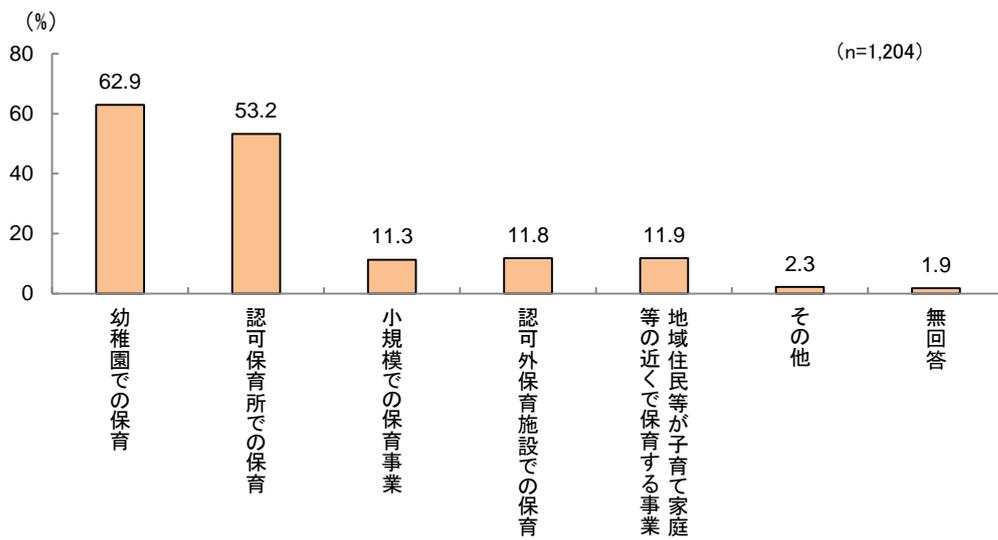
【今回調査：H30】

問22-1 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態



(参考) 【前回調査：H25】

不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態

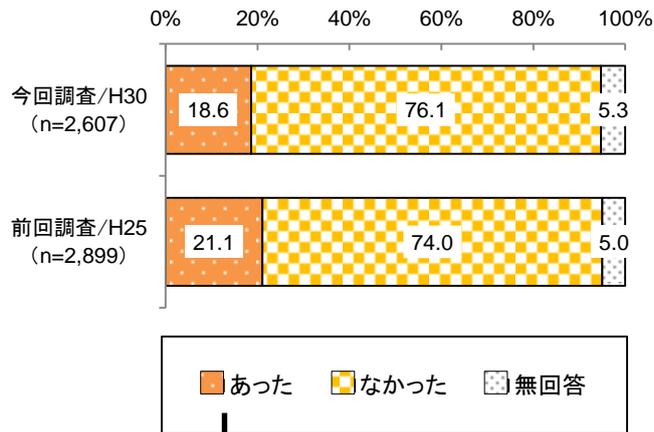


(3) 保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったこと

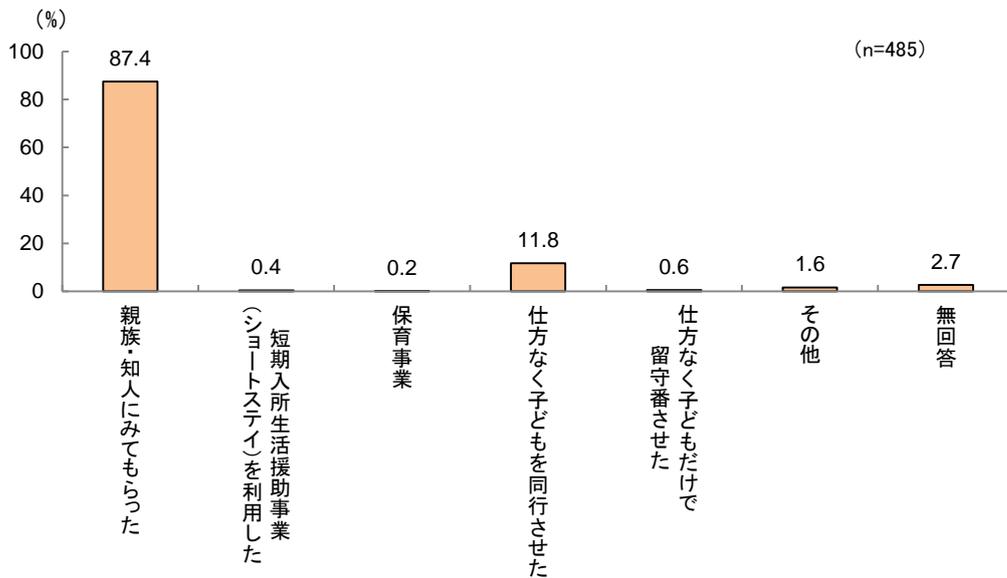
○子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったことが「あった」は 18.6%を占める。

○対処法は「親族・知人にみてもらった」が 87.4%で最も多く、平均年間対処日数は 6.1 日。

問23 子どもを泊りがけで預けることの有無



問23 子どもを泊りがけで預けるなどの対処方法



問 23 子どもを預けるなどした日数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	12日以下	13-24日	25-36日	37-48日	49-60日	61-100日	101日以上	無回答	平均日数(※)
① 親族・知人にみてもらった	424人	87.5	5.9	1.9	0.7	0.5	0.5	0.0	3.1	6.1日
② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	2人	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	22.0日
③ 保育事業	1人	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0日
④ 仕方なく子どもを同行させた	57人	89.5	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	7.0	4.3日
⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3人	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3.0日
⑥ その他	8人	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	2.2日

(※)「子どもを預けるなどした日数」に回答した人1人当たりの平均年間対処日数

【前回調査：H25】

(単位：%)

	回答者数	12日以下	13-24日	25-36日	37-48日	49-60日	61-100日	101日以上	無回答	平均日数(※)
① 親族・知人にみてもらった	540人	87.0	6.9	2.6	0.4	1.3	0.6	0.2	1.1	6.9日
② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	3人	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	31.7日
③ 保育事業	3人	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0日
④ 仕方なく子どもを同行させた	84人	87.2	1.1	2.1	0.0	0.0	1.1	0.0	8.5	4.8日
⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	5人	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	1.3日
⑥ その他	11人	72.7	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	6.6日

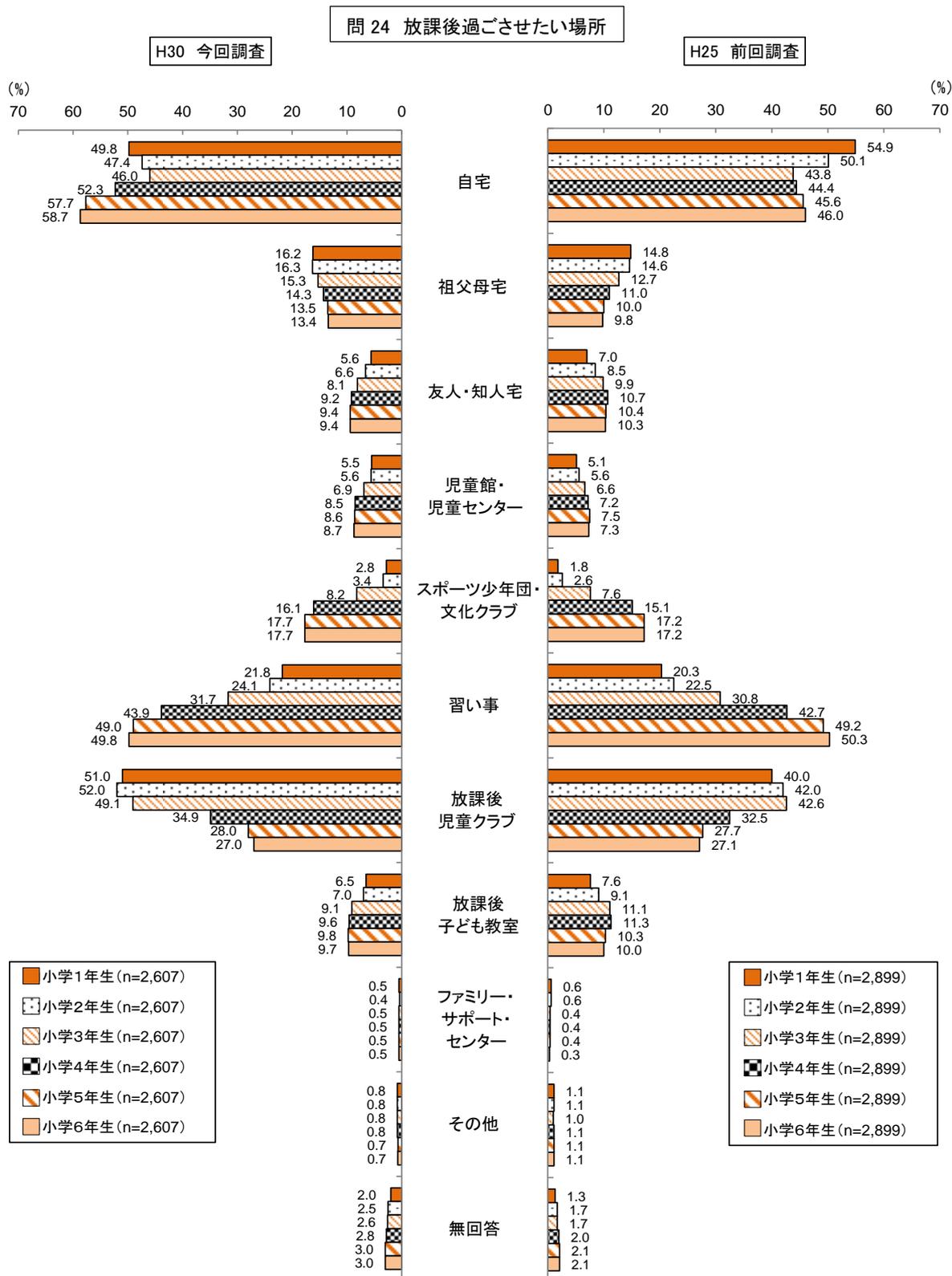
(※)「子どもを預けるなどした日数」に回答した人1人当たりの平均年間対処日数

10 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 放課後に過ごさせたい場所について

○1～3年生では「放課後児童クラブ」、「自宅」、4～6年生では「自宅」、「習い事」の順に多い。

○放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、土曜日日曜では前回より下回っているが、長期休暇期間中では63.0%と前回より上回っている。



Ⅱ 就学前児童 調査結果

問 24 放課後過ごさせたい場所 (回答割合/学年別)

【今回調査：H30】

(単位：%)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	49.8	47.4	46.0	52.3	57.7	58.7
2. 祖父母宅	16.2	16.3	15.3	14.3	13.5	13.4
3. 友人・知人宅	5.6	6.6	8.1	9.2	9.4	9.4
4. 児童館・児童センター	5.5	5.6	6.9	8.5	8.6	8.7
5. スポーツ少年団・文化クラブ	2.8	3.4	8.2	16.1	17.7	17.7
6. 習い事	21.8	24.1	31.7	43.9	49.0	49.8
7. 放課後児童クラブ(学童保育)	51.0	52.0	49.1	34.9	28.0	27.0
8. 放課後子ども教室	6.5	7.0	9.1	9.6	9.8	9.7
9. ファミリー・サポート・センター	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5
10. その他	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7
無回答	2.0	2.5	2.6	2.8	3.0	3.0

【前回調査：H25】

(単位：%)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	54.9	50.1	43.8	44.4	45.6	46.0
2. 祖父母宅	14.8	14.6	12.7	11.0	10.0	9.8
3. 友人・知人宅	7.0	8.5	9.9	10.7	10.4	10.3
4. 児童館・児童センター	5.1	5.6	6.6	7.2	7.5	7.3
5. スポーツ少年団・文化クラブ	1.8	2.6	7.6	15.1	17.2	17.2
6. 習い事	20.3	22.5	30.8	42.7	49.2	50.3
7. 放課後児童クラブ	40.0	42.0	42.6	32.5	27.7	27.1
8. 放課後子ども教室	7.6	9.1	11.1	11.3	10.3	10.0
9. ファミリー・サポート・センター	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.3
10. その他	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1
無回答	1.3	1.7	1.7	2.0	2.1	2.1

問 25 放課後過ごさせたい場所 (週当たり平均日数/学年別)

【今回調査：H30】

(単位：日)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	4.7	4.6	4.3	4.1	4.1	4.1
2. 祖父母宅	3.1	3.1	3.0	3.1	3.0	3.1
3. 友人・知人宅	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
4. 児童館・児童センター	2.3	2.2	2.4	2.3	2.2	2.2
5. スポーツ少年団・文化クラブ	2.1	2.1	2.6	2.9	2.9	3.0
6. 習い事	1.9	1.9	2.1	2.2	2.3	2.3
7. 放課後児童クラブ(学童クラブ) (何時まで)	4.6 17.8時	4.5 17.8時	4.4 17.8時	4.2 17.9時	4.0 17.9時	4.0 17.9時
8. 放課後子ども教室	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.6
9. ファミリー・サポート・センター	2.4	2.1	2.3	2.5	2.3	2.5
10. その他	3.7	3.8	3.5	3.8	3.6	3.6

(注) 放課後児童クラブの下欄の(何時まで)は時間表示。17.8時は午後5時48分、17.9時は午後5時54分となる。

【前回調査：H25】

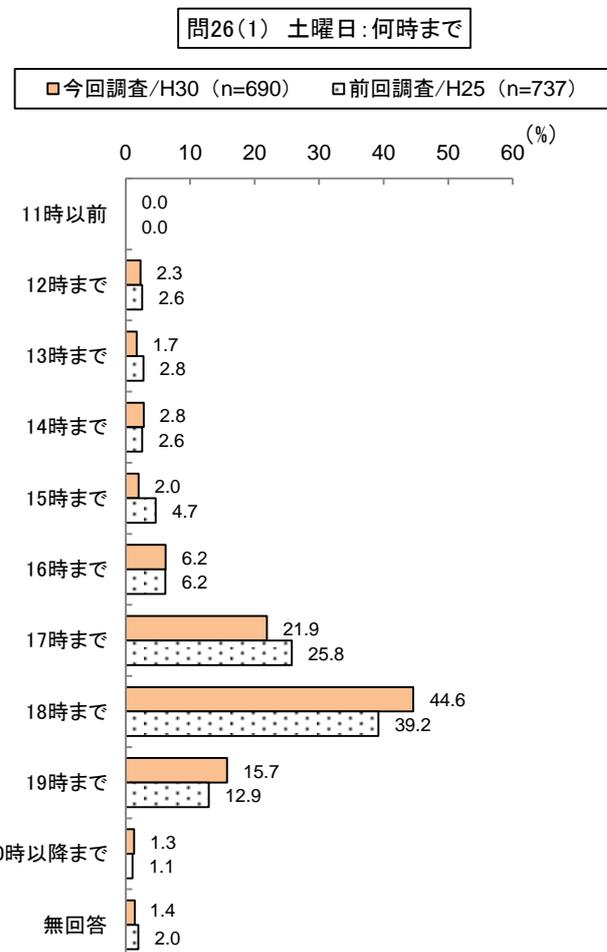
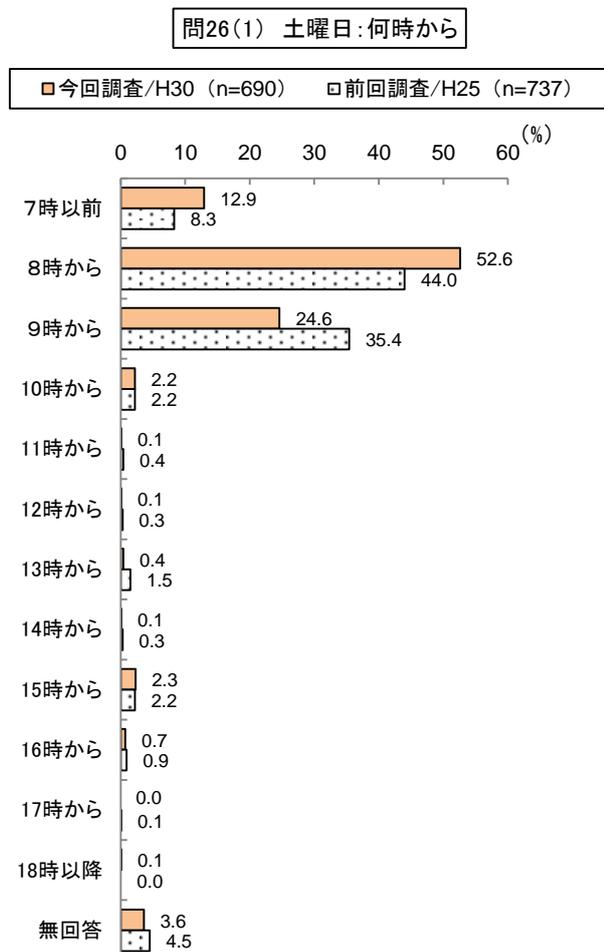
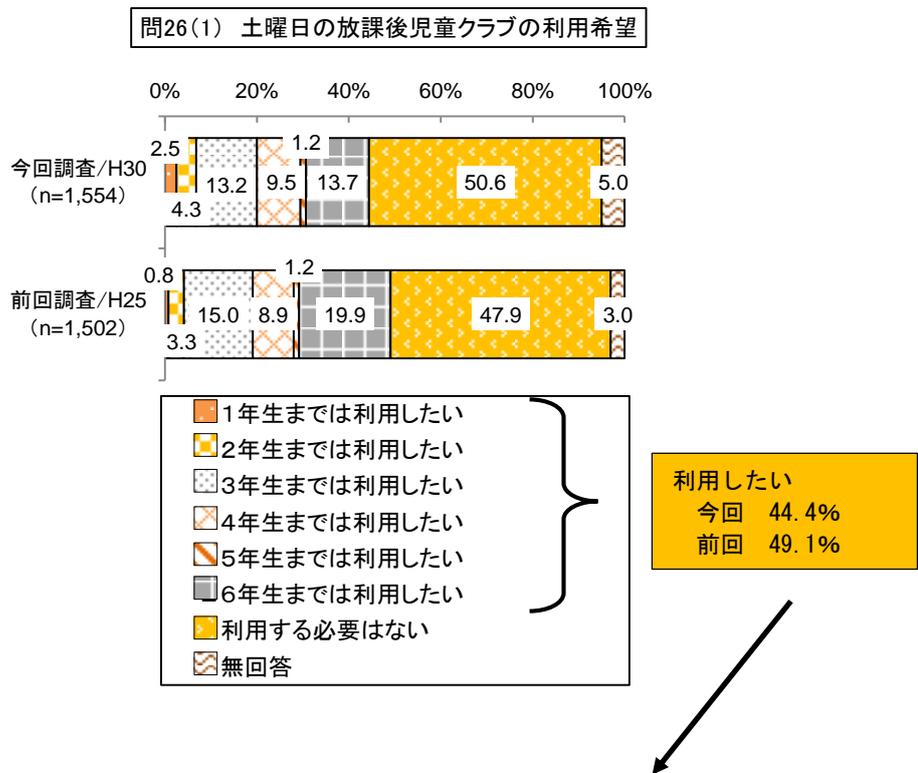
(単位：日)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	4.8	4.6	4.4	4.1	4.1	4.1
2. 祖父母宅	3.1	3.1	3.0	2.8	2.7	2.7
3. 友人・知人宅	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
4. 児童館・児童センター	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2
5. スポーツ少年団・文化クラブ	2.2	2.2	2.7	2.9	3.0	3.0
6. 習い事	1.9	1.9	2.0	2.2	2.3	2.4
7. 放課後児童クラブ(学童クラブ) (何時まで)	4.5 17.6時	4.5 17.6時	4.4 17.6時	4.1 17.7時	4.0 17.7時	4.0 17.7時
8. 放課後子ども教室	2.6	2.6	2.7	2.7	2.6	2.5
9. ファミリー・サポート・センター	3.5	3.4	3.4	3.0	3.2	2.9
10. その他	4.1	3.9	3.7	3.8	3.8	3.8

(注) 放課後児童クラブの下欄の(何時まで)は時間表示。17.6時は午後5時36分、17.7時は午後5時42分となる。

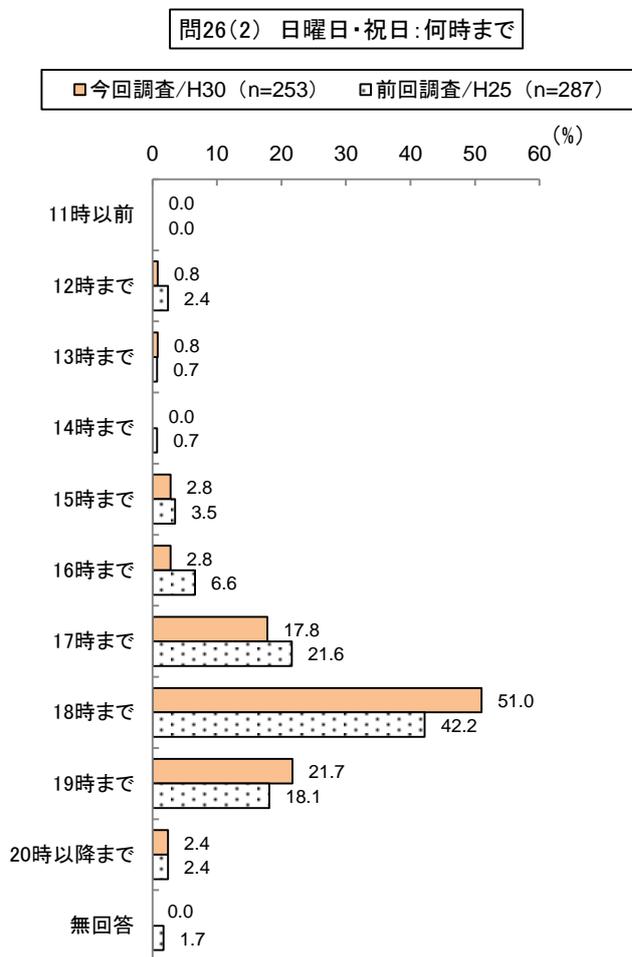
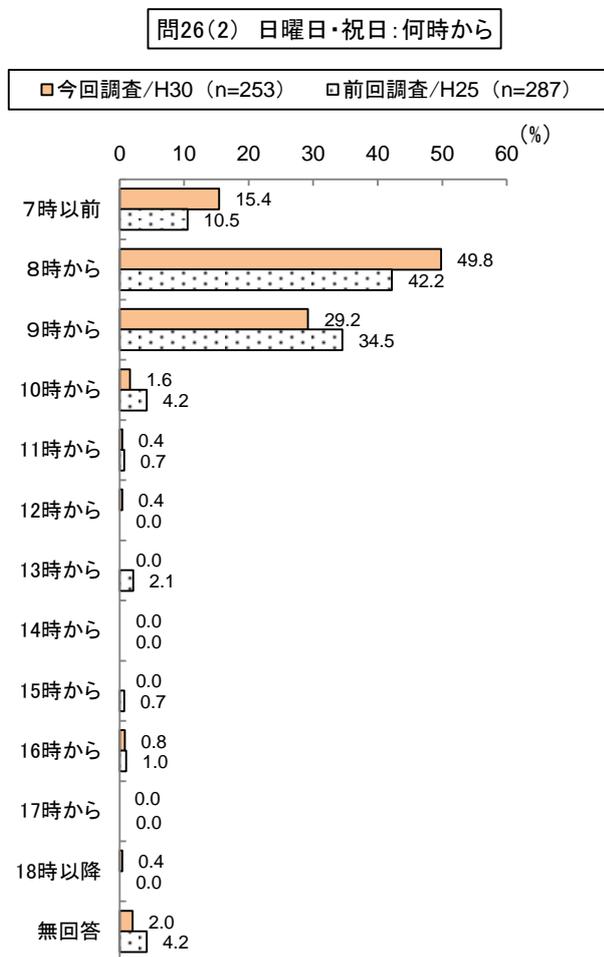
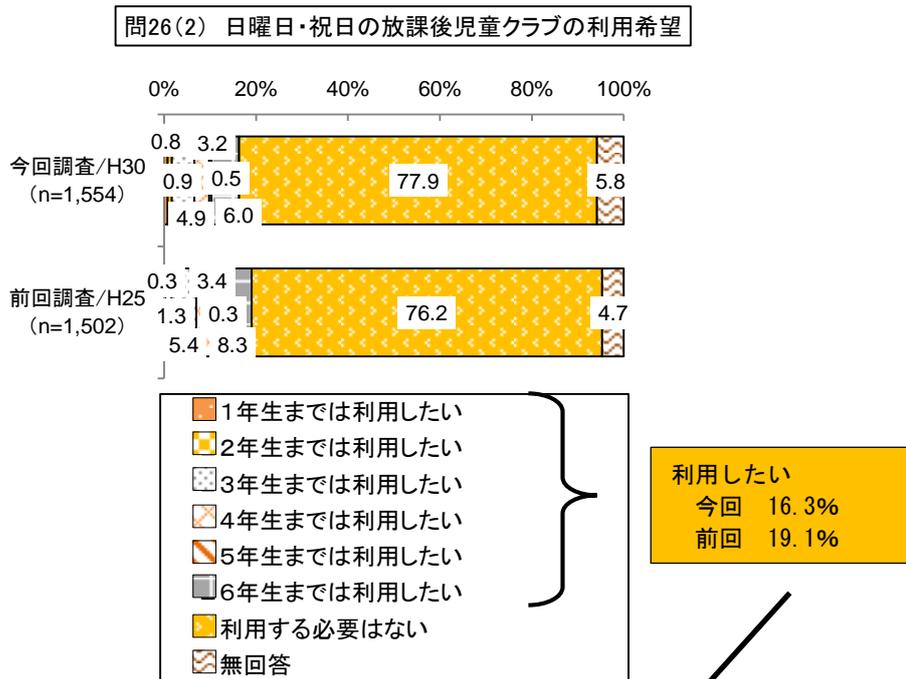
(2) 放課後児童クラブ(学童保育)の土曜日の利用希望

問24で「放課後児童クラブ(学童保育)」と回答した方

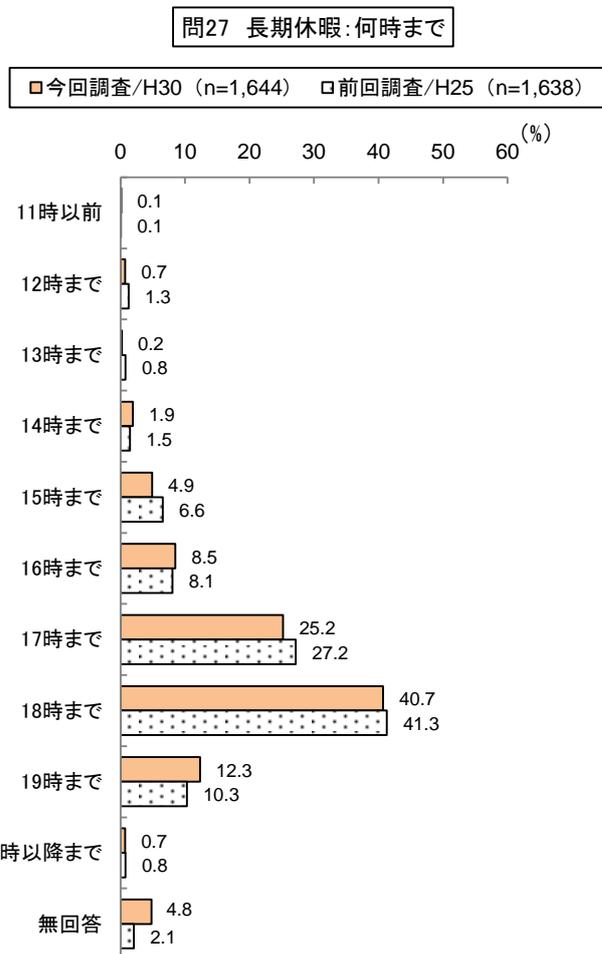
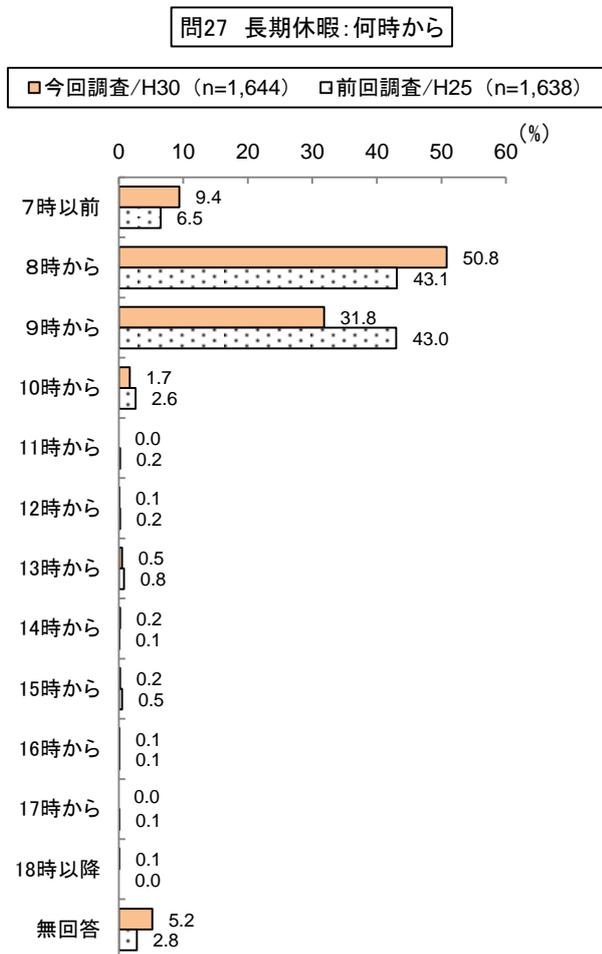
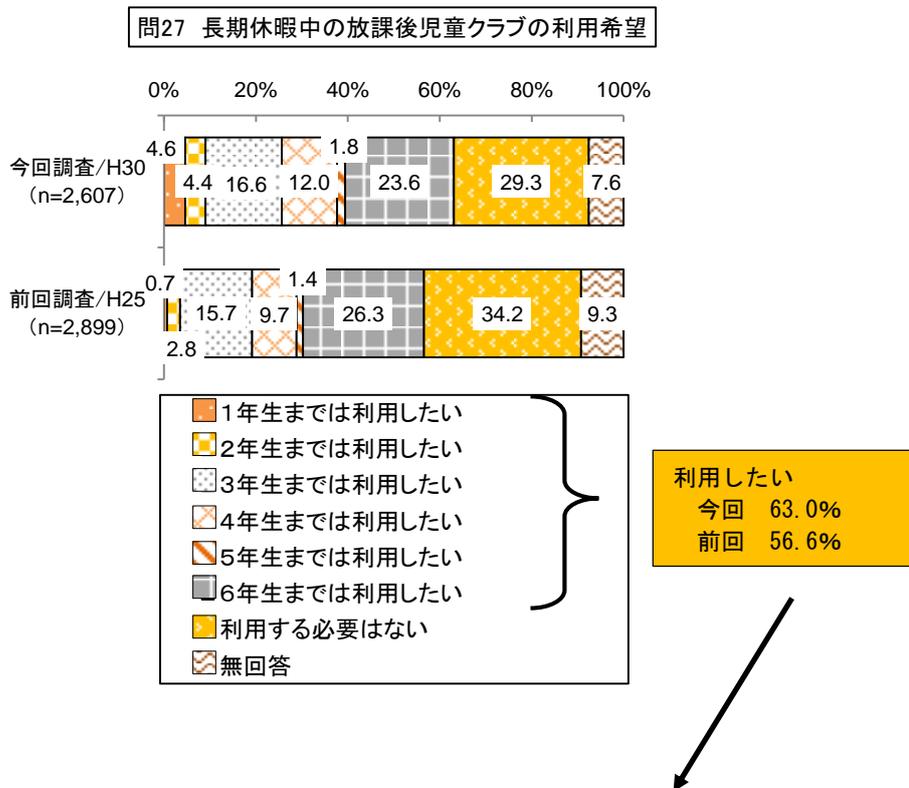


(3) 放課後児童クラブ（学童保育）の日曜日・祝日の利用希望

問24で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方



(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望

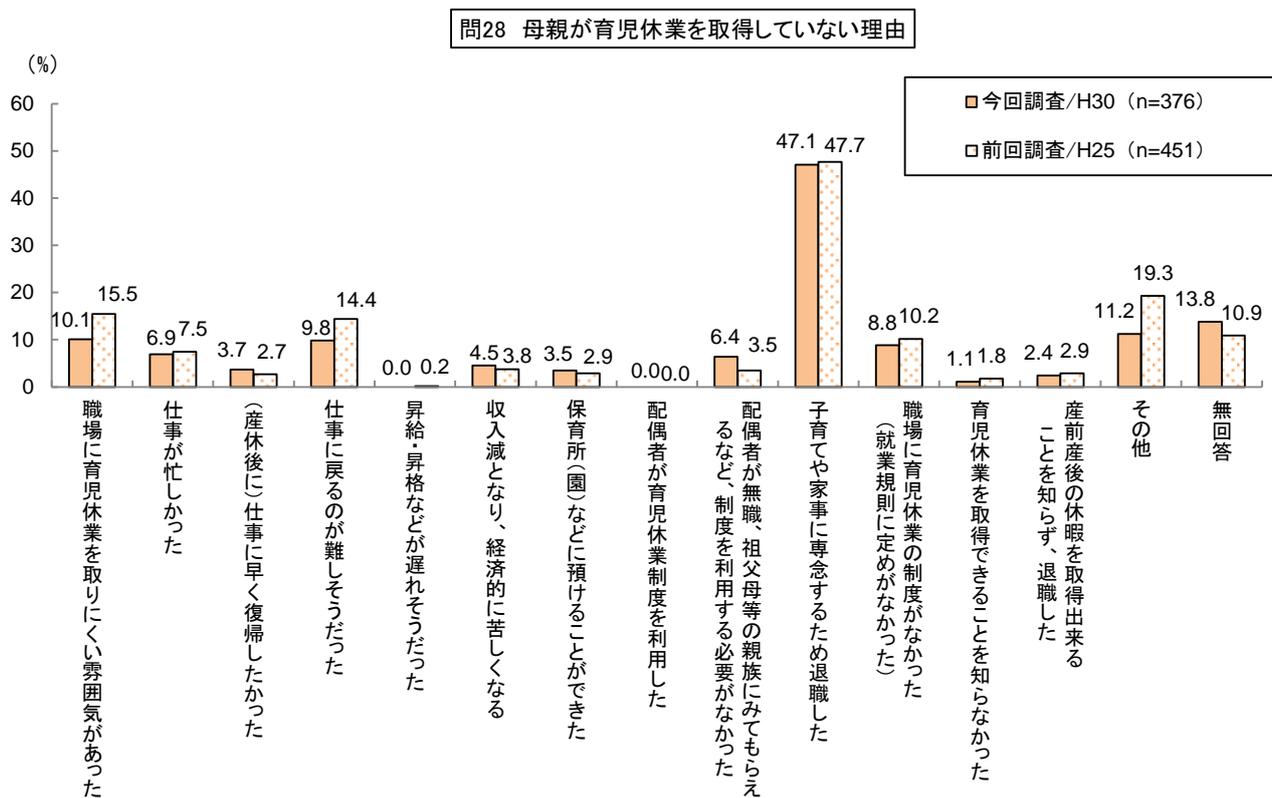
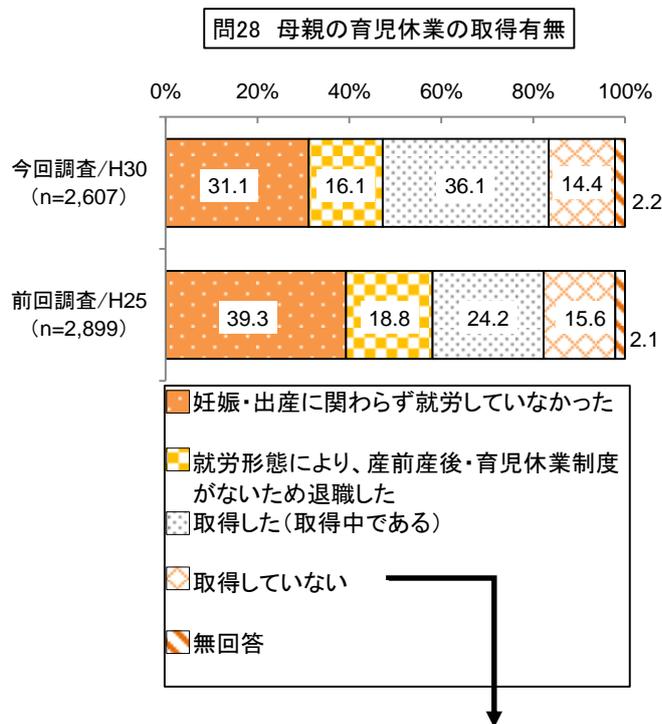


11 育児休業や短時間勤務制など家庭と職場の両立支援制度について

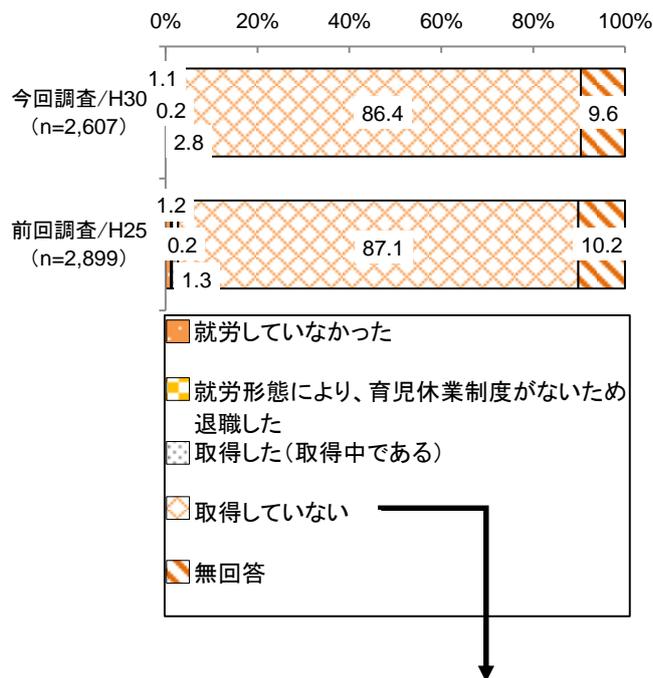
(1) 育児休業の取得状況

○母親は「取得した（取得中である）」が36.1%、父親は「取得していない」が86.4%

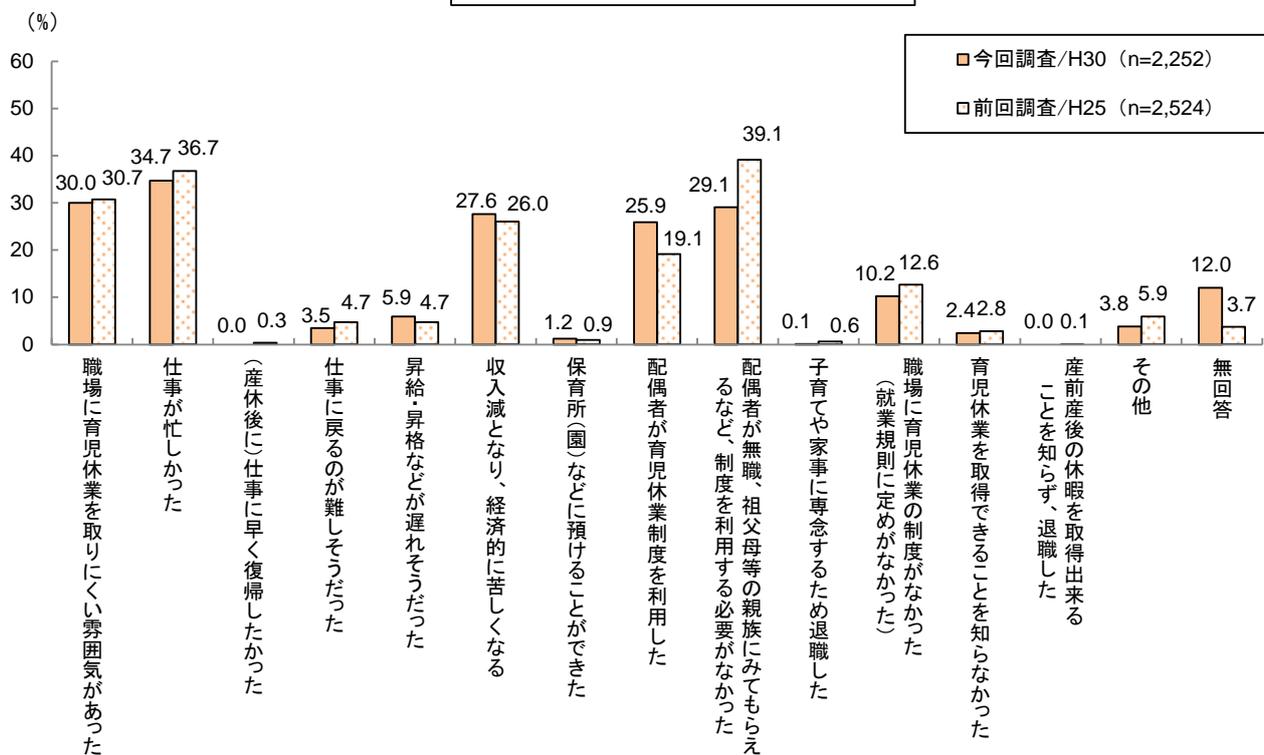
○取得していない理由は、母親が「子育てや家事に専念するため退職した」、父親が「仕事が忙しかった」が最も多い。



問28 父親の育児休業の取得有無



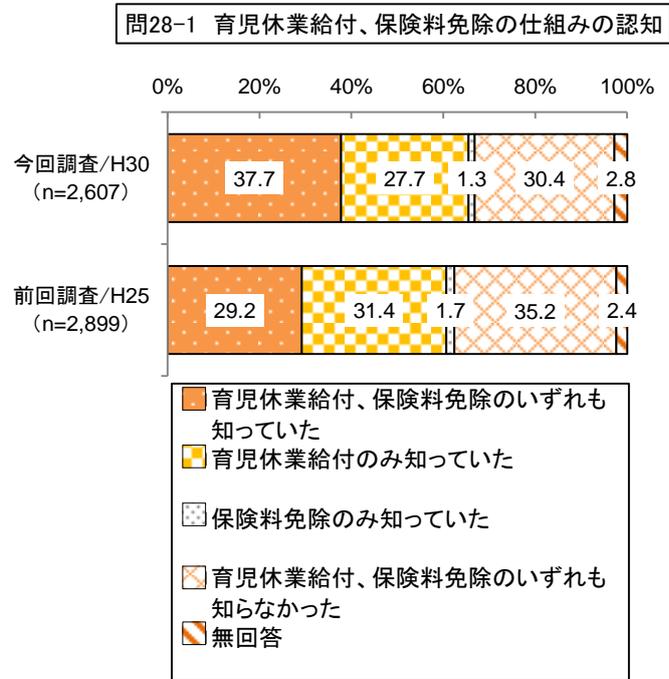
問28 父親が育児休業を取得していない理由



(2) 育児休業給付の仕組みや育児休業期間中の年金保険料の免除の仕組みなどの知識

○仕組みの認知については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が37.7%を占めて最も高い。

○一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が30.4%と3割を超えている。

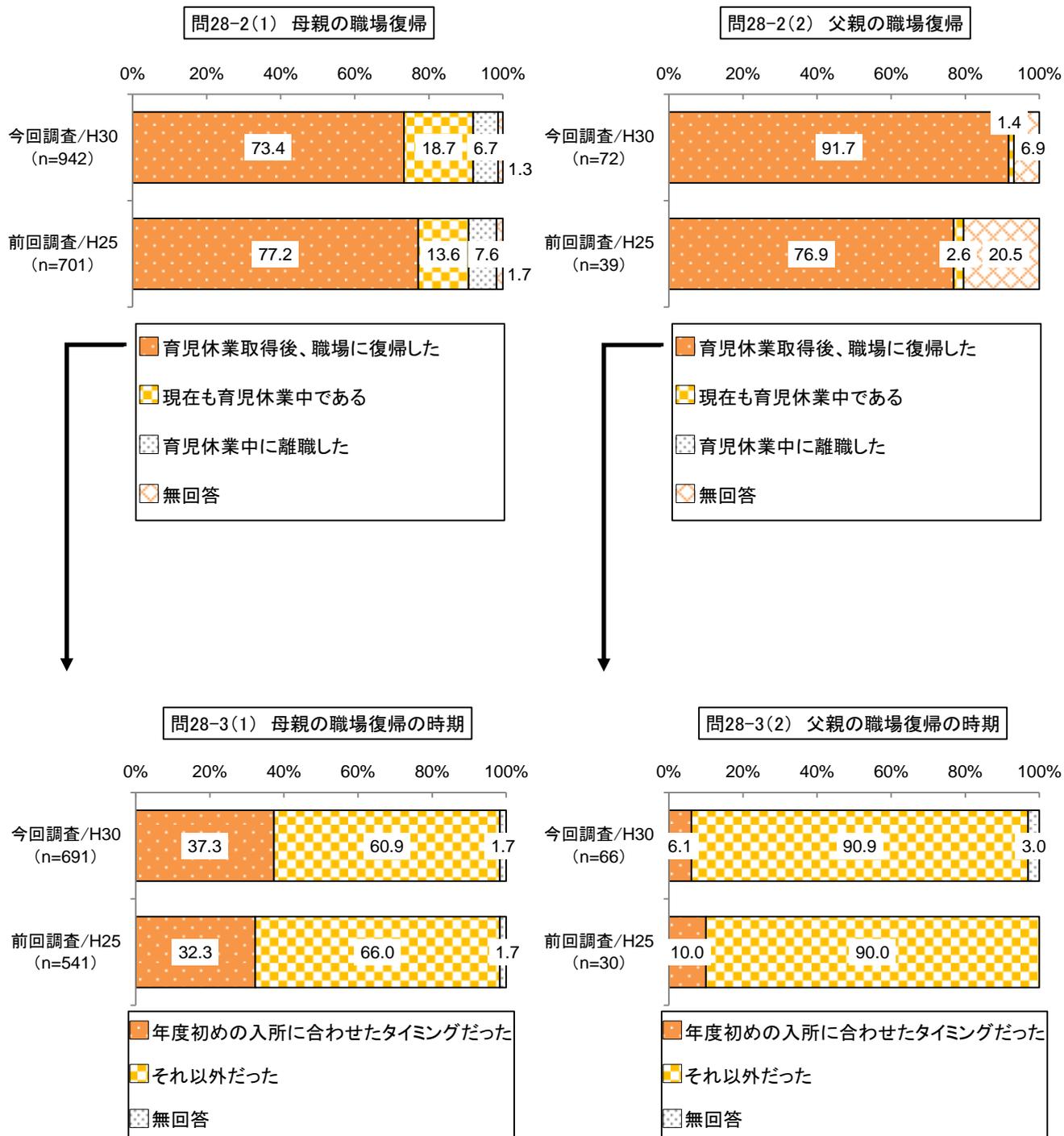


(3) 職場復帰

○育児休業取得後の職場復帰率は、母親が73.4%、父親が91.7%となっている。

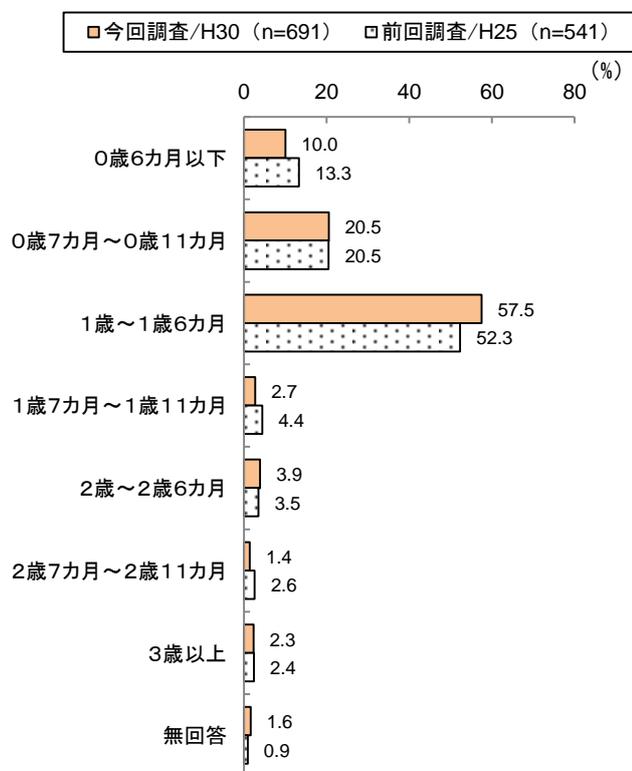
○3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の取得希望時期は、母親が「3歳以上」(40.8%)、父親が「0歳6か月以下」(40.9%)で最も高い。

問28で「取得した(取得中である)」と回答した方

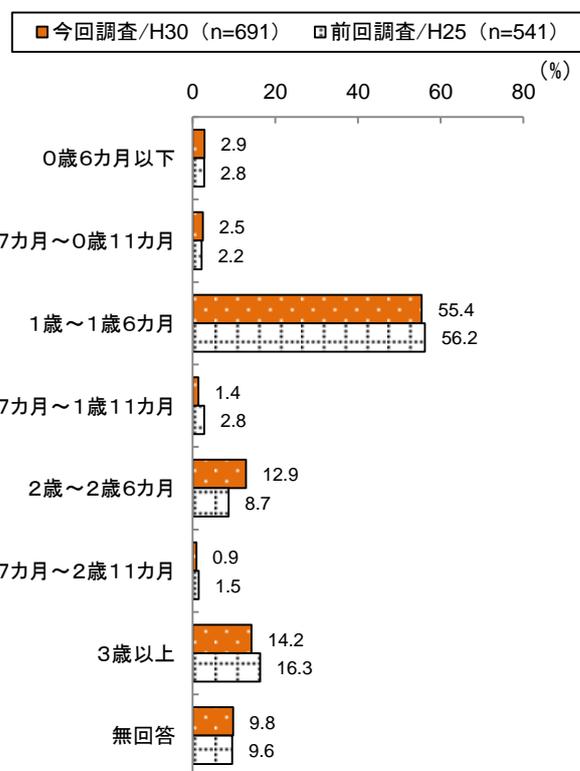


母親の職場復帰の時期

問28-4(1) 実際:育休取得期間



問28-4(1) 希望:育休取得期間



実際の取得期間

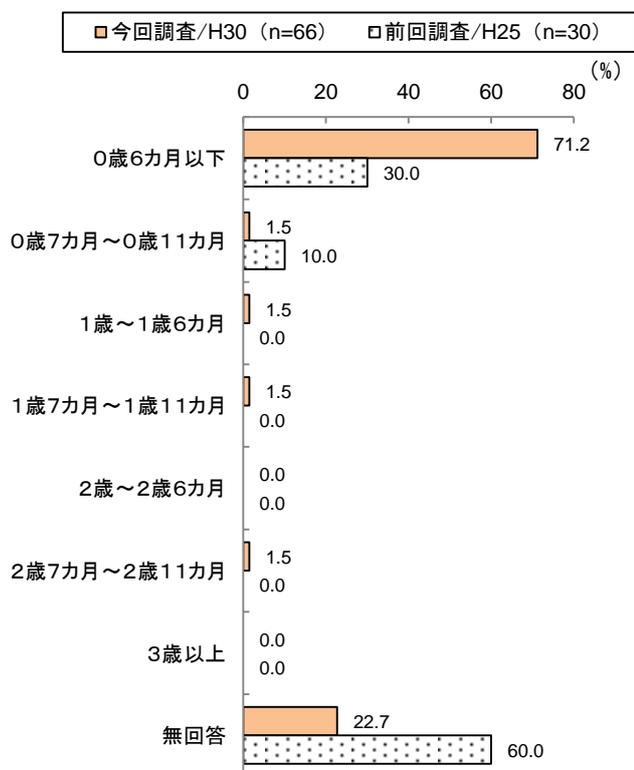
		全体	0歳6か月以下	0歳7か月～0歳11か月	1歳～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月	2歳～2歳6か月	2歳7か月～2歳11か月	3歳以上	無回答
今回調査 (H30)	回答数 (人)	691	69	142	397	19	27	10	16	11
	割合 (%)	100.0	10.0	20.5	57.5	2.7	3.9	1.4	2.3	1.6
前回調査 (H25)	回答数 (人)	541	72	111	283	24	19	14	13	5
	割合 (%)	100.0	13.3	20.5	52.3	4.4	3.5	2.6	2.4	0.9

希望の取得期間

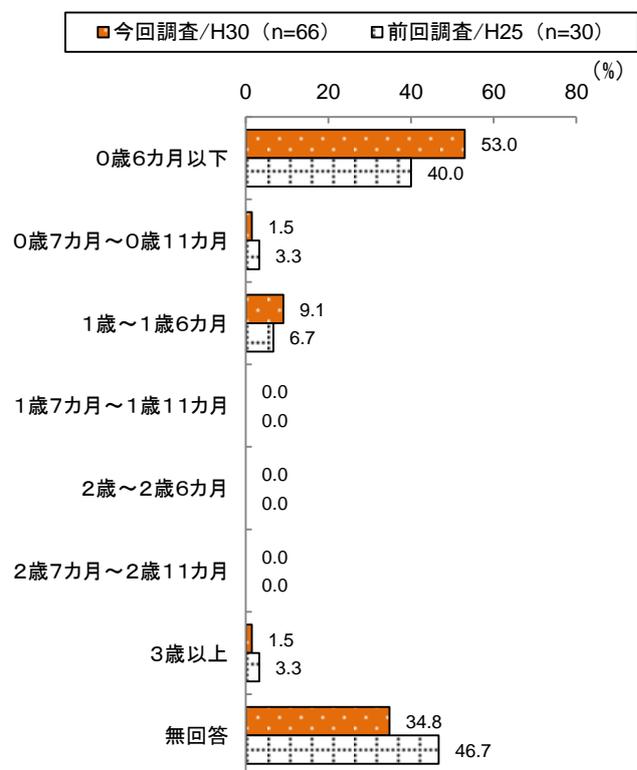
		全体	0歳6か月以下	0歳7か月～0歳11か月	1歳～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月	2歳～2歳6か月	2歳7か月～2歳11か月	3歳以上	無回答
今回調査 (H30)	回答数 (人)	691	20	17	383	10	89	6	98	68
	割合 (%)	100.0	2.9	2.5	55.4	1.4	12.9	0.9	14.2	9.8
前回調査 (H25)	回答数 (人)	541	15	12	304	15	47	8	88	52
	割合 (%)	100.0	2.8	2.2	56.2	2.8	8.7	1.5	16.3	9.6

父親の職場復帰の時期

問28-4(2) 実際:育休取得期間



問28-4(2) 希望:育休取得期間



実際の取得期間

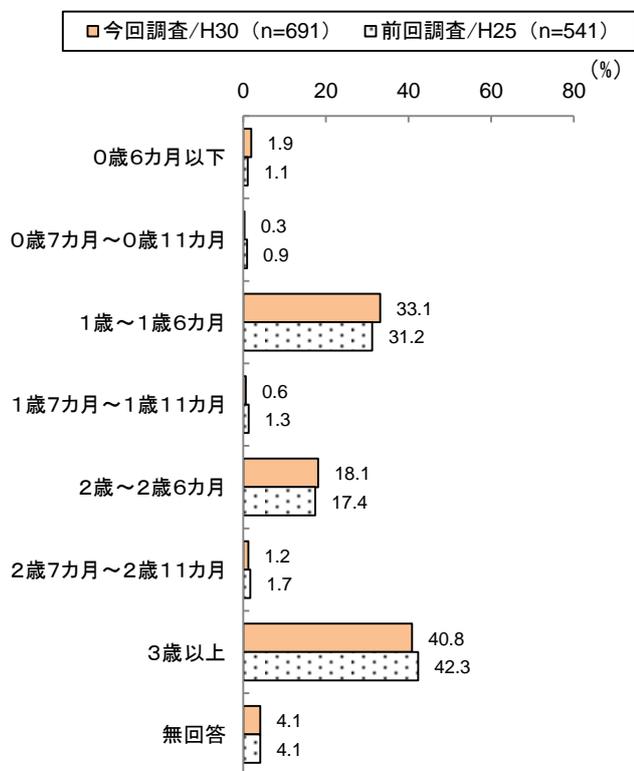
		全 体	0歳6カ月以下	0歳7カ月～0歳11カ月	1歳～1歳6カ月	1歳7カ月～1歳11カ月	2歳～2歳6カ月	2歳7カ月～2歳11カ月	3歳以上	無回答
今回調査 (H30)	回答数 (人)	66	47	1	1	1	0	1	0	15
	割合 (%)	100.0	71.2	1.5	1.5	1.5	0.0	1.5	0.0	22.7
前回調査 (H25)	回答数 (人)	30	9	3	0	0	0	0	0	18
	割合 (%)	100.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

希望の取得期間

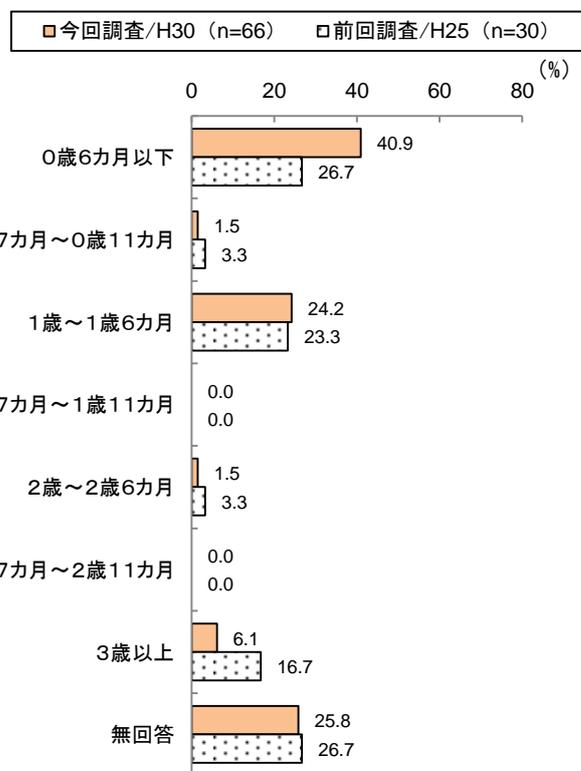
		全 体	0歳6カ月以下	0歳7カ月～0歳11カ月	1歳～1歳6カ月	1歳7カ月～1歳11カ月	2歳～2歳6カ月	2歳7カ月～2歳11カ月	3歳以上	無回答
今回調査 (H30)	回答数 (人)	66	35	1	6	0	0	0	1	23
	割合 (%)	100.0	53.0	1.5	9.1	0.0	0.0	0.0	1.5	34.8
前回調査 (H25)	回答数 (人)	30	12	1	2	0	0	0	1	14
	割合 (%)	100.0	40.0	3.3	6.7	0.0	0.0	0.0	3.3	46.7

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の取得希望時期

問28-5(1) 母親の育休取得希望時期



問28-5(2) 父親の育休取得希望時期



(1) 母親の育休取得希望時期

		全体	0歳6カ月以下	0歳7カ月～0歳11カ月	1歳～1歳6カ月	1歳7カ月～1歳11カ月	2歳～2歳6カ月	2歳7カ月～2歳11カ月	3歳以上	無回答
今回調査 (H30)	回答数 (人)	691	13	2	229	4	125	8	282	28
	割合 (%)	100.0	1.9	0.3	33.1	0.6	18.1	1.2	40.8	4.1
前回調査 (H25)	回答数 (人)	541	6	5	169	7	94	9	229	22
	割合 (%)	100.0	1.1	0.9	31.2	1.3	17.4	1.7	42.3	4.1

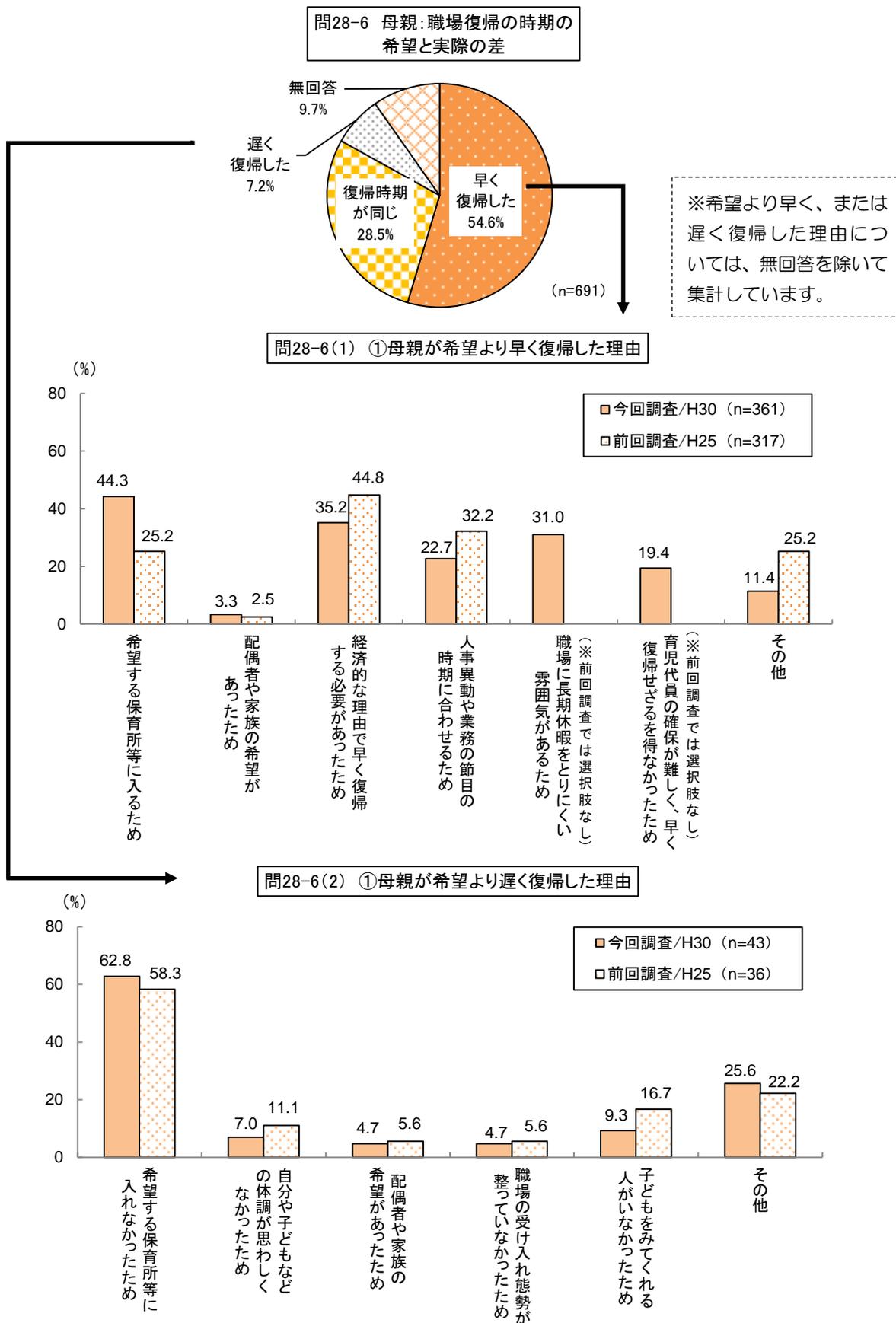
(2) 父親の育休取得希望時期

		全体	0歳6カ月以下	0歳7カ月～0歳11カ月	1歳～1歳6カ月	1歳7カ月～1歳11カ月	2歳～2歳6カ月	2歳7カ月～2歳11カ月	3歳以上	無回答
今回調査 (H30)	回答数 (人)	66	27	1	16	0	1	0	4	17
	割合 (%)	100.0	40.9	1.5	24.2	0.0	1.5	0.0	6.1	25.8
前回調査 (H25)	回答数 (人)	30	8	1	7	0	1	0	5	8
	割合 (%)	100.0	26.7	3.3	23.3	0.0	3.3	0.0	16.7	26.7

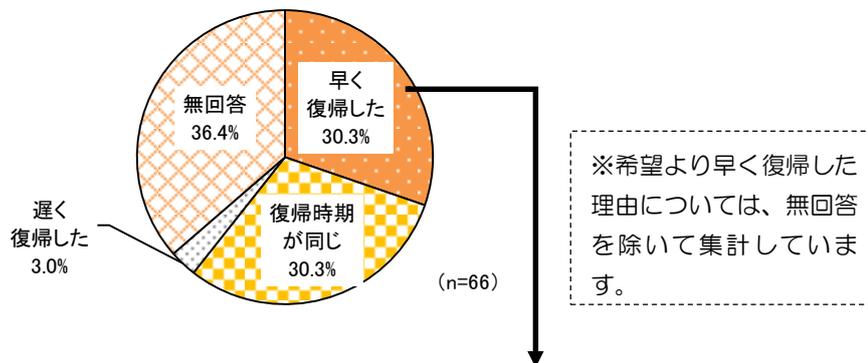
(4) 職場復帰の実際の時期が希望と異なることについて

○母親は希望より「早く復帰した」が過半数を占め、「希望する保育所等に入るため」が主な理由。

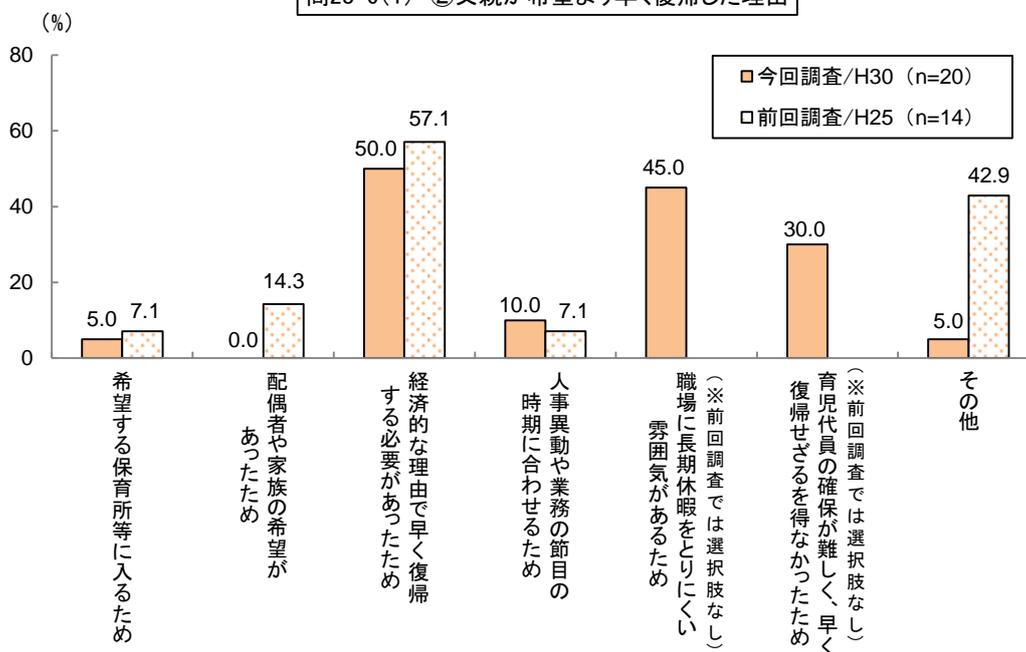
問28-4で「実際の復帰と希望が異なる」方



問28-6 父親：職場復帰の時期の希望と実際の差



問28-6(1) ②父親が希望より早く復帰した理由



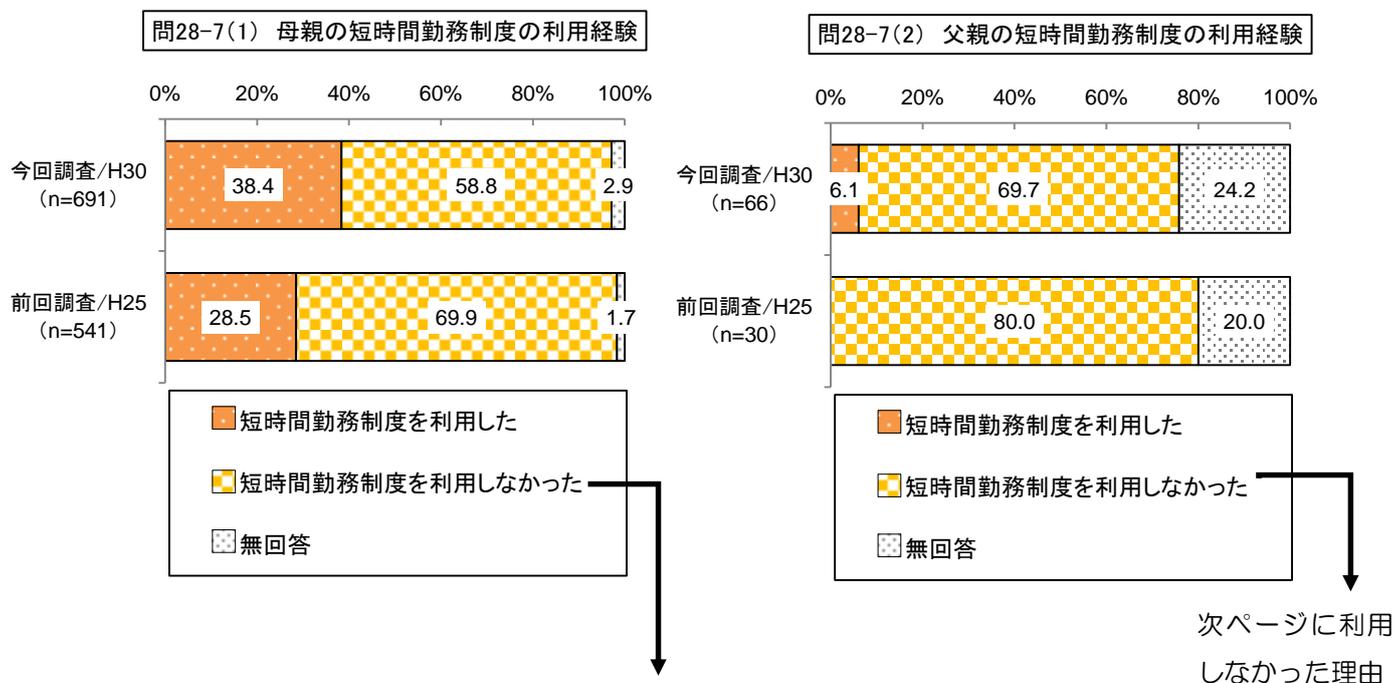
父親の「希望より遅く復帰した」は、今回調査では該当者1人理由は「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」
 前回調査では、該当者なし

(5) 短時間勤務制度の利用

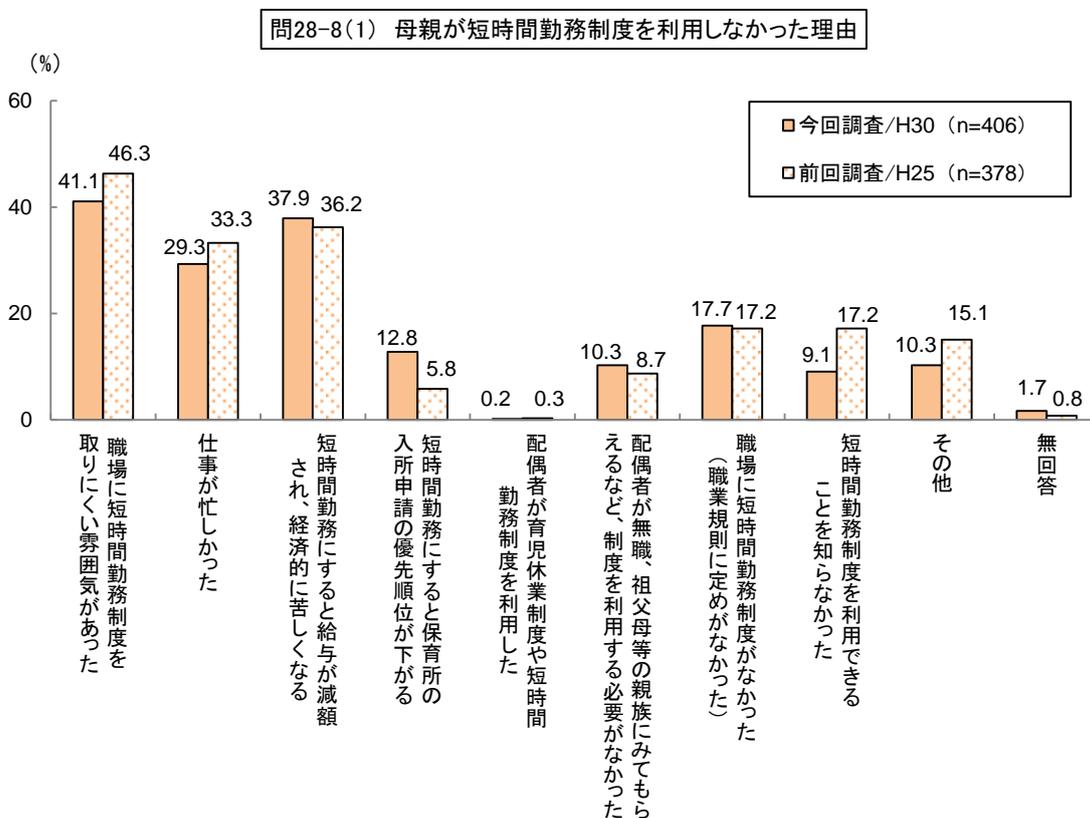
○短時間勤務制度の利用は、母親が38.4%に対し、父親が6.1%と低い。

○利用しなかった理由は、母親は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、父親は、「仕事が忙しかった」が最も多い。

問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方

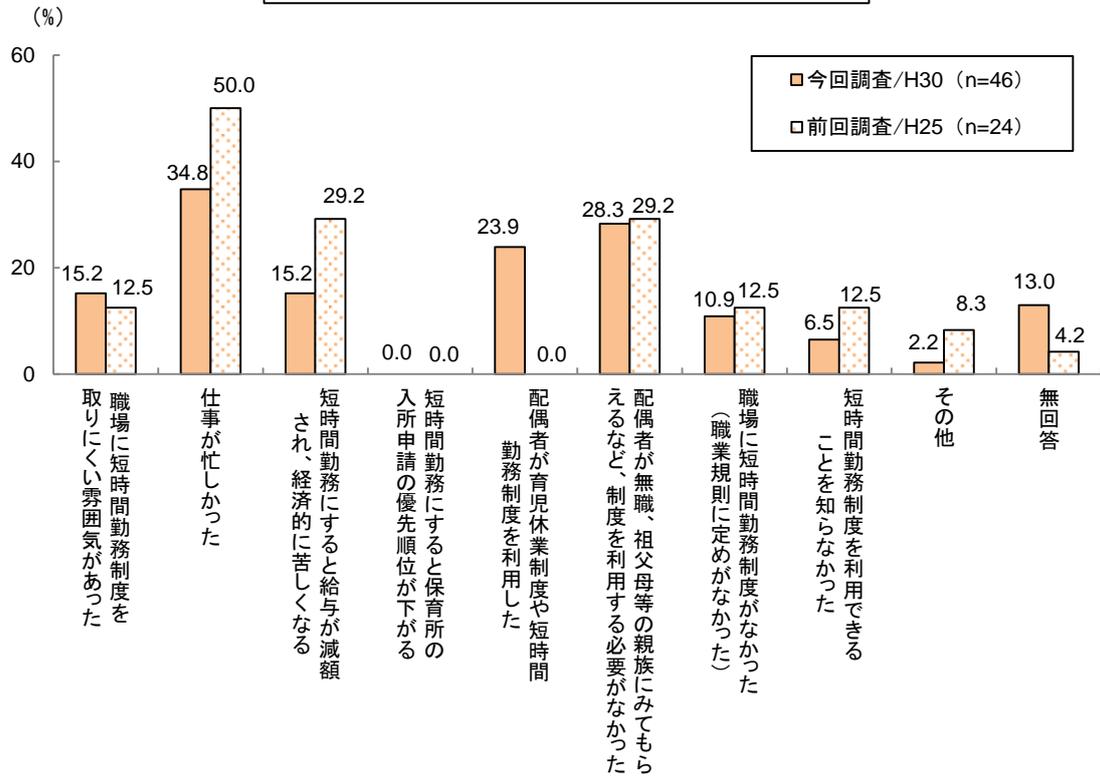


次ページに利用しなかった理由



Ⅱ 就学前児童 調査結果

問28-8(2) 父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由



12 自由意見（就学前児童）

子育ての環境や支援に関する自由意見について、合計 1,209 件の意見が寄せられた。

内容を分類すると、「子育て支援について」が 483 件、「経済的支援について」が 408 件、「環境について」が 130 件、「相談、情報提供について」が 73 件、「子育てと仕事の両立について」が 57 件、「アンケートについて」が 38 件、「市の対応、体制について」が 20 件となっており、代表的な意見を抜粋して掲載している。

大項目	小項目	件数
1. 子育て支援について	①保育所、幼稚園などの保育サービスについて	200
	②放課後児童クラブ、放課後の子どもの居場所について	112
	③病児保育、一時保育について	59
	④子育て支援センター、児童館について	59
	⑤障がいのある子どもへの子育て支援について	15
	⑥ひとり親への支援について	9
	⑦その他のサービス・支援について	29
2. 経済的支援について	①医療費について	236
	②保育料・教育費について	115
	③経済的支援全般について	57
3. 環境について	①育児環境について	50
	②子どもが遊ぶ環境について	42
	③子どもの教育環境について	17
	④施設、道路などハード面での整備について	16
	⑤地域の環境について	5
4. 相談、情報提供について	①情報提供について	47
	②相談・交流の場について	14
	③子育ての不安と相談について	12
5. 子育てと仕事の両立について		57
6. アンケートについて		38
7. 市の対応、体制について		20
合 計		1,209

主な意見

1. 子育て支援について

① 保育所、幼稚園などの保育サービスについて

1	復帰する際きちんと預ってもらえるのか不安。保育士の待遇を改善して、保育環境の充実を図ってほしい。安心して預けられる場がないと、第2、第3・・・と次の子どもを考えていけない。
2	保育園の空きがない。充実させて欲しい。
3	フルタイムでなくパートで働きたいが、それでは、なかなか保育園などの申請が厳しかったりするので、保育事業をもっと増やしてほしい。働きたくても預け先がないのが現状。
4	認定こども園や保育所施設がもう少し増えるか、人数を多くしてほしい。
5	保育園の子育て支援センターは毎日利用している。安全に子どもを遊ばせられるので、なくてはならない場所である。
6	保育園などに入園したい場合、就労をしていないと入れない仕組みを変えてほしい。
7	希望の保育園等に入れるようにしてもらいたい。
8	保育園も制服を作ってほしい。（4才から着用）又、年長のお昼寝をなくしてほしい。
9	勤務時間に合わせて保育、教育をしてもらえると安心して働く事ができる。こども園の中途入園の可否の決定をもっと早く知りたい。
10	保育園の数が少なく入園することが難しい。社会に復帰できるような環境や支援があれば、もっと女性も社会に貢献できると思う。
11	一時預かりについて“所在地の市町村に在住していること”、という縛りをなくしてほしい。里帰り出産や一時的に祖父母宅等へ移動している場合、近所の施設を利用できないため。
12	保育所を増やして、親が働きやすい環境を整えてほしい。
13	休日保育所を増やしてほしい。土、日、祝日の時間延長を希望。
14	待機児童が出ない様に保育施設をもっと増やして欲しい。

②放課後児童クラブ、放課後の子どもの居場所について

1	小学校の児童クラブ（放課後・午前保育時、長期休暇等）を単発的に、より気軽に利用できるようにしてほしい。
2	児童クラブは祝日も開けてほしい。（仕事のため）格安塾を作ってほしい。
3	放課後児童クラブに、延長利用ができる制度がすべてのクラブで、できたら助かる。また、高学年になった時に時間を過ごせる公的なクラブ（運動や学習の）があれば利用したいと思う。
4	放課後児童クラブの利用時間延長。
5	小学校の児童クラブを利用したくても、短時間のパートでは預かってもらえないので、労働時間に関係なく見てもらえると助かる。
6	児童クラブについて、夏季、冬季長期間休暇の際は、給食弁当の制度があってほしい。
7	両親とも働いているため、学校終了時から夕方まで見てくれる、放課後児童クラブの入所数を増やしてほしい。給食もあれば助かる。
8	児童クラブ（民間が運営しているクラブ）にも補助金が出るようになってほしい。金額の差が大きいように思う。

9	私達の校区の学校は小学3年生までしか児童クラブで見てくれない。小学6年生まで見てくれるところもあるようなので6年生まで利用できるようにしてほしい。子どもだけで家にいるのも心配。
10	小学校低学年でも、長期休み（夏休み、冬休み、春休み）だけの学童の利用が、できるようになってほしい。
11	学童の時間が短いため、保育園後の預け先がなく困ることが多い。延長分や利用料金は利用時間によって増えても構わないので、利用できる環境を作ってほしい。

③病児保育、一時保育について

1	放課後の預かり（小学校）、病児保育の体制がいつでも必ず利用できるようにならないと、フルタイム勤務が難しい。
2	病児専門の機関を作ってほしい。子どもが病気でも祖父母などを頼らず、安心して預けて仕事ができる環境がほしい。病児保育だけでは足りていない。
3	病児保育の利用額を無料にしてほしい。
4	病児・病後児保育の実施施設を増やしてほしい。（申請等、利用料等分からないので市で公表してほしい）
5	病児・病後児保育について、利用できる事業所が少ないと思う。受付時間が遅いので仕事の業務時間に間に合わない。前日予約や受付時間がもう少し早いと助かる。
6	どこの保育園でも病児保育があるといい。日曜、祝日などでも子どもを見てもらえるようになるといい。
7	松山市の子育て支援の制度をたくさん利用している。一時預かりが月に16日以上利用できるようになると、とてもありがたい。

④子育て支援センター、児童館について

1	児童館のおもちゃが使いにくい。県外では自由に使える。いちいち貸出制（1人1つ）は面倒。何回も行き来して親が休めない。
2	大きな公園や児童館の場所が偏っているので、松山市全体にあるようにしてほしい。
3	児童館の数、図書館の数を増やしてほしい。
4	公民館でも子育て支援が受けられたらよいと思う。
5	児童館の利用スペースについて、年齢を分けてほしい。
6	子育て支援センターは、土曜も利用出来るとありがたい。（家の近所に子育て支援センターが近いので利用する事が多いため）
7	児童館、公園等それなりの数あるとは思いますが、どこも駐車場が少ない。児童館自体も小さい。もう少し人が入れるようにしてほしい。

⑤障がいのある子どもへの子育て支援について

1	もう少し障がい児の支援や相談できる場所等が増えてほしい。
2	発達障がい児のための小学校や中学校があると助かる。

⑥ひとり親への支援について

1	母子家庭で、松山市の支援をたくさん受けられ助かっています。
2	習い事をしながら、仕事が終わるまで預かってもらえる嬉しい。母子家庭なので、他の家のように、子どもの希望通りには習い事をさせてあげることができない。金銭的、時間的にも足りない。

⑦その他のサービス・支援について

1	子ども食堂や子ども用宅配弁当などあるといいと思う。
2	家事サポートに関する整備をしてもらえたら大変助かる。
3	外国人の親の場合の支援が必要。
4	子どもが多い世帯に対する支援の充実。

2. 経済的支援について

①医療費について

1	乳幼児の医療費免除の期間を小学校卒業まで延長を希望する。
2	小学生も病気になる事も多く医療費がかかる。他の地域では無料なのに、どうして松山市はお金がかかるのか？
3	小学生の医療費を、入院だけではなく通院だけでも無料にしてほしい。
4	医療費無料を6歳までではなく、せめて小学2年生くらいまでにしてほしい。小学校に慣れるまでよく体調を崩し、医療費がかかった。
5	保育料の無料化よりも医療費の無償化への取組みを早急にしてもらいたい。
6	義務教育の間は医療費を無料にしてほしい。
7	小学生の間は病院代を無料にしてもらいたい。今頃の子どもは花粉症の子も多く、薬代が高い。
8	治療によるメガネ購入の負担を小学生・中学生にも適用してもらいたい。小・中学生の医療費の無料化または、1割負担を実現してもらいたい。
9	歯医者にかかる医療費の免除があれば助かる。
10	松山市も中学生まで医療費負担を軽減してほしい。無料！！とまでは言わない。1割せめて2割負担に。
11	子どもにアレルギーやアトピーがあるため、無料で医療機関にかかれる期間を長くしてほしい。自己負担だと金銭的に苦しいため、定期的に病院にかかれるか不安がある。
12	子どもの医療費を18才まで無料（負担なし）にしていきたい。小学生くらいが一番病気をするので、少なくとも小学生の間は負担なしがいい。
13	小学生になると医療費の負担が出てくるので、アレルギーや眼科等定期的に受診する事が経済的に負担になる。
14	不妊治療を経て子どもを授かり、現在2人目不妊で不妊治療をしている。子育て環境や支援も大切だが、不妊治療にも本当にお金がかかる。補助金申請の回数や金額をもう少し増してもらえたら嬉しい。

②保育料・教育費について

1	保育料を安くしてほしい。
---	--------------

2	保育料免除は所得に限らず受けられるようにしてほしい。児童手当も平等に受けられるようにしてほしい。
3	幼稚園無償化、乳幼児受給者証の年齢制限を小学校終了までとしてほしい。
4	教育にかかるお金が想像以上に多く、家計を圧迫している。子どもが子どもでいる間に、もっと家族で過ごす時間を持ちたい。子育てが楽しくあるために、支援の充実を願う。
5	保育料が高い。幼稚園の方が安いのに教育がいい。保育園も幼稚園と同じ教育をしてほしい。
6	収入を総支給額で見るとはならず手取りの額で保育料など決めてほしい。働けば働くほど保育料が高くなり貯金などする余裕はない。
7	生活のために共働きしているので、幼稚園・保育園の平等化に向けて取り組んでほしい。働いても保育料が家賃並だと何のために働いているのか分からない。
8	幼児教育、保育無償化が正式に決定してほしい。
9	幼稚園の長期の休みの時に、預ける金額が高い。幼稚園によって金額が全然違うのに驚いた。夏休みに保育料を取るのに納得出来ない。
10	もっと第3子を優遇してほしい。保育料がみんな無料になると少し残念。頑張って3人目を作ったよかったですと思えるようにしてほしい。働く女性ばかり支援されている感じがする。

③経済的支援全般について

1	オムツ券以外にも、日々の子育てにかかる費用を支援して欲しい。出産時の祝い金など出して欲しい。
2	多子世帯に対しての子どもに関する手当を、もう少し充実（医療など）してもらえると助かります。
3	母子家庭の教育費、住居、食費などの減額や手当などを、もう少し増やしてほしい。共働きなどの家庭より収入が減っているのに対して少ないと思います。
4	1人目から、オムツの補助金を出してもらいたい。
5	子育ての支援をもう少し充実させてほしい。（医療費など）育休手当が入るのが遅すぎる。
6	幼児教育、保育無償化の件で小さい間の無償化ではなく、児童手当などで子育て世代を助けてほしい。
7	少しでも金額の面や制度が潤おうと、子ども達の将来の選択肢が増えると思うので、そうなることが来ることを願っています。

3. 環境について

①育児環境について

1	子育てしやすい環境作りをしてほしい。子どもにかかるお金が思った以上にかかっているため、援助などがあればと思う。専業主婦にもリフレッシュがほしい。
2	小学校に上がると学校行事が多過ぎると感じる。保育園よりも、小学校に上がったからの方が、親の負担が増える。午前中授業や振替え休日も多いと思う。
3	教育、保育環境、施設など地域によって、格差があり不満に思う事が多々ある。
4	本当に困っているワンオペ育児の方にこそ、支援をしていただきたい。
5	実家が遠方の核家族やシングルマザー（ファザー）家庭が、相互に助け合いながら孤立せずに生活できるよう、プライバシーを保ちつつ共同生活できる場があるとよいと思う。

6	父親の育休が取りやすくなる制度。
7	もっと職場で休みを取りやすい雰囲気になるように何か決まりを作してほしい。

②子どもが遊ぶ環境について

1	未就園児が参加できる、赤ちゃんひろばのような同年代の集まりを増やしてほしい。
2	松山市にはえひめこどもの城のような、大きな子どもが遊べる施設が少なく感じる。民間企業と連携して、そのような場所を増やしてほしい。
3	親子が参加しやすいイベントや場所を、もっと増やしてほしい。
4	今回の天災などの際、子どもの環境（遊べる、復興のために昼間預ける）等は備えを考えてほしい。
5	公園をもっと作ってほしい。公園に遊具があれば遊びやすい。ボールが使えるとより嬉しい。

③子どもの教育環境について

1	習い事をさせたいが、値段が高い。市や県主催で土日に習わせられる事業を行ってほしい。
2	小学校にウォーターサーバーを設置してほしい。

④施設、道路などハード面での整備について

1	狭い道には、歩道を作ってもらいたい。
2	公共、交通機関の充実を希望。

⑤地域の環境について

1	子どもも親も、元気に明るく生きられるような環境作りに期待。
2	小学生の登下校の道について、狭い道でもスピードを出して走っている車や、低学年の子ども達が1人で下校している姿を見る。不審者も多くなってきているので、安心して預けられる環境になれば嬉しい。

4. 相談、情報提供について

①情報提供について

1	保育園や幼稚園などの案内がほしい。分からない事が多いため。
2	初めての支援事業や制度を利用する際は不安要素がたくさんあるので、もっと情報がほしい。
3	子ども関係の情報があまり分からないので、HPなどで案内してくれるとありがたい。
4	知らない制度がたくさんあるので、パンフなどあれば、もっと配布してほしい。
5	様々な支援・サービスがあるのであれば、分かりやすい情報発信をお願いします。

②相談・交流の場について

1	地域の交流の場がもう少しあればいいと思う。
2	県外から結婚等で移住し、近くに友人、知人、親せき等がない。主に母親が育児をしている人向けに、交流の場や情報交換の場がほしい。

③子育ての不安と相談について

1	私は病気のために、子どもの預け先や復職に苦労した。そういった相談に乗ってもらえるところがあるとよかったと思う。
2	子育てについて気軽に相談できたりすることができたらいいと思う。

5. 子育てと仕事の両立について

1	楽しく育児をさせてもらっている。育児休暇があって良かった。
2	育休がないため退職した。どの職場にも復帰できるようにしてほしい。
3	職場に保育施設があると働く時間の柔軟性が高まる。
4	子育て中心で仕事や生活ができるようになればいいと思う。少しでもいろいろな負担が減るように、親と子どもが少しでも不安な思いが減るようになればいい。
5	まだまだ仕事家庭の両立が難しい社会なのだと日々痛感する毎日。
6	短時間勤務制度を利用したが、まだまだ取りにくい雰囲気がある。幼い子どもを育てながら安心して仕事に取り組める会社になってほしい。
7	どの職場でも、当たり前（周りに気を遣わなくてよい）産休・育休（母・父共）が取れる世の中になって欲しい。

6. アンケートについて

1	質問が長いうえに分かりにくいのではないかと。このアンケートが、本当に行政に反映されるのか疑問である。
2	質問が長く、回答に時間がかかる。的確な回答が集約できるかどうか疑問が残る。
3	宛名の子どもの年齢により質問を変えてほしい。0歳の子に対して答えづらいところがあった。
4	アンケートが長いのでネットで入力できる方が良いと思う。返信用封筒が小さすぎる。
5	もう少し分かりやすく、短時間で記入できるアンケート等であれば助かる。

7. 市の対応、体制について

1	色々な制度を全国で統一してほしい。県や市町村で変わってくるのは困る。
2	子どもに関する制度など知らない事が多いので、誰でも調べなくても分かるような対応をしてほしい。

Ⅲ

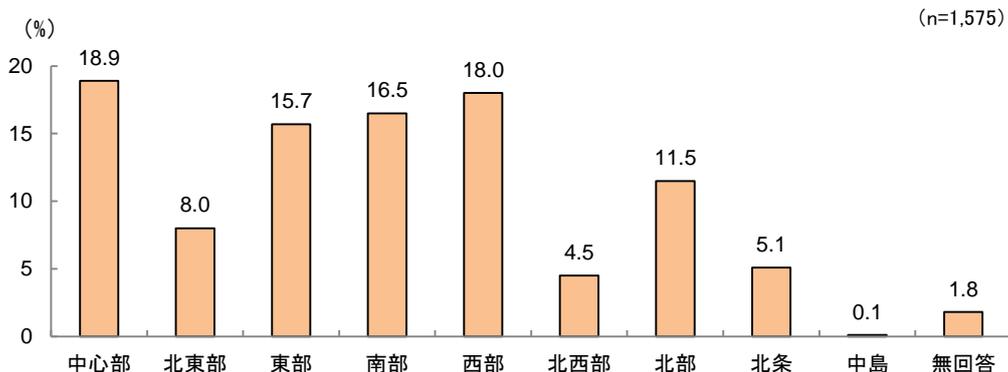
小学生 調査結果

1 住まいの地域と家族の状況について

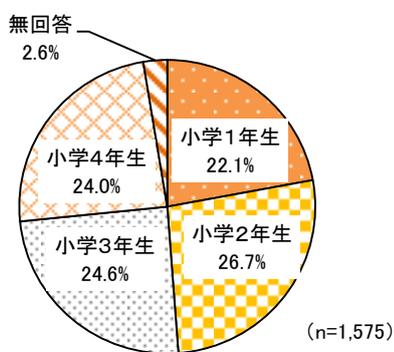
○子どもの人数は「2人」(51.0%)、「3人」(27.6%)、「1人」(15.2%)の順に高い。

○主に子育てを行っているのは「主に母親」が49.5%、「父母ともに」が47.8%

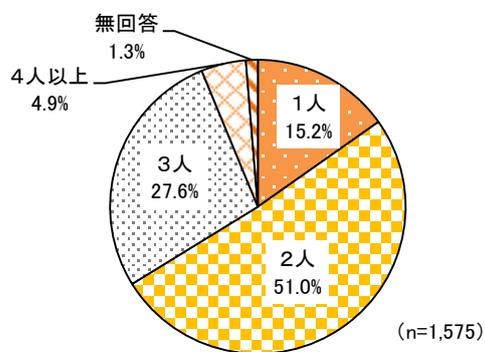
問1 居住圏域(地区名統合)



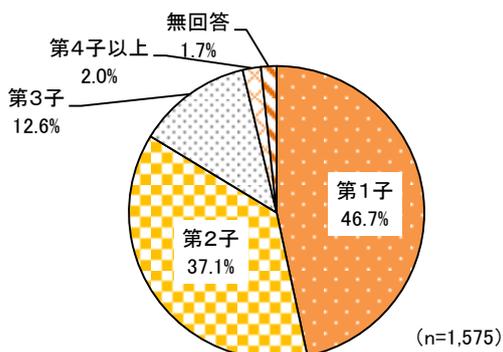
問2 対象の子どもの学年(生年月)



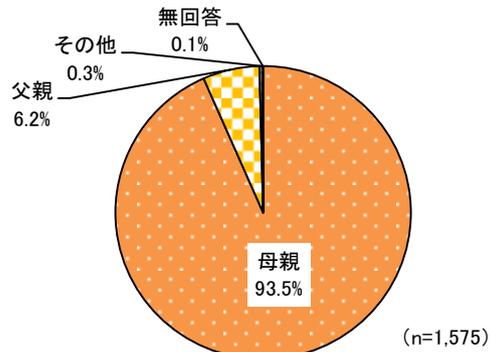
問2 子どもの人数



問2 何人目の子ども



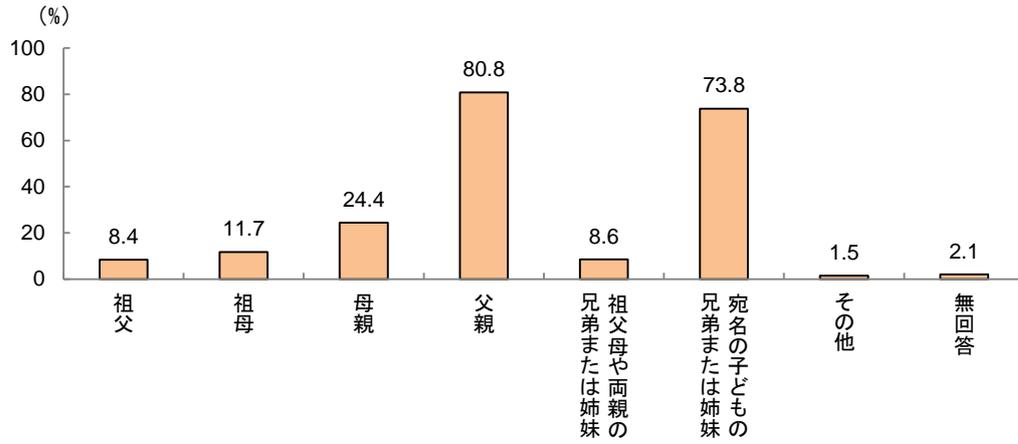
問3 回答者



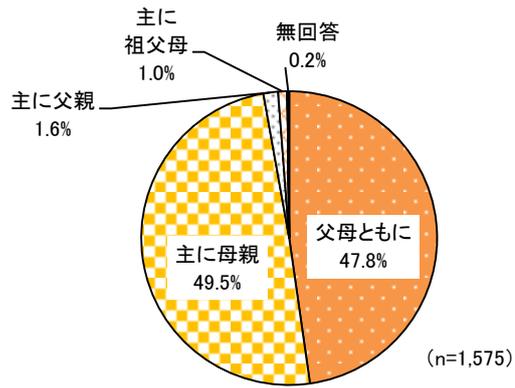
Ⅲ 小学生 調査結果

問4 回答者以外の同居者

(n=1,575)



問5 主に子育てしている人

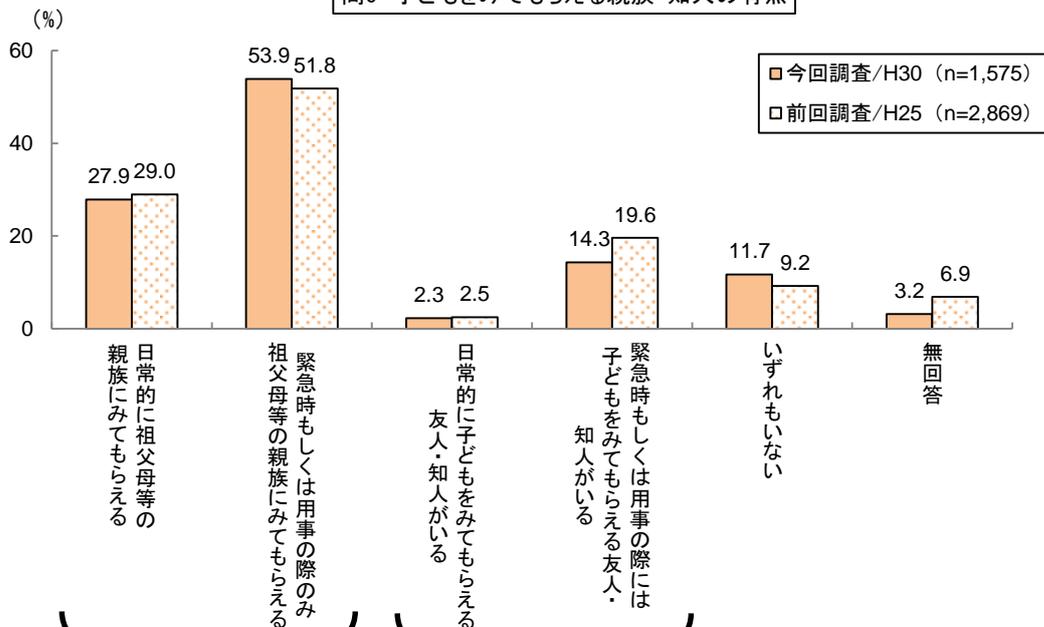


(n=1,575)

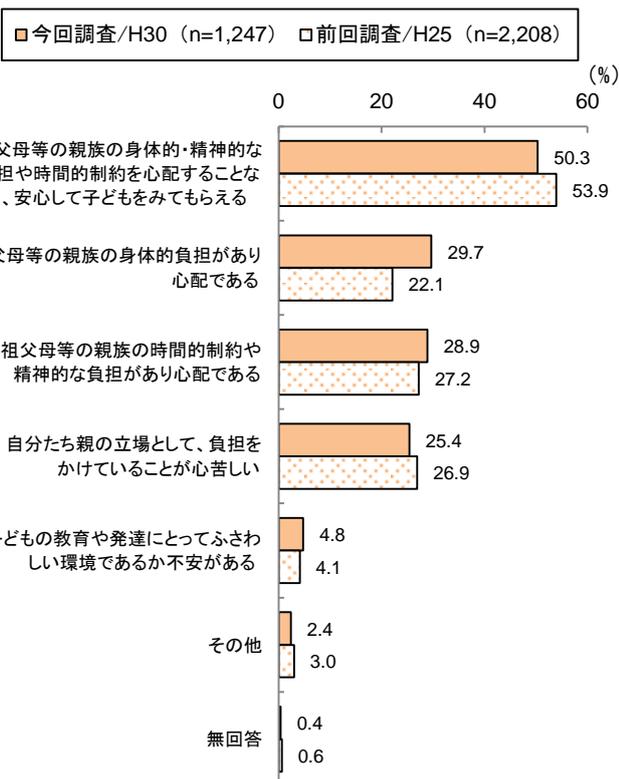
2 子どもの育ちをめぐる環境について

- 祖父母、友人、知人に「安心して子どもをみてもらえる」割合は約5割を占めて最も多い。
- 相談できる人・場所が「いる／ある」人は86.7%と前回より6.7ポイント増加している。
- 主な相談先は「祖父母等の親族」、「友人や知人」で全体の約8割を占める。

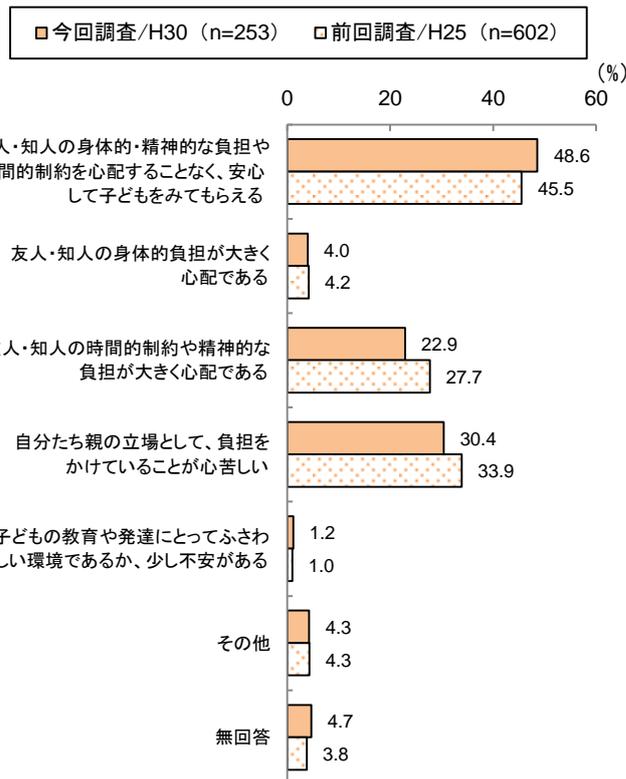
問6 子どもをみてもらえる親族・知人の有無



問6-1 祖父母等の親族にみてもらっている状況

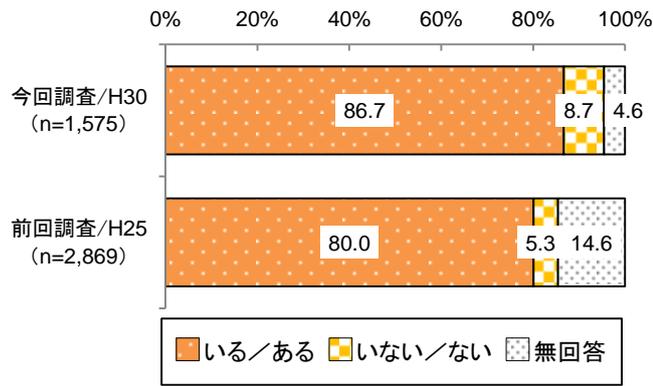


問6-2 友人・知人にみてもらっている状況

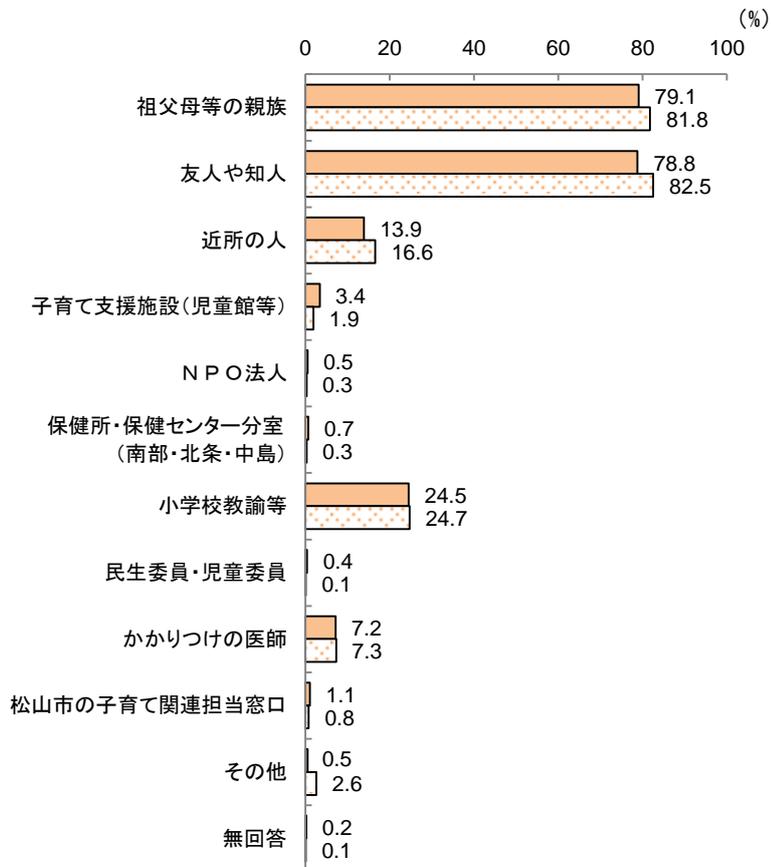
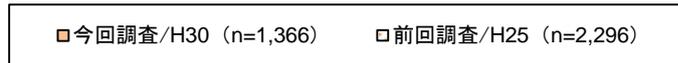


Ⅲ 小学生 調査結果

問7 子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無



問7-1 子育てについての相談先

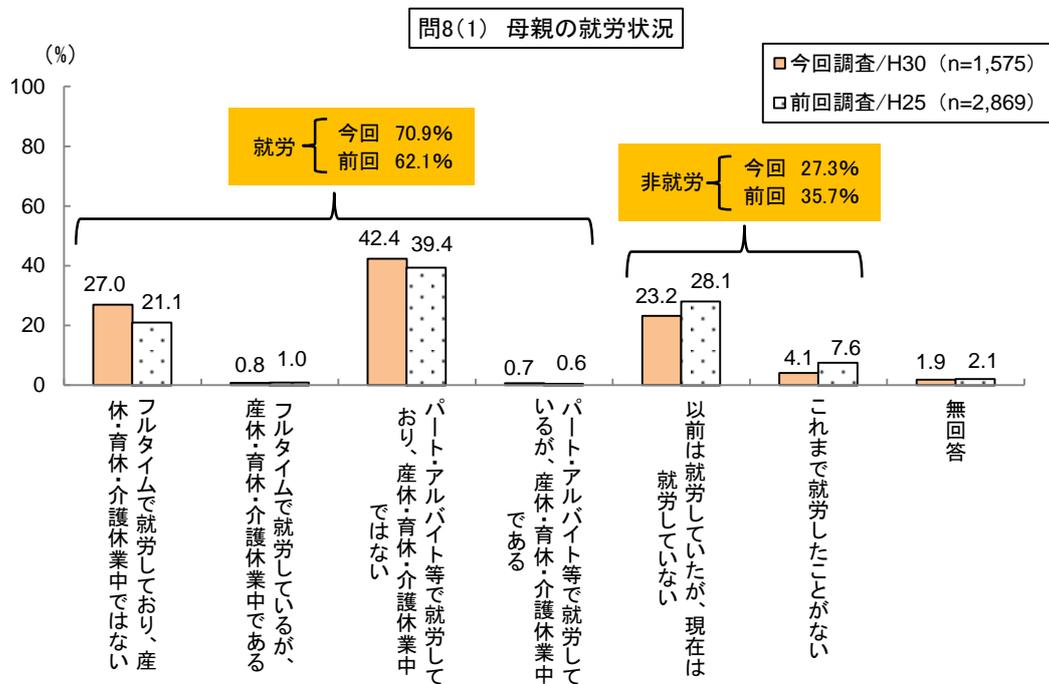


3 保護者の就労状況について

(1) 母親・父親の就労の状況

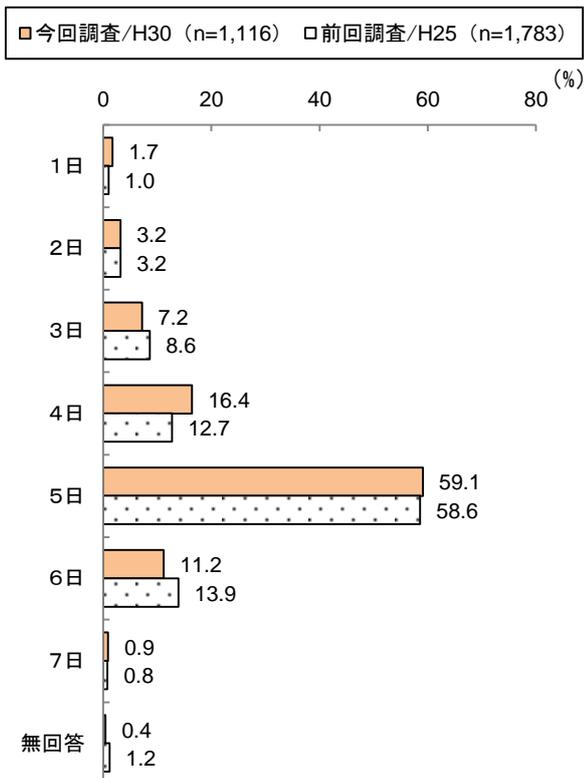
○母親の就労割合は70.9%で、前回より8.8ポイント上回っている。

○母親の1日当たりの就労時間は、前は「5～6時間」、今回は「7～8時間」が最も高い。

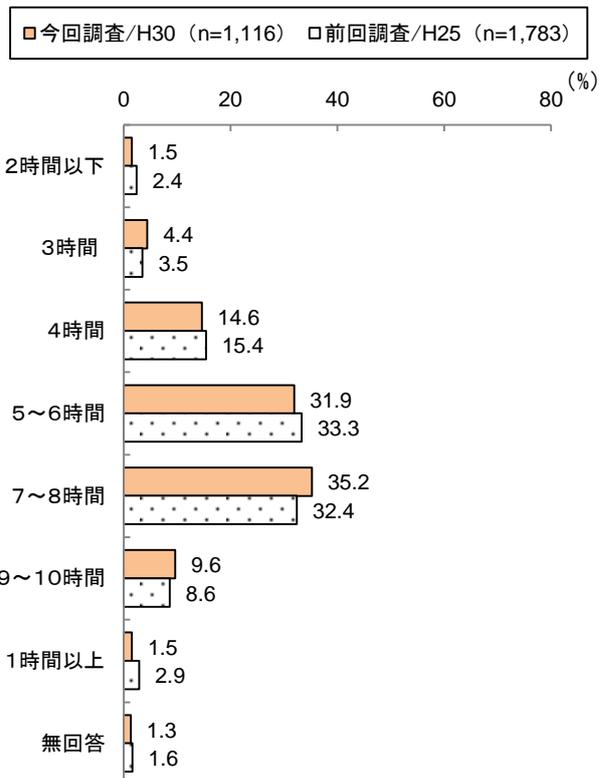


《就労している方》

問8(1)-1 母親：1週当たりの就労日数



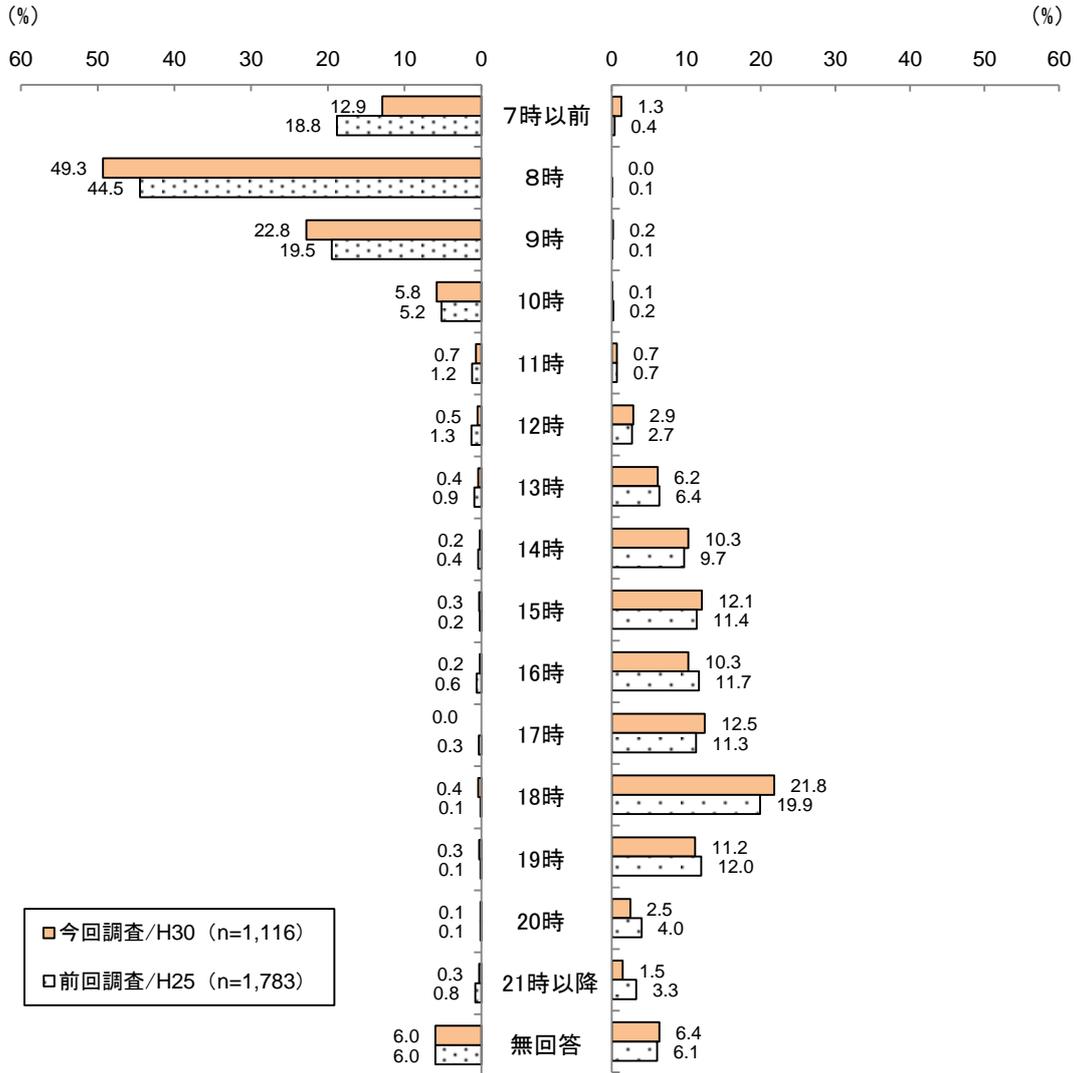
問8(1)-1 母親：1日当たりの就労時間



Ⅲ 小学生 調査結果

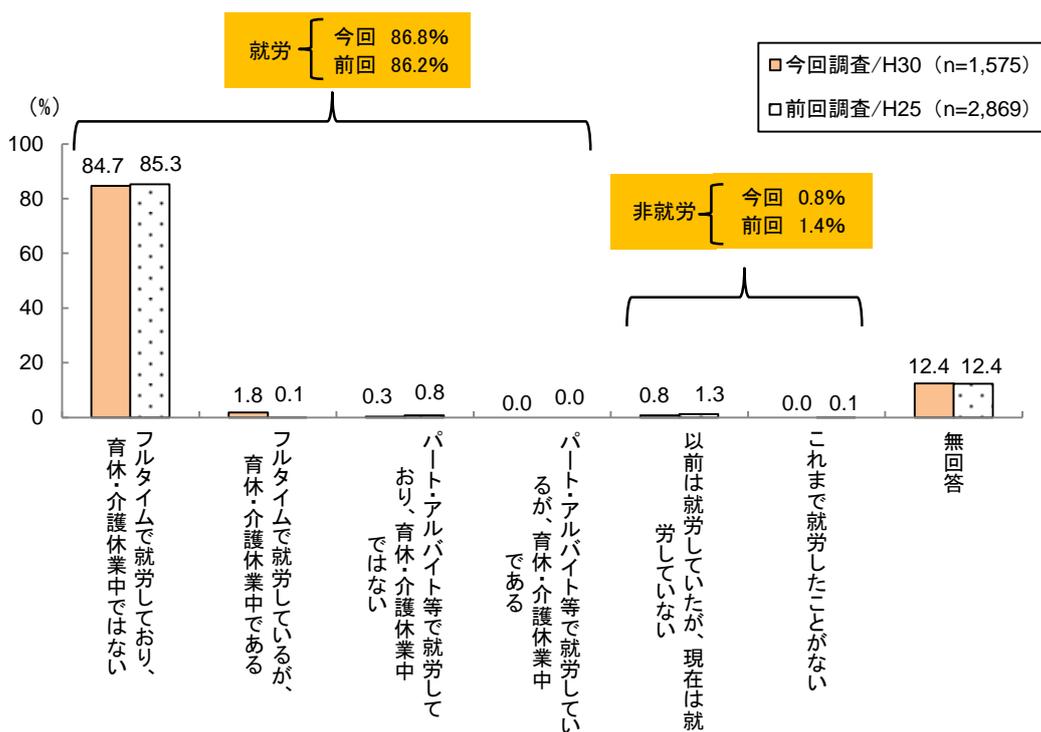
問8(1)-2 母親:家を出る時刻

問8(1)-2 母親:帰宅時刻



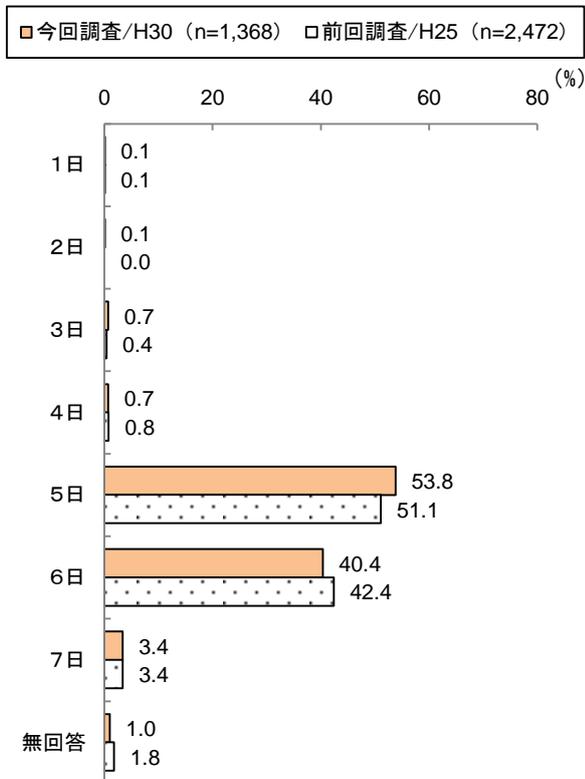
Ⅲ 小学生 調査結果

問8(2) 父親の就労状況

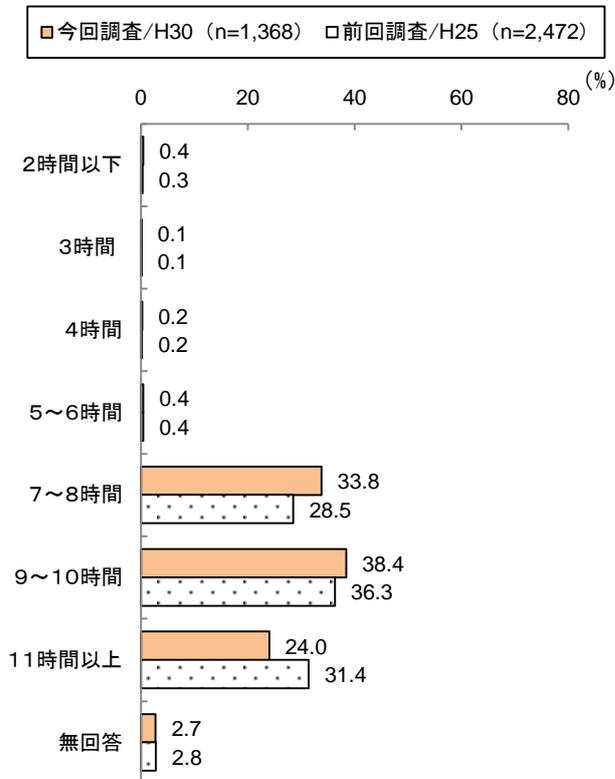


《就労している方》

問8(2)-1 父親: 1週当たりの就労日数



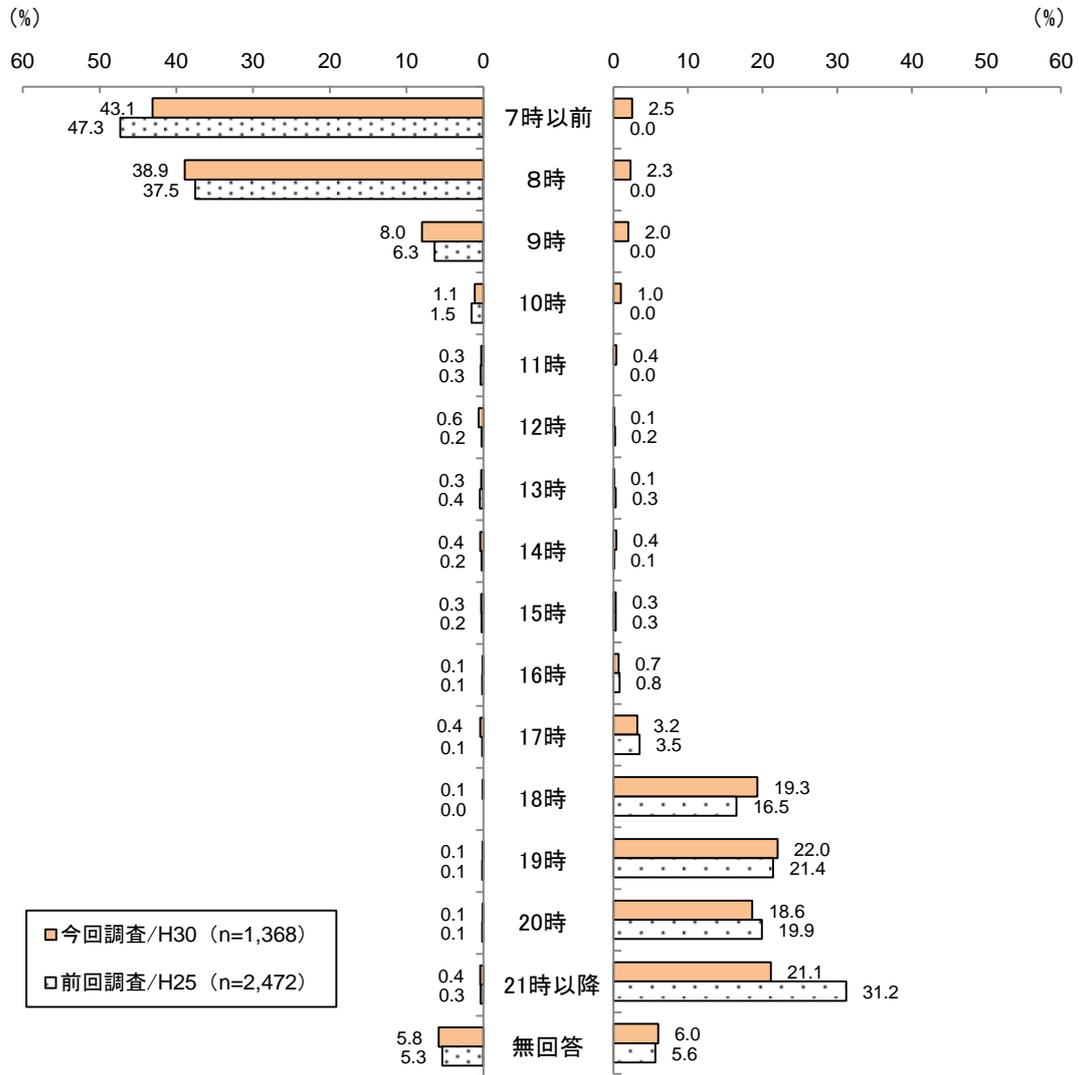
問8(2)-1 父親: 1日当たりの就労時間



Ⅲ 小学生 調査結果

問8(2)-2 父親：家を出る時刻

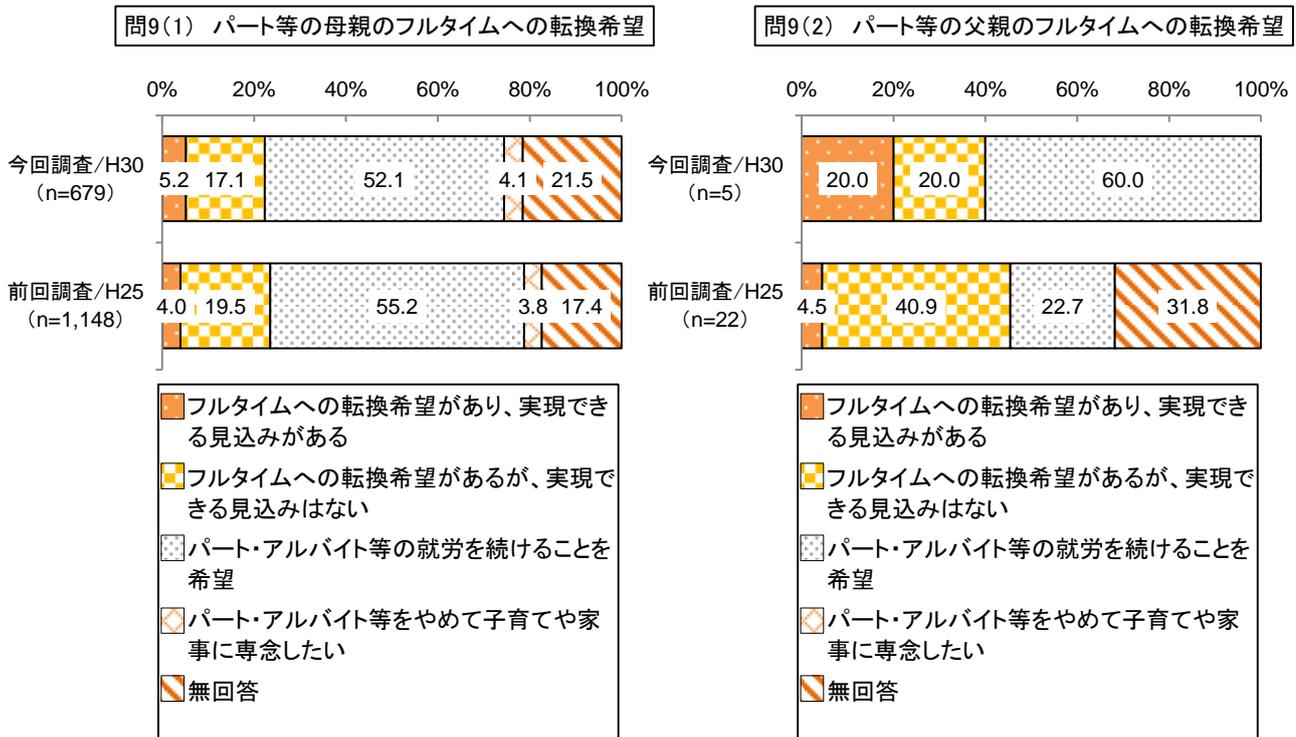
問8(2)-2 父親：帰宅時刻



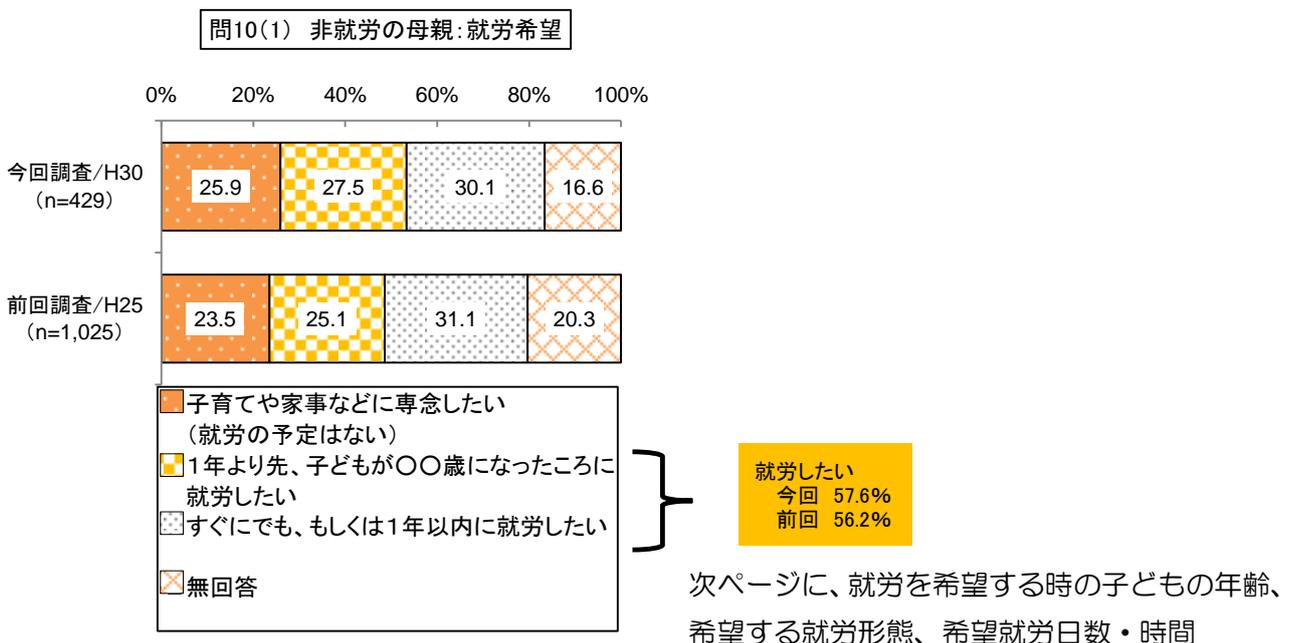
(2) フルタイムへの転換希望など

- 母親のフルタイムへの転換希望は前回と同様に低く、約半数がパートタイム等の継続就労を希望。
- 非就労の母親のうち就労希望者は前回よりわずかに増加し約6割を占めるが、そのうち約5割がパートタイム等を希望。
- 1週当たりの希望日数は「3日」、1日当たりの希望時間は「5～6時間」が最も高い。

問8 (1) または (2) で「パート・アルバイト等で就労している」と回答した方

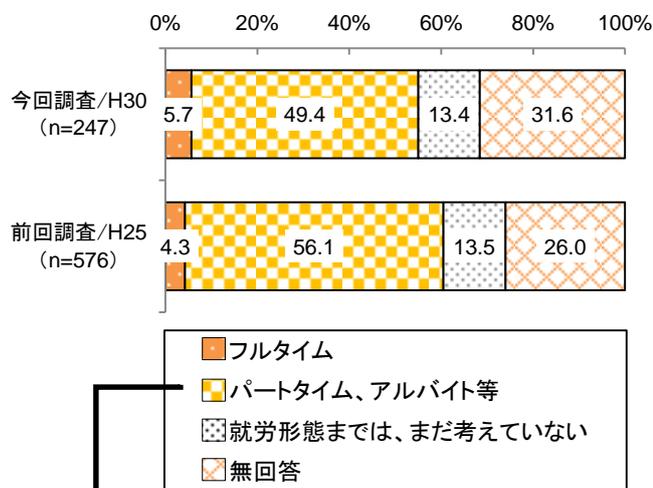


問8 (1) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」と回答した方

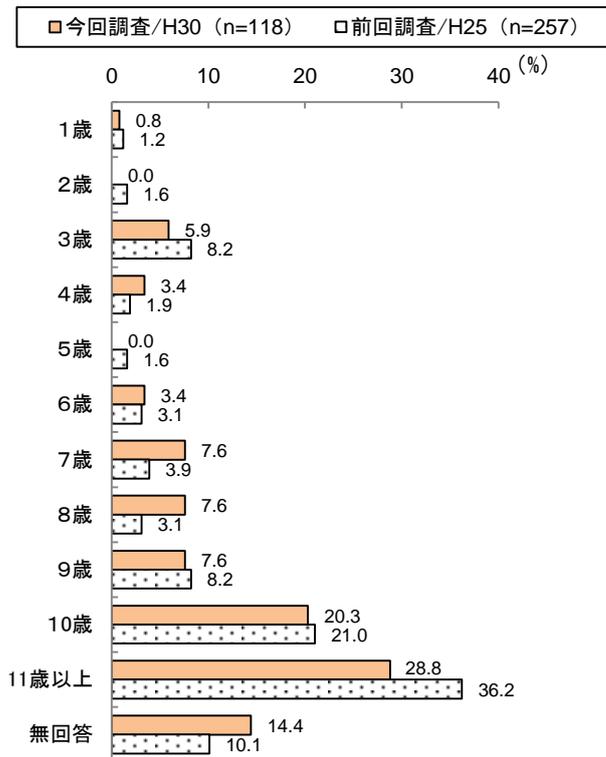


Ⅲ 小学生 調査結果

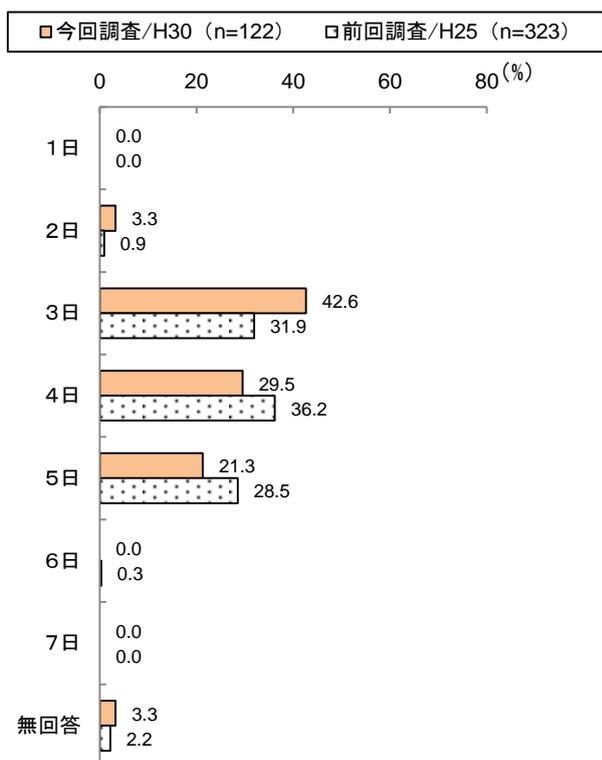
問10(1) 非就労の母親: 希望就労形態



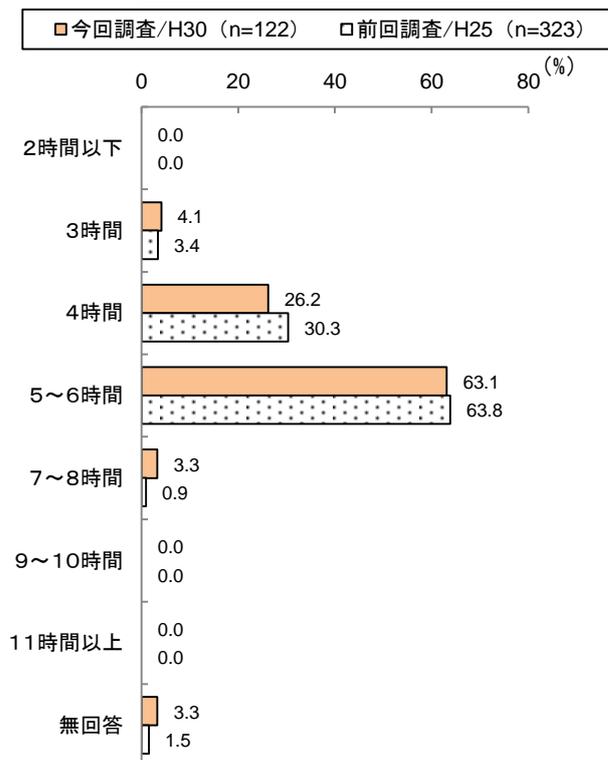
問10(1) 非就労の母親: 子どもが何歳になれば就労したいか



問10(1) 非就労の母親: 1週当たりの希望就労日数

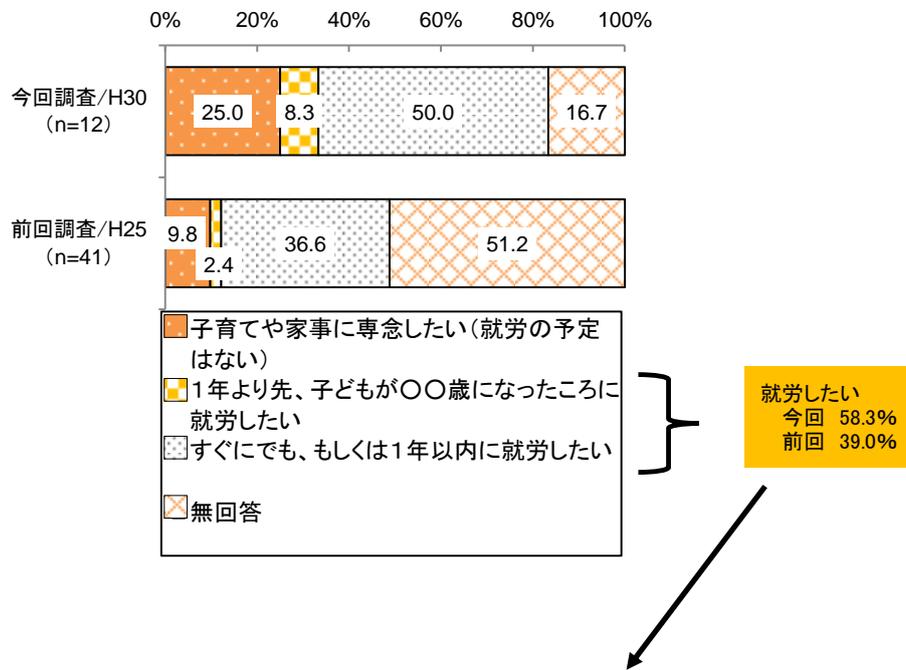


問10(1) 非就労の母親: 1日当たりの希望就労時間

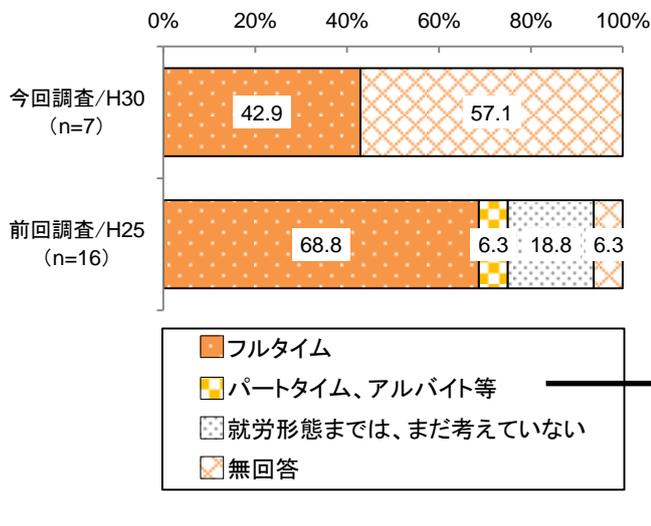


問 8 (2) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」と回答した方

問10(2) 非就労の父親:就労希望



問10(2) 非就労の父親:希望就労形態



※「パートタイム・アルバイト等」を希望する父親は1名以下
希望する就労日数・時間は省略

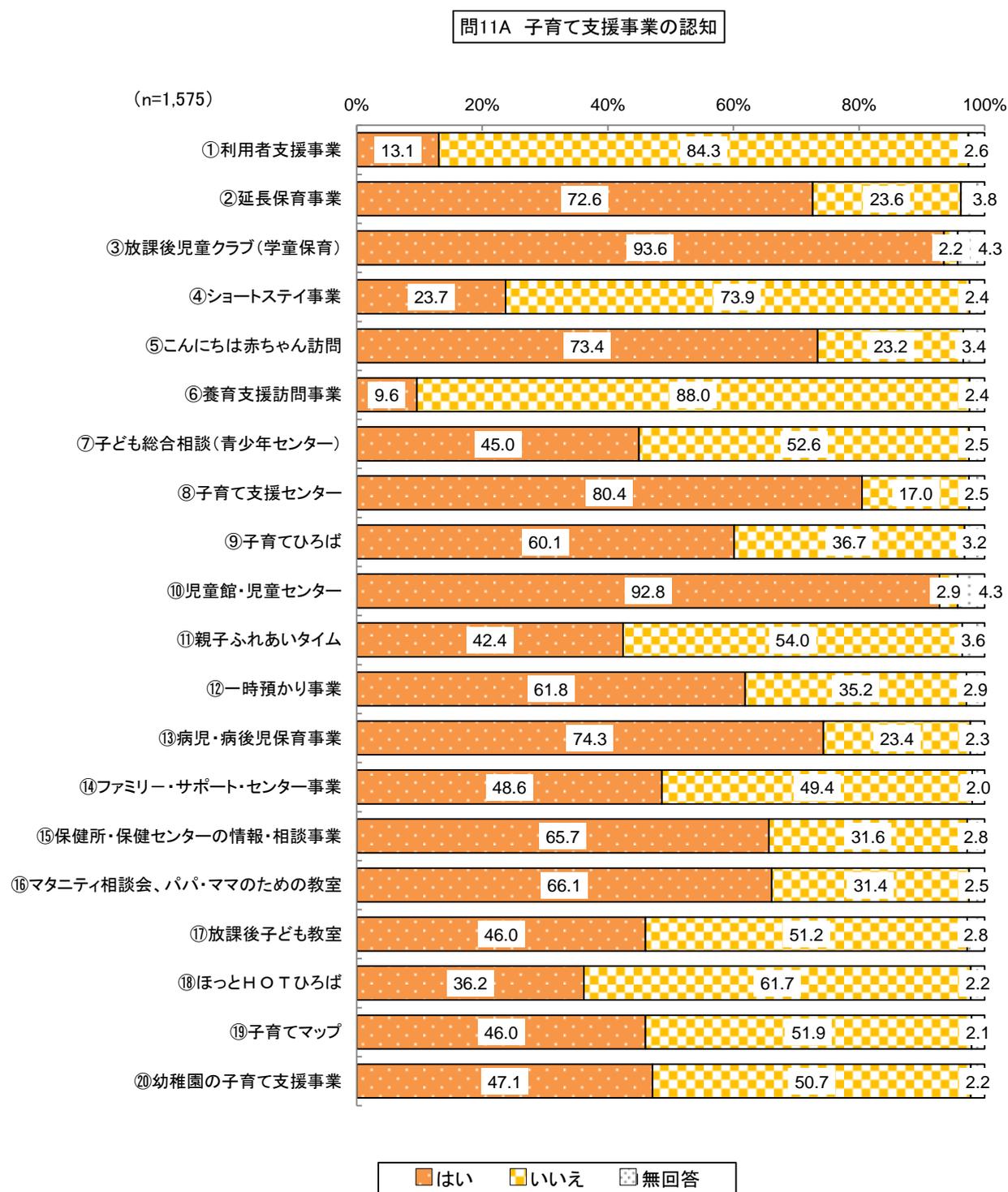
4 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 子育て支援事業の認知度、利用実績、利用意向

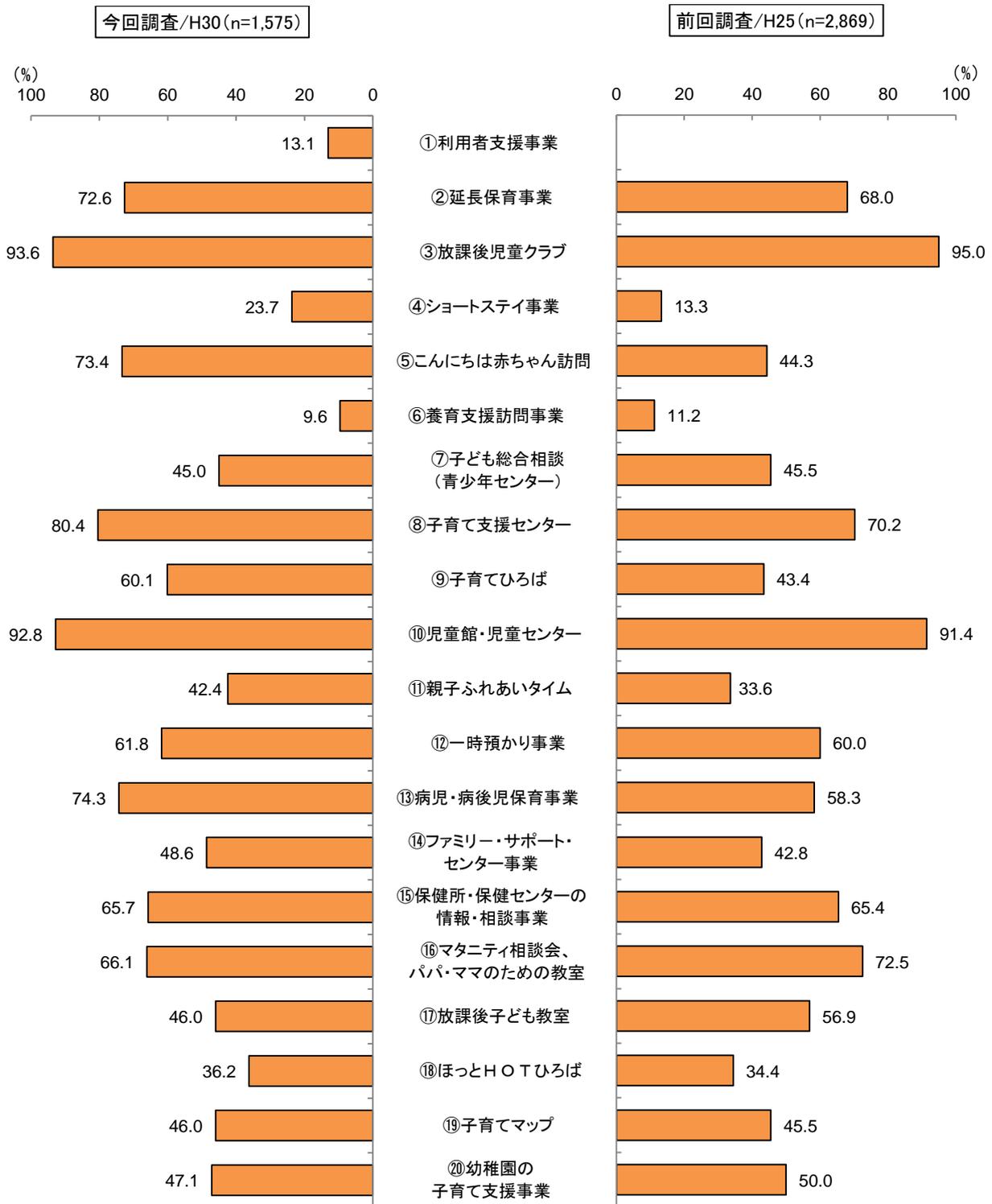
【A 認知度】

○認知度の高い事業は、「放課後児童クラブ」、「児童館・児童センター」などである。

○「はい」の割合で前回比較すると、「こんにちは赤ちゃん訪問」、「子育てひろば」、「病児・病後児保育事業」は大きく増加し、「放課後子ども教室」は大きく減少している。



問 11A 前回調査との比較：「はい」の割合のみ



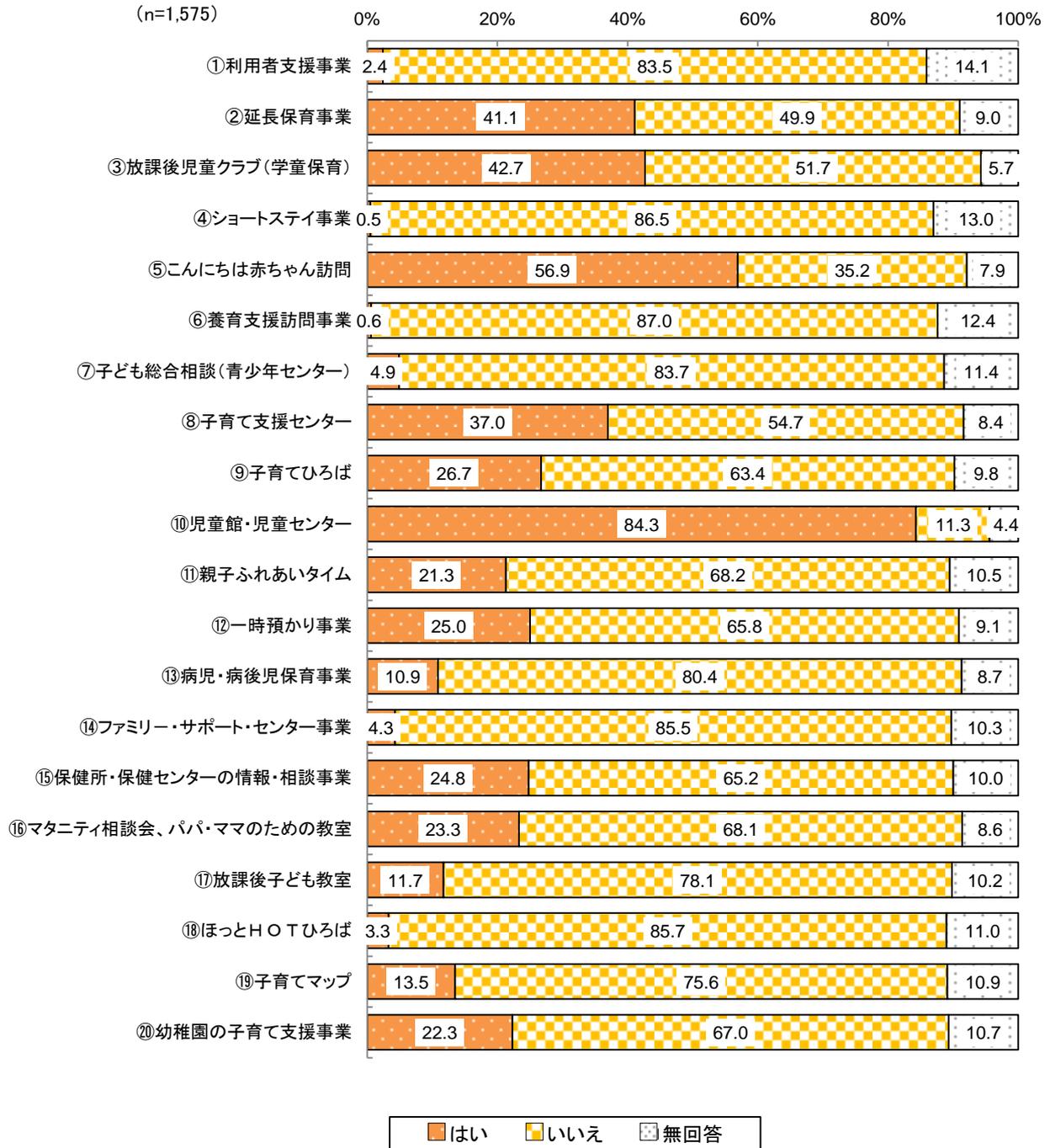
※前回調査では①利用者支援事業の選択肢なし

【B 利用実績】

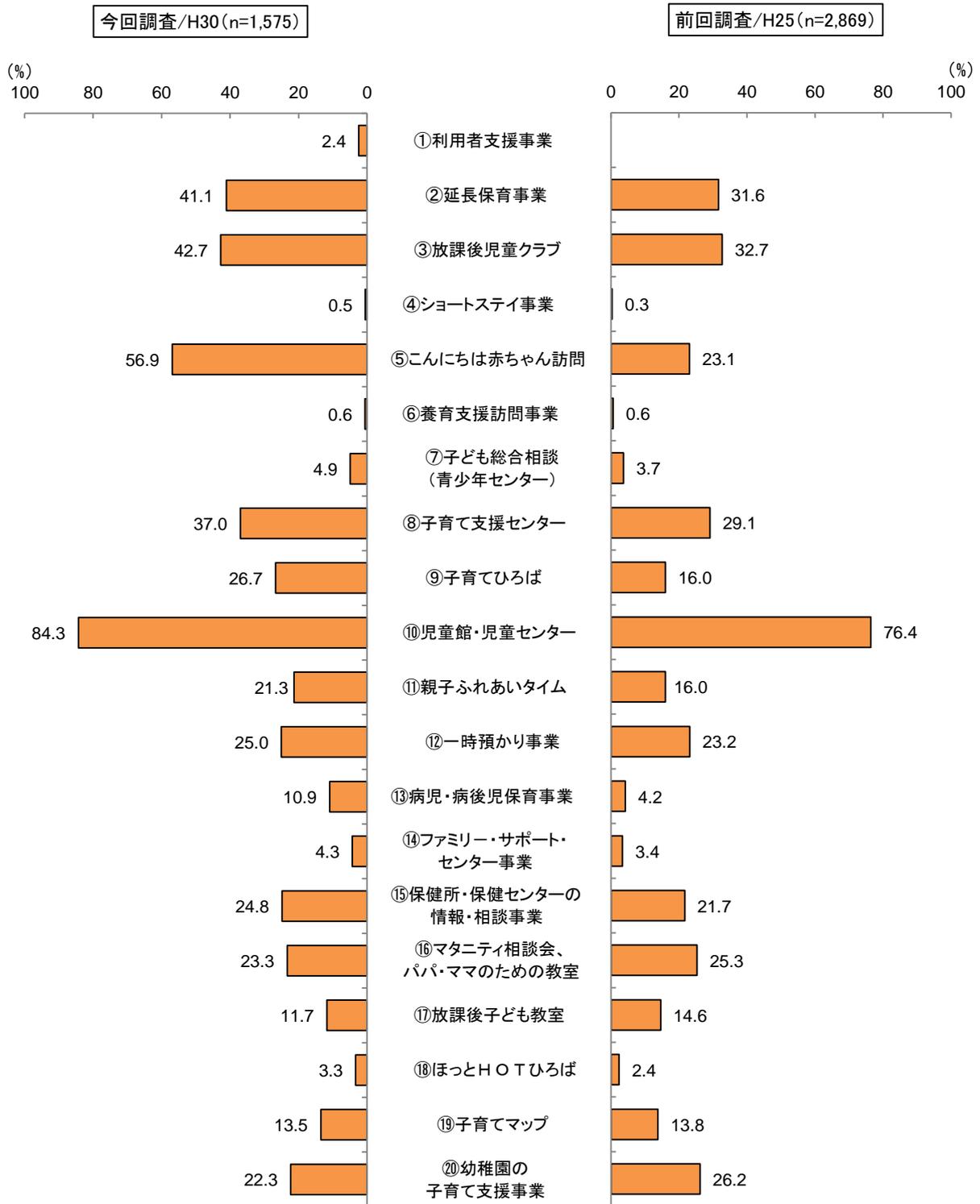
○利用したことがある事業は「児童館・児童センター」で他の事業に比べて利用割合が高い。

○「はい」の割合で前回比較すると、「こんにちは赤ちゃん訪問」が 33.8 ポイント大きく増加している。

問11B 子育て支援事業の利用経験



問 11B 前回調査との比較：「はい」の割合のみ



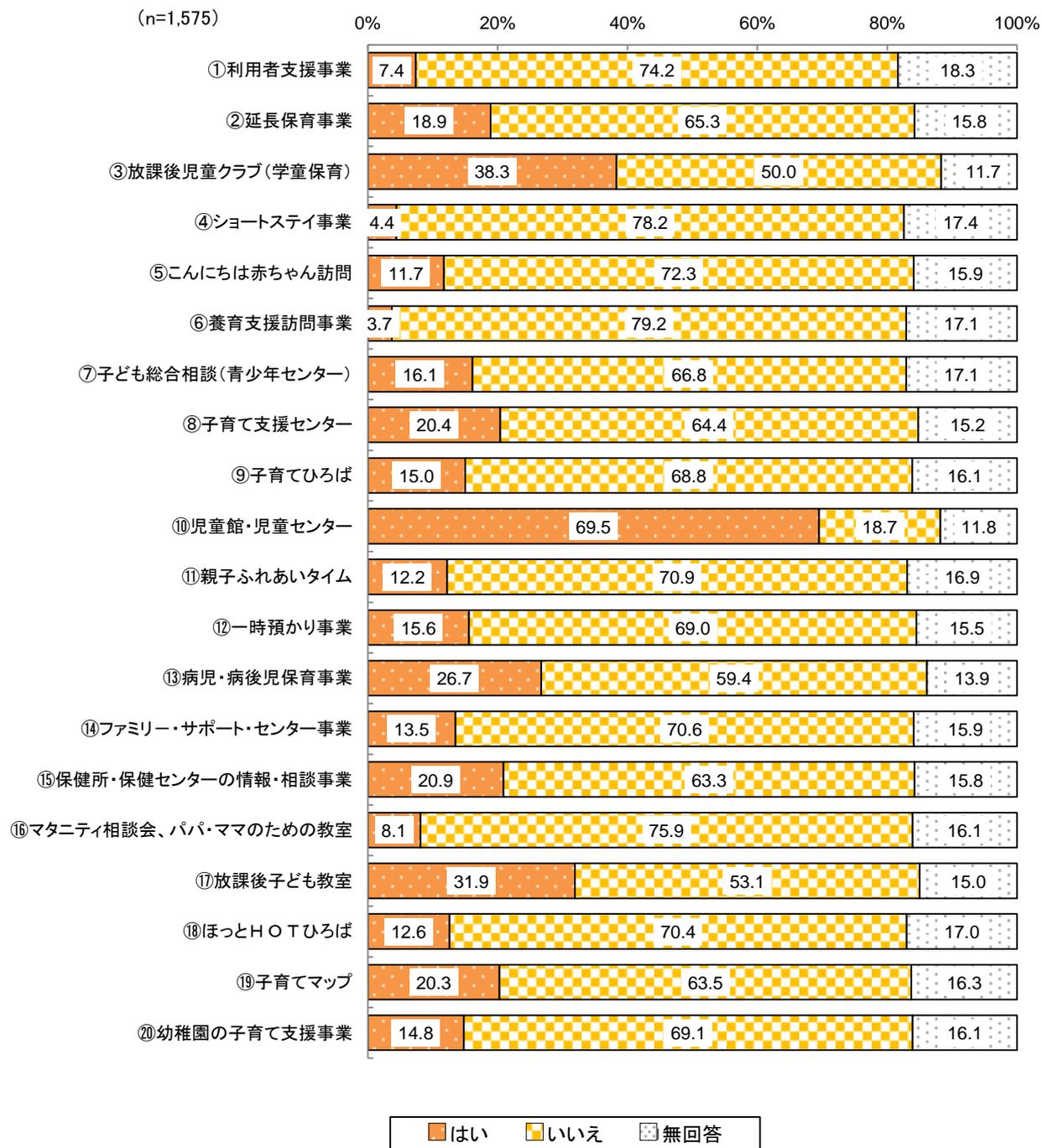
※前回調査では①利用者支援事業の選択肢なし

【C 利用意向】

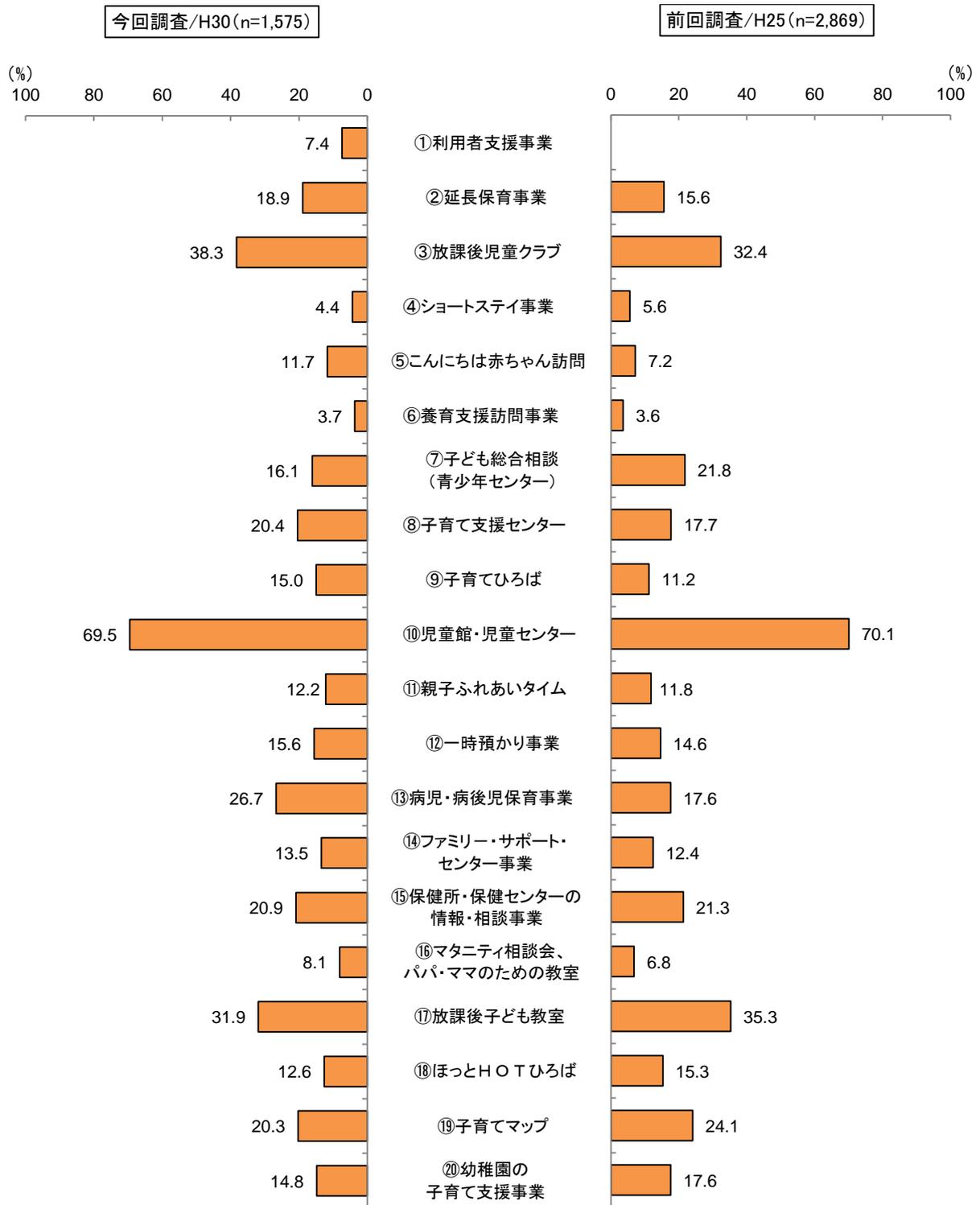
○今後利用意向が高い事業は、「児童館・児童センター」である。

○「はい」の割合で前回比較すると、「病児・病後児保育事業」は大きく増加している。

問11C 子育て支援事業の利用希望



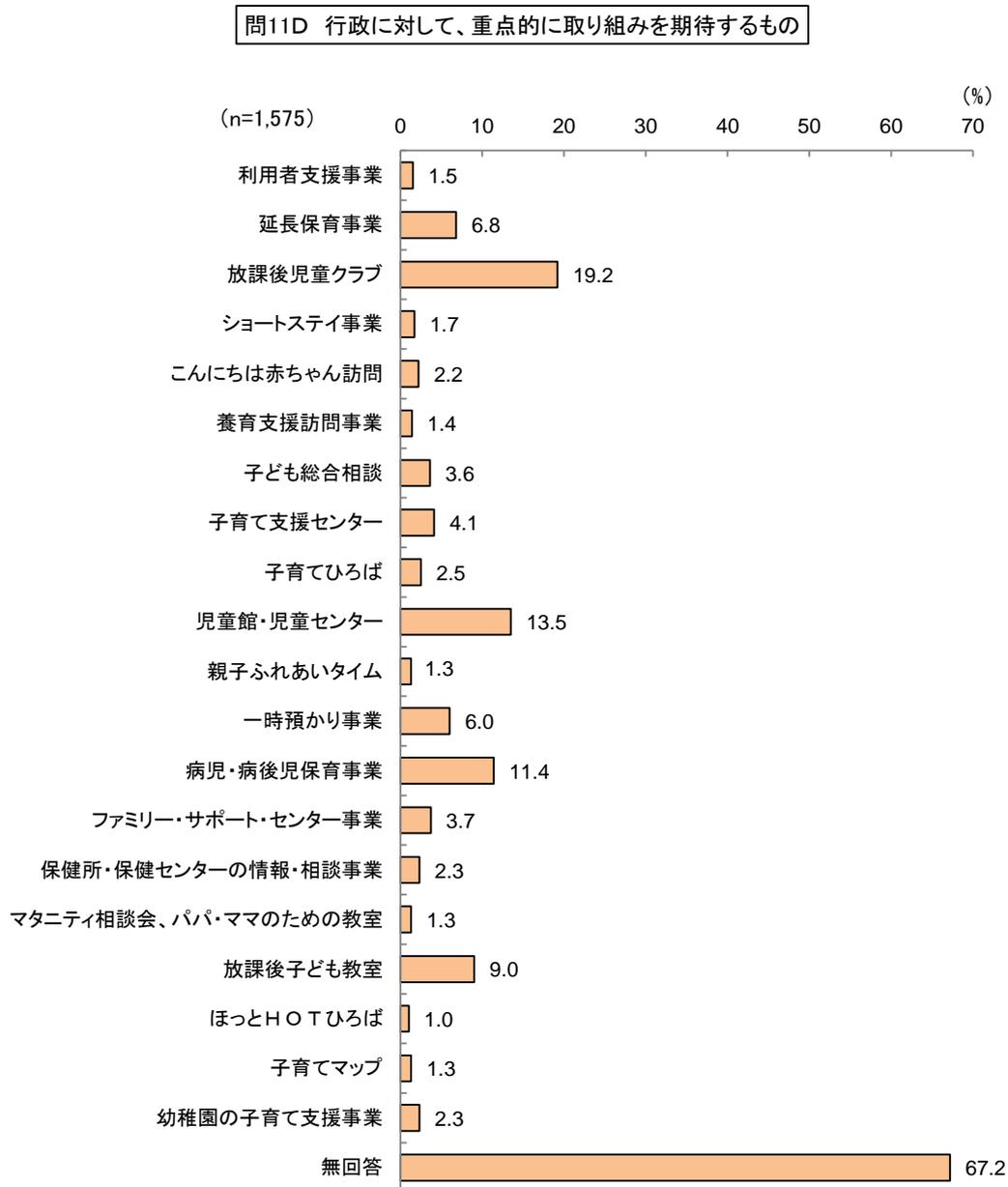
問 11C 前回調査との比較：「はい」の割合のみ



※前回調査では①利用者支援事業の選択肢なし

【D 行政に対して期待する取り組み】

○行政に対して、重点的に取り組みを期待するものは、「放課後児童クラブ」、「児童館・児童センター」、「病児・病後児保育事業」などとなっている。



(2) 現在の利用回数と希望する利用回数

○現在の利用回数、希望する利用回数ともに、「延長保育事業」で多くなっている。

問 11-1 1週間当たりの現在の利用回数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
① 利用者支援事業	38人	2.6	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.1
② 延長保育事業	647人	5.9	2.9	3.2	1.9	13.8	0.8	0.3	71.3
④ ショートステイ事業	8人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑥ 養育支援訪問事業	9人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑧ 子育て支援センター	582人	8.1	2.6	1.4	1.0	0.2	0.0	0.2	86.6
⑨ 子育てひろば	421人	8.6	2.1	1.2	0.0	0.2	0.0	0.0	87.9
⑪ 親子ふれあいタイム	335人	10.7	2.4	1.5	0.6	0.0	0.0	0.0	84.8
⑫ 一時預かり事業	394人	6.3	3.6	3.6	1.3	1.0	0.0	0.0	84.3
⑬ 病児・病後児保育事業	171人	0.6	1.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	95.9
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	67人	4.5	3.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	89.6

※前回調査では①利用者支援事業の選択肢なし

【前回調査：H25】

(単位：%)

	回答者数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
① 利用者支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② 延長保育事業	907人	5.2	2.1	2.0	2.2	11.5	1.9	0.2	75.0
④ ショートステイ事業	10人	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0
⑥ 養育支援訪問事業	17人	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.2
⑧ 子育て支援センター	836人	7.9	1.3	0.8	0.2	0.4	0.1	0.0	89.2
⑨ 子育てひろば	458人	9.8	1.7	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	87.8
⑪ 親子ふれあいタイム	460人	10.4	1.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	88.0
⑫ 一時預かり事業	665人	5.1	2.7	3.8	1.8	2.1	0.0	0.0	84.5
⑬ 病児・病後児保育事業	121人	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	99.2
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	98人	6.1	5.1	4.1	0.0	3.1	0.0	0.0	81.6

Ⅲ 小学生 調査結果

問 11-1 1 カ月当たりの現在の利用回数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数(※)
① 利用者支援事業	38人	26.3	7.9	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	57.9	3.1回
② 延長保育事業	647人	26.0	11.3	5.3	3.4	17.0	0.8	0.3	36.0	8.2回
④ ショートステイ事業	8人	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	3.0回
⑥ 養育支援訪問事業	9人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	-
⑧ 子育て支援センター	582人	35.1	10.0	2.7	1.4	1.2	0.0	0.2	49.5	2.8回
⑨ 子育てひろば	421人	34.0	10.0	2.4	1.2	0.2	0.0	0.0	52.3	2.4回
⑪ 親子ふれあいタイム	335人	30.7	12.2	2.4	1.5	0.6	0.0	0.0	52.5	2.8回
⑫ 一時預かり事業	394人	20.1	9.4	6.1	5.6	3.0	0.0	0.0	55.8	5.5回
⑬ 病児・病後児保育事業	171人	24.6	5.8	1.8	2.3	0.0	0.0	0.0	65.5	2.6回
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	67人	22.4	9.0	3.0	1.5	1.5	0.0	0.0	62.7	3.4回

(※)「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数(「1週間当たりの利用回数」は4倍して合算)

※前回調査では①利用者支援事業の選択肢なし

【前回調査：H25】

(単位：%)

	回答者数	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数(※)
① 利用者支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② 延長保育事業	907人	6.6	5.4	2.0	0.7	2.0	0.1	0.1	83.1	8.8回
④ ショートステイ事業	10人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	-
⑥ 養育支援訪問事業	17人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	-
⑧ 子育て支援センター	836人	9.4	2.2	0.5	0.1	0.5	0.0	0.0	87.3	2.5回
⑨ 子育てひろば	458人	8.3	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	90.6	2.1回
⑪ 親子ふれあいタイム	460人	9.1	2.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	88.5	2.2回
⑫ 一時預かり事業	665人	4.8	4.7	2.6	3.3	0.6	0.3	0.0	83.8	6.0回
⑬ 病児・病後児保育事業	121人	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.6	1.3回
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	98人	2.0	2.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	93.9	5.5回

(※)「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数(「1週間当たりの利用回数」は4倍して合算)

Ⅲ 小学生 調査結果

問 11-2 希望する1週間当たりの利用回数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
① 利用者支援事業	117人	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.3
② 延長保育事業	298人	5.0	2.7	3.7	2.0	15.1	0.3	0.0	71.1
④ ショートステイ事業	70人	8.6	0.0	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	87.1
⑥ 養育支援訪問事業	58人	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.7
⑧ 子育て支援センター	321人	8.4	0.9	0.3	0.6	0.0	0.0	0.0	89.7
⑨ 子育てひろば	237人	9.7	0.8	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	89.0
⑪ 親子ふれあいタイム	192人	8.9	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	90.1
⑫ 一時預かり事業	245人	6.9	2.4	2.9	1.2	0.8	0.0	0.4	85.3
⑬ 病児・病後児保育事業	420人	2.6	0.7	1.4	0.2	0.2	0.0	0.0	94.8
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	213人	5.2	1.9	0.0	0.9	0.5	0.0	0.0	91.5

※前回調査では①利用者支援事業の選択肢なし

【前回調査：H25】

(単位：%)

	回答者数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
① 利用者支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② 延長保育事業	448人	7.6	3.6	4.0	2.0	8.0	1.8	0.0	73.0
④ ショートステイ事業	160人	5.6	1.9	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	91.3
⑥ 養育支援訪問事業	103人	4.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.2
⑧ 子育て支援センター	508人	7.7	1.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	90.9
⑨ 子育てひろば	320人	7.5	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	91.3
⑪ 親子ふれあいタイム	339人	10.3	1.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	87.6
⑫ 一時預かり事業	419人	8.4	3.6	2.9	1.2	1.7	0.0	0.0	82.3
⑬ 病児・病後児保育事業	505人	1.4	0.8	0.8	0.0	0.4	0.0	0.0	96.6
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	355人	6.2	2.8	1.4	0.6	0.3	0.3	0.0	88.5

問 11-2 希望する1カ月当たりの利用回数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数(※)
① 利用者支援事業	117人	33.3	1.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	64.1	1.4回
② 延長保育事業	298人	19.5	10.7	4.7	4.4	18.1	0.3	0.0	42.3	9.0回
④ ショートステイ事業	70人	27.1	8.6	0.0	1.4	2.9	0.0	0.0	60.0	3.3回
⑥ 養育支援訪問事業	58人	27.6	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.1	1.8回
⑧ 子育て支援センター	321人	39.6	9.7	0.9	0.3	0.6	0.0	0.0	48.9	2.1回
⑨ 子育てひろば	237人	37.6	10.5	0.8	0.0	0.4	0.0	0.0	50.6	2.0回
⑪ 親子ふれあいタイム	192人	43.8	10.9	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	44.3	1.9回
⑫ 一時預かり事業	245人	26.9	11.4	3.3	3.7	2.9	0.0	0.4	51.4	4.4回
⑬ 病児・病後児保育事業	420人	32.6	4.8	0.7	1.4	0.5	0.0	0.0	60.0	2.1回
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	213人	25.4	8.9	1.9	0.0	1.4	0.0	0.0	62.4	2.8回

(※)「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数(「1週間当たりの利用回数」は4倍して合算)

※前回調査では①利用者支援事業の選択肢なし

【前回調査：H25】

(単位：%)

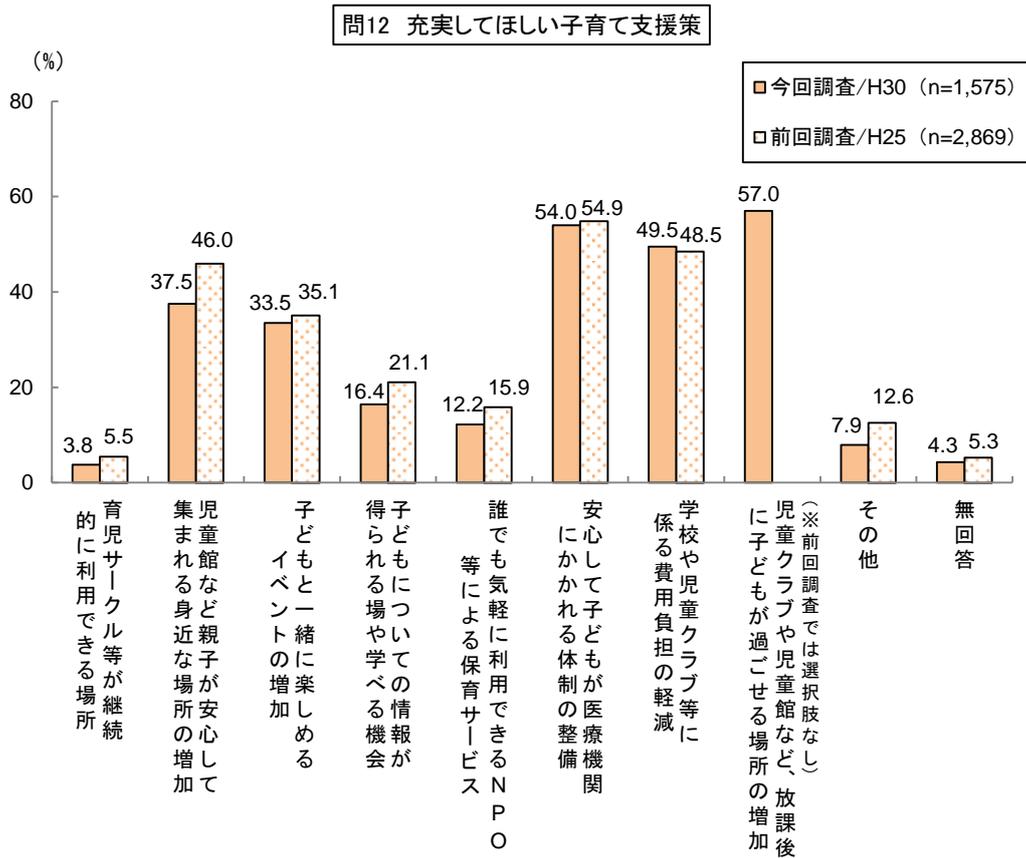
	回答者数	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数(※)
① 利用者支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② 延長保育事業	448人	5.6	5.1	1.6	0.2	1.8	0.2	0.0	85.5	7.8回
④ ショートステイ事業	160人	4.4	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	93.1	3.0回
⑥ 養育支援訪問事業	103人	3.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.1	1.7回
⑧ 子育て支援センター	508人	6.3	2.4	0.2	0.0	0.4	0.0	0.0	90.7	2.0回
⑨ 子育てひろば	320人	6.9	1.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	90.9	1.8回
⑪ 親子ふれあいタイム	339人	7.4	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.6	2.0回
⑫ 一時預かり事業	419人	5.3	5.3	1.2	0.7	1.0	0.0	0.0	86.6	4.6回
⑬ 病児・病後児保育事業	505人	4.4	3.0	0.4	0.0	0.2	0.0	0.0	92.1	2.0回
⑭ ファミリー・サポート・センター事業	355人	5.9	3.1	0.8	0.0	0.3	0.0	0.0	89.9	2.8回

(※)「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数(「1週間当たりの利用回数」は4倍して合算)

(3) 充実を図ってほしい子育て支援策

○松山市に充実を図ってほしい支援策は、「児童クラブや児童館など、放課後に子どもが過ごせる場所の増加」が最も多い。

○「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」、「学校や児童クラブ等に係る費用負担の軽減」、なども多い。



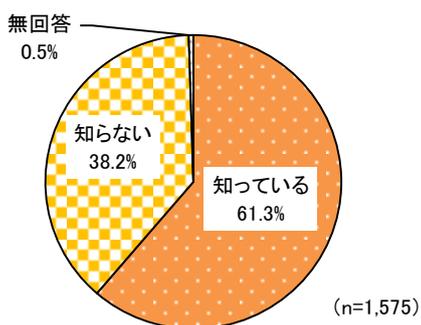
5 病気の際の対応について

(1) 病児・病後児保育事業の認知状況と利用しやすい場所

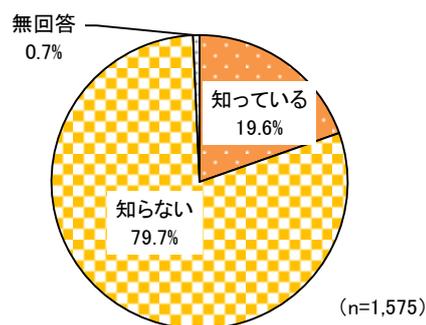
○病児・病後児保育事業は「知っている」が6割以上、送迎事業は「知っている」が2割未満。

○病児・病後児保育事業の利用しやすい場所は、「自宅の近く」が59.6%で最も多い。

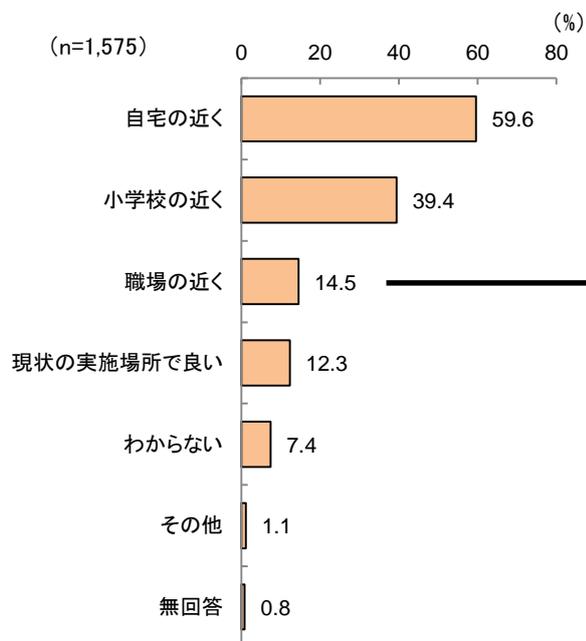
問13 病児・病後児保育事業を利用できることの認知



問13-1 病児・病後児保育の送迎事業の認知



問13-2 病児・病後児保育事業施設の
利用しやすい場所



職場のある町 (件数の多かった町)

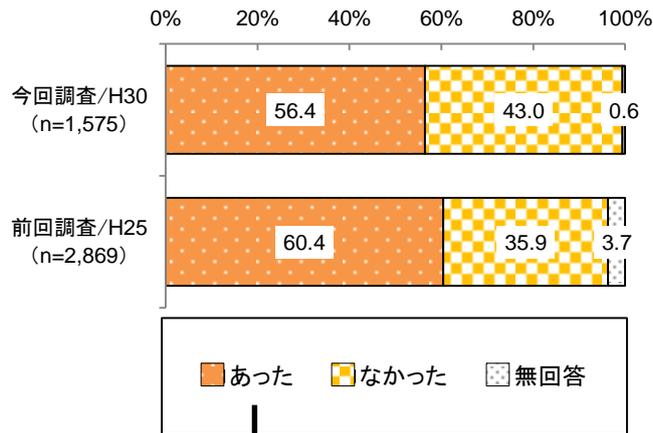
町名	件数
山越	4件
春日町	4件
砥部町	4件
安城寺町	3件
伊予市	3件
空港通り	3件
三番町	3件
松前町	3件
東温市	3件
文京町	3件
北条	3件

(2) 病気やケガの際の対処方法と病児・病後児保育事業の利用状況

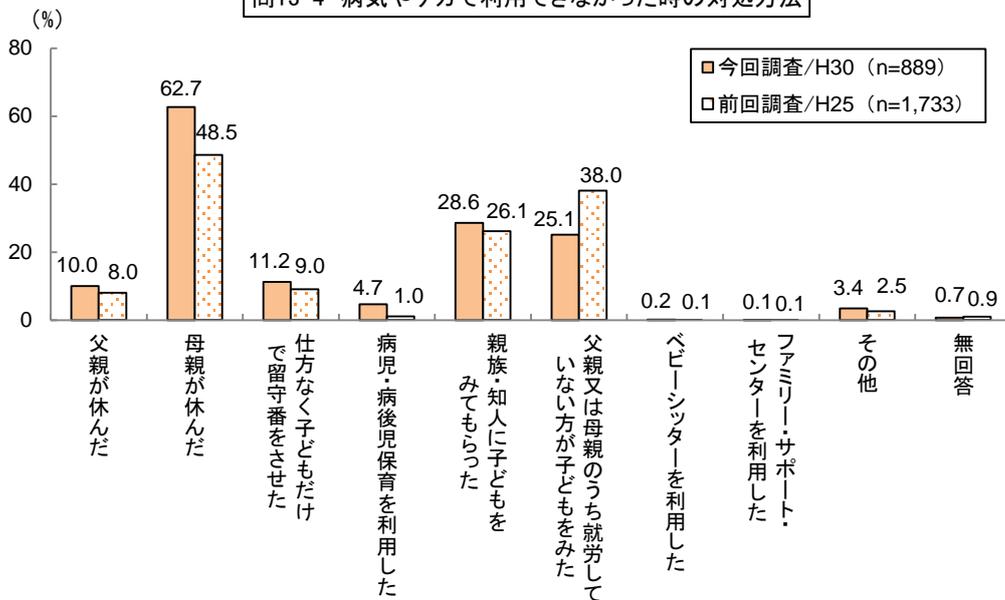
○病気やケガで学校に行けなかった割合は 56.4%で、対処法として「母親が休んだ」が約6割を占めて最も多い。

○病児・病後児保育施設を使用しなかった理由は、「保護者が仕事を休むことができた」が約8割と大半を占める。

問13-3 病気やケガで学校に行けなかった経験の有無



問13-4 病気やケガで利用できなかった時の対処方法



Ⅲ 小学生 調査結果

問 13-4 対処方法と対応した日数

【今回調査：H30】

(単位：%)

	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均日数(※)
1. 父親が休んだ	89人	44.9	24.7	9.0	2.2	6.7	0.0	3.4	9.0	2.3日
2. 母親が休んだ	557人	23.9	19.0	18.5	5.2	10.4	1.8	15.1	6.1	4.1日
3. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	100人	47.0	26.0	12.0	1.0	4.0	1.0	5.0	4.0	2.2日
4. 病児・病後児の保育を利用した	42人	19.0	23.8	9.5	9.5	14.3	7.1	11.9	4.8	4.2日
5. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	254人	27.2	23.2	19.3	5.1	9.8	2.0	7.9	5.5	3.1日
6. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	223人	20.6	13.9	20.2	5.4	16.1	2.7	15.7	5.4	4.1日
7. ベビーシッターを利用した	2人	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	1.0日
8. ファミリー・サポート・センターを利用した	1人	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
9. その他	30人	10.0	16.7	16.7	0.0	10.0	0.0	6.7	40.0	3.3日

(※)「対応した日数」に回答した人1人当たりの平均年間対応日数

【前回調査：H25】

(単位：%)

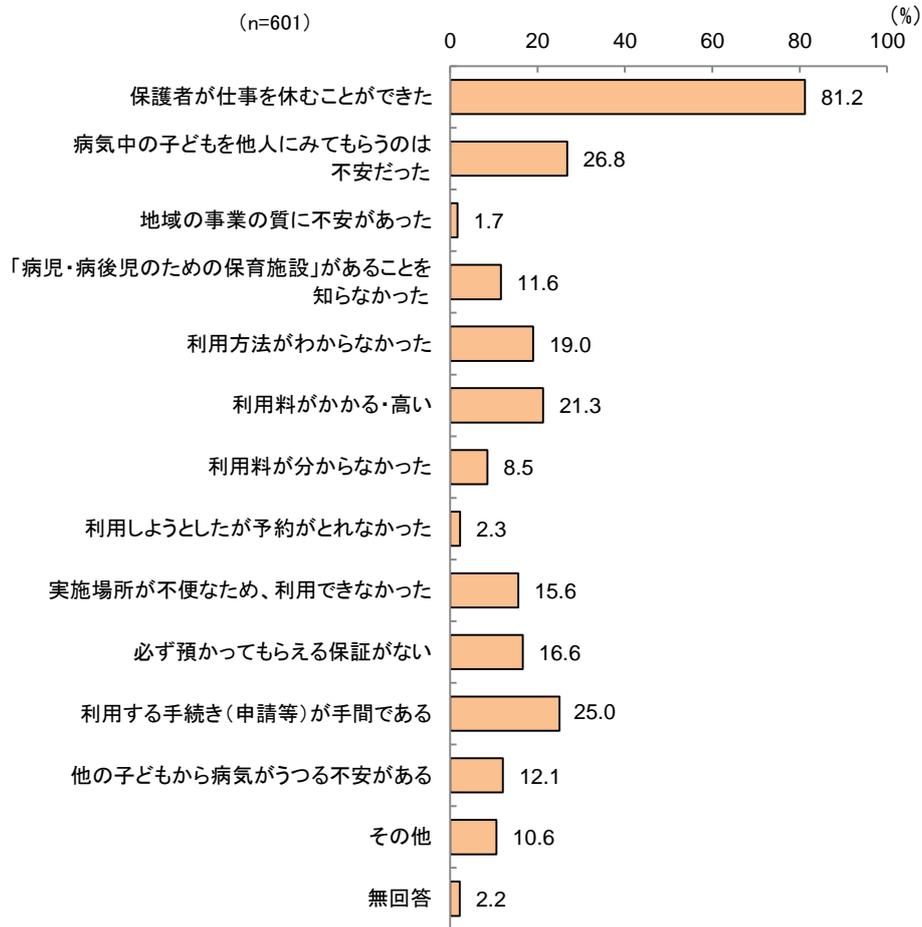
	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均日数(※)
1. 父親が休んだ	138人	44.2	26.8	13.8	0.0	3.6	0.7	2.9	8.0	2.0日
2. 母親が休んだ	840人	26.8	23.0	16.9	3.9	9.6	1.8	10.5	7.5	3.5日
3. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	156人	48.7	17.9	14.1	3.8	4.5	0.0	3.2	7.7	2.4日
4. 病児・病後児の保育を利用した	18人	33.3	27.8	5.6	16.7	11.1	0.0	0.0	5.6	2.4日
5. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	452人	27.2	26.3	16.2	3.5	10.0	0.4	8.4	8.0	3.0日
6. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	659人	20.0	18.5	17.6	4.9	12.7	3.0	15.9	7.3	4.2日
7. ベビーシッターを利用した	1人	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0日
8. ファミリー・サポート・センターを利用した	1人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	-
9. その他	43人	20.9	14.0	20.9	2.3	7.0	2.3	7.0	25.6	3.3日

(※)「対応した日数」に回答した人1人当たりの平均年間対応日数

問13-4で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した方

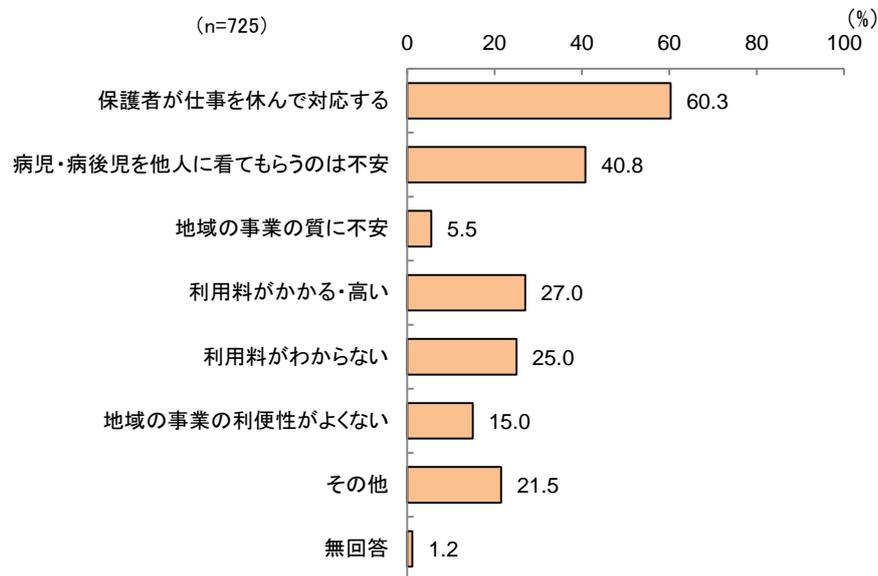
【今回調査：H30】

問13-5 病児・病後児保育施設を利用しなかった理由



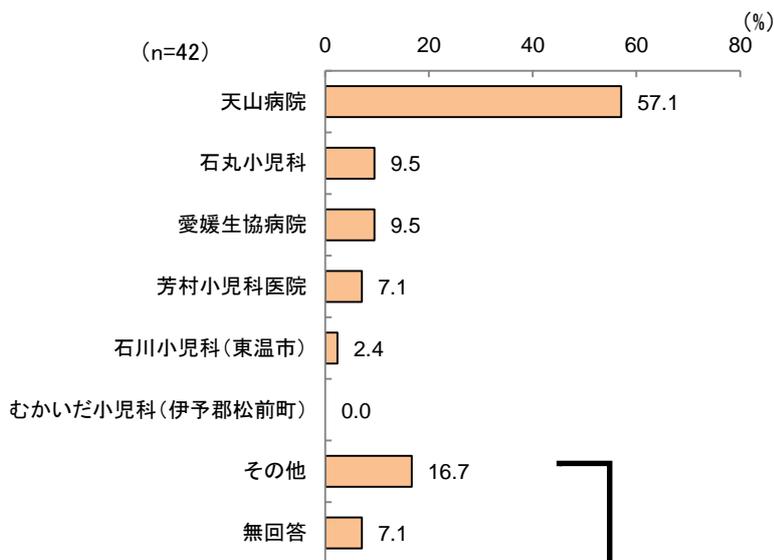
(参考) 【前回調査：H25】

問13-5 病児・病後児保育施設を利用しない理由

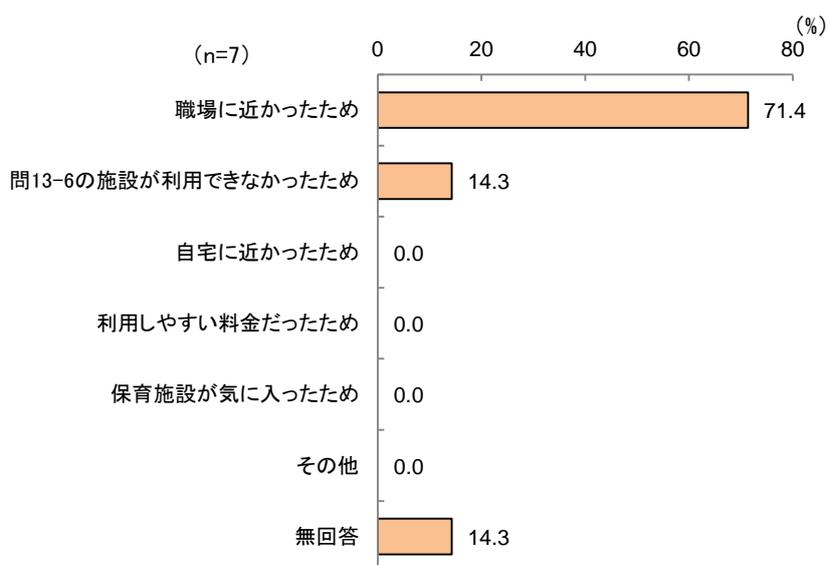


問13-4で「病児・病後児の保育を利用した」と回答した方

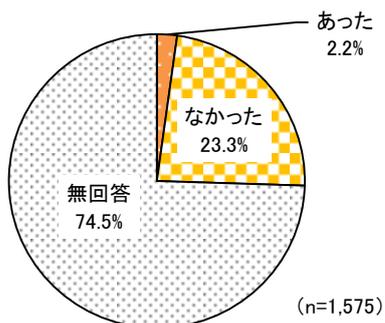
問13-6 1年間に利用した病児・病後児保育事業施設



問13-7 その他の施設を利用した理由

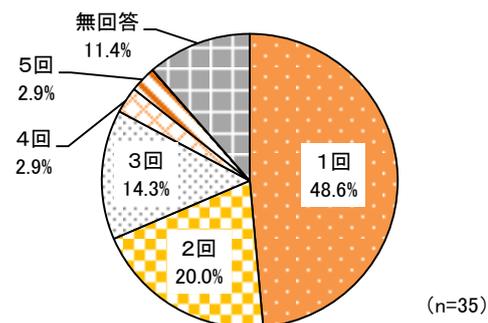


問13-8 病児・病後児保育施設の予約ができなかった経験



あった人

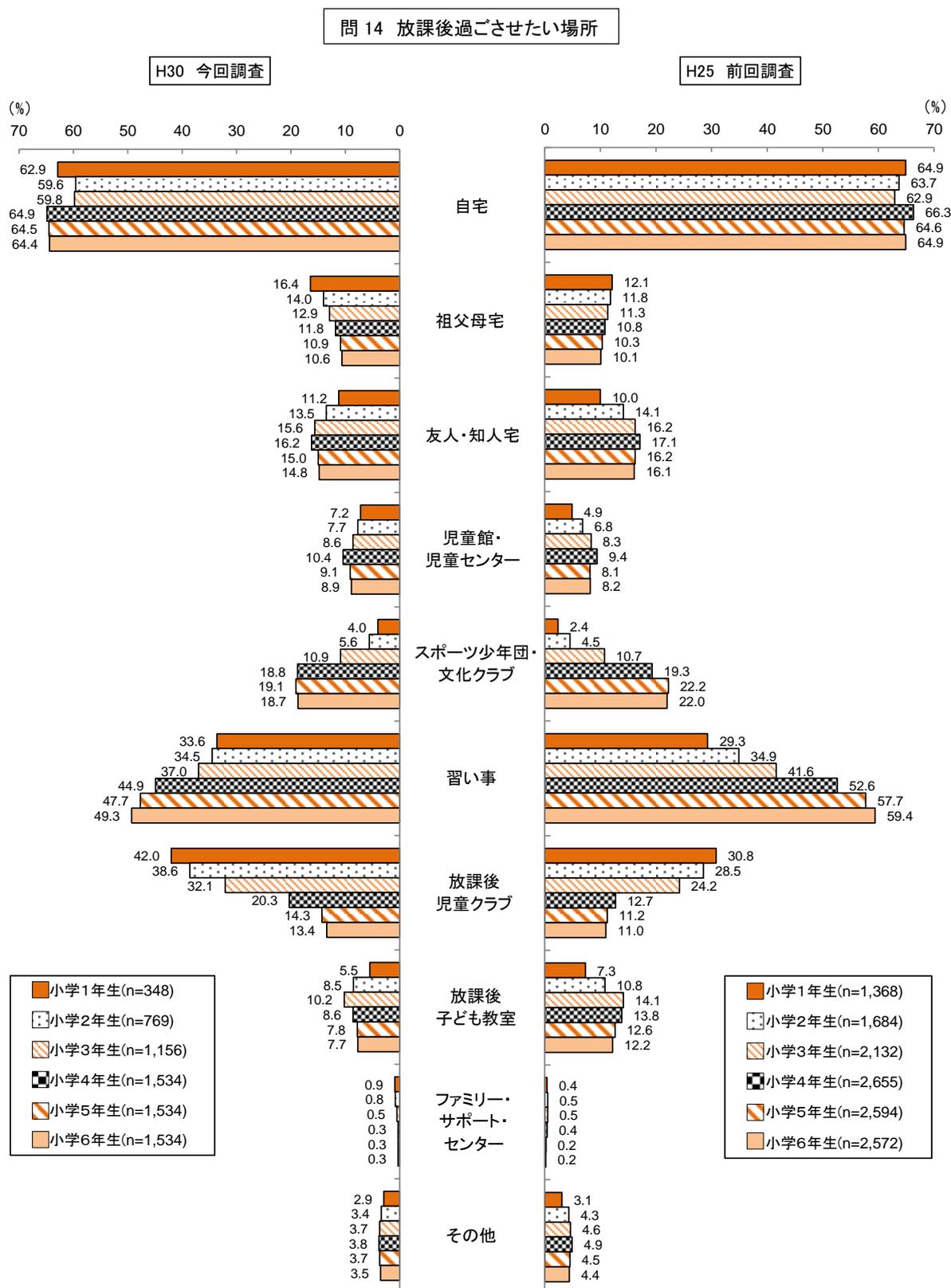
問13-8 病児・病後児保育施設の予約ができなかった回数



6 放課後の過ごし方について

(1) 放課後に過ごさせたい場所

○全学年で「自宅」、「習い事」が多い。低学年は「放課後児童クラブ」、高学年は「スポーツ少年団・文化クラブ」も多い。また、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、土曜や日曜では前回より下回っているが、長期休暇期間中では45.0%と前回は上回っている。



Ⅲ 小学生 調査結果

問 14 放課後過ごさせたい場所 (回答割合/学年別)

【今回調査：H30】

(単位：%)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	62.9	59.6	59.8	64.9	64.5	64.4
2. 祖父母宅	16.4	14.0	12.9	11.8	10.9	10.6
3. 友人・知人宅	11.2	13.5	15.6	16.2	15.0	14.8
4. 児童館・児童センター	7.2	7.7	8.6	10.4	9.1	8.9
5. スポーツ少年団・文化クラブ	4.0	5.6	10.9	18.8	19.1	18.7
6. 習い事	33.6	34.5	37.0	44.9	47.7	49.3
7. 放課後児童クラブ (学童保育)	42.0	38.6	32.1	20.3	14.3	13.4
8. 放課後子ども教室	5.5	8.5	10.2	8.6	7.8	7.7
9. ファミリー・サポート・センター	0.9	0.8	0.5	0.3	0.3	0.3
10. その他	2.9	3.4	3.7	3.8	3.7	3.5

【前回調査：H25】

(単位：%)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	64.9	63.7	62.9	66.3	64.6	64.9
2. 祖父母宅	12.1	11.8	11.3	10.8	10.3	10.1
3. 友人・知人宅	10.0	14.1	16.2	17.1	16.2	16.1
4. 児童館・児童センター	4.9	6.8	8.3	9.4	8.1	8.2
5. スポーツ少年団・文化クラブ	2.4	4.5	10.7	19.3	22.2	22.0
6. 習い事	29.3	34.9	41.6	52.6	57.7	59.4
7. 放課後児童クラブ	30.8	28.5	24.2	12.7	11.2	11.0
8. 放課後子ども教室	7.3	10.8	14.1	13.8	12.6	12.2
9. ファミリー・サポート・センター	0.4	0.5	0.5	0.4	0.2	0.2
10. その他	3.1	4.3	4.6	4.9	4.5	4.4

Ⅲ 小学生 調査結果

問 15 放課後過ごさせたい場所 (週当たりの平均日数/学年別)

【今回調査：H30】

(単位：日)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	4.6	4.3	4.1	4.0	3.9	3.9
2. 祖父母宅	2.0	2.1	2.1	2.4	2.3	2.4
3. 友人・知人宅	1.8	1.8	1.6	1.6	1.6	1.6
4. 児童館・児童センター	2.0	2.2	2.0	2.0	2.0	2.0
5. スポーツ少年団・文化クラブ	2.2	2.6	2.6	2.8	2.9	2.9
6. 習い事	2.2	2.2	2.3	2.4	2.5	2.5
7. 放課後児童クラブ(学童クラブ) (何時まで)	4.7 17.9時	4.5 17.8時	4.4 17.9時	4.2 18.0時	4.1 18.0時	4.1 18.0時
8. 放課後子ども教室	3.1	2.8	2.6	2.4	2.5	2.5
9. ファミリー・サポート・センター	3.7	3.3	3.3	3.4	3.6	3.6
10. その他	3.4	3.5	2.9	2.9	2.9	2.9

(注) 放課後児童クラブの下欄の(何時まで)は時間表示。17.8時は午後5時48分、17.9時は午後5時54分となる。

【前回調査：H25】

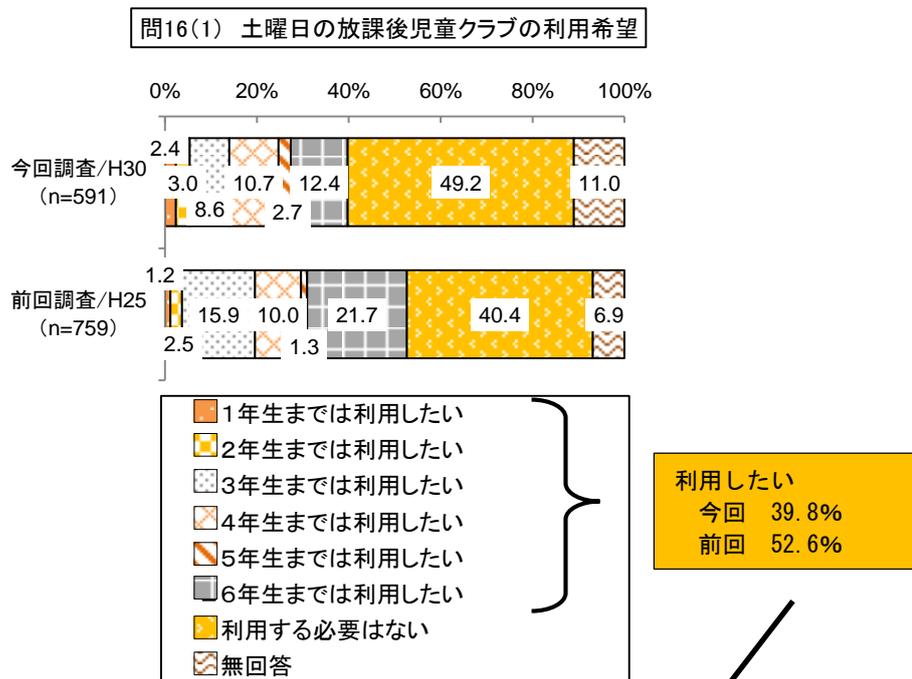
(単位：日)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	4.7	4.4	4.1	4.0	3.9	3.9
2. 祖父母宅	2.7	2.7	2.7	2.8	2.6	2.6
3. 友人・知人宅	1.6	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6
4. 児童館・児童センター	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7
5. スポーツ少年団・文化クラブ	3.0	2.8	3.3	3.1	3.1	3.1
6. 習い事	2.2	2.3	2.4	2.5	2.5	2.6
7. 放課後児童クラブ(学童クラブ) (何時まで)	4.7 17.8時	4.7 17.9時	4.6 17.9時	4.2 17.9時	4.1 17.9時	4.0 17.8時
8. 放課後子ども教室	2.5	2.4	2.4	2.4	2.2	2.2
9. ファミリー・サポート・センター	2.8	2.6	2.3	2.1	2.3	2.3
10. その他	3.3	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2

(注) 放課後児童クラブの下欄の(何時まで)は時間表示。17.8時は午後5時48分、17.9時は午後5時54分となる。

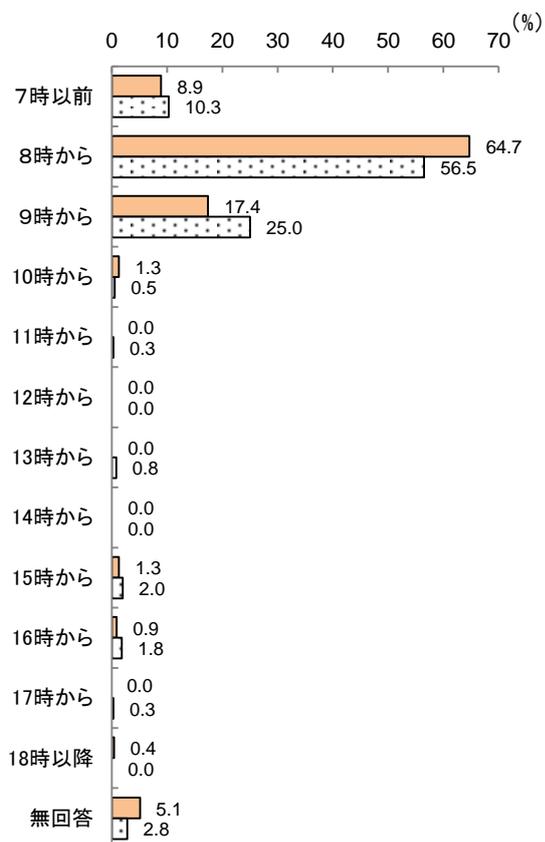
(2) 放課後児童クラブ（学童保育）の土曜日の利用希望

問14で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方



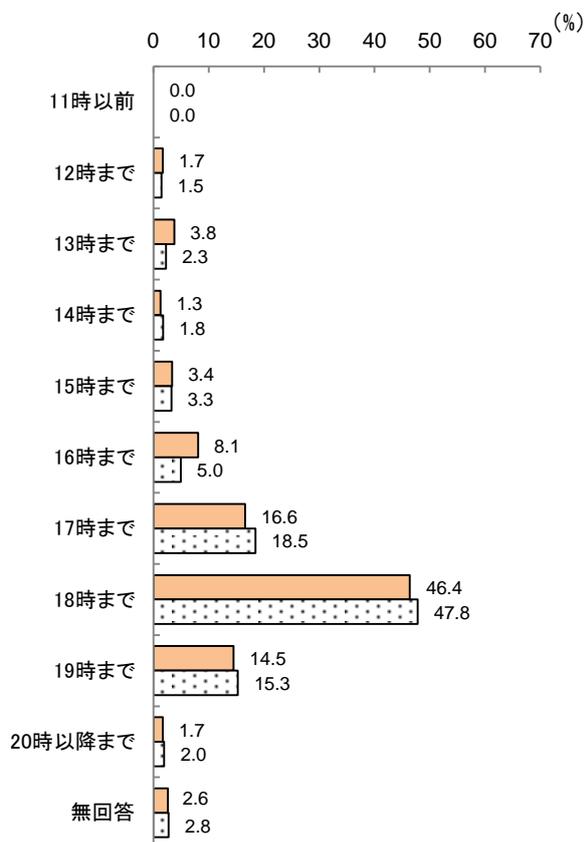
問16(1) 土曜日：何時から

■ 今回調査/H30 (n=235) □ 前回調査/H25 (n=400)



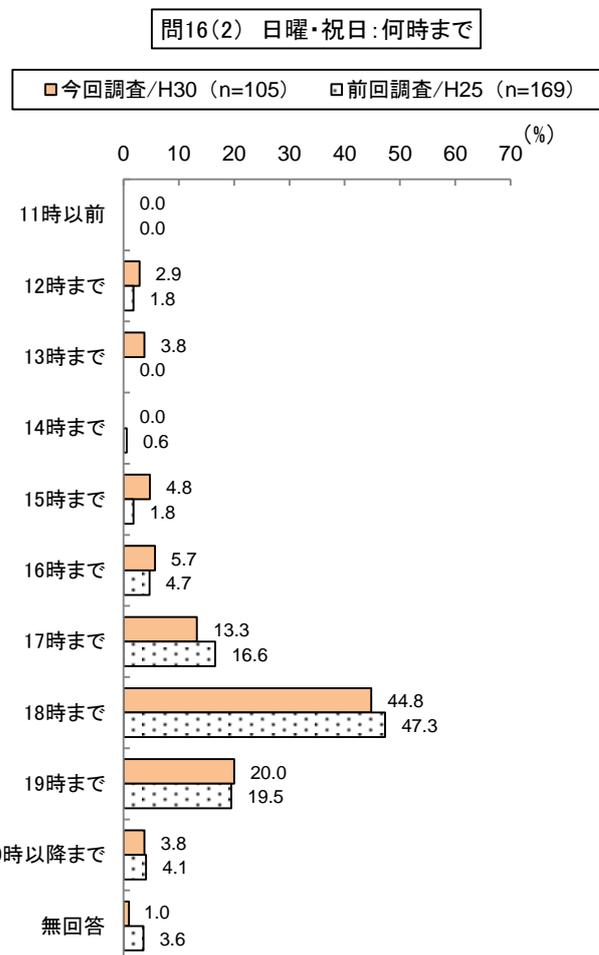
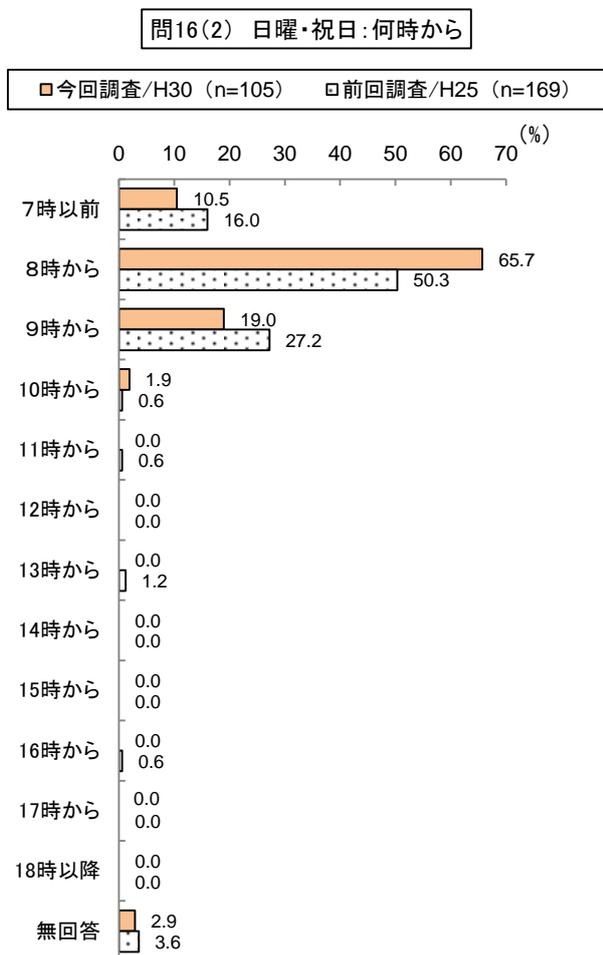
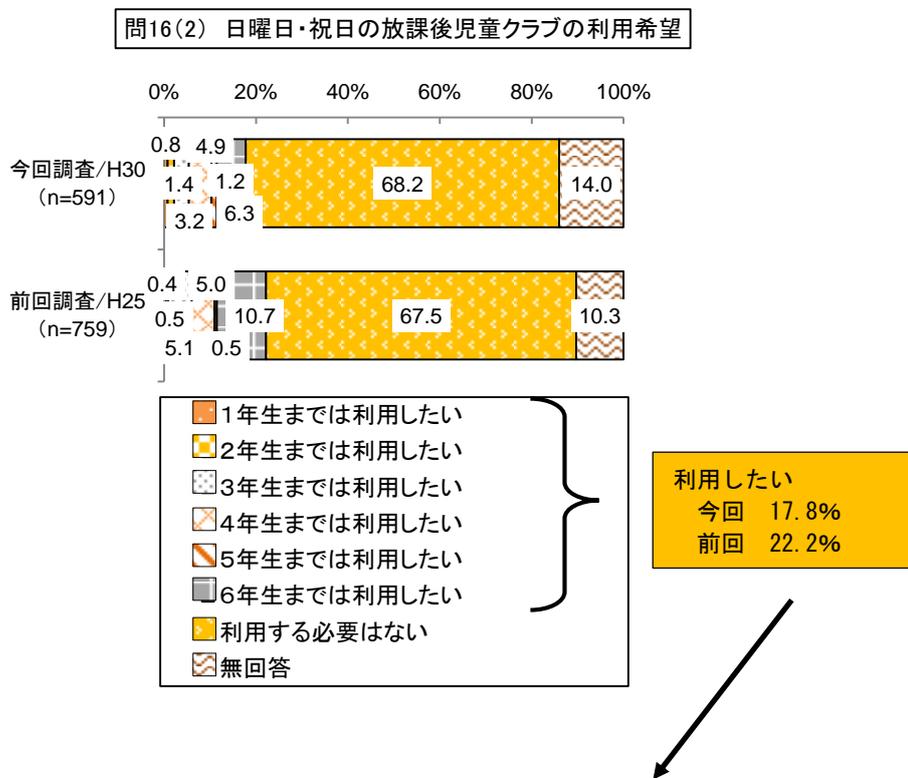
問16(1) 土曜日：何時まで

■ 今回調査/H30 (n=235) □ 前回調査/H25 (n=400)

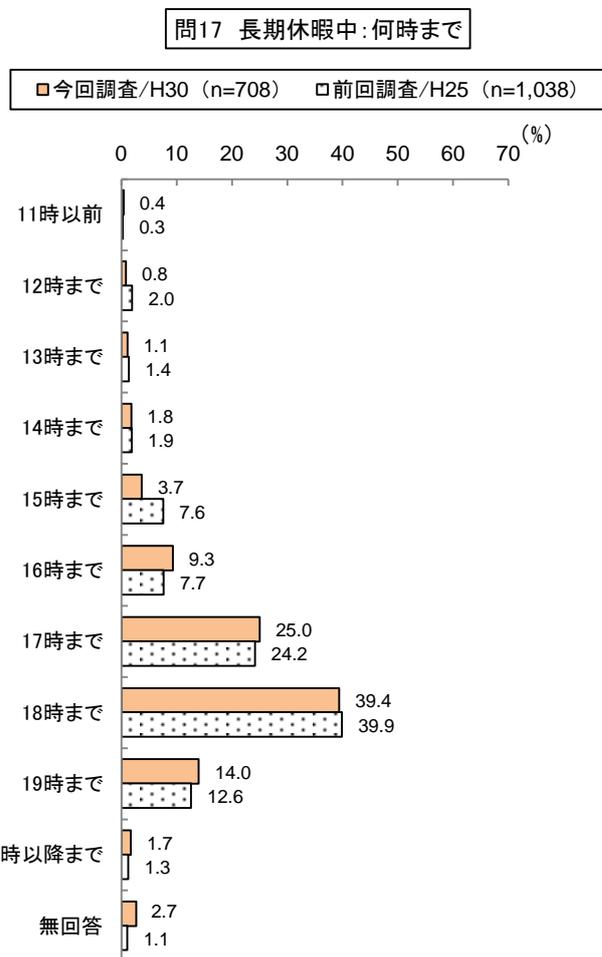
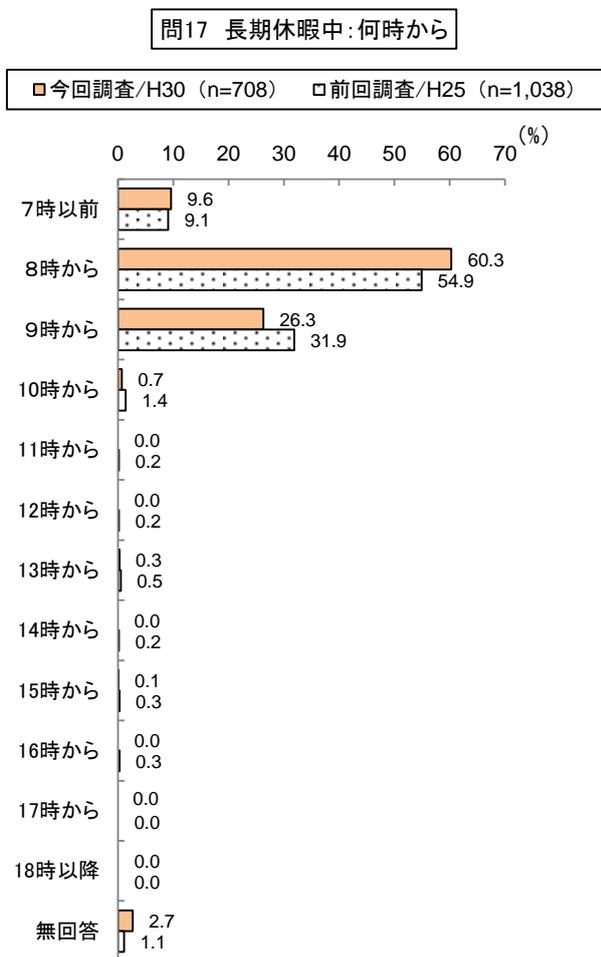
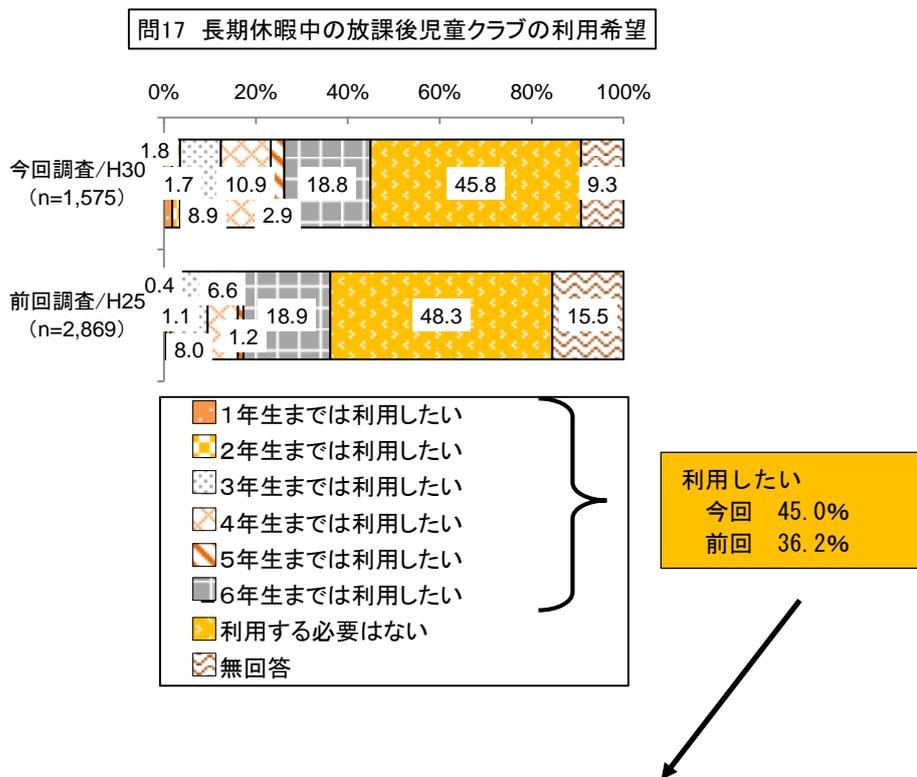


(3) 放課後児童クラブ（学童保育）の日曜日・祝日の利用希望

問14で「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方



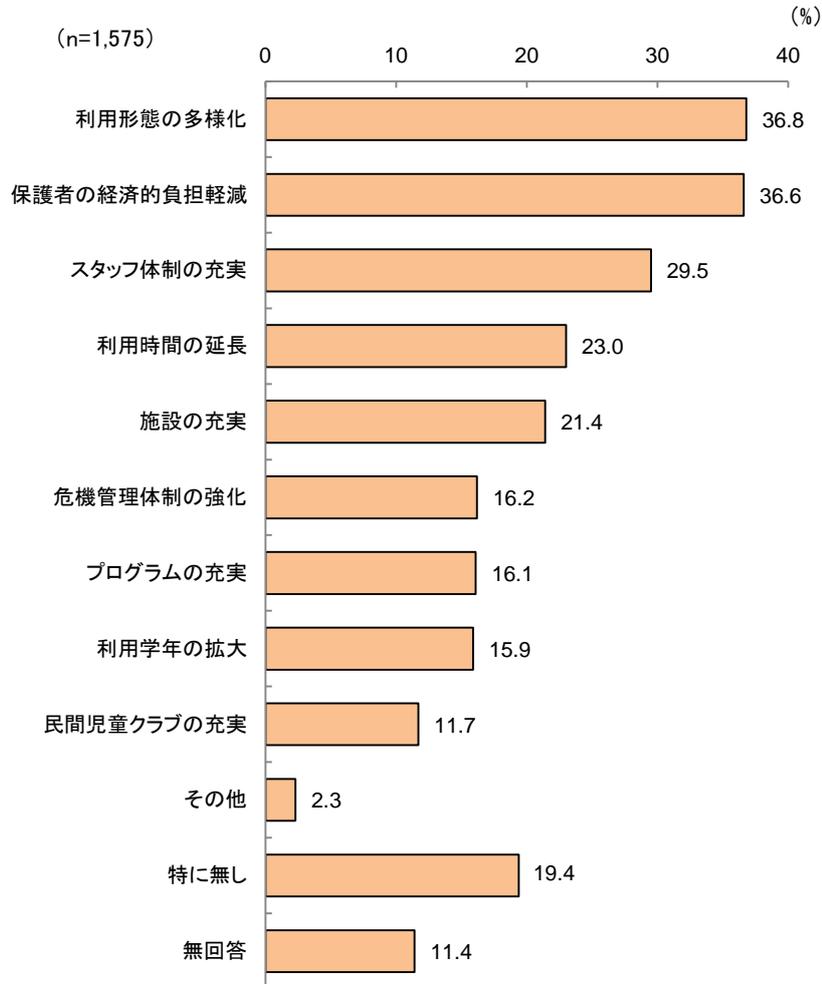
(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望



(5) 放課後児童クラブに望むこと

○放課後児童クラブに望むこととして、「利用形態の多様化」、「保護者の経済的負担軽減」、「スタッフ体制の充実」などが多くなっている。

問18 放課後児童クラブに今後望むこと



7 自由意見（小学生）

子育ての環境や支援に関する自由意見について、合計 595 件の意見が寄せられた。

内容を分類すると、「子育て支援について」が 300 件、「経済的支援について」が 170 件、「環境について」が 65 件、「相談、情報提供について」が 33 件、「子育てと仕事の両立について」が 13 件、「アンケートについて」が 10 件、「市の対応、体制について」が 4 件となっており、代表的な意見を抜粋して掲載している。

大項目	小項目	件数
1. 子育て支援について	①放課後児童クラブ、放課後の子どもの居場所について	211
	②子育て支援センター、児童館について	38
	③病児保育、一時保育について	16
	④保育所、幼稚園などの保育サービスについて	15
	⑤障がいのある子どもへの子育て支援について	15
	⑥ひとり親への支援について	5
2. 経済的支援について	①医療費について	128
	②保育料・教育費について	29
	③経済的支援全般について	13
3. 環境について	①子どもが遊ぶ施設・環境について	31
	②子どもの教育環境について	26
	③地域の環境について	8
4. 相談、情報提供について	①情報提供について	22
	②子育ての不安と相談について	11
5. 子育てと仕事の両立について		13
6. アンケートについて		10
7. 市の対応、体制について		4
合 計		595

主な意見

1. 子育て支援について

①放課後児童クラブ、放課後の子どもの居場所について

1	夏休み・春休みに、お金を払わずに預けられるところがない。
2	放課後に学習とお預かり（遊び）や、体験学習のある保育環境があればよいのと思う。
3	児童クラブの定員を増やして欲しい。建物あたりの定員が決まっているのは知っているが、高学年は預かれないと言われると安心して働けない。
4	民間の児童クラブも長期休暇中のみの利用や、学校行事による振替休の利用を可能にしてほしい。
5	学童保育で6年生まで利用できるようにしてほしい。安心して働けるように、定員で預けられないというようなことがないようにしてほしい。
6	児童クラブによって利用料金に差がありすぎる。（土曜日にも有料と無料の所がある）
7	学校の学童は時間の制限があり、民間の学童しか選ぶことができず、経済的負担がかなり大きい。校区によって異なるため、公平性がないように感じる。
8	学童は保育園と異なり、日・祝・延長保育が限られており、サービス業など、土・日・祝勤務の親にとって厳しい現状です。利用できるように拡大できれば…と願う。
9	児童クラブの時間延長をもっと延ばしてほしい。（現状は18：30）
10	放課後の児童クラブが、もっと利用しやすくなると嬉しい。広い空間で快適に過ごさせたい。
11	以前は児童クラブを利用していたが、あまりも質が低すぎると思う。安心して預けられるよう、スタッフの質の向上が必要ではないか？
12	私は今仕事をしていないので、児童クラブの利用をしていないが、夏休みなどの長期休暇だけでも気軽に預けられる場所が、もっと増えてくれたら助かる。
13	長期休暇の預かりを充実させてほしい。
14	放課後児童クラブが、子どもの人数に対してスタッフの人数が少ないため、目が行き届いていないと思う。スタッフを増員した方がいいと思う。
15	児童クラブの長期休み中の利用時間を15分でも早めてほしい。（8：00からでは仕事に間に合わない）

② 子育て支援センター、児童館について

1	青少年センターを小学生も利用できるようにしてほしい。（無料で）児童館の体育館でバドミントンができるようにしてほしい。時間別、曜日別等で対応してほしい。外ではバドミントンが、できないため。
2	子どもを安心して遊ばせられる場所が少ない。（治安、気温、公園のルール等で）各小学校の校区に1つは児童館があってほしいと思う。
3	コミセンで行われている教室を、もっと充実させて欲しい。高学年になっても楽しめるようなクラブを児童館で作ってほしい。
4	児童館をよく利用する。色々なイベントがあり参加したいが、定員が少なすぎ、児童館と自宅が遠いので申し込みに行けず参加できないことが多々ある。
5	校区内に児童館のような、子どもが安心して過ごせる施設、場所がほしい。

③ 病児保育、一時保育について

1	病気の際の、病児・病後保育専門の機関をもっと増やしてほしい。
2	子どもが病気の時に祖父母に頼らず、利用できる施設を増やし、預ける時間も早朝～夜までと、長くしてもらえないと利用しにくい。

④ 保育所、幼稚園などの保育サービスについて

1	一時保育の受け入れを増やしてほしい。また、生後3か月くらいからの受け入れ可能な所を増やしてほしい。
2	女性の社会進出が叫ばれている中、勤務時間の調整ができず、仕事探しも難しいと思う。もう少し時間を長く預かって頂くことができれば仕事の幅も広がる。

⑤ 障がいのある子どもへの子育て支援について

1	障がい児や不登校の子に対する支援の場所。障がい児や小さな子どもが安心して遊べる公園など、(障がい児専用公園など) 障がい児に対しての支援の向上。(金銭面)
2	障がいのある子ども達のサポート、サービスなどにもっと力を入れて頂きたい。

⑥ ひとり親への支援について

1	母子家庭であり、夜勤をしたいが、まだできない。夜間、子ども2人は心配であるが生活も大事。気持ちに余裕もない。
2	塾やスポーツクラブに入りたいと子どもは言うが、経済的な理由により(母子)入れることが困難。母子に対しての免除などあればありがたいが、母子で家賃の費用が少し免除出来ないか。家賃を払うのが非常に困難で悩んでいる。

2. 経済的支援について

①医療費について

1	中学校までの子どもの医療費無料化。
2	松山市に引越しして来て驚いたのは、小学生～医療助成がないこと。人口が少ない県からみれば、教育も保育環境も松山はいい方だと思うが、経済的負担はやや大きいように思う。
3	高校まで病院代無料希望。
4	小学6年までの通院費無料化をお願いしたい。
5	子どもの医療費助成を6年生までにしてほしい。子どもが3人以上いる家庭にはもっと優遇してほしい。
6	小学生の間も、医療費無料または補助してほしい。
7	子供の医療保険の負担を、無料までとは言わず、せめて2割負担にしてほしい。できれば小学校までは1割で。
8	義務教育中は医療費を無料にしてほしい。
9	学生の間医療費の無料へ。
10	小学生の間、医療費がかかるのを、他の地域のように無料にしてもらおうと嬉しい。

②保育料・教育費について

1	もう少し安い料金で子どもを預けられるようにしてほしい。
2	家計の負担を軽減するためにも教育費（学校にかかる費用）を少なくして欲しい。報道でもあり、所得は増えてないために、将来の事も考えて対応してもらいたい。
3	公的児童クラブは、延長利用すると費用負担が大きいので、負担軽減を希望。

③経済的支援全般について

1	児童手当の額の増額を検討してもらいたい。5,000円は少ない気がする。
2	経済的支援など子育てしやすい、子育てしたくなる支援を充実させてほしい。

3. 環境について

①子どもが遊ぶ施設・環境について

1	特に長期休暇中の子どものイベントをたくさん行って欲しい。参加費があってもよいので、親子や家族で参加できる、普段できないような体験イベントを提供してほしい。
2	放課後に、子どもたちが自由に集まれる施設がほしい。図書館の数を増やしてほしい。
3	休日の雨の日の出かける場所、遊べる場所が松山には少ないと感じる。屋内の公共施設があると、ありがたい。
4	自由にボール遊びができる所を増やしてほしい。
5	子どもだけで、安心して遊べる場所がほしいと思う。道後地区は、通学路に深い水路があり危険。安心して通学できるよう、柵の設置を希望する。

②子どもの教育環境について

1	図書館に、もっと子どもの新しい本を入れてほしい。
2	小学校の体育館も今後エアコンを設置してほしい。
3	塾に通えない子のための、無料の塾があればいいと思う。土・日、祝、長期休の時の（仕事）子どもの預け場所。

③地域の環境について

1	地域で集まり、学んだり体験したりする場があると、社会性も向上すると思う。
2	登下校時の防犯パトロールに力を入れてほしい。（行政と地域とで）

4. 相談、情報提供について

①情報提供について

1	地域の子育て支援事業の内容で、知らないものが多かった。ホームページ等で、写真付で分かりやすくすべきだと思う。
2	登下校時の不審者情報について、地域によって共有されていないことがあり、細かいことでも伝えて欲しいと思うことがあった。

②子育ての不安と相談について

1	誰に、どこに相談していいのかも分からない。どのような支援があるのか、またどのような施設なのか、とても分かりにくいと感じている。
2	親が気軽に相談できる場所が少ないと感じる。相談してもモヤモヤが残ったままのことが多い。

5. 子育てと仕事の両立について

1	P T A自治会こども会など、任意団体（ほぼ強制）の活動もあり、仕事との両立はかなり難しい。地域の中小企業などは、有休すら取れない状況にあるため、自治体だけでなく、企業を巻き込んだ対策が必要だと思う。
2	働かなければ生活できない現状ですが、親として子どもと一緒に過ごせる時間がもっとほしいです。子育てにゆとりが持てる経済、日本にしていきたい。

6. アンケートについて

1	このようなアンケートに関して、ネットや携帯から実施した方が、環境問題の視点から見てもよいかと思う。集計される方も大変かと思う。
2	アンケートが答えにくい。問と回答を別の用紙にして、見やすく返送しやすいようにしてほしい。週当たり、月当たり何日は分かりづらい。

7. 市の対応、体制について

1	以前、娘が心因的な事で体調を崩した際、スマホで調べて市の相談窓口へ電話したが、専門の方ではなく受け答えもあいまいで、何度も保留にしては、誰かに確認をしていた。こちらも不安になったし、がっかりした。専門の方は予約があるのかもしれないが、もう少し受け答えが出来て、せめて話を聞く姿勢でも、穏やかで話しやすい方をお願いしたい。
---	--

付表

1 就学前児童の調査票

小学校就学前児童のいる世帯用

「人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま」の次代を担う子どもたちのために！

「松山市子ども・子育て支援に関するアンケート調査」

～調査ご協力をお願い～

皆さまには、日頃から幼児教育及び児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、松山市では、平成27年4月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」を積極的に進めるため、同年3月に平成27年度から平成31年度までの5カ年を計画期間とする「松山市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

今回、2020年度（平成32年度）からの次期計画の策定に向けた基礎資料とするため、市民の皆さまの子育て状況や、子ども・子育てに関するご要望・ご意見等を把握するアンケート調査を前回に引き続き実施することにしました。

なお、この調査は、市内にお住まいの就学前のお子さんの中から無作為に選ばせていただいています。

また、ご記入していただいた内容について、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは、一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

皆さまのご意見が、今後の松山市の子ども・子育て支援を推進する上で、大変重要な資料になりますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年9月

松山市長 野志 克仁

<このアンケート調査について>

1. この調査は、市内にお住まいの小学校就学前（平成24年4月2日～平成30年4月1日生まれ）のお子さんと小学校に通われているお子さん（平成20年4月2日～平成24年4月1日生まれ）の中から、無作為で約8,000人を選ばせていただき、その保護者の皆さまにご協力をお願いしています。
2. ご返送いただいた調査票は、松山市及び委託業者（株）サーベイリサーチセンター 四国事務所のみが、厳重な情報管理体制の下で、漏えい・紛失等のないよう適切に取り扱います。また、ご回答いただいた内容を調査目的以外に使用することは一切ありません。
3. ご回答いただいた内容（施設やサービスの利用状況・利用希望等）が、実際の施設やサービスの利用の可否などに影響することは一切ありません。

ご記入が済みましたら、お手数ですが、**9月19日（水）**までに、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにご投函ください。

この調査票についてご不明な点などがございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

松山市 保健福祉部 子育て支援課

〒790-8571

松山市二番町四丁目7-2

電話：089-948-6418 FAX：089-934-1814

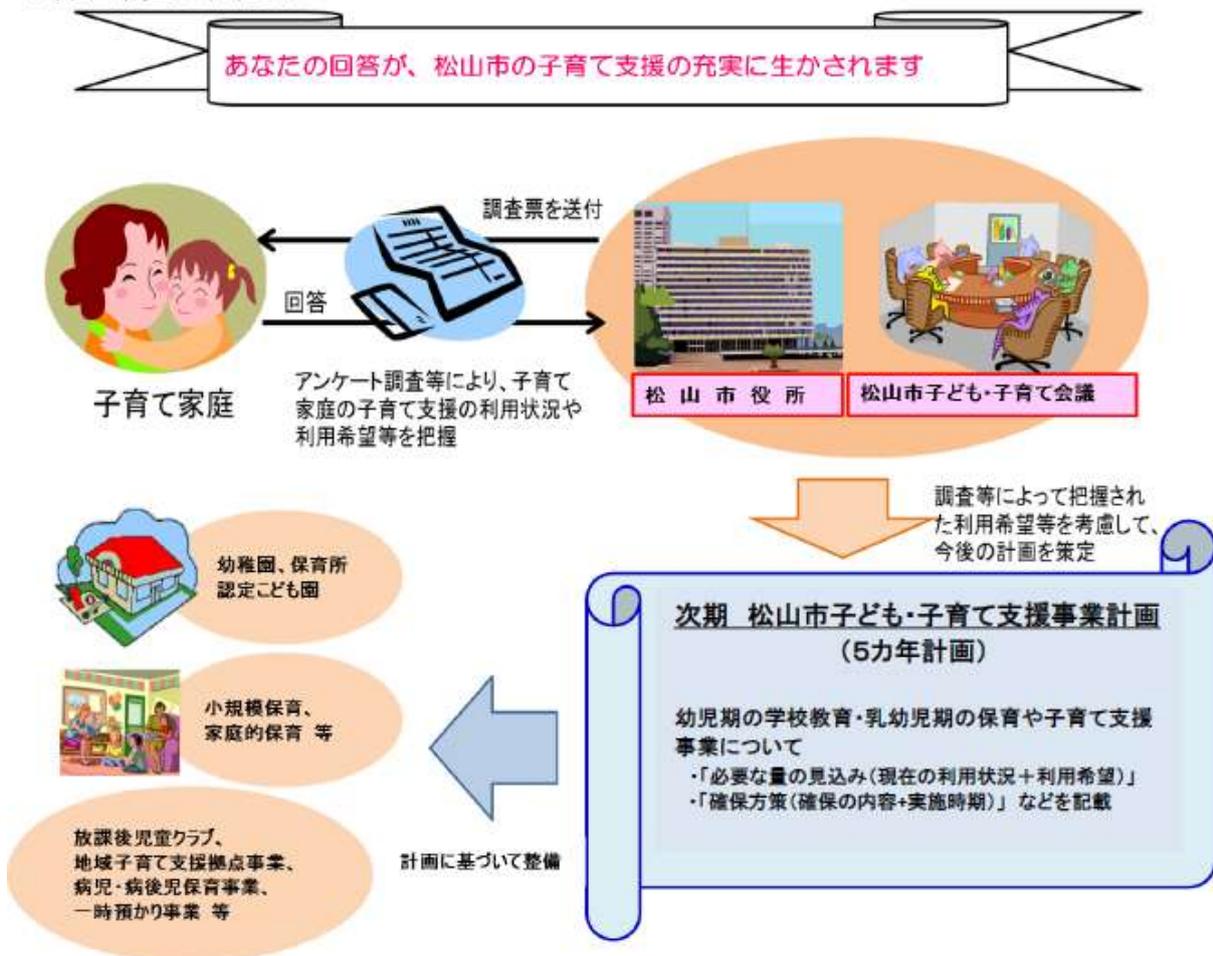
E-mail：kosodate@city.matsuyama.ehime.jp

※お電話によるお問い合わせは、平日午前8時30分から午後5時15分の間をお願いします。

＜ご記入にあたってのお願い＞

1. 特に断りのある場合を除き、アンケートには、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. アンケートには、皆さまのお名前を書いていただく欄はありません。（無記名によるアンケート調査）率直なご意見・ご要望をお聞かせください。
3. 回答にあたっては、黒または青のボールペン、黒い鉛筆等ではっきりとご記入ください。修正される場合は、二重線で訂正したうえで、正しい回答をご記入ください。
4. 回答方法には、選択肢の中から選んで当てはまる番号に○印をつけていただく場合と、【 】や表内に○印並びに数字を記入していただく場合があります。
5. 選択肢の中から選んでいただく場合には、選んでいただく数が設問によって異なりますので、ご注意ください。また、選択肢で「その他」を選ばれた場合は、その後にある（ ）に具体的な内容をご記入ください。
6. 設問によって、回答していただく方が限られる場合があります。説明文に従ってお進みください。（設問は問29まであります）
7. 設問の中にある各事業等の内容が不明の場合は、P28～31「松山市の子育て支援サービス」を参考に、ご回答ください。

＜今回の調査の仕組み＞



【アンケート調査から「松山市子ども・子育て支援事業計画」への反映】

前回実施したアンケート調査の結果は、平成27年3月に策定した「松山市子ども・子育て支援事業計画」の第4章「施策の展開」や第5章「子ども・子育て支援の新たな取り組み」の中の、「幼児期の教育及び乳幼児期の保育の“量の見込み”(ニーズ量)」として反映しました。

計画策定後は、「松山市子ども・子育て会議」で、毎年事業の進捗状況を点検・評価していただいています。

今回の調査結果も、前回と同様に、次期「松山市子ども・子育て支援事業計画」の策定に反映します。

・前回のアンケート調査の結果

・松山市子ども・子育て支援事業計画



二次元コード



二次元コード

・松山市子ども・子育て支援事業計画の実施状況



二次元コード

【用語の定義】

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設 (学校教育法第1条及び第22条)
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする、0～5歳児に対して保育を行う、認可を受けた利用定員20人以上の施設(児童福祉法第35条及び第39条)
地域型保育事業	児童福祉法に定める、保育を必要とする、主に0～2歳児に対して保育を行う、認可を受けた利用定員19人以下の事業(小規模保育事業、事業所内保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型事業)(児童福祉法第6条の3第9号から第12号及び第34条の15)
認可外保育施設	児童福祉法に定める、保育することを目的とした施設のうち、認可を受けていない施設(地域保育所など)(児童福祉法第59条の2)
企業主導型保育事業	企業が主に設置する、従業員の子どもを保育する認可外保育施設として位置付けられる国の助成金で運用している事業(施設によっては、地域枠の設置あり)(子ども・子育て支援法第59条の2)
認定こども園	幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設(幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項))
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	問10までは、家庭での教育を含めた広い意味、問11以降は、幼児期の学校での教育の意味で用いています。

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問6-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際のみ祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問6-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問7へ |

問6-1 問6で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担があり心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担があり心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか不安がある |
| 6. その他 () |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（1）母親の就労状況と（2）父親の就労状況について、それぞれお答えください。

（1）母親の就労状況 【父子家庭の場合は記入は不要です】
当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ (1) -1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ (2)へ
6. これまで就労したことがない	

(1)-1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
(【 】内に数字でご記入ください)

1週当たり	【 】日	1日当たり	【 】時間
-------	---------	-------	----------

(1)-2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
ただし、帰宅時刻が日付を越える場合を除く。(例えば“翌日1時”に帰宅される場合は“25時”とご記入ください) (【 】内に数字でご記入ください)

家を出る時刻	【 】時頃	～	帰宅時刻	【 】時頃
--------	----------	---	------	----------

(2) 父親の就労状況 【母子家庭の場合は記入不要です】
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	} ⇒ (2) -1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問10へ
6. これまで就労したことがない	

(2)-1 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 (【 】内に数字でご記入ください)

1週当たり	【 】日	1日当たり	【 】時間
-------	----------	-------	-----------

(2)-2 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
 ただし、帰宅時刻が日付を越える場合を除く。
 (例えば“翌日1時”に帰宅される場合は“25時”とご記入ください)
 (【 】内に数字でご記入ください)

家を出る時刻	【 】時頃	～	帰宅時刻	【 】時頃
--------	-----------	---	------	-----------

問9 問8の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。「1. 2.」を選んだ方は問11へ、「5. 6.」を選んだ方は問10へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、 実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、 実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問10 問8の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問11へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、
2. 3. を選択した場合は、「希望する就労形態」についてもご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、子どもが【 】歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

「希望する就労形態」

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり【 】日 1日当たり【 】時間

ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、子どもが【 】歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

「希望する就労形態」

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり【 】日 1日当たり【 】時間

ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の 利用状況についてうかがいます。

問14 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

①～⑳の事業ごとに、A～C欄のそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

また、①～⑳の事業で、行政に対して、重点的に取り組みを期待するものをD欄に○をつけてください。

なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

※地域の子育て支援事業についてはP29～をご覧ください。

		A	B	C	D
		知っている	これまでに利用 したことがある	今後利用したい (継続利用も含む)	行政に対して、 重点的に組み 組みを期待するもの
①	利用者支援事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
②	延長保育事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
③	放課後児童クラブ(学童保育)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
④	ショートステイ事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑤	こんにちは赤ちゃん訪問	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑥	養育支援訪問事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑦	子ども総合相談(青少年センター)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑧	子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑨	子育てひろば	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑩	児童館・児童センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑪	親子ふれあいタイム	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑫	一時預かり事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑬	病児・病後児保育事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑭	ファミリー・サポート・センター事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑮	保健所・保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑯	マタニティ相談会、 パパ・ママのための教室 (保健所で実施しているもの)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑰	放課後子ども教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑱	ほっとHOTひろば	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑲	子育てマップ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
⑳	幼稚園の子育て支援事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	
㉑	「てくるん」での託児・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	

問14-1 問14で、下記の事業B欄の「利用したことがある」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。

(すべて「いいえ」を選んだ方は、問14-2へお進みください)

現在、利用している事業のおおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

①	利用者支援事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
②	延長保育事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
④	ショートステイ事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑥	養育支援訪問事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑧	子育て支援センター	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑨	子育てひろば	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑪	親子ふれあいタイム	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑫	一時預かり事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑬	病児・病後児保育事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑭	ファミリー・サポート・センター事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	

問14-2 問14で、下記の事業C欄の「今後利用したい」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。

(すべて「いいえ」を選んだ方は、問15へお進みください)

今後利用したい事業のおおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

①	利用者支援事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
②	延長保育事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
④	ショートステイ事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑥	養育支援訪問事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑧	子育て支援センター	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑨	子育てひろば	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑪	親子ふれあいタイム	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑫	一時預かり事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑬	病児・病後児保育事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	
⑭	ファミリー・サポート・センター事業	1週間当たり【 】回	または
		1カ月当たり【 】回	

問20-5 問20-4で「1.」「2.」「3.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 「病児・病後児のための保育施設等」を利用しなかったのはなぜですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保護者が仕事を休むことができた
2. 病気中の子どもを他人にみてもらうのは不安だった
3. 地域の事業の質に不安があった
4. 「病児・病後児のための保育施設」があることを知らなかった
5. 利用方法がわからなかった
6. 利用料がかかる・高い
7. 利用料が分からなかった
8. 利用しようとしたが予約がとれなかった
 (予約がとれなかった施設名：)
9. 実施場所が不便なため、利用できなかった
10. 必ず預かってもらえる保証がない
11. 利用する手続き(申請等)が手間である
12. 他の子どもから病気がうつる不安がある
13. その他()

問20-6 問20-4で「4. 病児・病後児の保育を利用した」に○をつけた方にうかがいます。
 この1年間にどの病児・病後児保育施設を利用しましたか。当てはまる番号すべて
 に○をつけてください。

1. 石丸小児科
2. 芳村小児科医院
3. 天山病院
4. 愛媛生協病院
5. 石川小児科(東温市)
6. むかいだ小児科(伊予郡松前町)
7. その他(利用した施設名：) ⇒ 問20-7へ

問20-8へ

問20-7 問20-6で「7. その他」に○をつけた方にうかがいます。
 なぜ、その施設を利用しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自宅に近かったため
2. 職場に近かったため
3. 利用しやすい料金だったため
4. 保育施設が気に入ったため
5. 問20-6の「1.」～「6.」の施設が利用できなかったため
6. その他()

問20-8 病児・病後児保育施設を利用したかったが、予約ができなかったことがありましたか。
 あった場合、予約ができなかった回数を【 】内に数字で記入してください。

1. あった⇒ 年間で約【 】回
2. なかった

問26 問24で「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」を選択された方にうかがいます。
 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
 (1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。
 また、利用したい時間帯を、【 】内に「(例)09～18時」のように24時間制でご記入ください。（現在の利用可能時間に限らずお答えください）
 ※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 1年生までは利用したい 2. 2年生までは利用したい 3. 3年生までは利用したい 4. 4年生までは利用したい 5. 5年生までは利用したい 6. 6年生までは利用したい 7. 利用する必要はない	利用したい時間帯 【 】時から【 】時まで
--	----------------------------------

(2) 日曜日・祝日

1. 1年生までは利用したい 2. 2年生までは利用したい 3. 3年生までは利用したい 4. 4年生までは利用したい 5. 5年生までは利用したい 6. 6年生までは利用したい 7. 利用する必要はない	利用したい時間帯 【 】時から【 】時まで
--	----------------------------------

問27 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
 また利用したい時間帯を、【 】内に「(例)09時～18時」のように24時間制でご記入ください。 ※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 1年生までは利用したい 2. 2年生までは利用したい 3. 3年生までは利用したい 4. 4年生までは利用したい 5. 5年生までは利用したい 6. 6年生までは利用したい 7. 利用する必要はない	利用したい時間帯 【 】時から【 】時まで
--	----------------------------------

問28-2 問28で「3. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。
 該当しない方は、問29へお進みください。
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	⇒	問28-3へ
2. 現在も育児休業中である]	⇒ 問29へ
3. 育児休業中に離職した		

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	⇒	問28-3へ
2. 現在も育児休業中である]	⇒ 問29へ
3. 育児休業中に離職した		

問28-3 問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

いずれか1つに○をつけてください。

※年度初めでの保育所等の入所を希望して、年度途中で復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所等に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問28-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何カ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何カ月のときまで取りたかったですか。【 】内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間	【 】歳【 】カ月	希望	【 】歳【 】カ月
---------	-----------	----	-----------

(2) 父親

実際の取得期間	【 】歳【 】カ月	希望	【 】歳【 】カ月
---------	-----------	----	-----------

問28-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、お子さんが何歳何カ月の時まで取りたかったですか。
 【 】内に数字でご記入ください。

(1) 母親

【 】歳 【 】カ月

(2) 父親

【 】歳 【 】カ月

問28-6 問28-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 希望する保育所等に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため | |
| 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため | |
| 5. 職場に長期休暇をとりにくい雰囲気があるため | |
| 6. 育児代員の確保が難しく、早く復帰せざるを得なかったため | |
| 7. その他 () | |

②父親

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 希望する保育所等に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため | |
| 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため | |
| 5. 職場に長期休暇をとりにくい雰囲気があるため | |
| 6. 育児代員の確保が難しく、早く復帰せざるを得なかったため | |
| 7. その他 () | |

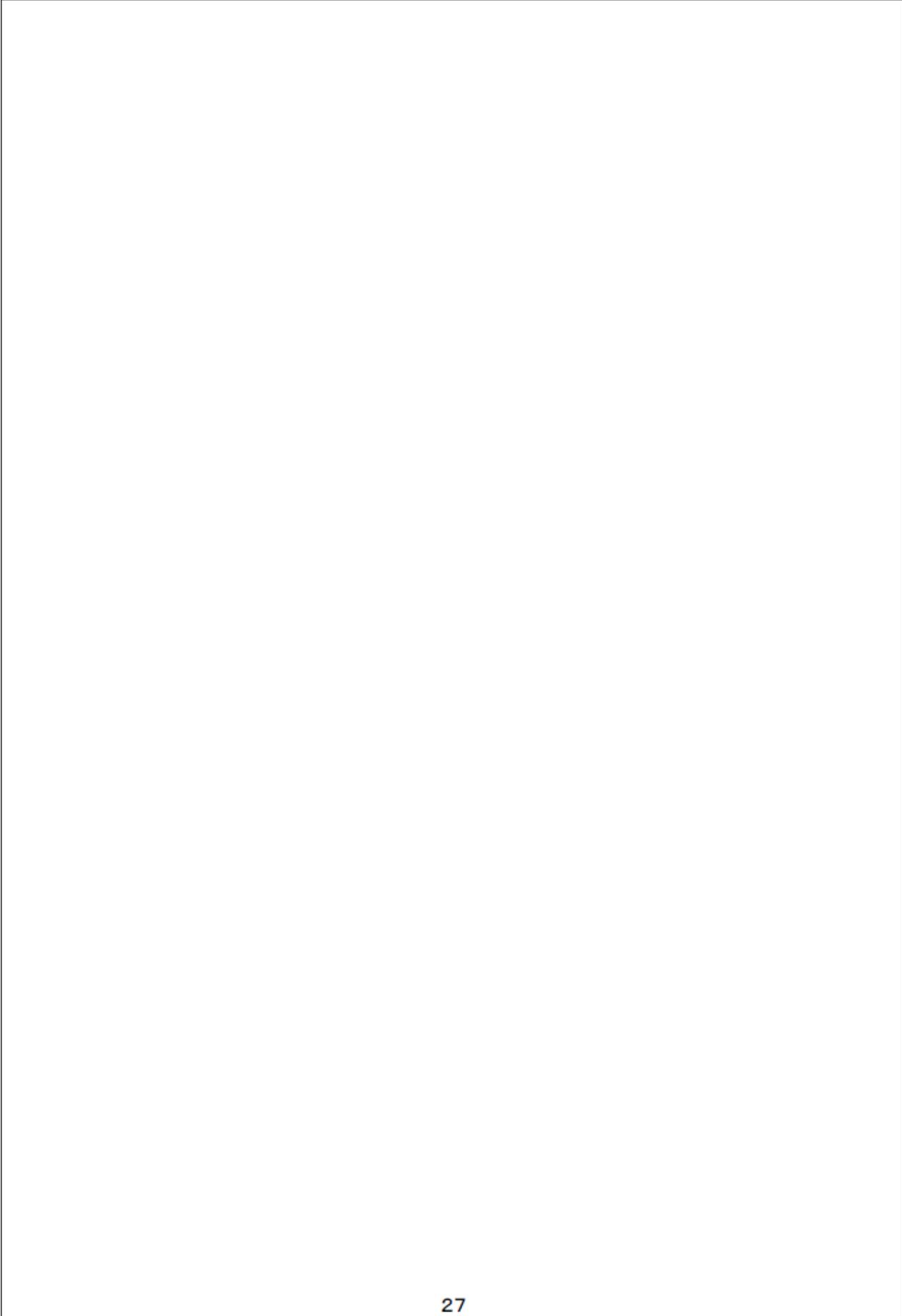
(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | |
|---------------------------|
| 1. 希望する保育所等に入れなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため |
| 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 6. その他 () |

②父親

- | |
|---------------------------|
| 1. 希望する保育所等に入れなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため |
| 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 6. その他 () |



松山市の子育て支援サービス

教育・保育施設等 ※平成30年4月1日時点

*このページ以降は切り取ってもいただいてもかまいません。
*各施設や事業の一覧はQRコードからご覧いただけます。

認定こども園

幼稚園と保育所の機能や特徴をあわせ持ち、地域の子育て支援も行う施設です。保育料は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額になります。



二次元コード

地域型保育事業(小規模保育等)

3歳未満の子どもを対象とした、概ね19人以下の小規模な施設で保育する事業です。(小規模保育事業、事業所内保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業)
保育料は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額になります。



二次元コード

幼稚園

小学校以降の教育の基礎をつくるための、幼児期の教育を行う施設です。子ども・子育て支援新制度の適用を受ける園と、従来の私学助成の園があります。保育料は、新制度の適用を受ける園は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額になります。私学助成の園は、各園が定めた金額になります。



二次元コード

企業主導型保育事業

企業が設置した、従業員の子どもを保育する認可外保育施設です。地域の子ども(地域枠)の利用ができる施設もあります。利用料は、各保育施設が定めた金額になります。



二次元コード

保育所

仕事や病気などのため、家庭で保育できない保護者に代わって保育を行う施設です。保育料は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額になります。



二次元コード

認可外保育施設(地域保育所)

松山市に届出をしている認可外保育施設等です。利用料は、各保育施設が定めた金額になります。この調査では、企業主導型保育事業とベビーシッターは除きます。



二次元コード



地域子育て支援事業等 ※平成30年4月1日時点

利用者支援事業

保育・幼稚園相談窓口として、教育・保育・保健その他の子育て支援の情報提供や、必要に応じ、相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

○設置場所

松山市役所 別館1階 福祉・子育て相談窓口(※)内
 ※8/1から、「福祉総合窓口」は「福祉・子育て相談窓口」に改称しました。
 松山市立久米保育園 地域子育て支援センター内

延長保育事業

保護者の仕事や家庭の状況により、通常の保育時間を超えて保育する事業です。
 利用料は、公立保育所等では、市の例規で定められた金額になります。私立施設では、各施設が定めた金額になります。

休日保育事業

仕事や病気などのため休日に家庭で保育できない保護者に代わって保育する事業です。

放課後児童クラブ

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、適切な遊びや生活の場として専用施設で預かります。

○施設数

市内105か所

ショートステイ事業

保護者が、病気や仕事その他の理由により児童の養育が困難となった場合に、児童養護施設などで養育・保護を行います。

○施設名(50音順)

愛媛県立愛媛母子生活支援センター、
 愛媛慈恵会、三愛園、親和園、松山乳児院、
 松山信望愛の家

●利用料

	【2歳未満児】	【2歳以上児】
・課税世帯	日額5,350円	日額2,750円
・非課税世帯	日額1,100円	日額1,000円

トワイライトステイ事業

保護者の仕事等により、平日の夜間又は休日に家庭での保育を必要とする児童を実施施設で保護し、生活指導、食事の提供等を行います。

○施設名(50音順)

愛媛県立愛媛母子生活支援センター、
 愛媛慈恵会、三愛園、親和園、松山乳児院、
 松山信望愛の家

●利用料

	【夜間預かり】	【休日預かり】
・課税世帯	日額 750円	日額1,350円
・非課税世帯	日額 300円	日額 350円

こんにちは赤ちゃん訪問

生後4カ月未満の乳児のいるすべてのご家庭を松山市母子保健推進員や保健師等が訪問しています。

養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭を訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるための訪問支援事業です。

子ども総合相談

子育てや教育など、18歳までの子どもに関するさまざまな相談をすることができます。

○実施場所

松山市築山町(松山市青少年センター内)

子育て支援センター

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言、その他の援助を行います。地域の子育て支援機能の充実、子育ての不安感の緩和等を図り、子どもの健やかな育ちを支援する事業です。

○施設名

公立保育所:粟井、石井、久米、道後、平井、
 松山、味生
 私立保育所:あさひ、えひめ乳児、高木、のぞみ、
 ひよこ、未来
 認定こども園:愛隣、和泉、福角、星岡

地域子育て支援事業等 ※平成30年4月1日時点

子育てひろば

子育て中の親子(主に乳幼児)がいつでも気軽に参加でき、打ち解けた雰囲気の中で交流したり、相談したりすることができる場を提供しています。

○施設名(50音順)

カタリナ子育てひろば「ぼけっと」
 子育てひろば「くーふあん」
 子育てひろば「くりっぷ」
 子育てひろば「ToiToiToi」
 しのめ広場「たんぼぼ」
 松山市子育て支援相談室「ほっとHOTひろば」

児童館・児童センター

子どもの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に、子どもに健全な遊びを提供する施設です。子どもたちが自由に来館し、友だちと楽しく遊ぶことができます。

○施設名(50音順)

新玉児童館、久米児童館、中央児童センター
 南部児童センター、畑寺児童館、久枝児童館
 北条児童センター、味生児童館

親子ふれあいタイム

児童館・児童センターの平日午前中に、子育て中の親子(乳幼児)同士の交流スペースの提供や子育て相談、遊びを通したふれあい活動などを行っています。

○施設名(50音順)

新玉児童館、久米児童館、中央児童センター
 南部児童センター、畑寺児童館、久枝児童館
 北条児童センター、味生児童館

一時預かり事業

急な用事や短期のパートタイム就労のほか、リフレッシュしたい時などに、保育所などの施設で子どもを預かる事業です。新制度の適用を受ける幼稚園や認定こども園の幼稚園機能部分(1号認定)の在園児で、教育時間の前後や、土曜日や長期休業中などに預かる事業も含まれます。

利用料は、市立幼稚園、公立保育所等では、市の例規で定められた金額になります。私立施設では、各施設が定めた金額になります。

病児・病後児保育事業

病気や病後の子どもを保護者が家庭で保育できない場合に、病院に付設されたスペースで預かる事業です。



二次元コード

ファミリー・サポート・センター事業

児童の預かり等の援助を受けることを希望する方(依頼会員)と、援助を行うことを希望する方(提供会員)との相互援助活動に関する連絡・調整を行う事業です。

●利用条件

- ・6カ月から小学6年生までの子どものいる方。
- ・市内に居住し、勤務または在学していること。

●利用料

- ・1時間当たり 700円～900円

●実施主体

まつやまファミリー・サポート・センター
 (松山市男女共同参画推進センター「コムズ」内)

保健所・保健センターの情報・相談事業

妊婦一般健康診査や乳児一般健康診査、1歳6カ月児健康診査、3歳児健康診査等に関する情報及び赤ちゃん相談や電話相談を実施しています。

マタニティ相談会、 パパ・ママのための教室

育児等についての基本知識を学び、実習等を通して出産・育児の心得を学習し、不安の解消と同時に妊婦間の交流の場とする教室です。

沐浴等育児の実習を通して夫婦で育児の知識を学ぶとともに、親になるための心得を学習するための教室です。

●実施主体

松山市保健所 健康づくり推進課

○実施場所

松山市保健所・はなみずきセンター

地域子育て支援事業等 ※平成30年4月1日時点

放課後子ども教室

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。

保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

○実施場所(50音順)

浅海小学校区「浅海オレンジっ子クラブ」
 新玉小学校区「新玉陽だまり教室」
 粟井小学校区「粟井っ子クラブ」
 石井小学校区「石井小学校区子ども教室」
 荏原小学校区「荏原子ども教室」
 小野小学校区「小野子ども教室」
 桑原小学校区「桑原放課後子ども教室」
 河野小学校区「みもじ子ども教室」
 興居島小学校区「興居島子ども教室」
 五明小学校区「五明っ子クラブ」
 坂本小学校区「坂本放課後子ども教室きらきらクラブ」
 潮見小学校区「いとすぎ教室」
 清水小学校区「しみずっ子ひろば」
 生石小学校区「生石子どもいきいき教室」
 素鷲小学校区「わくわくオーロラひろば」
 たちばな小学校区「たちばな小放課後子ども教室」
 立岩小学校区「立岩っ子クラブ」
 椿小学校区「椿放課後子ども教室」
 中島小学校区「中島子ども教室」
 難波小学校区「難波子ども教室」
 番町小学校区「番町放課後子ども教室」
 久枝小学校区「久枝放課後子ども教室」
 福音小学校区「ふくふくチャレンジ教室」
 双葉小学校区「ふたば放課後子ども教室」
 北条小学校区「風早あすなろ会」
 堀江小学校区「堀江っ子チャレンジ教室」
 正岡小学校区「正岡元気っ子クラブ」
 味酒小学校区「ひなたぼっこ味酒」
 味生・味生第二小学校区「味生子どもふれあい教室」
 宮前小学校区「宮前子ども教室」
 八坂小学校区「「だいすき八坂」キッズ教室」
 雄郡小学校区「雄郡っ子クラブ」
 和氣小学校区「和氣あいあい教室」

ほっとHOTひろば

子育てについて相談したい、情報がほしいなど、妊娠中から18歳未満の児童を対象に相談ができる相談室です。

○実施場所

松山市萱町6丁目(松山市保健所内)

子育てマップ

松山市内の子育て関係の施設(保育所、幼稚園など)を地図に表示したものです。市役所や支所で配布しています。

幼稚園の子育て支援事業

各幼稚園で独自に行っている、子育て支援事業です。

まちコミュスポット「てくるん」

保育・託児機能を備えた交流スペースで、一時預かり(託児室)や子育て相談(月・木曜、10時～15時)を実施しています。
 ※一時預かり(託児室)
 日曜・祝日のみ。有料。6カ月～就学前までのお子様を対象。開館時間内のうち最長3時間まで。



●利用料

基本的には無料。但し、傷害保険料(年間800円程度)及び、別途教材費等(活動内容による)が必要な場合があります。

2 小学生の調査票

小学校児童のいる世帯用

「人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま」の次代を担う子どもたちのために！

「松山市子ども・子育て支援に関するアンケート調査」

～調査ご協力をお願い～

皆さまには、日頃から幼児教育及び児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、松山市では、平成27年4月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」を積極的に進めるため、同年3月に平成27年度から平成31年度までの5カ年を計画期間とする「松山市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

今回、2020年度（平成32年度）からの次期計画の策定に向けた基礎資料とするため、市民の皆さまの子育て状況や、子ども・子育てに関するご要望・ご意見等を把握するアンケート調査を前回に引き続き実施することにしました。

なお、この調査は、市内にお住まいの小学校に通われているお子さんの中から無作為に選ばせていただいています。

また、ご記入していただいた内容について、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは、一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

皆さまのご意見が、今後の松山市の子ども・子育て支援を推進する上で、大変重要な資料になりますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年9月

松山市長 野志 克仁

<このアンケート調査について>

1. この調査は、市内にお住まいの小学校就学前（平成24年4月2日～平成30年4月1日生まれ）のお子さんと小学校に通われているお子さん（平成20年4月2日～平成24年4月1日生まれ）の中から、無作為で約8,000人を選ばせていただき、その保護者の皆さまにご協力をお願いしています。
2. ご返送いただいた調査票は、松山市及び委託業者（株）サーベイリサーチセンター 四国事務所のみが、厳重な情報管理体制の下で、漏えい・紛失等のないよう適切に取り扱います。また、ご回答いただいた内容を調査目的以外に使用することは一切ありません。
3. ご回答いただいた内容（施設やサービスの利用状況・利用希望等）が、実際の施設やサービスの利用の可否などに影響することは一切ありません。

ご記入が済みましたら、お手数ですが、**9月19日（水）**までに、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにご投函ください。

この調査票についてご不明な点などがございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

松山市 保健福祉部 子育て支援課

〒790-8571

松山市二番町四丁目7-2

電話：089-948-6418 FAX：089-934-1814

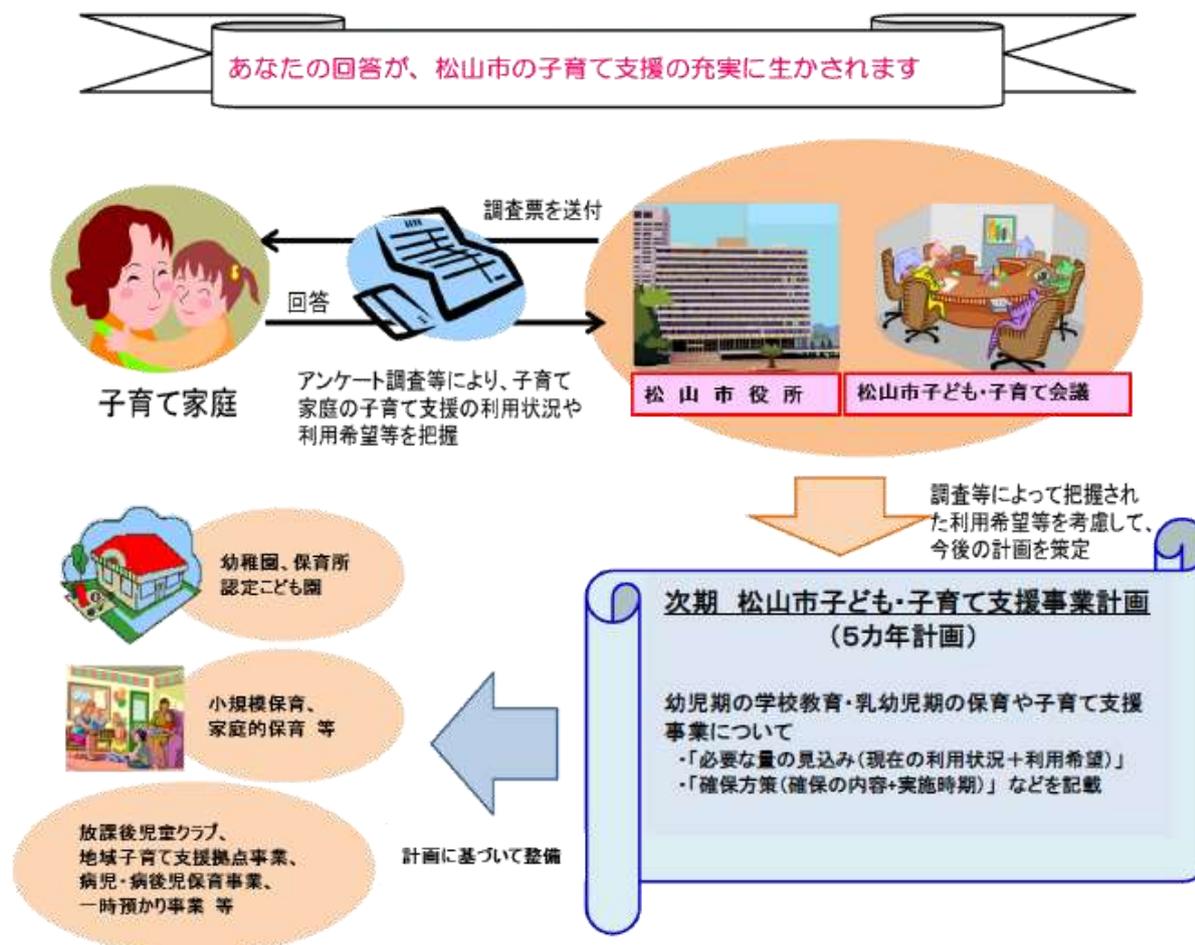
E-mail：kosodate@city.matsuyama.ehime.jp

※お電話によるお問い合わせは、平日午前8時30分から午後5時15分の間をお願いします。

＜ご記入にあたってのお願い＞

1. 特に断りのある場合を除き、アンケートには、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. アンケートには、皆さまのお名前を書いていただく欄はありません。（無記名によるアンケート調査）率直なご意見・ご要望をお聞かせください。
3. 回答にあたっては、黒または青のボールペン、黒い鉛筆等ではっきりとご記入ください。修正される場合は、二重線で訂正したうえで、正しい回答をご記入ください。
4. 回答方法には、選択肢の中から選んで当てはまる番号に○印をつけていただく場合と、【 】や表内に○印並びに数字を記入していただく場合があります。
5. 選択肢の中から選んでいただく場合には、選んでいただく数が設問によって異なりますので、ご注意ください。また、選択肢で「その他」を選ばれた場合は、その後にある（ ）に具体的な内容をご記入ください。
6. 設問によって、回答していただく方が限られる場合があります。説明文に従ってお進みください。（設問は問19まであります）
7. 設問の中にある各事業等の内容が不明の場合は、P16～19「松山市の子育て支援サービス」を参考に、ご回答ください。

＜今回の調査の仕組み＞



【アンケート調査から「松山市子ども・子育て支援事業計画」への反映】

前回実施したアンケート調査の結果は、平成27年3月に策定した「松山市子ども・子育て支援事業計画」の第4章「施策の展開」や第5章「子ども・子育て支援の新たな取り組み」の中の、「幼児期の教育及び乳幼児期の保育の“量の見込み”(ニーズ量)」として反映しました。

計画策定後は、「松山市子ども・子育て会議」で、毎年事業の進捗状況を点検・評価していただいています。

今回の調査結果も、前回と同様に、次期「松山市子ども・子育て支援事業計画」の策定に反映します。

・前回のアンケート調査の結果



二次元コード

・松山市子ども・子育て支援事業計画



二次元コード

・松山市子ども・子育て支援事業計画の実施状況



二次元コード

【用語の定義】

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設 (学校教育法第1条及び第22条)
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする、0～5歳児に対して保育を行う、認可を受けた利用定員20人以上の施設(児童福祉法第35条及び第39条)
地域型保育事業	児童福祉法に定める、保育を必要とする、主に0～2歳児に対して保育を行う、認可を受けた利用定員19人以下の事業(小規模保育事業、事業所内保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型事業)(児童福祉法第6条の3第9号から第12号及び第34条の15)
認可外保育施設	児童福祉法に定める、保育することを目的とした施設のうち、認可を受けていない施設(地域保育所など)(児童福祉法第59条の2)
企業主導型保育事業	企業が主に設置する、従業員の子どもを保育する認可外保育施設として位置付けられる国の助成金で運用している事業(施設によっては、地域枠の設置あり)(子ども・子育て支援法第59条の2)
認定こども園	幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設(幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項))
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	問10までは、家庭での教育を含めた広い意味、問11以降は、幼児期の学校での教育の意味で用いています。

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問6-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際のみ祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問6-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問7へ |

問6-1 問6で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担があり心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担があり心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか不安がある |
| 6. その他 () |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（1）母親の就労状況と（2）父親の就労状況について、それぞれお答えください。

（1）母親の就労状況 【父子家庭の場合は記入は不要です】
当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ (1) -1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ (2)へ
6. これまで就労したことがない	

(1)-1 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
(【 】内に数字でご記入ください)

1週当たり	【 】日	1日当たり	【 】時間
-------	----------	-------	-----------

(1)-2 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
ただし、帰宅時刻が日付を越える場合を除く。(例えば“翌日1時”に帰宅される場合は
“25時”とご記入ください) (【 】内に数字でご記入ください)

家を出る時刻	【 】時頃	～	帰宅時刻	【 】時頃
--------	-----------	---	------	-----------

(2) 父親の就労状況 【母子家庭の場合は記入不要です】
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	}	⇒ (2) -1へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	}	⇒ 問10へ

(2)-1 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 (【 】内に数字でご記入ください)

1週当たり	【 】日	1日当たり	【 】時間
-------	---------	-------	----------

(2)-2 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
 ただし、帰宅時刻が日付を越える場合を除く。(例えば“翌日1時”に帰宅される場合は
 “25時”とご記入ください) (【 】内に数字でご記入ください)

家を出る時刻	【 】時頃	～	帰宅時刻	【 】時頃
--------	----------	---	------	----------

問9 問8の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。「1. 2.」を選んだ方は問11へ、「5. 6.」を選んだ方は問10へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、 実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、 実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問10 問8の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問11へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、
2. 3. を選択した場合は、「希望する就労形態」についてもご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、子どもが【 】歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

「希望する就労形態」

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり【 】日 1日当たり【 】時間

ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、子どもが【 】歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

「希望する就労形態」

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり【 】日 1日当たり【 】時間

ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の 利用状況についてうかがいます。

問11 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

①～⑳の事業ごとに、A～C欄のそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

また、①～⑳の事業で、行政に対して、重点的に取り組みを期待するものをD欄に○をつけてください。

なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

※地域の子育て支援事業についてはP17～をご覧ください。

		A		B		C		D	
		知っている		これまでに利用 したことがある		今後利用したい (継続利用も含む)		行政に対して、 重点的に取り組み を期待するもの	
①	利用者支援事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
②	延長保育事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
③	放課後児童クラブ(学童保育)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
④	ショートステイ事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑤	こんにちは赤ちゃん訪問	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑥	養育支援訪問事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑦	子ども総合相談(青少年センター)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑧	子育て支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑨	子育てひろば	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑩	児童館・児童センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑪	親子ふれあいタイム	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑫	一時預かり事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑬	病児・病後児保育事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑭	ファミリー・サポート・センター事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑮	保健所・保健センターの情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑯	マタニティ相談会、 パパ・ママのための教室 (保健所で実施しているもの)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑰	放課後子ども教室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑱	ほっとHOTひろば	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑲	子育てマップ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
⑳	幼稚園の子育て支援事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		

問11-1 問11で、下記の事業B欄の「利用したことがある」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。

(すべて「いいえ」を選んだ方は、問11-2へお進みください)

現在、利用している事業のおおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

①	利用者支援事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
②	延長保育事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
④	ショートステイ事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑥	養育支援訪問事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑧	子育て支援センター	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑨	子育てひろば	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑪	親子ふれあいタイム	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑫	一時預かり事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑬	病児・病後児保育事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑭	ファミリー・サポート・センター事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回

問11-2 問11で、下記の事業C欄の「今後利用したい」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。

(すべて「いいえ」を選んだ方は、問12へお進みください)

今後利用したい事業のおおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

①	利用者支援事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
②	延長保育事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
④	ショートステイ事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑥	養育支援訪問事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑧	子育て支援センター	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑨	子育てひろば	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑪	親子ふれあいタイム	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑫	一時預かり事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑬	病児・病後児保育事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
⑭	ファミリー・サポート・センター事業	1週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回

問12 お子さんの子育てに関して、松山市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 育児サークル等が継続的に利用できる場所がほしい
2. 児童館など親子が安心して集まれる身近な場所を増やしてほしい
3. 子どもと一緒に楽しめるイベントを増やしてほしい
4. 子どもについての情報が得られる場や学べる機会がほしい
5. 誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスがほしい
6. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
7. 学校や児童クラブ等に係る費用負担を軽減してほしい
8. 児童クラブや児童館など、放課後に子どもが過ごせる場所を増やしてほしい
9. その他（）

問13-5 問13-4で「1.」「2.」「3.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 「病児・病後児のための保育施設等」を利用しなかったのはなぜですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保護者が仕事を休むことができた
2. 病気中の子どもを他人にみてもらうのは不安だった
3. 地域の事業の質に不安があった
4. 「病児・病後児のための保育施設」があることを知らなかった
5. 利用方法がわからなかった
6. 利用料がかかる・高い
7. 利用料が分からなかった
8. 利用しようとしたが予約がとれなかった
 (予約がとれなかった施設名：)
9. 実施場所が不便なため、利用できなかった
10. 必ず預かってもらえる保証がない
11. 利用する手続き(申請等)が手間である
12. 他の子どもから病気がうつる不安がある
13. その他()

問13-6 問13-4で「4.病児・病後児の保育を利用した」に○をつけた方にうかがいます。
 この1年間にどの病児・病後児保育施設を利用しましたか。当てはまる番号すべて
 に○をつけてください。

1. 石丸小児科
2. 芳村小児科医院
3. 天山病院
4. 愛媛生協病院
5. 石川小児科(東温市)
6. むかいだ小児科(伊予郡松前町)
7. その他(利用した施設名：) ⇒問13-7へ

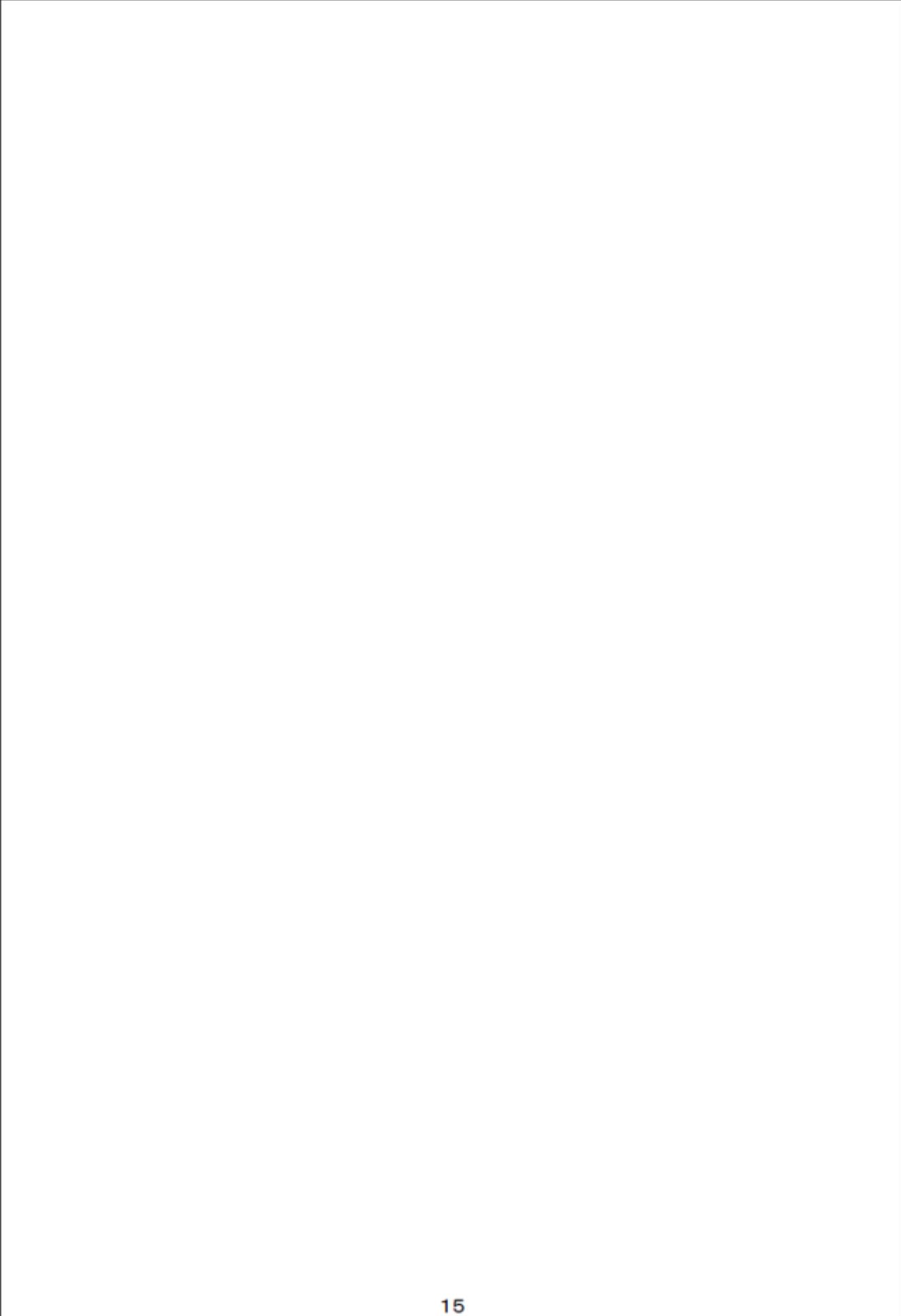
問13-8へ

問13-7 問13-6で「7.その他」に○をつけた方にうかがいます。
 なぜ、その施設を利用しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自宅に近かったため
2. 職場に近かったため
3. 利用しやすい料金だったため
4. 保育施設が気に入ったため
5. 問13-6の「1.」～「6.」の施設が利用できなかったため
6. その他()

問13-8 病児・病後児保育施設を利用したかったが、予約ができなかったことがありましたか。
 あった場合、予約ができなかった回数を【 】内に数字で記入してください。

1. あった⇒ 年間で約【 】回
2. なかった



松山市の子育て支援サービス

教育・保育施設等 ※平成30年4月1日時点

*このページ以降は切り取っていただいてもかまいません。
*各施設や事業の一覧はQRコードからご覧いただけます。

認定こども園

幼稚園と保育所の機能や特徴をあわせ持ち、地域の子育て支援も行う施設です。保育料は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額になります。



二次元コード

地域型保育事業(小規模保育等)

3歳未満の子どもを対象とした、概ね19人以下の小規模な施設で保育する事業です。(小規模保育事業、事業所内保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業)
保育料は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額になります。



二次元コード

幼稚園

小学校以降の教育の基礎をつくるための、幼児期の教育を行う施設です。子ども・子育て支援新制度の適用を受ける園と、従来の私学助成の園があります。保育料は、新制度の適用を受ける園は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額になります。私学助成の園は、各園が定めた金額になります。



二次元コード

企業主導型保育事業

企業が設置した、従業員の子どもを保育する認可外保育施設です。地域の子ども(地域枠)の利用ができる施設もあります。
利用料は、各保育施設が定めた金額になります。



二次元コード

保育所

仕事や病気などのため、家庭で保育できない保護者に代わって保育を行う施設です。保育料は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額になります。



二次元コード

認可外保育施設(地域保育所)

松山市に届出をしている認可外保育施設等です。利用料は、各保育施設が定めた金額になります。この調査では、企業主導型保育事業とベビーシッターは除きます。



二次元コード



地域子育て支援事業等 ※平成30年4月1日時点

利用者支援事業

保育・幼稚園相談窓口として、教育・保育・保健その他の子育て支援の情報提供や、必要に応じ、相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

○設置場所

松山市役所 別館1階 福祉・子育て相談窓口(※)内
 ※8/1から、「福祉総合窓口」は「福祉・子育て相談窓口」に改称しました。
 松山市立久米保育園 地域子育て支援センター内

延長保育事業

保護者の仕事や家庭の状況により、通常の保育時間を超えて保育する事業です。
 利用料は、公立保育所等では、市の例規で定められた金額になります。私立施設では、各施設が定めた金額になります。

休日保育事業

仕事や病気などのため休日に家庭で保育できない保護者に代わって保育する事業です。

放課後児童クラブ

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、適切な遊びや生活の場として専用施設で預かります。

○施設数

市内105か所

ショートステイ事業

保護者が、病気や仕事その他の理由により児童の養育が困難となった場合に、児童養護施設などで養育・保護を行います。

○施設名(50音順)

愛媛県立愛媛母子生活支援センター、
 愛媛慈恵会、三愛園、親和園、松山乳児院、
 松山信望愛の家

●利用料

	【2歳未満児】	【2歳以上児】
・課税世帯	日額5,350円	日額2,750円
・非課税世帯	日額1,100円	日額1,000円

トワイライトステイ事業

保護者の仕事等により、平日の夜間又は休日に家庭での保育を必要とする児童を実施施設で保護し、生活指導、食事の提供等を行います。

○施設名(50音順)

愛媛県立愛媛母子生活支援センター、
 愛媛慈恵会、三愛園、親和園、松山乳児院、
 松山信望愛の家

●利用料

	【夜間預かり】	【休日預かり】
・課税世帯	日額 750円	日額1,350円
・非課税世帯	日額 300円	日額 350円

こんにちは赤ちゃん訪問

生後4カ月未満の乳児のいるすべてのご家庭を松山市母子保健推進員や保健師等が訪問しています。

養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭を訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるための訪問支援事業です。

子ども総合相談

子育てや教育など、18歳までの子どもに関するさまざまな相談をすることができます。

○実施場所

松山市築山町(松山市青少年センター内)

子育て支援センター

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言、その他の援助を行います。地域の子育て支援機能の充実、子育ての不安感の緩和等を図り、子どもの健やかな育ちを支援する事業です。

○施設名

公立保育所:粟井、石井、久米、道後、平井、
 松山、味生
 私立保育所:あさひ、えひめ乳児、高木、のぞみ、
 ひよこ、未来
 認定こども園:愛隣、和泉、福角、星岡

地域子育て支援事業等 ※平成30年4月1日時点

子育てひろば

子育て中の親子(主に乳幼児)がいつでも気軽に参加でき、打ち解けた雰囲気の中で交流したり、相談したりすることができる場を提供しています。

○施設名(50音順)

カタリナ子育てひろば「ぼけっと」
 子育てひろば「くーふあん」
 子育てひろば「くりっぷ」
 子育てひろば「ToiToiToi」
 しのめ広場「たんぼぼ」
 松山市子育て支援相談室「ほっとHOTひろば」

児童館・児童センター

子どもの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に、子どもに健全な遊びを提供する施設です。子どもたちが自由に来館し、友だちと楽しく遊ぶことができます。

○施設名(50音順)

新玉児童館、久米児童館、中央児童センター
 南部児童センター、畑寺児童館、久枝児童館
 北条児童センター、味生児童館

親子ふれあいタイム

児童館・児童センターの平日午前中に、子育て中の親子(乳幼児)同士の交流スペースの提供や子育て相談、遊びを通したふれあい活動などを行っています。

○施設名(50音順)

新玉児童館、久米児童館、中央児童センター
 南部児童センター、畑寺児童館、久枝児童館
 北条児童センター、味生児童館

一時預かり事業

急な用事や短期のパートタイム就労のほか、リフレッシュしたい時などに、保育所などの施設で子どもを預かる事業です。新制度の適用を受ける幼稚園や認定こども園の幼稚園機能部分(1号認定)の在園児で、教育時間の前後や、土曜日や長期休業中などに預かる事業も含まれます。

利用料は、市立幼稚園、公立保育所等では、市の例規で定められた金額になります。私立施設では、各施設が定めた金額になります。

病児・病後児保育事業

病気や病後の子どもを保護者が家庭で保育できない場合に、病院に付設されたスペースで預かる事業です。



二次元コード

ファミリー・サポート・センター事業

児童の預かり等の援助を受けることを希望する方(依頼会員)と、援助を行うことを希望する方(提供会員)との相互援助活動に関する連絡・調整を行う事業です。

●利用条件

- ・6カ月から小学6年生までの子どものいる方。
- ・市内に居住し、勤務または在学していること。

●利用料

- ・1時間当たり 700円～900円

●実施主体

まつやまファミリー・サポート・センター
 (松山市男女共同参画推進センター「コムズ」内)

保健所・保健センターの情報・相談事業

妊婦一般健康診査や乳児一般健康診査、1歳6カ月児健康診査、3歳児健康診査等に関する情報及び赤ちゃん相談や電話相談を実施しています。

マタニティ相談会、 パパ・ママのための教室

育児等についての基本知識を学び、実習等を通して出産・育児の心得を学習し、不安の解消と同時に妊婦間の交流の場とする教室です。

沐浴等育児の実習を通して夫婦で育児の知識を学ぶとともに、親になるための心得を学習するための教室です。

●実施主体

松山市保健所 健康づくり推進課

○実施場所

松山市保健所・はなみずきセンター

地域子育て支援事業等 ※平成30年4月1日時点

放課後子ども教室

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。

保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

○実施場所(50音順)

浅海小学校区「浅海オレンジっ子クラブ」
 新玉小学校区「新玉陽だまり教室」
 粟井小学校区「粟井っ子クラブ」
 石井小学校区「石井小学校区子ども教室」
 荏原小学校区「荏原子ども教室」
 小野小学校区「小野子ども教室」
 桑原小学校区「桑原放課後子ども教室」
 河野小学校区「みもじ子ども教室」
 興居島小学校区「興居島子ども教室」
 五明小学校区「五明っ子クラブ」
 坂本小学校区「坂本放課後子ども教室きらきらクラブ」
 潮見小学校区「いとすぎ教室」
 清水小学校区「しみずっ子ひろば」
 生石小学校区「生石子どもいきいき教室」
 素鷲小学校区「わくわくオーロラひろば」
 たちばな小学校区「たちばな小放課後子ども教室」
 立岩小学校区「立岩っ子クラブ」
 椿小学校区「椿放課後子ども教室」
 中島小学校区「中島子ども教室」
 難波小学校区「難波子ども教室」
 番町小学校区「番町放課後子ども教室」
 久枝小学校区「久枝放課後子ども教室」
 福音小学校区「ふくふくチャレンジ教室」
 双葉小学校区「ふたば放課後子ども教室」
 北条小学校区「風早あすなろ会」
 堀江小学校区「堀江っ子チャレンジ教室」
 正岡小学校区「正岡元気っ子クラブ」
 味酒小学校区「ひなたぼっこ味酒」
 味生・味生第二小学校区「味生子どもふれあい教室」
 宮前小学校区「宮前子ども教室」
 八坂小学校区「「だいすき八坂」キッズ教室」
 雄郡小学校区「雄郡っ子クラブ」
 和氣小学校区「和氣あいあい教室」

ほっとHOTひろば

子育てについて相談したい、情報がほしいなど、妊娠中から18歳未満の児童を対象に相談ができる相談室です。

○実施場所

松山市萱町6丁目(松山市保健所内)

子育てマップ

松山市内の子育て関係の施設(保育所、幼稚園など)を地図に表示したものです。市役所や支所で配布しています。

幼稚園の子育て支援事業

各幼稚園で独自に行っている、子育て支援事業です。

まちコミュスポット「てくるん」

保育・託児機能を備えた交流スペースで、一時預かり(託児室)や子育て相談(月・木曜、10時～15時)を実施しています。

※一時預かり(託児室)

日曜・祝日のみ。有料。6カ月～就学前までのお子様を対象。開館時間内のうち最長3時間まで。



●利用料

基本的には無料。但し、傷害保険料(年間800円程度)及び、別途教材費等(活動内容による)が必要な場合があります。

子ども・子育て支援に関するニーズ調査
結果報告書

平成31年3月

発行：松山市保健福祉部 子育て支援課
〒790-8571 松山市二番町四丁目7番地2
TEL：089-948-6418 FAX：089-934-1814
E-mail：kosodate@city.matsuyama.ehime.jp